

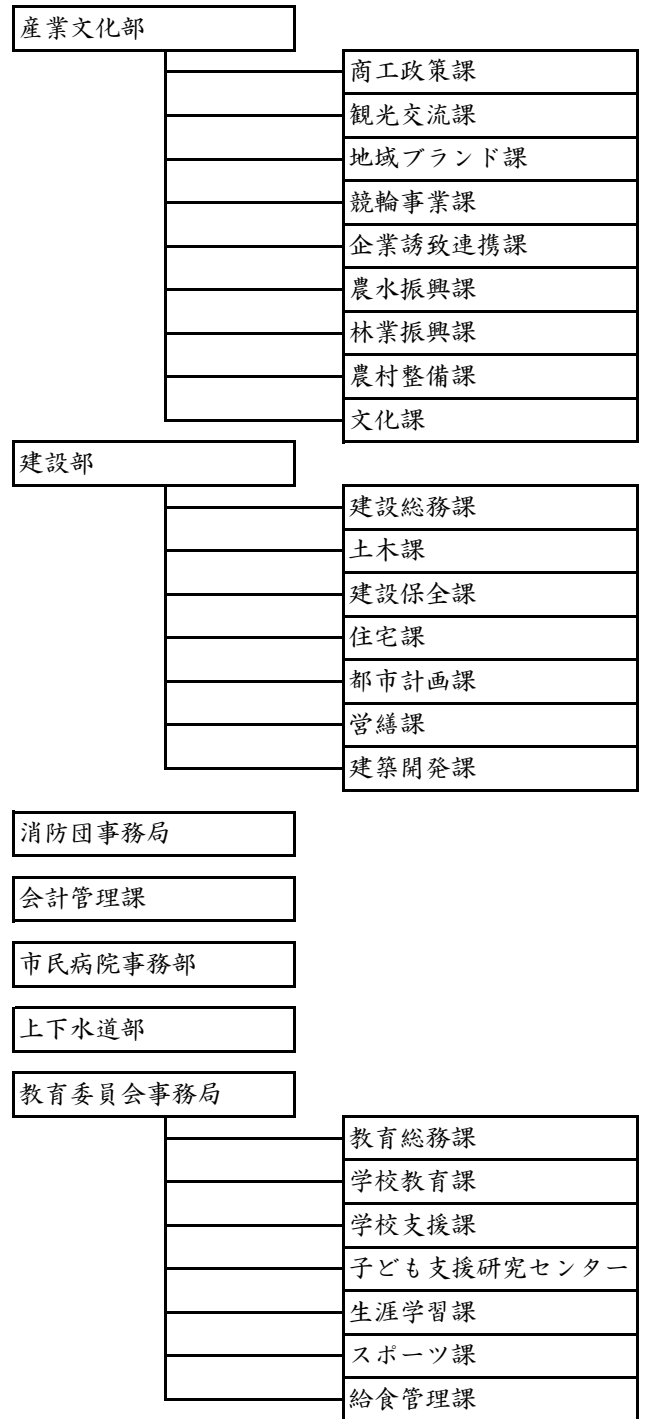
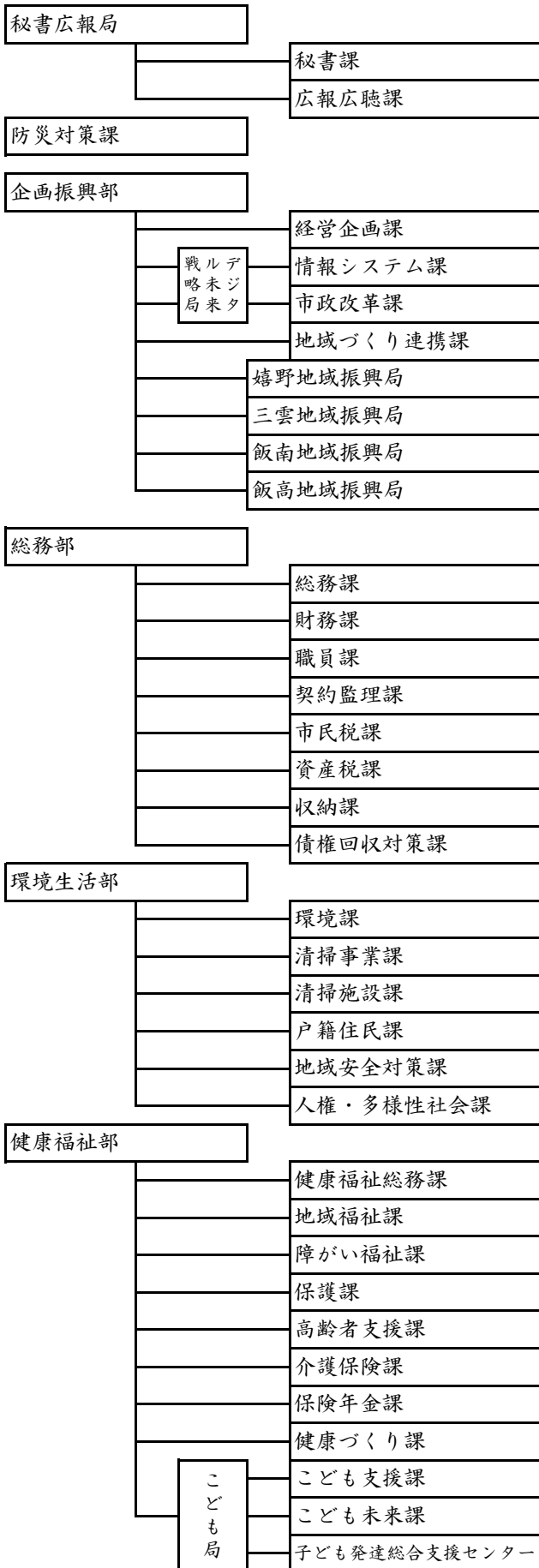
令和4年度 部局長の

「実行宣言」



松阪市

令和4年度 松阪市行政組織 (令和4年4月1日時点)



ごあいさつ

このたびは、『令和4年度 部局長の「実行宣言」』をご覧ください、
ありがとうございます。



令和3年度は、長期化する新型コロナウイルスへの対応に追われた1年となりました。一方、小中学校では「GIGAスクール」を前倒して実施したことにより、子どもたちの学習環境を確保することができ、また、地域づくりにおいては43の住民自治協議会がスタートするなど、これまでの取り組みの結果が表れた1年でもありました。

今回公表する『令和4年度 部局長の「実行宣言」』は、令和3年度の実行宣言および事務・事業の評価や、令和4年度の実行宣言および重点取組などを示しています。事務・事業の評価については、当初予算だけではなく、補正予算により実施した事業も対象としています。評価の結果、改善すべきものは、今年度の取組や「実施計画」に生かしてまいります。

令和4年度は、新型コロナウイルス対策はもとより、2050年のカーボン・ニュートラルに向けた脱炭素社会実現への取り組み、DX^(※1)の推進による市民の利便性の向上、アフターコロナを見据えた地方創生として関係人口や交流人口の創出、未来を担う子どもたちへの支援や複合的で身近な相談を地域で受け止める重層的支援体制の構築など、多様化する課題に取り組んでまいります。

この激動の時代を乗り越えるために、PDCAサイクル^(※2)による改善を繰り返し、引き続き、「誰のため、何のため」の視点をもって市民のみなさまに「ここに住んで良かった」と実感していただける松阪市をめざしてまいります。

松阪市長 竹上真人

※1. DX(デジタルトランスフォーメーション)…デジタル技術を活用し、人々の生活をより良いものに変革すること。

※2. PDCAサイクル…「Plan(計画)」→「Do(実施)」→「Check(評価)」→「Action(改善)」という循環を繰り返すことで、品質や精度を向上させる進捗管理法。

目次

| | | |
|----------------------|-----|-------------------------|
| ●『部局長の「実行宣言」』について | | P6 |
| ●第1章 各部局の令和4年度「実行宣言」 | | P15 |
| ●第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」 | | |
| 1. 輝く子どもたち | | ④文化の振興 P45 |
| ①子ども・子育て支援の推進 | P23 | ⑤スポーツと運動したまちづくりの推進 P46 |
| ②未就学児への支援 | P25 | ⑥人権尊重・多様性社会の推進 P47 |
| ③学校教育の充実 | P26 | 5. 安全・安心な生活 |
| 2. いつまでもいきいきと | | ①交通安全対策の充実 P48 |
| ①健康づくりの推進 | P28 | ②防犯対策と消費者保護の充実 P49 |
| ②地域医療の推進 | P29 | ③防災・危機管理対策の充実 P50 |
| ③地域福祉・生活支援の充実 | P31 | ④消防力の充実 P51 |
| ④高齢者福祉の推進 | P32 | ⑤浸水対策の充実 P52 |
| ⑤障がい福祉の推進 | P33 | 6. 快適な生活 |
| 3. 活力ある産業 | | ①自然と生活の環境保全 P53 |
| ①農業の振興 | P34 | ②資源循環型社会の推進 P54 |
| ②林業の振興 | P35 | ③地域公共交通の充実 P55 |
| ③水産業の振興 | P36 | ④都市空間・住環境の整備 P56 |
| ④商工業の振興 | P37 | ⑤道路等の整備 P58 |
| ⑤企業誘致・連携の推進 | P38 | ⑥上下水道の整備 P59 |
| ⑥観光・交流の振興 | P39 | 7. 市民のための市役所 |
| ⑦松阪牛・地域ブランドの振興 | P40 | ①行政サービスの充実 P60 |
| ⑧雇用・勤労者福祉の充実 | P41 | ②確かな行政サービスの提供 P63 |
| 4. 人も地域も頑張る力 | | ③公民連携の推進 P64 |
| ①市民活動の推進 | P42 | ④市民との情報共有 P65 |
| ②中山間地域の振興 | P43 | ⑤健全な財政運営 P67 |
| ③社会教育の推進 | P44 | 総合計画に紐づかない所属の「実行宣言」 P69 |

| ●第3章 各所属の「評価」と「重点取組」 | | | |
|----------------------|------|------------------------------|------|
| 秘書広報局 | | 産業文化部 | |
| 秘書課 | P70 | 商工政策課 | P160 |
| 広報広聴課 | P72 | 観光交流課 | P164 |
| 防災対策課 | P74 | 地域ブランド課 | P167 |
| 企画振興部 | | 競輪事業課 | |
| 経営企画課 | P77 | 企業誘致連携課 | P171 |
| 市政改革課 | P79 | 農水振興課 | P173 |
| 情報システム課 | P81 | 林業振興課 | P178 |
| 地域づくり連携課 | P83 | 農村整備課 | P182 |
| 嬉野地域振興局 | P86 | 文化課 | P185 |
| 三雲地域振興局 | P88 | 建設部 | |
| 飯南地域振興局 | P90 | 建設総務課 | P189 |
| 飯高地域振興局 | P92 | 土木課 | P191 |
| 総務部 | | 建設保全課 | |
| 総務課 | P94 | 住宅課 | P197 |
| 財務課 | P96 | 都市計画課 | P199 |
| 職員課 | P98 | 営繕課 | P201 |
| 契約監理課 | P100 | 建築開発課 | P203 |
| 市民税課 | P102 | 消防団事務局 | P205 |
| 資産税課 | P104 | 市民病院事務部 | P208 |
| 収納課 | P106 | 会計管理課 | P210 |
| 債権回収対策課 | P108 | 上下水道部 | |
| 環境生活部 | | 上下水道総務課 | |
| 環境課 | P110 | 上下水道建設課・北部上下水道事務所・西部水道浄化槽事務所 | P212 |
| 清掃事業課 | P113 | 水源管理課 | P214 |
| 清掃施設課 | P116 | 下水道建設課・北部上下水道事務所 | P215 |
| 戸籍住民課 | P119 | 西部水道浄化槽事務所 | P216 |
| 地域安全対策課 | P121 | 教育委員会事務局 | |
| 人権・多様性社会課 | P123 | 教育総務課 | P220 |
| 健康福祉部 | | 学校教育課 | |
| 健康福祉総務課 | P125 | 学校支援課 | P226 |
| 地域福祉課 | P127 | 子ども支援研究センター | P228 |
| 障がい福祉課 | P131 | 生涯学習課 | P230 |
| 保護課 | P134 | スポーツ課 | P233 |
| 高齢者支援課 | P136 | 給食管理課 | P236 |
| 介護保険課 | P140 | 議会事務局 | |
| 保険年金課 | P143 | 農業委員会事務局 | P240 |
| 健康づくり課 | P146 | 監査委員事務局 | P242 |
| こども支援課 | P151 | 選挙管理委員会事務局 | P244 |
| こども未来課 | P154 | | |
| 子ども発達総合支援センター | P158 | | |

『部局長の「実行宣言」』について

『部局長の「実行宣言」』は、部局長及び理事が、年度期首に前年度実績を「評価」した上で、今年度の「目標」を設定する取組です。

1. 実施目的

『部局長の「実行宣言」』には、次の2つの目的があります。

①「評価」に基づく「見直し」の促進

各部局の前年度実績を「評価」し、改善点を明らかにすることで、事務・事業の実施手法等の「見直し」につなげ、効率的・効果的な市政運営をめざします。

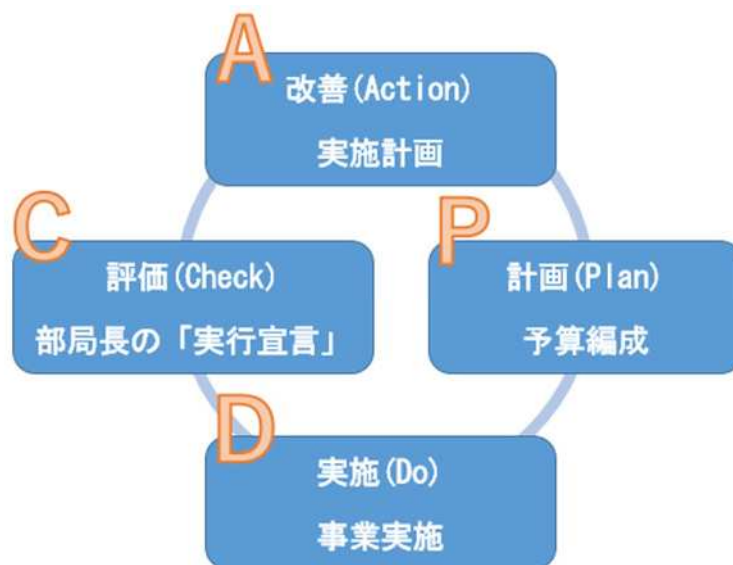
②目標管理型の部局運営の推進

「実行宣言（部局目標）」や各施策、事務・事業の「目標」を「見える化」することで、部局職員の目標管理意識を高め、施策や事務・事業を計画的に推進する組織をめざします。

【参考】市政運営におけるPDCAサイクルについて

市政運営全体の視点で見ると、PDCAサイクルにおける「計画（Plan）」は「予算編成」であり、『部局長の「実行宣言」』は「評価（Check）」にあたります。

松阪市では、総合計画に掲げる政策を効率的・効果的に達成していくために、『部局長の「実行宣言」』における施策や事務・事業の評価を、次年度の「予算編成」に活用できるように、下図のPDCAサイクルに取り組んでいます。



2. 構成

『部局長の「実行宣言」』は次の3つの章で構成しています。

①第1章 各部署の「実行宣言」

今年度の「実行宣言」を、部局ごとに集約して掲載しています。

| 第1章 各部署の令和4年度 「実行宣言」 | | |
|----------------------|---|---|
| 秘書広報局 | | 関係施策 |
| 秘書広報局長 (松木精二) | ① | 政策調整秘書業務の円滑な推進と危機管理における迅速な対応に努め、内部統制及び全庁的な危機管理能力の向上に取り組めます。 |
| | ② | より見やすく、探しやすいホームページを目指してリニューアルを行い、市内外に広く適切な情報発信を行います。 |
| 防災対策課 | | 関係施策 |
| 防災対策課長 (北川高宏) | ① | 引き続き「自助」「共助」の意識を高めるために、持続的防災啓発と地域の防災体制の強化に向け取り組みます。地域で作る「地区防災計画」の策定支援を新型コロナウイルス感染症の影響も考慮しながら、策定完了地区の目標達成を目指します。またコロナ禍における適切な避難所運営を目指します。行政が大規模災害時にやるべきことを記述した「松阪市業務継続計画（BCP）」について検証を行い、課題解決に向け取り組みます。 |

②第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

「松阪市総合計画」の施策ごとに、関連する部局の昨年度の「評価」と、今年度の「実行宣言」を記載しています。

| 7. 市民のための市役所 ④市民との情報共有 | | | | | | |
|------------------------|---|--|----------|----------|----------|-----------|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 ☆☆☆ | | | | | |
| 秘書広報局長 (松木精二) | さまざまな広報媒体を活用して、市民にわかりやすく、スピード感をもった適切な情報提供を行いました。特に、ホームページの新型コロナウイルス感染症特設サイトの項目を見やすくしました。しかし、コロナ禍の影響で各種イベント・出前講座等、一部の事業では目標を達成することができませんでした。 | | | | | |
| | ↑ <令和3年度 実行宣言> 市民にわかりやすく、スピード感をもった適切な情報提供を行います。 | | | | | |
| | 令和4年度 実行宣言 より見やすく、探しやすいホームページを目指してリニューアルを行い、市内外に広く適切な情報発信を行います。 | | | | | |
| 部局長名 | 令和3年度の評価 ☆☆☆ | | | | | |
| 総務部長 (近田雄一) | 審議会などの会議の公開率91.4%、公文書公開440件、個人情報公開33件の請求があり、原則に即って公開しました。また、情報公開並びに個人情報保護に関する研修会を開催し、市民満足度の向上に努めました。 | | | | | |
| | ↑ <令和3年度 実行宣言> 情報公開を進めると共に、法令に基づく行政運営を推進します！ | | | | | |
| | 令和4年度 実行宣言 情報公開を進めるとともに改正個人情報保護法の施行に備え、個人情報保護施行条例を整備します。また、情報提供範囲の拡大を検討します。 | | | | | |
| 施策の進捗状況 | | | | | | |
| 数値目標 ① | 項目 | 情報公開・情報提供に対する市民満足度 | | | | 目標種別 |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) |
| 【評価】 | 目標 | — | 2.96 / 5 | 3.00 / 5 | 3.05 / 5 | 3.10 / 5 |
| | 実績 | 2.96 / 5 | — / 5 | 2.93 / 5 | — | — |
| 総務部長 | 評価 | — | — | E | — | — |
| | 今後の方針 | 情報公開制度の主旨に基づいた適正執行と並行して、情報提供範囲の拡大への取り組みによって市民満足度の向上を目指します。 | | | | |
| 関係所属 | | | | | | |
| 広報広聴課・総務課 | | | | | | |

令和3年度の評価

施策に関連する部局の昨年度の取組の評価(☆~☆☆☆☆)です。

令和4年度 実行宣言

施策に関連する部局の今年度の実行宣言です。

施策の進捗状況

『松阪市総合計画』の数値目標・実績・評価・今後の方針を記載しています。

<目標種別及び評価について>

・値を上げる目標(ノ)又は値を下げる目標(ハ)の場合、令和元年度の目標値・実績値と基準値との差により達成度を算出して評価しています。(例)基準値10、令和3年度目標20、実績15の場合

$(15-10) \div (20-10) = 0.5 = \text{達成率} 50\% \Rightarrow \text{C評価}$

・値を維持する目標(ヘ)の場合、目標値を達成していれば「S評価」、達成していなければ「E評価」としています。

・令和3年度の実績がない場合、実績欄及び評価欄ともに「-」表記とされています。

関係所属

当該施策に関連する所属(基本的に課)を記載しています。

③第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

「課長シート」と「事務・事業管理シート」で構成されます。「課長シート」では各所属が所管する事務・事業の前年度実績等を総括し、組織として「達成できたこと」及び「達成できなかったこと」を明らかにします。「事務・事業管理シート」では、個別の事務・事業に設定した前年度の「活動指標」、「目標」に対する「実績」及び「評価」を明らかにするとともに、今年度の各事務・事業の「活動指標」、「目標」を示します。

【課長シート】

作成者（評価者）

シート作成を担当した課長等の名前を記載しています。

関係する『総合計画』施策

所属に関係する『総合計画』施策を記載しています。

| 組織名 | 経営企画課 | 作成者（評価者） | 課長 藤木 洋司 |
|---|------------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 7-① 行政サービスの充実 | | |
| | 7-② 確かな行政サービスの提供 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>経営企画課は、市全体にかかわる計画や各部署との総合調整を担う課として業務を行うとともに、総合計画の政策・施策が着実に推進できるよう、外部評価委員会を設けるとともに、施策評価システム等により進捗管理を行っています。また、統計法に基づく各種統計調査を行うとともに、見やすい形で様々なデータをホームページ等で公開することで、市民への情報提供を行っています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の施行にともない、新たに「松阪市過疎地域持続的発展計画」を、飯南・飯高振興局等と連携を回り策定しました。 ・ 総合計画等の外部評価委員会として、「総合計画等評価委員会」を新たに設置し、専門的・長期的な視点から評価や意見をいただきました。 ・ 「経済センサス活動調査」は97.15%と高い回収率となり、事故等もなく実施できました。 ・ 「松阪若者クラブ 3rd season」を、Web会議システムを活用し開催し、市内で様々な分野において活躍している方々の事例を聞く場とすることで、市内外の若者に松阪への興味や愛着をもってもらう機会をとしました。 ・ 松阪市政推進会議からの提案「社会的つながり創出提案募集」を実施し、全国から36件の応募をいただくとともに、6件をアイデア賞として採択し、令和4年度に3件の事業化を図りました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルスの影響により、市政推進会議および定住自立圏共生ビジョン懇談会、総合計画等評価委員会が、当初予定していた回数の開催が出来ませんでした。遠方等からの出席者については、Web会議システムを活用しながら出来る限り参加可能な環境を整えました。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 市民意識調査を紙とwebの両方で回答可能な形式で実施することで、より幅広い層からの回答を得ることで、更なる市民ニーズの把握に努めます。 ・ SDGsの視点を取り入れた「若者チャレンジ松阪創造事業」を実施し、参加者同士の対話を通して「サステナブル」「魅力発信」「課題解決」につなげます。 ・ 地域別の就業構造に関する基礎資料を得ることを目的に5年ごとに実施される、就業構造基本調査を事故等に十分注意し実施します。 | | | |

組織の概要（主な業務）

組織の概要を紹介しています。

令和3年度の評価

令和3年度の取組について、【達成できたこと】【達成できなかったこと】という視点から総括します。※個別の事務・事業の評価については、「事務・事業管理シート」に示します。

令和4年度の重点取組

令和4年度に重点的に実施する取組について示しています。

【事務・事業管理シート】

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | 令和4年度 | | | | |
|-----|----------------|------|----------|----------|------------|-----------|-------|----------|------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | |
| 1 | 広報松阪発行事業費 | 7-④ | 25,673 | 21,878 | 広報発行ページ数 | | | 26,070 | 広報発行ページ数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 32ページ/月 | 33.6ページ/月 | A | | 32ページ/月 | | |
| 2 | ホームページ等管理運営事業費 | 7-④ | 5,595 | 5,595 | 情報書き込み件数 | | | 25,479 | 情報書き込み件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 900件 | 628件 | B | | 900件 | | |
| 3 | 市民対話活動事業費 | 7-④ | 913 | 913 | ①市政バスの利用状況 | | | 1,063 | ①市政バスの利用状況 | | |
| | | | | | ②出前講座の利用件数 | | | | ②出前講座の利用件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | ①50件 | ①8件 | E | ①50件 | | | | | |
| | | | ②250件 | ②132件 | | ②250件 | | | | | |

関係施策

『総合計画』の政策体系における位置づけを示します。「7-①」は「政策7の施策①」を表します。

当初予算(千円)/最終予算(千円)

令和3年度の当初予算額・最終予算額と令和4年度の当初予算額を示します。最終予算額は、補正予算を反映した額になります。

令和4年度の「当初予算」欄について、令和3年度で終了の事業は「終了」、令和4年度に他の事業と統合した事業は「統合」と表記しています。

活動指標/目標/実績/評価

対象年度事業の「活動指標」「目標」「実績」「評価」を示します。ひとつの事業に対して「活動指標」を複数設定する場合もあります。

※『部局長の「実行宣言」』では、各所属に予算配当されている事務・事業を「事務・事業管理シート」に一覧化していますが、これに加えて、職員の創意工夫により、別途予算を確保せずに実施している取組や、他の所属に配当されている予算を執行して、事務・事業を実施している取組について、特に注力しているものを「ゼロ予算事業」として「事務・事業管理シート」に表記しています。

※『令和4年度 部局長の「実行宣言」』の実績値は、令和4年6月時点のものです。

3. 評価基準

『部局長の「実行宣言」』で使用する評価基準は以下のとおりです。

なお、健康福祉部と市民病院事務部は、施策2-①と施策2-②において、通常事務と新型コロナウイルス対応に係る事務を別途評価しています。

【令和3年度の評価】

| 分類 | 評価の目安 |
|------|---------------------------|
| ☆☆☆☆ | 目標を遥かに上回る |
| ☆☆☆ | 目標を大きく上回る |
| ☆☆ | 概ね目標通り |
| ☆ | 目標にやや及ばない |
| ☆ | 目標を大きく下回る |
| - | 評価対象外（未実施等により評価できない場合に使用） |

【施策の進捗状況、事務・事業管理シートの評価】

| 分類 | 評価の目安 |
|----|---------------------------|
| S | 目標達成度100%以上（完全履行及び目標超過） |
| A | 目標達成度90%以上100%未満 |
| B | 目標達成度70%以上90%未満 |
| C | 目標達成度50%以上70%未満 |
| D | 目標達成度30%以上50%未満 |
| E | 目標達成度30%未満 |
| - | 評価対象外（未実施等により評価できない場合に使用） |

4. 令和3年度 各部局の達成状況

| 評価 | ☆☆☆☆☆ | ☆☆☆☆ | ☆☆☆ | ☆☆ | ☆ |
|------------|-------|------|-----|----|---|
| 秘書広報局 | | 1 | 1 | | |
| 防災対策課 | | | | 1 | |
| 企画振興部 | | 3 | 6 | | |
| 総務部 | | | 5 | | |
| 環境生活部 | | 1 | 3 | 2 | |
| 健康福祉部 | | 4 | 7 | 1 | |
| 産業文化部 | 1 | 3 | 2 | 6 | |
| 建設部 | | 2 | 2 | 1 | |
| 消防団事務局 | | | | 1 | |
| 市民病院事務局 | 1 | | | | 1 |
| 会計管理課 | | | 1 | | |
| 上下水道部 | | | 2 | 1 | |
| 教育委員会事務局 | | 1 | 1 | 2 | |
| 議会事務局 | | 1 | | | |
| 農業委員会事務局 | | 1 | | | |
| 監査委員事務局 | | | 1 | | |
| 選挙管理委員会事務局 | | | 1 | | |
| 合計 | 2 | 17 | 32 | 15 | 1 |

5. 各部局担当政策・施策一覧

| 部局名 | 部局長 | | 担当政策 | 担当施策 |
|--------|----------|-------|-------------|----------------|
| 秘書広報局長 | 秘書広報局長 | 船木 精二 | 7.市民のための市役所 | ①行政サービスの充実 |
| | | | 7.市民のための市役所 | ④市民との情報共有 |
| 防災対策課 | 防災担当参事 | 北川 高宏 | 5.安全・安心な生活 | ③防災・危機管理対策の充実 |
| 企画振興部 | 企画振興部長 | 岡本 孝雄 | 7.市民のための市役所 | ①行政サービスの充実 |
| | | | 7.市民のための市役所 | ②確かな行政サービスの提供 |
| | DX推進担当理事 | 近田 弘之 | 7.市民のための市役所 | ①行政サービスの充実 |
| | | | 7.市民のための市役所 | ②確かな行政サービスの提供 |
| | | | 7.市民のための市役所 | ③公民連携の推進 |
| | | | 7.市民のための市役所 | ⑤健全な財政運営 |
| | 地域振興担当理事 | 野呂 隆生 | 4.人も地域も頑張る力 | ①市民活動の推進 |
| | | | 4.人も地域も頑張る力 | ②中山間地域の振興 |
| | | | 7.市民のための市役所 | ①行政サービスの充実 |
| 総務部 | 総務部長 | 近田 雄一 | 7.市民のための市役所 | ①行政サービスの充実 |
| | | | 7.市民のための市役所 | ②確かな行政サービスの提供 |
| | | | 7.市民のための市役所 | ④市民との情報共有 |
| | | | 7.市民のための市役所 | ⑤健全な財政運営 |
| | 税務担当理事 | 松下 敏幸 | 7.市民のための市役所 | ⑤健全な財政運営 |
| 環境生活部 | 環境生活部長 | 田畑 吉隆 | 4.人も地域も頑張る力 | ⑥人権尊重・多様性社会の推進 |
| | | | 5.安全・安心な生活 | ①交通安全対策の充実 |
| | | | 5.安全・安心な生活 | ②防犯対策と消費者保護の充実 |
| | | | 6.快適な生活 | ①自然と生活の環境保全 |
| | | | 7.市民のための市役所 | ①行政サービスの充実 |
| | 清掃行政担当理事 | 谷口 昌由 | 6.快適な生活 | ②資源循環型社会の推進 |

| 部局名 | 部局長 | | 担当政策 | 担当施策 |
|-------|----------|-------|--------------|----------------|
| 健康福祉部 | 健康福祉部長 | 廣本 知律 | 1.輝く子どもたち | ①子ども・子育て支援の推進 |
| | | | 2.いつまでもいきいきと | ①健康づくりの推進 |
| | | | 2.いつまでもいきいきと | ②地域医療の推進 |
| | | | 2.いつまでもいきいきと | ③地域福祉・生活支援の充実 |
| | | | 2.いつまでもいきいきと | ④高齢者福祉の推進 |
| | 福祉担当理事 | 榑原 典子 | 1.輝く子どもたち | ①子ども・子育て支援の推進 |
| | | | 2.いつまでもいきいきと | ③地域福祉・生活支援の充実 |
| | | | 2.いつまでもいきいきと | ⑤障がい福祉の推進 |
| | こども局長 | 谷中 靖彦 | 1.輝く子どもたち | ①子ども・子育て支援の推進 |
| | | | 1.輝く子どもたち | ②未就学児への支援 |
| 産業文化部 | 産業文化部長 | 川村 浩稔 | 3.活力ある産業 | ④商工業の振興 |
| | | | 3.活力ある産業 | ⑤企業誘致・連携の推進 |
| | | | 3.活力ある産業 | ⑥観光・交流の振興 |
| | | | 3.活力ある産業 | ⑧雇用・勤労者福祉の充実 |
| | | | 4.人も地域も頑張る力 | ④文化の振興 |
| | | | 5.安全・安心な生活 | ②防犯対策と消費者保護の充実 |
| | | | 6.快適な生活 | ③地域公共交通の充実 |
| | 競輪事業担当理事 | 松本 健 | 7.市民のための市役所 | ⑤健全な財政運営 |
| | 農林水産担当理事 | 砂子 祐一 | 3.活力ある産業 | ①農業の振興 |
| | | | 3.活力ある産業 | ②林業の振興 |
| | | | 3.活力ある産業 | ③水産業の振興 |
| | | | 3.活力ある産業 | ⑦松阪牛・地域ブランドの振興 |

| 部局名 | 部局長 | | 担当政策 | 担当施策 |
|------------|------------------|----------------|--------------|--------------------|
| 建設部 | 建設部長 | 伊藤 篤 | 5.安全・安心な生活 | ①交通安全対策の充実 |
| | | | 5.安全・安心な生活 | ⑤浸水対策の充実 |
| | | | 6.快適な生活 | ④都市空間・住環境の整備 |
| | | | 6.快適な生活 | ⑤道路等の整備 |
| | | | 7.市民のための市役所 | ①行政サービスの充実 |
| 消防団事務局 | 消防団事務局長 | 松本 芳昭 | 5.安全・安心な生活 | ④消防力の充実 |
| 市民病院事務局 | 市民病院事務局 | 石川 圭一 | 2.いつまでもいきいきと | ②地域医療の推進 |
| 会計管理課 | 会計管理者 | 高木 達彦 | - | - |
| 教育委員会事務局 | 教育長 教育委員会事務局長 | 中田 雅喜 刀根 和宜 | 1.輝く子どもたち | ①子ども・子育て支援の推進 |
| | | | 1.輝く子どもたち | ③学校教育の充実 |
| | | | 4.人も地域も頑張る力 | ③社会教育の推進 |
| | | | 4.人も地域も頑張る力 | ⑤スポーツと連動したまちづくりの推進 |
| 上下水道部 | 上下水道事業管理者 | 長谷川 浩司 | 5.安全・安心な生活 | ⑤浸水対策の充実 |
| | | | 6.快適な生活 | ①自然と生活の環境保全 |
| | | | 6.快適な生活 | ⑥上下水道の整備 |
| 議会事務局 | 議会事務局長 | 中西 雅之 | - | - |
| 農業委員会事務局 | 農業委員会事務局長 | 北村 充 | 3.活力ある産業 | ①農業の振興 |
| 監査委員事務局 | 監査委員事務局長 | 刀根 薫 | - | - |
| 選挙管理委員会事務局 | 選挙管理委員会事務局長 | 山本 誠 | - | - |

第1章 各部署の令和4年度 「実行宣言」

| 秘書広報局 | | 関係施策 |
|------------------------|---|--------------------------------|
| 秘書広報局長 (船木精二) | ① 政策調整秘書業務の円滑な推進と危機管理における迅速な対応に努め、内部統制及び全庁的な危機管理能力の向上に取り組めます。 | 7. 市民のための市役所 ① 行政サービスの充実 |
| 秘書広報局長 (船木精二) | ② より見やすく、探しやすいホームページを目指してリニューアルを行い、市内外に広く適切な情報発信を行います。 | 7. 市民のための市役所 ④ 市民との情報共有 |
| 防災対策課 | | 関係施策 |
| 防災対策課長 (北川高宏) | ① 引き続き「自助」「共助」の意識を高めるために、持続的防災啓発と地域の防災体制の強化に向け取り組みます。地域で作る「地区防災計画」の策定支援を新型コロナウイルス感染症の影響も考慮しながら、策定完了地区の目標達成を目指します。またコロナ禍における適切な避難所運営を目指します。行政が大規模災害時にやるべきことを記述した「松阪市業務継続計画（BCP）」について検証を行い、課題解決に向け取り組みます。 | 5. 安全・安心な生活 ③ 防災・危機管理対策の充実 |
| 企画振興部 | | 関係施策 |
| 企画振興部長 (岡本孝雄) | ① 「人口減少対策」として、地方創生総合戦略にある「定住促進」「少子化対策」「雇用創出」「地域づくり」の分野で取り組み、効果的に事業展開できるよう中長期的な視点で部局間の連携などの調整に努めます。特に、南三重への県立大学の誘致を推進するとともに、交流人口と関係人口の増加につながる取り組みを横断的に進めます。 | 7. 市民のための市役所 ① 行政サービスの充実 |
| 企画振興部長 (岡本孝雄) | ② 総合計画等評価委員会の評価に対して、改善が必要なものについては、実施計画や当初予算に迅速に反映するよう全市的な調整を図ります。また、財源の確保のため企業版ふるさと納税の推進を図ります。 | 7. 市民のための市役所 ② 確かな行政サービスの提供 |
| 地域振興担当 理事 (野呂隆生) | ③ 地域づくり活動が高いレベルで平準化するよう住民自治協議会を支援するとともに、コミュニティセンター化について理解を得られるよう丁寧に説明し、コミュニティセンター化をさらに進めます。あわせて、地域が使いやすい施設となるよう、モデル地区の検証を行いながら、コミュニティセンターの制度を構築します。 | 4. 人も地域も頑張る力 ① 市民活動の推進 |
| 地域振興担当 理事 (野呂隆生) | ④ 住民自治協議会と協働し空家バンクの登録を推進するとともに、サテライトオフィスや田舎暮らしに関する情報を積極的に発信し、移住人口や関係人口の創出を図ります。また、交流人口の増加を図るため、新たな取り組みであるトレイルランニング大会の開催など、地域資源を活かしたイベントの実現に向けて地域とともに取り組みを進めます。 | 4. 人も地域も頑張る力 ② 中山間地域の振興 |
| 地域振興担当 理事 (野呂隆生) | ⑤ 地域振興局及び出張所の業務やあり方に関する課題について関係部局とともに検討し、現在の市民サービスを維持し、住民福祉の向上など、地域や行政の新たな課題に対応できる組織や業務のあり方について方向性を定めます。 | 7. 市民のための市役所 ① 行政サービスの充実 |

| | | | |
|------------------------|---|--|--------------------------------|
| DX推進担当 理事 (近田弘之) | ⑥ | オンライン申請（電子申請）の拡大や公開型GIS（地理情報システム）などの導入に取り組み、市役所へ行くことなく、スマホやパソコンからさまざまな申請や手続きが簡単にできる環境の構築を進めます。 また、本庁・地域振興局・出張所等の業務機能の見直しやデジタル技術・民間活力の活用などを通じた業務の効率化等に取り組み、職員がより専門性が求められる業務に専念できる配置や体制整備を進め、市民サービスの向上に繋がります。 | 7. 市民のための市役所 ① 行政サービスの充実 |
| DX推進担当 理事 (近田弘之) | ⑦ | 庁内ネットワークおよび各種システムを安全に安定稼働させ、遅滞なく住民サービスを提供します。 | 7. 市民のための市役所 ② 確かな行政サービスの提供 |
| DX推進担当 理事 (近田弘之) | ⑧ | 共創デスクやサウンディング型市場調査等を通じて、市政運営に積極的な民間手法の導入を進め、業務の効率化や事業効果のさらなる向上に努めます。また、SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）を用いた公民連携による社会課題解決のための手法について検討を行っていきます。 | 7. 市民のための市役所 ③ 公民連携の推進 |
| DX推進担当 理事 (近田弘之) | ⑨ | 施設の統廃合、指定管理者制度など民間活力の積極的な導入等に取り組み、市民の利便性の維持・向上を図りつつライフサイクルコストの削減を進めていきます。 | 7. 市民のための市役所 ⑤ 健全な財政運営 |
| 総務部 | | | 関係施策 |
| 総務部長 (近田雄一) | ① | 社会情勢や多様化する市民ニーズに対応できる環境づくりに努めます。 | 7. 市民のための市役所 ① 行政サービスの充実 |
| 総務部長 (近田雄一) | ② | 障がい者雇用率の引き上げ、職員一人ひとりが仕事への意欲・能力を向上させ、行政課題を解決する人材確保と育成に努めます。 | 7. 市民のための市役所 ② 確かな行政サービスの提供 |
| 総務部長 (近田雄一) | ③ | 情報公開を進めるとともに改正個人情報保護法の施行に備え、個人情報保護施行条例を整備します。また、情報提供範囲の拡大を検討します。 | 7. 市民のための市役所 ④ 市民との情報共有 |
| 総務部長 (近田雄一) | ④ | 適正な予算編成・執行管理を行い、健全な財政運営に努めます。 | 7. 市民のための市役所 ⑤ 健全な財政運営 |
| 税務担当理事 (松下敏幸) | ⑤ | 引き続き安定的な財政運営のための自主財源確保に努めます。 | 7. 市民のための市役所 ⑤ 健全な財政運営 |

| 環境生活部 | | 関係施策 |
|------------------------|---|---------------------------------|
| 環境生活部長 (田畑吉隆) | ① 松阪市の人権施策の指針である「松阪市人権施策基本方針」の改定を行うとともに、多様性社会づくりのため男女共同参画、多文化共生など人権に関する啓発に取り組み市民意識の高揚を図ります。 | 4. 人も地域も頑張る力 ⑥ 人権尊重・多様性社会の推進 |
| 環境生活部長 (田畑吉隆) | ② 交通事故死傷者数の減少傾向を維持するとともに、交通事故死者数全国ワースト順位では前年の68位以上を目指し、関係機関が連携し様々な交通安全対策に取り組めます。 | 5. 安全・安心な生活 ① 交通安全対策の充実 |
| 環境生活部長 (田畑吉隆) | ③ 犯罪のない安全・安心なまちをめざし、刑法犯認知件数の減少傾向を維持します。 | 5. 安全・安心な生活 ② 防犯対策と消費者保護の充実 |
| 環境生活部長 (田畑吉隆) | ④ 2050年カーボンニュートラル実現に向け、まずは2030年温室効果ガス46%削減を目指した基本方針を示すとともに、地域脱炭素ロードマップに示された重点施策である、公共施設の自家消費型の屋根置き太陽光発電設備設置に向けた取組を行い、再生可能エネルギーの導入の推進を図ります。 | 6. 快適な生活 ① 自然と生活の環境保全 |
| 環境生活部長 (田畑吉隆) | ⑤ ・マイナンバーカードセンターでのカード交付枚数を令和3年度と比較して3倍を目指します。 ・マイナンバーカードの申請率向上に向けた出張申請受付を積極的に行い普及促進を図ります。 | 7. 市民のための市役所 ① 行政サービスの充実 |
| 清掃行政担当 理事 (谷口昌由) | ⑥ 家庭から出るゴミを安全・迅速に、かつ衛生的に回収し各施設で適切な処理をいたします。また、市民ニーズを意識してごみ処理の効率化や新しいサービスを検討します。ごみ減量・3R等の啓発については、新型コロナウイルス感染症を意識した効率的な出前講座等に取り組んで参ります。新最終処分場については引き続き整備を進めてまいります。 | 6. 快適な生活 ② 資源循環型社会の推進 |
| 健康福祉部 | | 関係施策 |
| 健康福祉部長 (廣本知律) | ① 子育てに不安をかかえる保護者に対し、産後ケア事業や相談体制を充実するとともに、福祉部門と情報共有のうえ、他職種で連携し支援を行い、松阪版ネウボラを推進します。 | 1. 輝く子どもたち ① 子ども・子育て支援の推進 |
| 健康福祉部長 (廣本知律) | ② ・新型コロナワクチン接種体制を構築し、希望する方に円滑に接種ができるよう取り組みます。 ・特定健診受診率の向上を図り、疾病予防・医療費抑制に取り組めます。 ・がん検診の受診勧奨を行い、受診促進に取り組めます。 | 2. いつまでもいきいきと ①健康づくりの推進 |
| 健康福祉部長 (廣本知律) | ③ 一次、二次救急医療体制が安定して継続実施できるよう、関係機関と緊密に連携していきます。 | 2. いつまでもいきいきと ②地域医療の推進 |

| | | | |
|------------------|---|--|--|
| 健康福祉部長 (廣本知律) | ④ | <ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域で受け止める「福祉まるごと相談室」を配置し、包括的な相談支援体制の整備に努めます。 ・重層的支援体制整備庁内連携会議等により、庁内の横断的な連携体制を強化します。 | <p>2.いつまでもいきいきと</p> <p>③地域福祉・生活支援の充実</p> |
| 健康福祉部長 (廣本知律) | ⑤ | <ul style="list-style-type: none"> ・「第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画」策定のための策定委員会の立ち上げ、各種調査等に取り組みます。 ・重層的支援体制の取り組みとして、高齢者の健康課題を把握し、医療専門職と連携した介護予防と社会参加をさらにすすめ、元気高齢者づくりに取り組みます。 | <p>2.いつまでもいきいきと</p> <p>④高齢者福祉の推進</p> |
| 福祉担当理事 (榊原典子) | ⑥ | <p>こども及び一人親家庭等医療費助成を実施し、子どもの保健の向上に努めます。</p> | <p>1.輝く子どもたち ①子ども・子育て支援の推進</p> |
| 福祉担当理事 (榊原典子) | ⑦ | <ul style="list-style-type: none"> ・重層的支援体制を骨子とした第4期松阪市地域福祉（活動）計画を策定します。 ・生活困窮者の自立の促進を図るため、関係機関と連携し相談者に寄り添った支援を行います。 | <p>2.いつまでもいきいきと</p> <p>③地域福祉・生活支援の充実</p> |
| 福祉担当理事 (榊原典子) | ⑧ | <p>障害福祉サービス等の提供体制及び各種給付等の円滑な実施を確保するため、相談支援事業所等との連携強化を図り、障がい児・者とその家族の意向に沿った支援が提供できるように取り組みます。</p> | <p>2.いつまでもいきいきと</p> <p>⑤障がい福祉の推進</p> |
| こども局長 (谷中靖彦) | ⑨ | <p>児童相談所・保幼小中学校・警察等の関係機関と連携をより密にして児童虐待の早期発見・早期解消に努めます。重層的支援体制として、ヤングケアラーの支援、未就園児の保護者の相談等に取り組みます。子ども発達総合支援センターは地域の関係機関との連携を強化し、「途切れのない支援」を推進します。</p> | <p>1.輝く子どもたち ①子ども・子育て支援の推進</p> |
| こども局長 (谷中靖彦) | ⑩ | <p>松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針をもとに引き続き園の再編統廃合の取組を進めるとともに、潜在保育士登録促進事業で潜在保育士の掘り起こしを行い、保育現場への復職就職に向けての取組を行うなど待機児童の解消を目指します。</p> | <p>1.輝く子どもたち ②未就学児への支援</p> |
| 産業文化部 | | | 関係施策 |
| 産業文化部長 (川村浩稔) | ① | <p>市内中小企業・小規模事業者に対する経営基盤の強化支援を充実させるとともに、アフターコロナを見据えた新規創業・担い手発掘・女性企業家支援のための環境整備や人的ネットワークの構築を進め、地域経済回復の基盤づくりに努めます。</p> | <p>3.活力ある産業 ④商工業の振興</p> |

| | | | |
|------------------------|---|--|----------------------------|
| 産業文化部長 (川村浩稔) | ② | 新たな産業用地の確保を進めるとともに、市内事業者のカーボンニュートラルに向けた取組を支援します。 | 3. 活力ある産業 ⑤企業誘致・連携の推進 |
| 産業文化部長 (川村浩稔) | ③ | 新型コロナウイルス感染症拡大収束後を見据えた「アフターコロナ観光促進事業」等により観光入込客数の増加を目指しコロナ禍で落ち込んだ観光需要の回復に努めます。 | 3. 活力ある産業 ⑥観光・交流の振興 |
| 産業文化部長 (川村浩稔) | ④ | 障がい者雇用促進のためハローワークや関係機関との連携をさらに強化し、ニーズに合った情報提供や相談、環境整備などに取り組むなど効果的な周知啓発事業を展開し法定雇用率達成を目指します。 | 3. 活力ある産業 ⑧雇用・勤労者福祉の充実 |
| 産業文化部長 (川村浩稔) | ⑤ | リニューアルした松浦武四郎記念館をはじめ、博物館や文化ホールにおいて安全安心に文化芸術や文化財、ならびに郷土の偉人の功績に触れる機会を提供し、シビックプライドの醸成に努めます。 | 4. 人も地域も頑張る力 ④文化の振興 |
| 産業文化部長 (川村浩稔) | ⑥ | 消費生活センターでの相談窓口が消費者被害防止につながることを周知啓発するとともに、ニーズにあった相談対応に努めることで悪質商法による消費者被害を未然に防ぎます。 | 5. 安全・安心な生活 ②防犯対策と消費者保護の充実 |
| 産業文化部長 (川村浩稔) | ⑦ | 地域住民との対話を重視し飯高管内の公共交通の再編を円滑に進めることで、超高齢社会における交通弱者のニーズに対応したコミュニティ交通のあり方を見据えた「松阪市地域公共交通計画」の策定に取り組みます。 | 6. 快適な生活 ③地域公共交通の充実 |
| 農林水産担当 理事 (砂子祐一) | ⑧ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 担い手の育成や確保に向けた取り組みとして、農業大学のPRや人農地プランの推進による担い手への農地集積の拡大のほか、補助事業など各種支援を図ります。 ・ 獣害に強いとされる薬用作物の栽培実証などを進め、持続可能な農業の実現を目指します。 ・ 鳥獣による農作物被害額は年々減少傾向ではありますが未だ被害は続いているため、猟友会の協力のもと有害鳥獣の捕獲を実施するとともに、防護柵設置の支援など獣害対策に取り組みます。 | 3. 活力ある産業 ①農業の振興 |
| 農林水産担当 理事 (砂子祐一) | ⑨ | <ul style="list-style-type: none"> ・ 木質バイオマス活用量において、林地残材の有効活用をさらに推進するため、「森林活プロジェクト」の周知等を図ります。 ・ 木造住宅建築促進事業において、地域材の構造材に占める割合を90%から80%に緩和するとともに、交付対象枠を建築主のほか市外の工務店と建築士を含め、県内外に広くPRを行い、地域材の需要拡大を図ります。(目標100棟) ・ 新たに間伐などの森林整備から生まれたCO2吸収量を、国が認証するJ-クレジット制度で活用し、カーボンニュートラルの実現に取り組みます。 | 3. 活力ある産業 ②林業の振興 |

| | | | |
|------------------------|---|---|--------------------------|
| 農林水産担当 理事 (砂子祐一) | ⑩ | ガザミ（ワタリガニ）の放流量を増やすとともに、アサリなどの保護増殖を図り、継続的な支援による水産資源の回復に努めます。また、航路等の浚渫による漁港施設の整備を進めます。 | 3. 活力ある産業 ③水産業の振興 |
| 農林水産担当 理事 (砂子祐一) | ⑪ | ふるさと納税返礼品の拡充と効果的なweb広告を展開し、目標寄附金額20億円を目指して取り組みます。また、松阪牛ブランドの名声を高めるため、「松阪牛まつり」の開催やSNSを活用したPRを図ります。 | 3. 活力ある産業 ⑦松阪牛・地域ブランドの振興 |
| 競輪事業担当 理事 (松本健) | ⑫ | 収益の増加・安定的な経営に努め、一般財源への繰り入れを強化するため、引き続きモーニングからミッドナイトまで競輪開催をするとともに、全国のネットユーザーに向けSNSを活用したタイムリーな情報発信を充実させ、視聴者プレゼント等注目度の高い企画を実施します。 | 7. 市民のための市役所 ⑤健全な財政運営 |
| 建設部 | | | 関係施策 |
| 建設部長 (伊藤篤) | ① | 地域内の通学路と生活道路について、国庫補助制度をうまく活用し一体的な整備に取り組みます。 | 5. 安全・安心な生活 ①交通安全対策の充実 |
| 建設部長 (伊藤篤) | ② | 市管理河川等については、引き続き、計画的な河川改修や排水路整備を進めながら、国・県管理河川については、国土強靱化の推進を図るため、流域治水を基本とした河川改修要望や特定都市河川の指定について、国・県と連携を図ります。 | 5. 安全・安心な生活 ⑤浸水対策の充実 |
| 建設部長 (伊藤篤) | ③ | 都市空間の整備は、松阪駅西複合施設建設に向けた事業者ヒアリングから1次事業者募集へと進め、松阪駅西地区構想の推進します。公園緑地の整備については、中部台運動公園、松ヶ崎公園など他部局管理の都市公園についても、土木課管理の都市公園として、芝生やグラウンドなど屋外施設の一括管理する方法を関係課と調整し、市民満足度の向上に努めます。 住環境の整備は、危険な特定空家化の減少、中心市街地の空家の利活用の充実、近鉄伊勢中川駅近郊における一般住宅建築可能な区域の創出により、市民満足度の向上に努めます。 | 6. 快適な生活 ④都市空間・住環境の整備 |
| 建設部長 (伊藤篤) | ④ | 橋りょう点検は、引き続き直営点検により効率化を図るとともに、道路改良事業の用地交渉が難航している事業地区については、粘り強く交渉を行い土地所有者の理解を求め、計画どおりの事業完了に努めます。 | 6. 快適な生活 ⑤道路等の整備 |
| 建設部長 (伊藤篤) | ⑤ | 引き続き、事業執行に当たっては、スケジュール調整や施工状況の情報共有など所管課との連携を密にし、安全且つ適正な工事監理により工期内の完了に努めます。 | 7. 市民のための市役所 ①行政サービスの充実 |
| 消防団事務局 | | | 関係施策 |
| 消防団事務局 長 (松本芳昭) | ① | あらゆる災害に対応できる松阪市消防団をつくります。 | 5. 安全・安心な生活 ④消防力の充実 |

| 会計管理課 | | 関係施策 |
|--|---|---------------------------|
| 会計管理者 (高木達彦) | ① ・会計事務の効率化に向けて取り組みます。 ・会計事務に関する各所属職員の意識の醸成を図ります。 ・公金の有利な預け入れに取り組みます。 | — |
| 市民病院事務部 | | 関係施策 |
| 市民病院事務 部長 (石川圭一) | ① ・令和4年度から令和5年度にかけ、県において第8次医療計画の策定と地域医療構想の見直しが進められることを踏まえ、令和6年度に向け、これらとの整合性を持った当院の公立病院経営強化プランの策定を進めます。 ・コロナ感染の状況にもよりますが、前年度より入院・外来の患者数を増やし、医業損益の赤字を軽減していきます。 ・新型コロナウイルス感染症の終息が見えていないこともあり、引き続き感染症指定医療機関として地域での感染症医療の中心的な役割を果たしていきます。 | 2. いつまでもいきいきと ②地域医療の推進 |
| 上下水道部 | | 関係施策 |
| 上下水道事業 管理者 (長谷川浩司) | ① 令和3年度に引き続き、床上浸水ゼロ（愛宕川流域）に向けて整備工事を進めます。 | 5. 安全・安心な生活 ⑤浸水対策の充実 |
| 上下水道事業 管理者 (長谷川浩司) | ② 令和3年度に引き続き、農業集落排水事業、公共浄化槽等整備推進事業について、令和5年度の企業会計化に向けて作業を進めていきます。 | 6. 快適な生活 ①自然と生活の環境保全 |
| 上下水道事業 管理者 (長谷川浩司) | ③ 令和4年度も引き続き経営基盤強化に向け、水道料金、下水道使用料の高水準の料金収納率の維持に努めるとともに普及率、水洗化率の向上による収入増を図ります。 水道事業建設改良工事では、安心・安全な水の供給のため水道管路の耐震化、老朽管、老朽施設の更新します。 下水道整備においては、下水道未普及地域を解消するための整備のほか大型団地の公共下水道への接続に向け、効率的な整備を進めていきます。 | 6. 快適な生活 ⑥上下水道の整備 |
| 教育委員会事務局 | | 関係施策 |
| 教育長 (中田雅喜) 教育委員会事務局 長 (刀根和宣) | ① 放課後児童クラブの支援員の確保と保護者負担の軽減という課題解決に向けて、社会福祉法人等への委託を更に進めます。また、保育の中身についても、学校と協働して、子ども達が興味・関心を持てる取り組みを行います。 | 1. 輝く子どもたち ①子ども・子育て支援の推進 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| <p>教育長 (中田雅喜) 教育委員会事務局 長 (刀根和宜)</p> | ② | <p>・「松阪市教育改革推進会議」を設置し、多様化・複雑化する教育課題や懸案事項の解決を図ります。</p> <p>・子どもたちの学びを支援する体制を充実し、子どもたちが生涯を通して生活を送ることができるよう、心身の健康問題に適切に対処できる自己管理能力と「自分の命は自分で守る」ための危機予測・危機回避能力を育成する健康教育・安全教育を推進します。</p> <p>・子どもたちの夢を実現するために、家庭や地域、学校が協働し、一人ひとりの個性を大切にし、意欲的に未来を切り拓く力を育みます。</p> <p>・ICT環境や先端技術を最大限活用することにより、個別最適な学びや協働的な学びを支援するとともに、変化の激しい社会で自分らしい生き方を実現するために必要な情報活用能力など、学習の基盤となる資質や能力を育みます！</p> <p>・安全・安心で魅力ある学校給食の充実を図ります。</p> | <p>1. 輝く子どもたち ③学校 教育の充実</p> |
| <p>教育長 (中田雅喜) 教育委員会事務局 長 (刀根和宜)</p> | ③ | <p>社会情勢の変化に応じた生涯学習や青少年健全育成を推進し、夢やいきがいのある自己肯定感溢れる豊かな人生を育みます。</p> | <p>4. 人も地域も頑張る力 ③ 社会教育の推進</p> |
| <p>教育長 (中田雅喜) 教育委員会事務局 長 (刀根和宜)</p> | ④ | <p>必要な感染症対策を行いながらスポーツ大会やイベントの開催等に取り組みます。特に、みえ松阪マラソンについては、第1回記念大会として、市民やランナーはもとより、ご支援いただいた協賛企業、大会運営にご協力いただく関係団体等の期待に応えるべく、安全安心で楽しい大会の実現を目指します。</p> | <p>4. 人も地域も頑張る力 ⑤ スポーツと運動したまちづくりの推進</p> |
| 議会事務局 | | 関係施策 | |
| <p>議会事務局長 (中西雅之)</p> | ① | <p>タブレット端末を活用した効果的かつ効率的な議会運営に引き続き取り組むとともに、議会活動の「見える化」や市民参加を図るため、情報の積極的な発信に努めます。</p> | — |
| 農業委員会事務局 | | 関係施策 | |
| <p>農業委員会事務局 長 (北村充)</p> | ① | <p>タブレット端末を各農地利用最適化推進委員に活用してもらい、農地利用の最適化を効率的に推進していきます。</p> | <p>3. 活力ある産業 ①農業の 振興</p> |
| 監査委員事務局 | | 関係施策 | |
| <p>監査委員事務局 長 (刀根薫)</p> | ① | <p>監査の補佐能力向上に必要な知識習得のため、オンライン講習等を含めた研修会等に積極的に参加するとともに、事務局内において研修内容の共有化を図ります。</p> | — |
| 選挙管理委員会事務局 | | 関係施策 | |
| <p>選挙管理委員会事務局 長 (山本誠)</p> | ① | <p>令和4年7月25日任期満了の参議院議員通常選挙について、感染症対策を徹底し適正かつ効率的に執行します。</p> <p>また、令和5年4月29日任期満了の三重県議会議員選挙について適正かつ効率的に執行できるよう準備をします。</p> <p>将来の有権者に向けた啓発に取り組みます。</p> | — |

1. 輝く子どもたち ①子ども・子育て支援の推進

| | | |
|------------------|--|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 健康福祉部長 (廣本知律) | 感染対策を講じながら、乳児家庭全戸訪問や、幼児健診、フッ化物洗口事業等を継続実施しました。コロナ禍で外出に不安のある母子に対し、オンライン母子健康相談やオンライン「プレママ教室」を実施しました。 ▲ <令和3年度 実行宣言> 新型コロナウイルスワクチン接種体制の構築と円滑な接種を推進！ | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | 子育てに不安をかかえる保護者に対し、産後ケア事業や相談体制を充実するとともに、福祉部門と情報共有のうえ、他職種で連携し支援を行い、松阪版ネウボラを推進します。 | |

| | | |
|------------------|--|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 福祉担当理事 (榊原典子) | こども及び一人親家庭等医療費の助成を円滑に実施することができました。 ▲ <令和3年度 実行宣言> — | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | こども及び一人親家庭等医療費助成を実施し、子どもの保健の向上に努めます。 | |

| | | |
|-----------------|---|------|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆☆ |
| こども局長 (谷中靖彦) | 児童虐待への対応では、児童虐待相談件数は前年度に比べ40件増加しましたが、死亡等の重篤な案件は発生しませんでした。 令和3年4月から、子ども発達総合支援センターは地域の中核的な療育支援施設（児童発達支援センター）としてスタートし、地域支援として新たに、専門職員が保育園等を訪問し、集団生活適応のための支援を行う保育所等訪問支援事業及びサービス利用のための計画作成やモニタリング等継続的に児童、保護者に関わる障害児相談支援事業を開始しました。 ▲ <令和3年度 実行宣言> ・松阪市こども家庭総合支援センターの機能強化及び関係機関との連携強化を図り、児童虐待や相談案件に対し、早期対応・早期解消に努めます！ ・地域の中核的な療育支援施設「児童発達支援センター」として、利用者の満足度向上に取り組みます！ | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | 児童相談所・保幼小中学校・警察等の関係機関と連携をより密にして児童虐待の早期発見・早期解消に努めます。 重層的支援体制として、ヤングケアラーの支援、未就園児の保護者の相談等に取り組みます。 子ども発達総合支援センターは地域の関係機関との連携を強化し、「途切れのない支援」を推進します。 | |


| | | |
|--------------------------------------|--|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 教育長 (中田雅喜) 教育委員会事務局長 (刀根和宜) | 子どもに健やかに育ってほしい、安心して動きたいという保護者の願いが詰まった放課後児童クラブの運営について、しっかり支えることができました。一方で、支援員不足への対応や、保護者負担の軽減を目的とした社会福祉法人への運営委託の推進については、根本的な解決方法を見いだせていません。 ▲ <令和3年度 実行宣言> 地域とともに歩む生涯学習づくりと自己肯定感あふれる青少年健全育成を推進します。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | 放課後児童クラブの支援員の確保と保護者負担の軽減という課題解決に向けて、社会福祉法人等への委託を更に進めます。また、保育の中身についても、学校と協働して、子ども達が興味・関心を持てる取組みを行います。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|---------------------------------|-------|-------------------------------|--------|--------|-------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 健康福祉 部長 | 項目 | 乳児家庭全戸訪問実施率 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 100 % | 100 % | 100 % | 100 % | |
| | 実績 | 98.7 % | 91.3 % | 91.0 % | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| | 今後の方針 | 赤ちゃん訪問を全家庭に行い、途切れのない支援を推進します。 | | | | | |

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

| | | | | | | | |
|--|----------------------------------|------------------|--------|--------|--------|-----------|---|
| 数値目標 ② 【評価】 こども局長 | 項目 | 児童虐待による死亡等重篤件数 | | | | 目標種別 | → |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | |
| | 実績 | 0件 | 0件 | 0件 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 今後も引き続き、死亡等重篤な案件を発生させないよう取り組みます。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 健康福祉 部長 | 項目 | 12歳児のむし歯がない人の割合 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 平成30年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 80.0 % | 80.0 % | 80.0 % | 80.0 % | |
| | 実績 | 60.0 % | 62.5 % | — % | — | — | |
| | 評価 | — | E | — | — | — | |
| 今後の方針 | フッ化物洗口事業を推進し、むし歯の予防に努めます。 | | | | | | |
| 数値目標④ 【評価】 教育長 教育委員会事務局長 | 項目 | 運営を委託する放課後児童クラブ数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 14 クラブ | 16 クラブ | 18 クラブ | 20 クラブ | |
| | 実績 | 13 クラブ | 13 クラブ | 14 クラブ | — | — | |
| | 評価 | — | E | D | — | — | |
| 今後の方針 | 保護者負担の軽減に向けて、より一層の取り組みを行います。 | | | | | | |
| 関係所属 | | | | | | | |
| 健康づくり課・地域福祉課・こども支援課・こども未来課・子ども発達総合支援センター・生涯学習課 | | | | | | | |


1. 輝く子どもたち ②未就学児への支援

| | | |
|-----------------|--|------|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆☆ |
| こども局長 (谷中靖彦) | 策定後5年が経過した松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針を改訂するとともに、園の再編統廃合等の対応を行いました。 働く保護者等を支援するため、公立保育園での土曜日保育の実施園拡大に取り組みました。  | |
| | <令和3年度 実行宣言> 今後の幼稚園・保育園等のあり方の見直しを行います！ | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | 松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針をもとに引き続き園の再編統廃合の取組を進めるとともに、潜在保育士登録促進事業で潜在保育士の掘り起こしを行い、保育現場への復職就職に向けての取組を行うなど待機児童の解消を目指します。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|----------------------------|---|--------------------------|-------|-------|-------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 こども局長 | 項目 | 保育園の待機児童数（10/1国基準） | | | | 目標種別 | ↘ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 50 人 | 50 人 | 50 人 | 50 人 | |
| | 実績 | 117 人 | 37 人 | 42 人 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 令和3年度も目標人数の50人以内となりました。今後も待機児童の状況を注視しながら、待機児童対策に取り組んでいきます。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 こども局長 | 項目 | 幼稚園の「預かり保育」実施園数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 4 園 | 10 園 | 10 園 | 10 園 | |
| | 実績 | 4 園 | 4 園 | 10 園 | — | — | |
| | 評価 | — | A | S | — | — | |
| 今後の方針 | 実施園を拡大しましたが、園児数の増加には至りませんでした。今後は、預かり保育実施による影響を検証・分析し、「松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針」をもとに今後の展開について検討していきます。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 こども局長 | 項目 | 0歳児から2歳児を対象とした地域型保育事業施設数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 0 施設 | 1 施設 | 2 施設 | 3 施設 | |
| | 実績 | 0 施設 | 0 施設 | 1 施設 | — | — | |
| | 評価 | — | A | S | — | — | |
| 今後の方針 | 0歳児から2歳児の受け皿である地域型保育事業施設を整備したことで待機児童の解消が図れました。今後は、公私立保育園の受入数、待機児童の状況等を見極めながら事業を進めていきます。 | | | | | | |

| 関係所属 | |
|--------|--|
| こども未来課 | |

1. 輝く子どもたち ③学校教育の充実



| | | |
|--------------------------------------|--|------|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆☆ |
| 教育長 (中田雅喜) 教育委員会事務局長 (刀根和宜) | <ul style="list-style-type: none"> ・松阪市における教育の総合的な基本計画である「松阪市教育ビジョン(第3期)」を策定しました。 ・学校における新型コロナウイルス感染症の拡大予防対策として、陽性者があった学校に対しては、消毒や学級閉鎖等の指示を適切に行うとともに、学級閉鎖を実施した児童生徒等に対して市の拡大防止検査を実施することで、児童生徒及び保護者の安心につながりました。 ・長期化するコロナ禍において、子どもたち一人ひとりの主体的な学びを支える取組を進め、全国学力・学習状況調査や学級満足度調査等において成果が見られました。 ・先の見通せないコロナ禍において、1人1台タブレットを整備し教職員の研修も含め子どもたちの学びを止めない取り組みを支援しました。教員や保護者の悩みを聞き取り、カウンセリングや訪問相談等の支援につなぐことで、教育相談の充実を図りました。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大により、各学校が実施した分散登校やリモート授業などの感染拡大防止措置を取りながら一人ひとりに寄り添い最大限に対応する中で、関係機関と調整を行い、安全、安心な学校給食の提供を弾力的に行いました。 | |
| |  <令和3年度 実行宣言> | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・豊かな学習環境の創造と快適な教育施設の充実をめざします! ・子どもの学びを支援する体制を充実し、子どもたちが生涯にわたり心身の健康を自ら管理できる力を育成する健康教育・保健教育を推進します! ・子どもたちが夢を実現するために、家庭や地域、学校が協働し、一人ひとりの個性を大切にし、意欲的に未来を切り拓く力を育みます! ・安全・安心で魅力ある学校給食の充実を図ります! | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・「松阪市教育改革推進会議」を設置し、多様化・複雑化する教育課題や懸案事項の解決を図ります。 ・子どもたちの学びを支援する体制を充実し、子どもたちが生涯を通して生活を送ることができるよう、心身の健康問題に適切に対処できる自己管理能力と「自分の命は自分で守る」ための危機予測・危機回避能力を育成する健康教育・安全教育を推進します。 ・子どもたちの夢を実現するために、家庭や地域、学校が協働し、一人ひとりの個性を大切にし、意欲的に未来を切り拓く力を育みます。 ・ICT環境や先端技術を最大限活用することにより、個別最適な学びや協働的な学びを支援するとともに、変化の激しい社会で自分らしい生き方を実現するために必要な情報活用能力など、学習の基盤となる資質や能力を育みます! ・安全・安心で魅力ある学校給食の充実を図ります。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|---------------------------------------|-------|---|--------|--------|--------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 教育長 教育委員会事務局長 | 項目 | 学級満足度尺度調査(Q-U)の満足度 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 65.0 % | 65.0 % | 65.0 % | 65.0 % | |
| | 実績 | 59.3 % | 62.9 % | 63.9 % | — | — | |
| | 評価 | — | C | B | — | — | |
| | 今後の方針 | 全小中学校を対象にソーシャルスキルトレーニングを導入し、居心地のよい学級づくりを推進します。 | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 教育長 教育委員会事務局長 | 項目 | 学校給食における地場産物の使用割合 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 30.0 % | 32.0 % | 34.0 % | 35.0 % | |
| | 実績 | 28.9 % | 26.9 % | 30.4 % | — | — | |
| | 評価 | — | E | D | — | — | |
| | 今後の方針 | 新たな地元食材調達先の確保や開発、食材調達方法を見直しを継続し、市内・県内産の農産物を使用した新メニューの開発を行うなど、地場産物使用割合を高める取り組みを行います。 | | | | | |

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

| | | | | | | | |
|--|--|-----------------------|--------|--------|--------|-----------|---|
| 数値目標 ③ 【評価】 教育長 ・ 教育委員 会事務局 長 | 項目 | 小中学校における外国人児童生徒の就学率 | | | | 目標種別 | → |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | |
| | 実績 | 100.0% | 100.0% | 100.0% | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 外国人の子どもの教育を受ける権利を保障するため、就学調査を実施し、確実に不就学の子どもを見つけ出し、就学率100%の維持を目指します。 | | | | | | |
| 数値目標 ④ 【評価】 教育長 ・ 教育委員 会事務局 長 | 項目 | 松阪市標準学力検査における標準スコアの平均 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 50.0 P | 50.1 P | 50.3 P | 50.5 P | |
| | 実績 | 48.5 P | 51.0 P | 49.2 P | — | — | |
| | 評価 | — | S | D | — | — | |
| 今後の方針 | カリキュラム・マネジメントを確立する取組を推進し、1人1台端末を活用した個別最適な学びや協働的な学びの充実を図ります。 | | | | | | |
| 数値目標 ⑤ 【評価】 教育長 ・ 教育委員 会事務局 長 | 項目 | 家庭学習におけるICTの活用度 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 4.7 % | 40.0 % | 50.0 % | 60.0 % | |
| | 実績 | 4.6 % | 4.7 % | 65.5 % | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 教職員研修の充実や運用体制の改善を図ることで、児童生徒及び教職員の1人1台タブレットの日常的な利活用を促進し、感染症対策や不登校対策等への柔軟なICT活用を目指します。 | | | | | | |
| 関係所属 | | | | | | | |
| 教育総務課・学校教育課・学校支援課・子ども支援研究センター・給食管理課 | | | | | | | |

2. いつまでもいきいきと ①健康づくりの推進

| | | |
|------------------|--|------|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆ |
| 健康福祉部長 (廣本知律) | コロナ禍において受診行動に制限があり、特定健診受診率及び大腸がん検診受診率は、低い水準で推移しました。  <令和3年度 実行宣言> 特定健診受診率の対前年比増に向けて取り組み、疾病予防・医療費抑制に努めます！ | |
| | 新型コロナウイルス対応の評価 | ☆☆☆☆ |
| | 新型コロナワクチン接種体制を整備し、集団接種会場の運営と個別接種医療機関での接種をすすめ、87.7%の方に2回目接種をしていただきました。  <令和3年度 実行宣言> 新型コロナワクチンの接種体制構築と円滑な接種を推進！ | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | ・新型コロナワクチン接種体制を構築し、希望する方に円滑に接種ができるよう取り組みます。 ・特定健診受診率の向上を図り、疾病予防・医療費抑制に取り組みます。 ・がん検診の受診勧奨を行い、受診促進に取り組みます。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|---------------------------------|---|--------------------|--------|--------|--------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 健康福祉 部長 | 項目 | 特定健康診査受診率（40歳～74歳） | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 50.2 % | 53.5 % | 56.7 % | 60.0 % | |
| | 実績 | 39.1 % | 38.1 % | 40.0 % | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| 今後の方針 | 未受診者へ対し、八方キや電話で受診勧奨を行い、受診率向上に努めます。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 健康福祉 部長 | 項目 | 大腸がん検診受診率(40歳～69歳) | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 15.0 % | 15.0 % | 15.0 % | 15.0 % | |
| | 実績 | 8.9 % | 8.4 % | 8.3 % | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| 今後の方針 | がん検診受診券発行意向調査を実施し、受診勧奨を行い、がん検診の受診促進に取り組みます。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 健康福祉 部長 | 項目 | 健康だと思っている市民の割合 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 80.0 % | 80.0 % | 80.0 % | 80.0 % | |
| | 実績 | 78.4 % | — % | 79.4 % | — | — | |
| | 評価 | — | — | C | — | — | |
| 今後の方針 | 健康感を高めていけるよう、健康づくりを推進します。 | | | | | | |

| 関係所属 | |
|--------------|--|
| 保険年金課・健康づくり課 | |

2. いつまでもいきいきと ②地域医療の推進

| | | |
|------------------|---|------|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 健康福祉部長 (廣本知律) | 休日夜間応急診療所では、トリアージを実施し感染対策を行い、診療所を継続し運営しました。 | |
| | ▲ <令和3年度 実行宣言> — | |
| | 新型コロナウイルス対応の評価 | ☆☆☆☆ |
| | PCR検査センター及び感染拡大防止検査を実施し、感染拡大防止に努めました。 | |
| | ▲ <令和3年度 実行宣言> 新型コロナウイルスワクチンの接種体制構築と円滑な接種を推進！ | |
| 令和4年度 実行宣言 | | |
| | 一次、二次救急医療体制が安定して継続実施できるよう、関係機関と緊密に連携していきます。 | |

| | | |
|------------------------|--|------|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆ |
| 市民病院事務 部長 (石川圭一) | ・病院経営についてはコロナ関連の国庫補助金により純損益は黒字ではあるものの、コロナウイルス感染症の患者用ベッドを確保する必要性から、一般患者の入院を抑制せざるを得ず、医業損益に限れば大幅な赤字となりました。 ・松阪市民病院のあり方については、コロナ禍にあって地域医療に関する見直し議論もあり、国や県の動きも特に目立ったものはなく、議論を進めることができませんでした。 | |
| | ▲ <令和3年度 実行宣言> ・健全な病院経営に取り組み、黒字経営を目指します。 ・引き続き、松阪市民病院のあり方について検討していきます。 | |
| | 新型コロナウイルス対応の評価 | ☆☆☆☆ |
| | 当院は新型コロナウイルス感染症の特に中等症から重症の患者治療にあたるとともに、ワクチン集団接種、医師会との連携によるPCR検査の実施などに、病院の職員が一丸となって取り組み、地域における感染症医療の中心的役割を果たしました。 | |
| | ▲ <令和3年度 実行宣言> 新型コロナウイルス感染症のまん延防止と治療に取り組みます。 | |
| 令和4年度 実行宣言 | | |
| | ・令和4年度から令和5年度にかけ、県において第8次医療計画の策定と地域医療構想の見直しが進められることを踏まえ、令和6年度に向け、これらとの整合性を持った当院の公立病院経営強化プランの策定を進めます。 ・コロナ感染の状況にもよりますが、前年度より入院・外来の患者数を増やし、医業損益の赤字を軽減していきます。 ・新型コロナウイルス感染症の終息が見えていないこともあり、引き続き感染症指定医療機関として地域での感染症医療の中心的な役割を果たしていきます。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|-------------------------|-------|------------------------------------|--------|--------|--------|-----------|---|
| 数値目標 | 項目 | 「かかりつけ医がいる」と答えた人の割合 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| ① 【評価】 健康福祉 部長 | 目標 | — | 80.0 % | 80.0 % | 80.0 % | 80.0 % | |
| | 実績 | 74.1 % | — % | 71.8 % | — | — | |
| | 評価 | — | — | E | — | — | |
| | 今後の方針 | 身近にかかりつけ医を持ち相談ができるよう、普及啓発に努めます。 | | | | | |
| | | | | | | | |
| 数値目標 | 項目 | 医療施設、救急医療が整っていると感じる人の割合 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| ② 【評価】 健康福祉 部長 | 目標 | — | 30.0 % | 30.0 % | 30.0 % | 30.0 % | |
| | 実績 | 24.6 % | — % | 20.6 % | — | — | |
| | 評価 | — | — | E | — | — | |
| | 今後の方針 | 一次、二次救急医療体制が安定して継続実施できるよう連携していきます。 | | | | | |
| | | | | | | | |

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

| 数値目標 ③ | 指標名 | 患者アンケートで「満足」と答えた患者の割合 | | | | 目標種別 | ↑ |
|----------------------|-------|-----------------------------------|--------|--------|--------|-----------|---|
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| 【評価】 市民病院 事務部長 | 目標 | — | 96.3 % | 96.5 % | 96.8 % | 97.0 % | |
| | 実績 | 96.1 % | 90.9 % | 96.4 % | — | — | |
| | 評価 | — | E | B | — | — | |
| | 今後の方針 | 引き続き、院内で患者様に寄り添った説明・接遇などに努めていきます。 | | | | | |
| 関係所属 | | | | | | | |
| 健康づくり課・市民病院事務部 | | | | | | | |

2.いつまでもいきいきと ③地域福祉・生活支援の充実


| | | |
|------------------|--|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 健康福祉部長 (廣本知律) | 重層的支援体制整備事業の多機関協働事業である7部局23課で構成する庁内連携会議の設置及び相談支援包括化推進員を市役所内に配置し、関係機関との連携強化に努めました。 | |
| | ▲ <令和3年度 実行宣言> 複合する福祉課題に対応する包括的な相談体制の整備に取り組みます！ | |
| | 令和4年度 実行宣言 ・身近な地域で受け止める「福祉まるごと相談室」を配置し、包括的な相談支援体制の整備に努めます。 ・重層的支援体制整備庁内連携会議等により、庁内の横断的な連携体制を強化します。 | |

| | | |
|------------------|--|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 福祉担当理事 (神原典子) | ・第4期松阪市地域福祉（活動）計画（計画年度R5～R9）策定に向け、松阪市地域福祉計画策定委員会を設立し協議を行いました。 ・新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮された方の相談が依然多量中、相談業務を行いきめ細やかな支援に努めましたが、相談者が生活困窮から抜け出すための就労や収入増加につなげることはできませんでした。 | |
| | ▲ <令和3年度 実行宣言> ・複合する福祉課題に対応する包括的な相談体制の整備に取り組みます！ ・第4期松阪市地域福祉（活動）計画の令和4年度中の策定に向けて、現計画の検証と次期計画の方針を決定します！ ・面接率を向上させ、生活保護の適正実施に取り組みます！ | |
| | 令和4年度 実行宣言 ・重層的支援体制を骨子とした第4期松阪市地域福祉（活動）計画を策定します。 ・生活困窮者の自立の促進を図るため、関係機関と連携し相談者に寄り添った支援を行います。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|---------------------------------|--|-------------------------------|---------|---------|---------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 福祉担当 理事 | 項目 | 生活困窮者自立支援相談受付件数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 270 件/月 | 270 件/月 | 270 件/月 | 270 件/月 | |
| | 実績 | 266 件/月 | 611 件/月 | 559 件/月 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | コロナ禍による経済的影響が今後も続くため、就労自立相談等、就労者に寄り添った支援を継続していきます。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 福祉担当 理事 | 指標名 | 自立支援プログラムによる就労支援での自立件数 | | | | 目標種別 | → |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 30件 | 30件 | 30件 | 30件 | |
| | 実績 | 30件 | 15件 | 17件 | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| 今後の方針 | 生活保護受給者の自立を促すために支援を継続します。ただ、高齢者や精神疾患を患った方の増加を踏まえ、実効性が高くなるよう対象者の選定を見直します。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 健康福祉 部長 | 指標名 | 災害ボランティアセンターサポートスタッフの養成者数（累計） | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 134 人 | 142 人 | 149 人 | 156 人 | |
| | 実績 | 126 人 | 137 人 | 143 人 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 災害時におけるボランティア活動が円滑に行われるようボランティアセンターサポートスタッフの育成を推進します。 | | | | | | |

| 関係所属 | |
|-------------------|--|
| 健康福祉総務課・地域福祉課・保護課 | |

2. いつまでもいきいきと ④高齢者福祉の推進

| | | |
|------------------|---|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 健康福祉部長 (廣本知律) | <ul style="list-style-type: none"> ・第8期介護保険事業計画に基づき、市内初の定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の開設に向け、公募・選定と開設準備の支援を行いました。 ・「もめんノート」の有効活用については、コロナ禍により書き方講座等が縮小となったため、「もめんノート」書き方の動画配信、医療介護関係者の研修会での周知、図書館事業とのコラボ企画などで、活用の周知に努めました。 | |
| |  <令和3年度 実行宣言> | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診率の対前年比増に向けて取り組み、疾病予防・医療費抑制に努めます！ ・第8期介護保険事業計画に基づき、施設整備や介護サービスの質の確保及び保険給付の適正化を推進し、介護を受けながら安心してできる暮らしを支えます！ ・「もめんノート」の有効活用及び「認知症の個人賠償保険制度」の加入促進をめざし、医療・介護の関係者と連携して市民が安心できる取り組みを進めます！ | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・「第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画」策定のための策定委員会の立ち上げ、各種調査等に取り組みます。 ・重層的支援体制の取り組みとして、高齢者の健康課題を把握し、医療専門職と連携した介護予防と社会参加をさらにすすめ、元気高齢者づくりに取り組みます。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|---------------------------------|-------|--|-------|---------|---------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 健康福祉 部長 | 指標名 | 松阪市版エンディングノート活用方法を学んだ市民の人数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 750 人 | 3,000 人 | 5,500 人 | 8,000 人 | |
| | 実績 | — | 880 人 | 1,184 人 | — | — | |
| | 評価 | — | S | D | — | — | |
| | 今後の方針 | 「もめんノート」は書き方講座による有効活用を継続するとともに、身寄りのない高齢者や家族と疎遠な状況の市民の終末期を支援する「エンディングサポート事業」と連携し、さらに活用をすすめます。 | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 健康福祉 部長 | 指標名 | 認知症高齢者等個人賠償責任保険の加入者数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 200 人 | 250 人 | 350 人 | 400 人 | |
| | 実績 | — | 165 人 | 216 人 | — | — | |
| | 評価 | — | B | B | — | — | |
| | 今後の方針 | 超高齢社会において認知症の人が増加している中、認知症になっても地域で安心して生活できるよう、「認知症個人賠償責任保険」と「おかえりSOSネットワーク」の加入促進を継続します。 | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 健康福祉 部長 | 指標名 | 介護予防活動のリーダー（介護予防いきいきサポーター）の数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 750 人 | 800 人 | 850 人 | 900 人 | |
| | 実績 | 724 人 | 719 人 | 751 人 | — | — | |
| | 評価 | — | E | D | — | — | |
| | 今後の方針 | 介護予防活動のリーダーを養成し地域の集いの場の充実を図り、高齢者の社会参加と介護予防をさらにすすめる、元気高齢者づくりを目指します。 | | | | | |
| 関係所属 | | | | | | | |
| 保険年金課・介護保険課・高齢者支援課 | | | | | | | |


2. いつまでもいきいきと ⑤障がい福祉の推進


| | | |
|------------------|---|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 福祉担当理事 (榊原典子) | コロナ禍においても障害福祉サービス等の提供体制及び各種給付等の円滑な実施を確保するため、障害福祉サービス提供事業所と連携を図り、利用者とその家族の意向に沿った適切な障害福祉サービスの提供に取り組みました。 | |
| | ▲ <令和3年度 実行宣言> 様々な主体がネットワークを形成しながら、十分な感染症防止対策を前提に障害福祉サービスが継続的に提供されるよう取り組みます！ | |
| | 令和4年度 実行宣言 障害福祉サービス等の提供体制及び各種給付等の円滑な実施を確保するため、相談支援事業所等との連携強化を図り、障がい児・者とその家族の意向に沿った支援が提供できるように取り組みます。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|-----------------------------|--|-------------------|--------|--------|--------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 福祉担当理事 | 項目 | グループホームの利用者数（実人数） | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 137 人 | 143 人 | 143 人 | 143 人 | |
| | 実績 | 131 人 | 150 人 | 169 人 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 国の社会福祉施設等施設整備事業費補助金及び三重県障害者グループホーム緊急整備事業補助金を活用するとともに、施設の指定に向けた適切な情報提供等によりグループホームの設置を推進します。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 福祉担当理事 | 項目 | 手話奉仕員養成講座受講者数（累計） | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 59 人 | 95 人 | 131 人 | 167 人 | |
| | 実績 | 52 人 | 57 人 | 91 人 | — | — | |
| | 評価 | — | B | A | — | — | |
| 今後の方針 | 受講生が手話での会話を楽しめるよう講座内容を工夫し受講継続を促すとともに、講師の確保に努めます。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 福祉担当理事 | 項目 | 指定相談支援事業所数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 35 事業所 | 35 事業所 | 35 事業所 | 35 事業所 | |
| | 実績 | 33 事業所 | 36 事業所 | 37 事業所 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 相談支援体制の充実・強化を図るため、相談支援専門員の新任及び現任研修での市が担う実務演習の充実に努め、相談支援専門員と障がい福祉課職員の顔の見える関係づくりを進めます。 | | | | | | |
| 数値目標 ④ 【評価】 福祉担当理事 | 指標名 | 福祉避難所指定事業所数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 0 事業所 | 5 事業所 | 5 事業所 | 5 事業所 | |
| | 実績 | 0 事業所 | 0 事業所 | 24 事業所 | — | — | |
| | 評価 | — | A | S | — | — | |
| 今後の方針 | 福祉避難所開設意向調査の結果を活用し、障害福祉サービス提供事業所の理解を得ながら、福祉避難所の協定締結に向けて個別訪問を中心に働きかけを行います。 | | | | | | |

| | | | | | | |
|--------------|--|--|--|--|--|--|
| 関係所属 | | | | | | |
| 障がい福祉課・地域福祉課 | | | | | | |

3. 活力ある産業 ①農業の振興


| | | |
|------------------------|---|------|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆☆ |
| 農林水産担当 理事 (砂子祐一) | <p>担い手となる中心経営体は、令和3年度において、新規2件、廃止8件となり、結果6件の減少となりました。これは、農家の高齢化などによる離農が主な要因で、集積面積は増加したものの目標は達成できませんでした。</p> <p>獣害対策として猟友会の協力により有害鳥獣の捕獲を実施するとともに、防護柵の設置について支援する等、農作物被害の軽減に向けた取り組みを行いました。</p> | |
| |  | |
| | <p><令和3年度 実行宣言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業者・漁業者への支援を全力で行います！ ・農業基盤整備により、農村の環境条件を整備します。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・担い手の育成や確保に向けた取り組みとして、農業大学のPRや人農地プランの推進による担い手への農地集積の拡大のほか、補助事業など各種支援を図ります。 ・獣害に強いとされる薬用作物の栽培実証などを進め、持続可能な農業の実現を目指します。 ・鳥獣による農作物被害額は年々減少傾向ではありますが未だ被害は続いているため、猟友会の協力のもと有害鳥獣の捕獲を実施するとともに、防護柵設置の支援など獣害対策に取り組みます。 | |

| | | |
|--------------------|---|------|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆☆ |
| 農業委員会事務局長 (北村充) | <p>農業委員・農地利用最適化推進委員と協働して、農地利用の最適化、担い手の育成、担い手への農地利用集積などに取り組みました。</p> | |
| |  | |
| | <p><令和3年度 実行宣言></p> <p>農地利用の最適化を推し進めていきます。</p> | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | タブレット端末を各農地利用最適化推進委員に活用してもらい、農地利用の最適化を効率的に推進していきます。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|----------------------------------|----------|----------|----------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 農林水産 担当理事 | 項目 | 市内耕地面積のうち、担い手となる中心経営体への集積率 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 51.0 % | 54.0 % | 57.0 % | 60.0 % | |
| | 実績 | 48.1 % | 50.8 % | 52.6 % | — | — | |
| | 評価 | — | A | B | — | — | |
| 今後の方針 | 担い手の経営規模拡大に向けた支援と人・農地プランの推進を図り集積率を高めます。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 農林水産 担当理事 | 項目 | 実質化された人・農地プラン地区数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 105 地区 | 110 地区 | 115 地区 | 120 地区 | |
| | 実績 | 100 地区 | 104 地区 | 112 地区 | — | — | |
| | 評価 | — | B | S | — | — | |
| 今後の方針 | 地域農業の未来図となる実質化された人・農地プランの作成を推進します。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 農林水産 担当理事 | 項目 | 野生鳥獣による農作物被害額の半数を占めるイノシシによる稲の被害額 | | | | 目標種別 | ↘ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 6,476 千円 | 6,310 千円 | 6,144 千円 | 5,978 千円 | |
| | 実績 | 6,643 千円 | 3,330 千円 | 2,497 千円 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 猟友会の協力のもと有害鳥獣の捕獲を行い、被害の軽減に努めます。 | | | | | | |


| 関係所属 | |
|----------------------|--|
| 農水振興課・農村整備課・農業委員会事務局 | |

3. 活力ある産業 ②林業の振興

| | | |
|---|--|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 農林水産担当 理事 (砂子祐一) | <p>未利用間伐材の木質バイオマス活用については、並材を中心に木材価格がウッドショックにより上昇したことから市場販売が増え、逆にチップ材の利用が減少し目標に達しませんでした。</p> <p>地域材の需要拡大を図るため、松阪の木を使用した新築木造住宅への支援として、地域材であるスギ・ヒノキの建築構造材に占める割合を高く設定しました（90%）。しかし、梁・桁などの強度の必要な部分に使用しにくく、結果、90%を達成できない建築物が多数あり、目標を下回りました。（目標40棟→16棟）</p> | |
| |  <p><令和3年度 実行宣言></p> | |
| | <p>森林整備の促進と森林資源の活用を図ります！</p> | |
| | <p>令和4年度 実行宣言</p> | |
| <p>・木質バイオマス活用において、林地残材の有効活用をさらに推進するため、「森林活プロジェクト」の周知等を図ります。</p> <p>・木造住宅建築促進事業において、地域材の構造材に占める割合を90%から80%に緩和するとともに、交付対象枠を建築主のほか市外の工務店と建築士を含め、県内外に広くPRを行い、地域材の需要拡大を図ります。（目標100棟）</p> <p>・新たに間伐などの森林整備から生まれたCO2吸収量を、国が認証するJ-クレジット制度で活用し、カーボンニュートラルの実現に取り組みます。</p> | | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|-----------------------------------|-----|---|-----------|-----------|-----------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 農林水産 担当理事 | 項目 | 間伐による森林整備面積（累計） | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 1,300 ha | 2,000 ha | 2,700 ha | 3,400 ha | |
| | 実績 | 588 ha | 1,365 ha | 2,013 ha | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | | 未整備森林の公益的機能を発揮できるよう、意向調査に基づく整備面積の確保に努めます。 | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 農林水産 担当理事 | 項目 | 未利用間伐材の木質バイオマス活用 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 22,000 t | 23,000 t | 24,000 t | 25,000 t | |
| | 実績 | 21,730 t | 23,800 t | 9,219 t | — | — | |
| | 評価 | — | S | E | — | — | |
| 今後の方針 | | 林地残材の有効活用に向け、「森林活プロジェクト」の周知等を推進します。 | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 農林水産 担当理事 | 指標名 | 主伐による木材生産量 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 25,000 m³ | 27,000 m³ | 29,000 m³ | 31,000 m³ | |
| | 実績 | 24,880 m³ | 24,988 m³ | 28,982 m³ | — | — | |
| | 評価 | — | A | S | — | — | |
| 今後の方針 | | 架線集材と経営計画の樹立が円滑に行えるよう支援を進めます。 | | | | | |
| 関係所属 | | | | | | | |
| 林業振興課 | | | | | | | |


3. 活力ある産業 ③水産業の振興

| | | |
|------------------------|--|------|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆☆ |
| 農林水産担当 理事 (砂子祐一) | ガザミ（ワタリガニ）は、放流してから1年で漁獲サイズに成長します。令和元年度の放流量は5万3千匹、令和2年度が15万匹と増量させていますが、令和3年度の漁獲量は約6トンで目標に達しませんでした。要因の一つに、海水温の上昇を嫌うガザミの外洋への移動等が考えられます。 | |
| |  | |
| | <令和3年度 実行宣言> 農業者・漁業者への支援を全力で行います！ | |
| | 令和4年度 実行宣言 ガザミ（ワタリガニ）の放流量を増やすとともに、アサリなどの保護増殖を図り、継続的な支援による水産資源の回復に努めます。また、航路等の浚渫による漁港施設の整備を進めます。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|----------------------|-------|---------------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|---------------------------|---|
| 数値目標 ① | 指標名 | 総水揚金額 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 平成元年度(基準) (平成30年度 水揚金額) | 令和2年度 (令和元年度 水揚金額) | 令和3年度 (令和2年度 水揚金額) | 令和4年度 (令和3年度 水揚金額) | 令和5年度(目標) (令和4年度 水揚金額) | |
| 【評価】 農林水産 担当理事 | 目標 | — | 425,000 千円 | 430,000 千円 | 435,000 千円 | 440,000 千円 | |
| | 実績 | 419,690 千円 | 421,020 千円 | 488,832 千円 | — | — | |
| | 評価 | — | E | S | — | — | |
| | 今後の方針 | 水産物資源の増殖や研究への支援を行い、漁獲量回復に繋がります。 | | | | | |
| 数値目標 ② | 指標名 | ガザミ放流による漁獲量の増加 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| 【評価】 農林水産 担当理事 | 目標 | — | 4 t | 7 t | 9 t | 10 t | |
| | 実績 | 3 t | 4 t | 6 t | — | — | |
| | 評価 | — | S | B | — | — | |
| | 今後の方針 | ガザミの放流支援を行い漁獲量の増加に繋がります。 | | | | | |

| | |
|-------|--|
| 関係課 | |
| 農水振興課 | |


3. 活力ある産業 ④ 商工業の振興

| | | |
|------------------|--|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 産業文化部長 (川村浩稔) | <p>「産業支援センターへの相談件数」については前年比122%で目標値も超えました。また、商工会議所等商工団体の会員数も前年度から215件の増となっています。これらのことからコロナ禍により高まっている市内中小企業・小規模事業者の相談ニーズにしっかり対応できたとともに、商工団体活動の活性化にも寄与したものと考えます。</p> <p>一方、「相談支援から創業につながった人数」「中心市街地営業店舗数」についてはそれぞれ目標値に届かず、前年度比もマイナスとなっていることから、創業や経営の維持に関しては効果が上がっていないことが伺えます。これは起業を目指す人や個人商店等においては、コロナ禍による負の影響が大きかったことや相談窓口は設定しているものの、ニーズに合った相談や情報が必要な人に届きにくかったものと考えます。</p> <p>また、新型コロナ対策として行った「飲食店営業継続緊急支援金事業」「商品券事業」については申請数や販売数が目標に対して9割近くあり、「キャッシュレス還元事業」における経済波及効果も目標値を上回ったことから、新型コロナウイルス感染症等の影響を受けた商店等の経済的損失に対するニーズには一定量応えられたものと考え、全体として事業は概ね目標どおり進めてこれたものとの考えから評価は星3つとしました。</p> | |
| |  <令和3年度 実行宣言> 商工業者の元気を取り戻します！ | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | 市内中小企業・小規模事業者に対する経営基盤の強化支援を充実させるとともに、アフターコロナを見据えた新規創業・担い手発掘・女性企業家支援のための環境整備や人的ネットワークの構築を進め、地域経済回復の基盤づくりに努めます。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|---------------------------------|---|------------------|---------|---------|-------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 産業文化 部長 | 項目 | 相談支援から創業につながった人数 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 27 人 | 28 人 | 29 人 | 30 人 | |
| | 実績 | 26 人 | 22 人 | 18 人 | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| 今後の方針 | 従来の支援制度に加え、店舗改装費補助金の創業者枠の追加、創業再挑戦アシスト資金の保証補給の見直しを行うとともに、女性創業者へのより一層のつながり交流創出をし、積極的な支援を行います。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 産業文化 部長 | 項目 | 産業支援センターへの相談件数 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 686 件 | 690 件 | 695 件 | 700 件 | |
| | 実績 | 681 件 | 1,147 件 | 1,405 件 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中小企業・小規模事業者に対し、セミナー等を拡充し、必要な情報・アドバイスを提供していくとともに、個々の現状に応じた支援を行います。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 産業文化 部長 | 項目 | 中心市街地営業店舗数 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 238 件 | 239 件 | 241 件 | 242 件 | |
| | 実績 | 237 件 | 237 件 | 232 件 | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| 今後の方針 | 中心商店街の活性化に取り組む事業に対し支援することで、商店街の振興に寄与するとともに、中心市街地等の活性化を目指します。 | | | | | | |

| |
|-------|
| 関係課 |
| 商工政策課 |

3. 活力ある産業 ⑤企業誘致・連携の推進

| | | |
|------------------|---|------|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆☆ |
| 産業文化部長 (川村浩稔) | <p>「企業立地件数」及び「市内事業者に対する連携支援件数」はいずれも目標値を超えました。またそれらのバロメータ的指標である「企業等訪問延べ件数」もコロナ禍により現地訪問が制限される中、目標の72%まで引き上げることができました。これはリモートによる面談を積極的に取り入れたり、ハンズオン支援事業に取り組んできたことが効果をあげたものと考えます。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた市内中小企業に対しては、「持続化支援事業補助金」や「ものづくり等支援事業補助金」の制度を創設しましたが、いずれも目標としていた申請者数を上回りました。これらは国の補助事業を補完する形の支援をスピーディーに取り組めたことによる成果と考え、全体として星4つの評価としました。</p> | |
| |  | |
| | <p><令和3年度 実行宣言></p> <p>企業誘致連携により地域の雇用確保・活性化をめざします。</p> | |
| | <p>令和4年度 実行宣言</p> <p>新たな産業用地の確保を進めるとともに、市内事業者のカーボンニュートラルに向けた取組を支援します。</p> | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|---------------------------------|--|---------------------|-------|-------|-------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 産業文化 部長 | 指標名 | 企業立地件数（累計） | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 4件 | 6件 | 9件 | 12件 | |
| | 実績 | 3件 | 7件 | 9件 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 企業動向の情報収集や市の企業立地にかかる情報発信を行い、市内への新規企業進出及び市内企業の再投資を促進します。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 産業文化 部長 | 指標名 | 市内事業者に対する連携支援件数（累計） | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 12件 | 22件 | 32件 | 40件 | |
| | 実績 | 11件 | 23件 | 35件 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 市内企業に対し、新商品開発、受発注・人材マッチング、販路開拓等に向けた企業間連携及び産学官連携を支援し、経営力向上を促進します。 | | | | | | |

| | |
|---------|--|
| 関係所属 | |
| 企業誘致連携課 | |

3. 活力ある産業 ⑥ 観光・交流の振興

| | | |
|------------------|---|----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆ |
| 産業文化部長 (川村浩稔) | <p>観光・交流振興においては「入込客数」「観光消費額」「宿泊者数」を評価指標としていますが、これらは市内中心部への誘客による成果指標であることから、全般的にコロナ禍による移動制限等が大きく影響するものと考えます。さらに、イベント等についても感染対策を行うなかで可能な限り実施してきましたが、観光協会主催による大量動員が期待されるまつりはほぼすべて中止となるなど、結果としていずれも目標値を達することができなかったものです。ただし、自然環境の良い郊外、山間部のレクリエーション施設などにおける利用者数はそれほど落ち込みが少なく、いわゆる周辺観光やアウトドア需要は一定数あることがわかりました。</p> <p>そのような中で、多言語サイトを除くWEBサイトやSNSなどでの閲覧数は目標値を上回りました。これはWEB等での観光情報発信やロゴフォームを利用したキャンペーン、観光PR動画の作成など、コロナ禍においても実施可能な事業やアフターコロナを見据えた情報発信を積極的に行ったことによるもので、「選ばれ続ける観光地『松阪』」のための先行投資としてプラスの評価と考えます。しかしながら全体としては設定目標にやや及ばないことから評価は星2つとしました。</p> | |
| | <p>▲</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <p>旅先に選ばれ続ける観光地「松阪」をめざします。</p> | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | <p>新型コロナウイルス感染症拡大収束後を見据えた「アフターコロナ観光促進事業」等により観光入込客数の増加を目指しコロナ禍で落ち込んだ観光需要の回復に努めます。</p> | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|---------------------------------|---|-------------------------|-------|-------|-------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 産業文化 部長 | 指標名 | モニタリング対象10施設入込客数増減率(平均) | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 102 % | 105 % | 108 % | 110 % | |
| | 実績 | 100 % | 77 % | 67 % | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| 今後の方針 | 旅行者が安心かつ満足して松阪の観光を楽しめるよう、受入体制の整備や観光資源の魅力を向上させる取り組みならびにそれらを効果的にPRし、旅先に選ばれるように努めます。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 産業文化 部長 | 指標名 | 観光消費額(推計)増減率 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 102 % | 105 % | 108 % | 110 % | |
| | 実績 | 100 % | 45 % | 46 % | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| 今後の方針 | 国内・県内・市内観光で松阪を訪れていただけのような仕組みづくりを、観光事業者等と連携し取り組みます。※令和3年度実績については、三重県観光統計数値が未発表のため前年度の数値を用いています。(発表後修正) | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 産業文化 部長 | 指標名 | モニタリング対象宿泊施設宿泊者数増減率 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 101 % | 102 % | 103 % | 105 % | |
| | 実績 | 100 % | 73 % | 82 % | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| 今後の方針 | 回復しつつある国内旅行者に松阪を選んでもらうため、付加価値を付けた事業を推進します。 | | | | | | |
| 関係所属 | | | | | | | |
| 観光交流課 | | | | | | | |

3. 活力ある産業 ⑦松阪牛・地域ブランドの振興

| | | |
|------------------------|---|----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆ |
| 農林水産担当 理事 (砂子祐一) | ふるさと応援寄附金の実績は13億7,769万円で、目標の20億円を達成することが出来ませんでした。要因としては、寄附者が望む返礼品の拡充が出来なく、効果的なPRが展開出来なかったためであると考えます。 | |
| | ↑ | |
| | <令和3年度 実行宣言> ・「まつさか食のまち」を全国へPRし特産品の魅力を伝えます！ ・農業者・漁業者への支援を全力で行います！ | |
| | 令和4年度 実行宣言 ふるさと納税返礼品の拡充と効果的なweb広告を展開し、目標寄附金額20億円を目指して取り組みます。また、松阪牛ブランドの名声を高めるため、「松阪牛まつり」の開催やSNSを活用したPRを図ります。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|-----------------------------------|-------|--|----------|----------|----------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 農林水産 担当理事 | 項目 | ふるさと応援寄附金の額 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 15 億円 | 20 億円 | 20 億円 | 20 億円 | |
| | 実績 | 11.71 億円 | 12.87 億円 | 13.77 億円 | — | — | |
| | 評価 | — | D | E | — | — | |
| | 今後の方針 | 返礼品のブラッシュアップや新規発掘を図るとともに、より効果的なweb広告を展開します。 | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 農林水産 担当理事 | 指標名 | ふるさと応援寄附金の返礼品として「松阪牛」を選ばれた方の人数 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 30,000 人 | 33,000 人 | 34,000 人 | 35,000 人 | |
| | 実績 | 20,366 人 | 32,297 人 | 41,090 人 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| | 今後の方針 | 世界のブランド松阪牛をホームページやSNSなどで全国へ発信し、販路拡大と産業振興を図ります。 | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 農林水産 担当理事 | 指標名 | 関西茶品評会（深蒸し煎茶）入賞率 | | | | 目標種別 | → |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 30% | 30% | 30% | 30% | |
| | 実績 | 30% | — | 31.7% | — | — | |
| | 評価 | — | — | S | — | — | |
| | 今後の方針 | 「松阪茶ティーバック」の配布等によるPRを進め、地産地消を含め販路拡大に繋がります。 | | | | | |

| 関係所属 | |
|---------------|--|
| 地域ブランド課・農水振興課 | |


3. 活力ある産業 ⑧雇用・勤労者福祉の充実

| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆ |
|------------------|---|----|
| 産業文化部長 (川村浩穂) | <p>「高校生の地元就職率」が目標値、前年度比ともに数値が上昇しているのは、ハローワーク松阪管内の各自治体や商工団体等で構成される「松阪地域雇用対策協議会」との連携事業として行っている、地元企業の案内冊子を活用した情報発信や地元就労を促すための管内高等学校への直接訪問などが、地元企業の魅力の提供につながったものと考えます。</p> <p>また「就労の広場からつながった就職者数」が増となっているのは、ハローワークや福祉関係部署との連携により、ノウハウの積み重ね、関係部局とのつながりが年々向上し、一体的な相談業務体制による「就労の広場」の認知度が上がり、市役所の手続きの「ついで」に職業相談や紹介を受ける方が増えているものと考えます。それは「職業相談員による職業相談件数」の数値が1,061件と目標値に対して126%となっていることから推察されます。</p> <p>障がい者雇用については雇用率そのものは前年度より0.04ポイント上昇したものの、法定雇用率には達することができませんでした。これは大口事業所の合併による本店移転、管外への事業所移転によるマイナス影響があったものの、コロナ禍においても障がい者就職面接会や企業向けの障がい者雇用促進セミナー、優良事業所及び優秀勤労障がい者表彰などの事業を行い、毎年途切れなく障がい者雇用の動きかけを行ってきたことから理解いただいた企業が一定数増えたものの、その効果は法定雇用率に達するまでに至らなかったものと考えます。</p> <p>いずれの事業においてもハローワーク等との連携強化を押し進めその効果を高めていますが、法定雇用率に達しなかったことを鑑み星二つの評価としました</p> | |
| | <p style="text-align: center;">▲</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <p>—</p> | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | 障がい者雇用促進のためハローワークや関係機関との連携をさらに強化し、ニーズに合った情報提供や相談、環境整備などに取り組むなど効果的な周知啓発事業を展開し法定雇用率達成を目指します。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|---------------------------------|---|------------------|--------|--------|--------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 産業文化 部長 | 項目 | 高校生の地元就職率 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | H26-30平均(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 41.3 % | 41.9 % | 42.5 % | 43.0 % | |
| | 実績 | 40.7 % | 41.7 % | 43.5 % | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 卒業予定者の地元就職の促進資料として、地元の求人予定事業所を掲載した紹介冊子「企業案内」を作成し、管内及び周辺各高等学校等へ配布する取り組みを行います。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 産業文化 部長 | 指標名 | 障がい者雇用率 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 2.20 % | 2.30 % | 2.30 % | 2.30 % | |
| | 実績 | 1.97 % | 2.08 % | 2.12 % | — | — | |
| | 評価 | — | D | D | — | — | |
| 今後の方針 | 事業所及び市民に対して障がい者雇用の理解を深める啓発に努めるとともに、障がい者に対して職業生活における自立を実現するための事業を関係機関と連携し取り組みます。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 産業文化 部長 | 指標名 | 就労の広場からつながった就職者数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 37 人/年 | 38 人/年 | 39 人/年 | 40 人/年 | |
| | 実績 | 36 人/年 | 34 人/年 | 42 人/年 | — | — | |
| | 評価 | — | E | S | — | — | |
| 今後の方針 | ハローワークや福祉関係の他の部署と連携し、就労相談業務を効果的かつ一体的に実施し、求職者に寄り添った就労支援を実現することで、一人でも多くの相談者を就労に繋げていくよう取り組みます。 | | | | | | |


| 関係所属 | |
|-------|--|
| 商工政策課 | |

4. 人も地域も頑張る力 ①市民活動の推進

| | | |
|------------------------|--|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 地域振興担当 理事 (野呂隆生) | 地域組織の一本化に向けて地域が主体となって協議し理解が得られたことで、令和3年4月、全市域に住民自治協議会を設立することができました。また、地区市民センターや地区公民館のコミュニティセンター化について、地域にアンケートや聞き取り、説明を行い、一施設で住民自治協議会が管理運営を行うコミュニティセンターづくりに向けた取り組みを進めることができました。 | |
| |  | |
| | <令和3年度 実行宣言> ・住民自治協議会の運営や活動を支援し、地域づくりを推進するとともに、コミュニティセンター化の方向性を定めます。 ・地域資源を活用した取り組みを推進し、積極的な情報発信に努め、地域の活性化を図ります。 ・空家バンクへの登録を推進し、若い世代を中心に中山間地域への移住を促進します。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 地域づくり活動が高いレベルで平準化するよう住民自治協議会を支援するとともに、コミュニティセンター化について理解を得られるよう丁寧に説明し、コミュニティセンター化をさらに進めます。あわせて、地域が使いやすい施設となるよう、モデル地区の検証を行いながら、コミュニティセンターの制度を構築します。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|--|--|--------------------------|--------|--------|--------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 地域振興 担当理事 | 指標名 | 住民自治協議会（住協協議会）の認知度 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 67.5 % | 71.5 % | 75.5 % | 80.0 % | |
| | 実績 | 63.5 % | — % | 66.5 % | — | — | |
| | 評価 | — | — | D | — | — | |
| 今後の方針 | 地域づくりにおける住民自治協議会と市の協働を推進し、活動の広報の充実を図ります。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 地域振興 担当理事 | 指標名 | 地域づくり活動への参加率 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 26.2 % | 30.7 % | 35.2 % | 40.0 % | |
| | 実績 | 21.7 % | — % | 48.4 % | — | — | |
| | 評価 | — | — | S | — | — | |
| 今後の方針 | 地域づくりにおける住民自治協議会と市の協働を推進し、活動の広報の充実を図ります。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 地域振興 担当理事 | 指標名 | 地域づくり連携グループ「げんきアップ松阪」登録数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 42 団体 | 45 団体 | 47 団体 | 50 団体 | |
| | 実績 | 40 団体 | 42 団体 | 43 団体 | — | — | |
| | 評価 | — | S | C | — | — | |
| 今後の方針 | 市民活動の活動が活性化するよう、支援の仕組みなどについて検討を進めます。 | | | | | | |
| 関係所属 | | | | | | | |
| 地域づくり連携課・嬉野地域振興局・三雲地域振興局・飯南地域振興局・飯高地域振興局 | | | | | | | |


4. 人も地域も頑張る力 ②中山間地域の振興

| | | |
|------------------------|--|------|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆☆ |
| 地域振興担当 理事 (野呂隆生) | コロナ禍で移住希望者の空家の現地案内を制限した期間はあったものの、目標を上回る成約を達成し、16世帯30人の移住につなげることができました。課題である空家の登録については、直近4年間の平均件数21件には及ばなかったものの、地域の協力もあり20軒を登録することができました。また、中山間地域の地域資源を活用したまつさか香肌イレブンなどの取り組みを進めたことと、キャンプ施設利用者の大幅な増加があり、管内の宿泊者数の目標を達成することができました。 | |
| |  | |
| | <令和3年度 実行宣言> ・住民自治協議会の運営や活動を支援し、地域づくりを推進するとともに、コミュニティセンター化の方向性を定めます。 ・地域資源を活用した取り組みを推進し、積極的な情報発信に努め、地域の活性化を図ります。 ・空家バンクへの登録を推進し、若い世代を中心に中山間地域への移住を促進します。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | 住民自治協議会と協働し空家バンクの登録を推進するとともに、サテライトオフィスや田舎暮らしに関する情報を積極的に発信し、移住人口や関係人口の創出を図ります。また、交流人口の増加を図るため、新たな取り組みであるトレイルランニング大会の開催など、地域資源を活かしたイベントの実現に向けて地域とともに取り組みを進めます。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|---------------------------|--|--|----------|----------|----------|-----------|---|
| 数値目標 | 項目 | 空家バンク成約世帯数(累計) | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| ① 【評価】 地域振興 担当理事 | 目標 | — | 65 世帯 | 73 世帯 | 81 世帯 | 90 世帯 | |
| | 実績 | 57 世帯 | 72 世帯 | 88 世帯 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| | 今後の方針 | 物件の確保と情報発信の充実によって子育て世代を中心とする移住者の増加を図ります。 | | | | | |
| ② 【評価】 地域振興 担当理事 | 指標名 | 飯南・飯高管内施設の宿泊者数 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 17,221 人 | 17,314 人 | 19,800 人 | 20,200 人 | |
| | 実績 | 17,128 人 | 16,715 人 | 19,461 人 | — | — | |
| 評価 | — | E | S | — | — | | |
| 今後の方針 | 地域資源を活用した取り組みを進め、情報発信の拡充によって交流人口の増加を図ります。 | | | | | | |
| ③ 【評価】 地域振興 担当理事 | 指標名 | 生活支援の取組 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 3 地区 | 5 地区 | 7 地区 | 10 地区 | |
| | 実績 | 0 地区 | 4 地区 | 5 地区 | — | — | |
| 評価 | — | S | S | — | — | | |
| 今後の方針 | 誰もが中山間地域で快適に暮らしていくことができる必要な支援について検討し、事業化を図ります。 | | | | | | |

| 関係所属 | |
|----------------------------------|--|
| 地域づくり連携課・嬉野地域振興局・飯南地域振興局・飯高地域振興局 | |


4. 人も地域も頑張る力 ③社会教育の推進

| | | |
|--------------------------------------|---|----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆ |
| 教育長 (中田雅喜) 教育委員会事務局長 (刀根和宜) | 新型コロナウイルス感染症対策により、生涯学習活動を中止するなど影響を受けた時期もありましたが、総じて感染対策を徹底しながらそれぞれの活動を推し進めることができました。 | |
| |  | |
| | <令和3年度 実行宣言> 地域とともに歩む生涯学習づくりと自己肯定感あふれる青少年健全育成を推進します。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | 社会情勢の変化に応じた生涯学習や青少年健全育成を推進し、夢やいきがいのある自己肯定感溢れる豊かな人生を育みます。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|-----------------|---------|---------|---------|-----------|---|
| 数値目標① 【評価】 教育長 教育委員会事務局長 | 項目 | 地域開放型図書館の利用数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 5,000 人 | 5,000 人 | 5,000 人 | 5,000 人 | |
| | 実績 | 4,647 人 | 4,464 人 | 3,946 人 | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| 今後の方針 | 市図書館の遠隔地サービスとしての役割と、地域住民と児童・生徒の交流の場としての目的を最大限発揮できるよう取り組みを行います。 | | | | | | |
| 数値目標② 【評価】 教育長 教育委員会事務局長 | 項目 | 公民館の子育てに関連する講座数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 250 講座 | 250 講座 | 250 講座 | 250 講座 | |
| | 実績 | 239 講座 | 247 講座 | 243 講座 | — | — | |
| | 評価 | — | B | D | — | — | |
| 今後の方針 | 今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続くものと考えられるため、ICT技術を使ったリモート講座など、新たな取り組みを行うことで講座数を増やしていきます。 | | | | | | |
| 数値目標③ 【評価】 教育長 教育委員会事務局長 | 項目 | 青少年の悩み相談件数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 50 件 | 50 件 | 50 件 | 50 件 | |
| | 実績 | 33 件 | 4 件 | 118 件 | — | — | |
| | 評価 | — | E | S | — | — | |
| 今後の方針 | 面談・電話・ツイッターによる相談体制を構築しましたが、昨年度はツイッターによる相談実績はありませんでした。青少年に相談窓口として認知されるよう、SNSの運用を工夫していきます。 | | | | | | |
| 数値目標④ 【評価】 教育長 教育委員会事務局長 | 指標名 | 図書館電子書籍貸出数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 3,000 冊 | 3,000 冊 | 3,000 冊 | 3,000 冊 | |
| | 実績 | 2,056 冊 | 2,827 冊 | 3,303 冊 | — | — | |
| | 評価 | — | B | S | — | — | |
| 今後の方針 | 令和2年度の新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し電子書籍数を増やしたことや、令和3年度もコロナ禍で社会活動が制限されたことにより、実績増につながったものと考えます。今後も充実を図っていきます。 | | | | | | |

| |
|-------|
| 関係所属 |
| 生涯学習課 |


4. 人も地域も頑張る力 ④文化の振興

| | | |
|------------------|--|----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆ |
| 産業文化部長 (川村浩穂) | <p>文化の振興においては博物館等の入館者数や文化ホール等の利用率等を評価指標としていますが、これらは市民や観光者など市内外からの人の移動が伴うものであることから、全般的にコロナ禍による移動制限等が大きく影響したものと考えます。イベント等についても感染対策を行い可能な限り実施しようと取り組みましたが、その多くが計画どおり実施できず、結果としていずれも目標値に達することができなかったものです。</p> <p>そのような中、インターネットを活用した動画配信による情報発信や感染対策として規模を縮小することで実施した事業は、WEBでの閲覧数や事業ごとの入込者数が一定数あり、『芸術や文化財に触れる多様な機会』については市民文化力向上のニーズに対して最低限の確保ができたものと思われまます。</p> <p>また、改修や整備等を行っていた施設等については、コロナ禍による部品などの納品遅れから一部繰り越し事業としたものもありましたが、ほとんどの事業は予定通り遂行できました。これらは関連する営繕課や土木課、都市計画課担当者との綿密な打ち合わせによる、職員間での情報共有がしっかりとされた成果と考えます。</p> <p>しかしながら全体としては目標にやや及ばないことから星2つとしました。</p> | |
| |  | |
| | <p><令和3年度 実行宣言></p> <p>芸術や文化財に触れる多様な機会を確保し、文化力の向上を目指します。</p> | |
| | <p>令和4年度 実行宣言</p> <p>リニューアルした松浦武四郎記念館をはじめ、博物館や文化ホールにおいて安全安心に文化芸術や文化財、ならびに郷土の偉人の功績に触れる機会を提供し、シビックプライドの醸成に努めます。</p> | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|-----------------------------|----------------------------------|---|--------------------|--------------------|--------------------|--------------------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 産業文化部長 | 指標名 | 文化財センター・歴史民俗資料館・松浦武四郎記念館の一日当たりの入館者数（3館合計入館者数／3館合計開館日数） | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 平成30年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 104 人 | 106 人 | 108 人 | 110 人 | |
| | 実績 | 101 人 | 46 人 | 82 人 | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| 今後の方針 | 安全安心を確保しつつ市民にとって魅力のある企画展等を開催します。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 産業文化部長 | 指標名 | 松阪市民文化会館・コミュニティ文化センター・嬉野ふるさと会館の一日当たりの利用率（3館合計利用日数／3館合計開館日数） | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 80.0 % | 81.5 % | 83.0 % | 85.0 % | |
| | 実績 | 78.5 % | 46.1 % | 76.6 % | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| 今後の方針 | 安全安心に利用できる施設整備を進めます。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 産業文化部長 | 指標名 | 過去一年間に学校以外で文化財施設の一つ以上行ったことのある児童生徒の割合 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 児童 62 % 生徒 50 % | 児童 66 % 生徒 53 % | 児童 70 % 生徒 57 % | 児童 75 % 生徒 60 % | |
| | 実績 | 児童58 % 生徒46 % | 児童 59 % 生徒 31 % | 児童 57 % 生徒 57 % | — — | — — | |
| | 評価 | — | E | C | — | — | |
| 今後の方針 | 子どもを主対象とした展示や講座を開催します。 | | | | | | |


| |
|------|
| 関係所属 |
| 文化課 |

4. 人も地域も頑張る力 ⑤スポーツと運動したまちづくりの推進

| | | |
|---|--|----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆ |
| 教育長 (中田雅喜) 教育委員会事務局長 務局長 (刀根和宣) | 事前準備をしっかりと行ってきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため三重とこわか国体・三重とこわか大会の中止、みえ松阪マラソンの大会延期をはじめ、市長杯スポーツ大会の一部も中止となりました。 | |
| |  | |
| | <令和3年度 実行宣言> スポーツを通じて連帯感や達成感を醸成し、持続的なまちづくりにつなげます! | |
| | 令和4年度 実行宣言 必要な感染症対策を行いながらスポーツ大会やイベントの開催等に取り組みます。特に、みえ松阪マラソンについては、第1回記念大会として、市民やランナーはもとより、ご支援いただいた協賛企業、大会運営にご協力いただく関係団体等の期待に応えるべく、安全安心で楽しい大会の実現を目指します。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|------------------------------|---------|---------|---------|-----------|---|
| 数値目標① 【評価】 教育長 教育委員会事務局長 | 項目 | 気軽にスポーツを行うことができる環境づくりに対する満足度 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 3.05 /5 | 3.05 /5 | 3.08 /5 | 3.10 /5 | |
| | 実績 | 3.00 /5 | — /5 | 2.98 /5 | — | — | |
| | 評価 | — | — | E | — | — | |
| 今後の方針 | 必要な感染症対策を行いながらやスポーツ大会やスポーツイベントの開催等に取り組みます。 | | | | | | |
| 数値目標② 【評価】 教育長 教育委員会事務局長 | 指標名 | 公共スポーツ施設を利用している市民の割合 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 12.0 % | 15.0 % | 18.0 % | 20.0 % | |
| | 実績 | 11.5 % | — % | 10.3 % | — | — | |
| | 評価 | — | — | E | — | — | |
| 今後の方針 | 安全・安心にスポーツ活動を行えるように、引き続き各施設の環境整備に取り組みます。 | | | | | | |
| 数値目標③ 【評価】 教育長 教育委員会事務局長 | 指標名 | 「みえ松阪マラソン」に対するランナーからの総合評価 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 65.0 点 | 70.0 点 | 80.0 点 | 90.0 点 | |
| | 実績 | 62.9 点 | — 点 | — 点 | — | — | |
| | 評価 | — | — | — | — | — | |
| 今後の方針 | 2年間延期していますが、必要な感染症対策を講じ、安全・安心な大会の実現に取り組みます。 | | | | | | |
| 関係所属 | | | | | | | |
| 清掃事業課・スポーツ課 | | | | | | | |

4. 人も地域も頑張る力 ⑥人権尊重・多様性社会の推進

| | | |
|------------------|--|----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆ |
| 環境生活部長 (田畑吉隆) | 新型コロナウイルス感染症のため人を集めての従来型の啓発に変え、WEB配信を活用し、人権講演会(2回)、男女共同参画松阪フォーラム(1回)、多文化共生シンポジウム(1回)の配信を行い市民意識の高揚に寄与しました。  | |
| | <令和3年度 実行宣言> 多様性社会づくりのため男女共同参画、多文化共生など人権に関する啓発に取り組み市民意識の高揚を図ります。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 松阪市の人権施策の指針である「松阪市人権施策基本方針」の改定を行うとともに、多様性社会づくりのため男女共同参画、多文化共生など人権に関する啓発に取り組み市民意識の高揚を図ります。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|---------------------------------|--|--------------------------------|---------|---------|---------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 環境生活 部長 | 項目 | 人権が尊重されている社会になっていると感じる市民の割合 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 70.0 % | 75.0 % | 80.0 % | 85.0 % | |
| | 実績 | 68.4 % | — % | 52.5 % | — | — | |
| | 評価 | — | — | E | — | — | |
| 今後の方針 | 市民一人ひとりの人権が尊重される社会の実現に向けて啓発活動を実施していきます。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 環境生活 部長 | 項目 | 多言語による生活情報などの提供・支援件数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 8,000 件 | 8,000 件 | 9,000 件 | 10,000 件 | |
| | 実績 | 7,724 件 | 5,590 件 | 6,588 件 | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| 今後の方針 | 通訳者を配置し、母語による市の各種手続き支援や情報提供など住民サービスの充実に努めます。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 環境生活 部長 | 指標名 | 家庭生活において男女の地位が平等になっていると思う市民の割合 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 31.0 % | 33.0 % | 34.0 % | 35.0 % | |
| | 実績 | 30.1 % | — % | 28.2 % | — | — | |
| | 評価 | — | — | E | — | — | |
| 今後の方針 | 家庭での性別による固定的役割分担意識を見直すための意識啓発活動を実施していきます。 | | | | | | |

| 関係所属 | |
|-----------------------|--|
| 学校支援課・人権・多様性社会課・学校教育課 | |

5. 安全・安心な生活 ①交通安全対策の充実

| | | |
|------------------|---|------|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆☆ |
| 環境生活部長 (田畑吉隆) | 令和3年の交通事故死傷者数は前年の283人から262人、交通事故死者数は前年の12人から4人となり、全国ワースト2位から68位となりました。地域や行政、警察等関係機関が一体となって連携し、様々な交通安全対策に取り組んできたことが、ワースト上位脱却につながったものと推測されます。 | |
| | ▲ <令和3年度 実行宣言> 交通死亡事故ワースト上位脱却、犯罪のない安全・安心なまちをめざします。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | 交通事故死傷者数の減少傾向を維持するとともに、交通事故死者数全国ワースト順位では前年の68位以上を目指し、関係機関が連携し様々な交通安全対策に取り組みます。 | |

| | | |
|---------------|--|------|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆☆ |
| 建設部長 (伊藤篤) | 安全で快適な生活空間の維持管理向上のため、地域住民要望に対応した道路反射鏡、防護柵、区画線などの交通安全施設整備工事を実施し交通安全対策の充実を図りました。 | |
| | ▲ <令和3年度 実行宣言> 安全で快適な生活空間の維持管理に努めます | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | 地域内の通学路と生活道路について、国庫補助制度をうまく活用し一体的な整備に取り組みます。 | |

施策の進捗状況

| | | | | | | | |
|---------------------------------|--|------------------|-------|-------|-------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 環境生活 部長 | 項目 | 交通事故死傷者数（1月～12月） | | | | 目標種別 | ↷ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 323 人 | 312 人 | 301 人 | 289 人 | |
| | 実績 | 334 人 | 283 人 | 262 人 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 交通事故死傷者数を減少させるため、地域、関係機関、行政が一体となって、様々な交通安全啓発活動に取り組みます。 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---------------------------------|---|-------------------|--------|--------|--------|-----------|---|
| 数値目標 ② 【評価】 環境生活 部長 | 項目 | 交通マナーが悪いと感じる市民の割合 | | | | 目標種別 | ↷ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 38.7 % | 35.8 % | 32.9 % | 30.0 % | |
| | 実績 | 41.6 % | — % | 38.3 % | — | — | |
| | 評価 | — | — | C | — | — | |
| 今後の方針 | 「ハンドサインキャンペーン」、「まもってくれてありがとう運動」を展開し、横断歩道での車両の停止率の向上を目指す等、交通ルールとマナーの向上に取り組みます。 | | | | | | |

| | | | | | | | |
|---------------------------|--------------------------------------|--------------------|---------|---------|---------|-----------|---|
| 数値目標 ③ 【評価】 建設部長 | 指標名 | 交通安全対策の整備に対する市民満足度 | | | | 目標種別 | ↷ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 2.58 /5 | 2.62 /5 | 2.66 /5 | 2.70 /5 | |
| | 実績 | 2.55 /5 | — /5 | 2.70 /5 | — | — | |
| | 評価 | — | — | S | — | — | |
| 今後の方針 | 引き続き、地元住民・警察・学校と連携した交通安全施設等の整備に努めます。 | | | | | | |

| | |
|---------------|--|
| 関係所属 | |
| 地域安全対策課・建設保全課 | |

5. 安全・安心な生活 ②防犯対策と消費者保護の充実


| | | |
|------------------|---|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 環境生活部長 (田畑吉隆) | 令和3年の刑法犯認知件数は、前年の813件から651件となり、年々減少傾向にあります。特殊詐欺等被害件数は昨年と同じく8件となっています。 | |
| | ▲ <令和3年度 実行宣言> 交通死亡事故ワースト上位脱却、犯罪のない安全・安心なまちをめざします。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 犯罪のない安全・安心なまちをめざし、刑法犯認知件数の減少傾向を維持します。 | |

| | | |
|------------------|--|----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆ |
| 産業文化部長 (川村浩稔) | 「消費生活センター相談件数」が前年度比13%減となるなか、「消費生活センター解決度」が前年度から0.6ポイント上がっていますが、これは相談内容が年々時間がかかる傾向にある中、研修等の充実によりスキルアップした相談員及び職員が、1件あたりの対応にしっかり時間をかけて対応できたことによるものと思われま。 | |
| | その一方、「特殊詐欺件数」は前年度と同数で低下していないことから、「消費センター相談件数」の低下は消費トラブルが減少した訳ではなく、コロナ禍により出前講座等市民への悪質商法に対する正しい知識や対応方法の周知が行き届かなかったことと考え、評価は星2つとしました。 | |
| | ▲ <令和3年度 実行宣言> — 令和4年度 実行宣言 消費生活センターでの相談窓口が消費者被害防止につながることを周知啓発するとともに、ニーズにあった相談対応に努めることで悪質商法による消費者被害を未然に防ぎます。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|---------------------------------|--|-----------------------|---------|---------|---------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 環境生活 部長 | 項目 | 刑法犯認知件数（自転車盗）（1月～12月） | | | | 目標種別 | ↘ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 157 人 | 148 人 | 139 人 | 130 人 | |
| | 実績 | 165 人 | 93 人 | 80 人 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 出前講座やホームページ等での発信を行い、警察等関係機関としっかり連携を図る等、刑法犯認知件数のさらなる減少に取り組みます。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 環境生活 部長 | 項目 | 特殊詐欺件数（1月～12月） | | | | 目標種別 | ↘ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 7 件 | 7 件 | 6 件 | 5 件 | |
| | 実績 | 7 件 | 8 件 | 8 件 | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| 今後の方針 | 特殊詐欺等被害防止を目的に製造された機器購入の際の補助金の交付や各種啓発活動により、高齢者の特殊詐欺等被害防止に取り組みます。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 産業文化 部長 | 指標名 | 消費生活センター相談件数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 1,287 件 | 1,308 件 | 1,329 件 | 1,350 件 | |
| | 実績 | 1,266 件 | 1,343 件 | 1,165 件 | — | — | |
| | 評価 | — | S | E | — | — | |
| 今後の方針 | 出前講座などの消費者啓発を効果的に進め、消費生活センターへの相談が消費者被害やトラブルを未然に防ぐことにつながることを周知していきます。 | | | | | | |
| 数値目標 ④ 【評価】 産業文化 部長 | 指標名 | 消費生活センター解決度 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 98.7 % | 98.8 % | 98.9 % | 99.0 % | |
| | 実績 | 98.6 % | 98.5 % | 99.1 % | — | — | |
| | 評価 | — | E | S | — | — | |
| 今後の方針 | 消費者相談は年々複雑かつ巧妙化していることから、日頃から専門的な研修やセミナー等に参加し、さらなる知識向上を図ることで、常に変化に対応した相談業務に努めていきます。 | | | | | | |


| | |
|---------------|--|
| 関係所属 | |
| 地域安全対策課・商工政策課 | |

5. 安全・安心な生活 ③防災・危機管理対策の充実

| | | |
|------------------|---|----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆ |
| 防災対策課長 (北川高宏) | <p>「松阪防災の日」「松阪防災週間」制定後の初年度として、持続的防災啓発と地域の防災体制の強化に取り組み「自助」「共助」の意識を高めました。コロナ禍の中、啓発冊子「災害にそなえる」を刷新し市民へ最新の防災情報を周知、「松阪市防災訓練」では地域の防災リーダー育成を目指し、感染症対策を踏まえた避難所運営等の実践的訓練を実施しました。一方、研修会を開催するなど「地区防災計画」の策定支援を行ったものの、新型コロナウイルス感染症の影響で地域での会議等が中止となり計画策定完了の目標達成には至りませんでした。</p> | |
| |  <p>＜令和3年度 実行宣言＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域で作る「地区防災計画」の策定支援・完了を5地区で実施します。 ・感染症対策を強化した避難所運営マニュアルを基にコロナ禍における適切な避難所運営を目指します。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | <p>引き続き「自助」「共助」の意識を高めるために、持続的防災啓発と地域の防災体制の強化に向け取り組みます。地域で作る「地区防災計画」の策定支援を新型コロナウイルス感染症の影響も考慮しながら、策定完了地区の目標達成を目指します。またコロナ禍における適切な避難所運営を目指します。行政が大規模災害時にやるべきことを記述した「松阪市業務継続計画（BCP）」について検証を行い、課題解決に向け取り組みます。</p> | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|-----------------------------|---|--------------------|---------|---------|---------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 防災対策課長 | 指標名 | 災害に対する備えをしている市民の割合 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 43.6 % | 45.7 % | 47.9 % | 50.0 % | |
| | 実績 | 41.4 % | 43.4 % | 40.6 % | — | — | |
| | 評価 | — | A | E | — | — | |
| 今後の方針 | 地域での出前講座などの機会を利用し、日頃の備えの必要性について啓発に努めます。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 防災対策課長 | 指標名 | 市の防災対策への市民満足度 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 2.87 /5 | 2.91 /5 | 2.96 /5 | 3.00 /5 | |
| | 実績 | 2.82 /5 | — /5 | 2.87 /5 | — | — | |
| | 評価 | — | — | C | — | — | |
| 今後の方針 | 出前講座や防災訓練などにより地域の防災体制を強化し「自助」と「共助」の意識を高めます。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 防災対策課長 | 指標名 | 木造住宅耐震診断の受診割合(累計) | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 30.0 % | 33.4 % | 36.7 % | 40.0 % | |
| | 実績 | 26.7 % | 29.5 % | 36.0 % | — | — | |
| | 評価 | — | B | S | — | — | |
| 今後の方針 | 地震から市民の命を守るため、住宅の耐震化など地震対策を進めます。 | | | | | | |
| 数値目標 ④ 【評価】 防災対策課長 | 指標名 | 地区防災計画の策定(累計) | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 7 地区 | 12 地区 | 17 地区 | 22 地区 | |
| | 実績 | 5 地区 | 7 地区 | 7 地区 | — | — | |
| | 評価 | — | S | E | — | — | |
| 今後の方針 | 地区防災計画策定セミナーや地域での出前講座の機会を利用し、コロナ禍でもより多くの地区に策定いただけるよう支援方法を検討します。 | | | | | | |
| 関係所属 | | | | | | | |
| 防災対策課 | | | | | | | |

5. 安全・安心な生活 ④消防力の充実

| | | |
|-------------------|---|----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆ |
| 消防団事務局長 (松本芳昭) | 松阪市消防団の活動環境の充実を図りました。 | |
| |  <令和3年度 実行宣言> 松阪市消防団の活動環境の充実を図ります。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 あらゆる災害に対応できる松阪市消防団をつくります。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|------------------------------|-------|--|--------|--------|--------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 消防団事務局長 | 項目 | 消防団員数 | | | | 目標種別 | → |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 1,293人 | 1,293人 | 1,293人 | 1,293人 | |
| | 実績 | 1,293人 | 1,251人 | 1,224人 | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| | 今後の方針 | 消防団員の処遇改善や消防団員の任用要件を拡充し、消防団員が活動しやすい環境の整備を行ったことで、消防団員の確保や新入団員の増加を期待するとともに、引き続き様々な媒体を活用し、積極的な広報活動を行い、消防団員の確保に取り組みます。 | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 消防団事務局長 | 項目 | 消防団協力事業所の認定数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 31 事業所 | 32 事業所 | 33 事業所 | 34 事業所 | |
| | 実績 | 30 事業所 | 30 事業所 | 28 事業所 | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| | 今後の方針 | 被雇用者である消防団員が入団しやすく活動しやすい環境づくりのため、引き続き事業所に働きかけを行い、1事業所でも多く認定できるよう取り組みます。 | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 消防団事務局長 | 指標名 | 耐震性貯水槽数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 161 基 | 161 基 | 161 基 | 161 基 | |
| | 実績 | 157 基 | 161 基 | 161 基 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| | 今後の方針 | 目標を達成したことから、今後は、新規と修繕等の両面から精査していきます。 | | | | | |

| | |
|--------|--|
| 関係所属 | |
| 消防団事務局 | |

5. 安全・安心な生活 ⑤ 浸水対策の充実

| | | | | | | | |
|--|--|-------------------------|---------|---------|---------|-----------|---|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | | | | | ☆☆☆ | |
| 建設部長 (伊藤篤) | 河川や水路の氾濫を防止するため、未改修河川の改修や排水能力が不足する水路の整備について、三重県及び下水道と連携し継続した浸水対策事業の実施によって、災害に強いまちづくりに取り組みました。また、流域が広範囲となる国・県管理河川の洪水は、甚大な被害が想定されることから、関係市町と協力して、国土強靱化に向けた国、県所管のインフラ整備を促進し、ストック効果が高まる河川整備要望を行いました。さらに、樋門・樋管、排水ポンプ場などは、確実かつ迅速に運転操作が出来るよう、定期的な施設の更新整備や関係自治会等への操作委託により安全安心な生活空間の維持に努めました。 | | | | | | |
| | ▲ <令和3年度 実行宣言> | | | | | | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・国、県所管のインフラ整備を促進し、ストック効果を高めます。 ・災害に強いまちづくりと市民の健康管理や憩いの場の整備を進めます。 ・安全で快適な生活空間の維持管理に努めます。 | | | | | | |
| | 令和4年度 実行宣言 市管理河川等については、引き続き、計画的な河川改修や排水路整備を進めながら、国・県管理河川については、国土強靱化の推進を図るため、流域治水を基本とした河川改修要望や特定都市河川の指定について、国・県と連携を図ります。 | | | | | | |
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | | | | | ☆☆☆ | |
| 上下水道事業 管理者 (長谷川浩司) | 愛宕川雨水管渠詳細設計に基づき、雨水枝線管渠の整備を実施しました。 | | | | | | |
| | ▲ <令和3年度 実行宣言> | | | | | | |
| | 床上浸水ゼロ（愛宕川流域）に向けて整備工事を進めます。 | | | | | | |
| | 令和4年度 実行宣言 令和3年度に引き続き、床上浸水ゼロ（愛宕川流域）に向けて整備工事を進めます。 | | | | | | |
| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
| 数値目標① 【評価】 建設部長 上下水道事業 管理者 | 項目 | 浸水対策事業に対する市民満足度 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 2.80 /5 | 2.84 /5 | 2.87 /5 | 2.90 /5 | |
| | 実績 | 2.77 /5 | — /5 | 2.85 /5 | — | — | |
| | 評価 | — | — | S | — | — | |
| 今後の方針 | ・県と市の河川部局と下水道部局の連携強化によって総合的な雨水対策を継続して行います。 ・令和7年度までに順次、雨水枝線管渠の整備を実施していきます。 | | | | | | |
| 数値目標② 【評価】 建設部長 | 指標名 | 排水ポンプ及び樋門（15施設）の大雨時の稼働率 | | | | 目標種別 | → |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | 実績 | 100% | 100% | 100% | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 引き続き、定期点検の実施と計画的なポンプ場等の設備更新により、確実な施設の稼働に努めます。 | | | | | | |
| 関係所属 | | | | | | | |
| 農村整備課・建設総務課・土木課・建設保全課・上下水道部 | | | | | | | |

6. 快適な生活 ①自然と生活の環境保全


| | | |
|------------------|--|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 環境生活部長 (田畑吉隆) | 公共施設の電気使用量において、松阪新電力への切り替えを促すとともに、まつさかEMSの取組を通じて省エネルギーの推進を図りました。 | |
| | <p style="text-align: center;">▲</p> <令和3年度 実行宣言> 2050年のカーボンニュートラルの実現に向けて、エネルギー起源CO2の排出量を削減できるよう省エネルギー・エネルギー効率の向上をめざします。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 2050年カーボンニュートラル実現に向け、まずは2030年温室効果ガス46%削減を目指した基本方針を示すとともに、地域脱炭素ロードマップに示された重点施策である、公共施設の自家消費型の屋根置き太陽光発電設備設置に向けた取組を行い、再生可能エネルギーの導入の推進を図ります。 | |

| | | |
|--------------------------|--|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 上下水道事業 管理者 (長谷川浩司) | 農業集落排水事業、公共浄化槽等整備推進事業とともに、ロードマップに基づき法適化移行業務（固定資産調査・評価、事務手続き、システム化検討）を進めました。 | |
| | <p style="text-align: center;">▲</p> <令和3年度 実行宣言> 公共浄化槽・農業集落排水事業について企業会計化に向けて作業を進めます。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 令和3年度に引き続き、農業集落排水事業、公共浄化槽等整備推進事業について、令和5年度の企業会計化に向けて作業を進めていきます。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|---|-------|--|-----------|-----------|-----------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 環境生活 部長 | 指標名 | 1人1日当たりエネルギー消費量（電気）を4年間、基準値以下に維持する。 | | | | 目標種別 | → |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 7.25kwh以下 | 7.25kwh以下 | 7.25kwh以下 | 7.25kwh以下 | |
| | 実績 | 7.17kwh | 7.43 kwh | 未公表 | — | — | |
| | 評価 | — | E | — | — | — | |
| | 今後の方針 | 2050年カーボンニュートラル実現にむけ、更なる省エネ、節電に対する啓発活動を実施します。 | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 環境生活 部長・上 下水道事 業管理者 | 指標名 | 生活排水処理施設整備率 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 89.1 % | 90.4 % | 91.7 % | 93.0 % | |
| | 実績 | 88.7 % | 91.1 % | 91.7 % | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| | 今後の方針 | (環境生活部長) 単独処理浄化槽及び汲取りから合併浄化槽への転換など、家庭における生活排水に対する意識向上の啓発を行っていきます。 (下水道事業管理者) 引き続き、浄化槽設置補助金制度の活用により、生活排水処理施設の向上に努めていきます。 | | | | | |

| 関係所属 | |
|-----------|--|
| 環境課・上下水道部 | |


6. 快適な生活 ②資源循環型社会の推進

| | | |
|------------------------|---|----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆ |
| 清掃行政担当 理事 (谷口昌由) | 家庭から出るゴミを安全・迅速に、かつ衛生的に回収し各施設で適切な処理をすることが出来ました。特に充電式電池の発火対策に取り組み、新しい回収システムの構築とクリーンセンターで処理施設投入前の排除に努めました。また、長期的（45年間）に使用する新最終処分場の整備を進めました。 ごみ減量・3Rについては松阪新電力の協賛による雑紙回収袋や水切り袋の配布等による啓発を行いました。一方、新型コロナウイルス感染症の影響で出前講座等が一部縮小となりました。 | |
| |  | |
| | <令和3年度 実行宣言> ・ごみ収集作業の円滑化を図り、ごみの散乱防止及び地区の美観、衛生面の向上を図るために、自治会等が設置するごみ及び資源物集積所に対して支援を行います。 ・市民一人ひとりに3R活動の推進及び更なる分別の徹底とごみ減量に対する意識の高揚を図り、特に家庭系ごみの減量をめざします。 ・各施設で安全な維持管理・運営を行い、効率的で安定したごみ処理により、地域の生活環境の保全と公衆衛生の向上をめざします。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 家庭から出るゴミを安全・迅速に、かつ衛生的に回収し各施設で適切な処理をいたします。また、市民ニーズを意識してごみ処理の効率化や新しいサービスを検討します。ごみ減量・3R等の啓発については、新型コロナウイルス感染症を意識した効率的な出前講座等に取り組んで参ります。新最終処分場については引き続き整備を進めてまいります。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|-----------------------------------|-----------------------------------|-----------------------------|--------|--------|--------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 清掃行政 担当理事 | 項目 | 家庭系ごみ(集団回収を含む)1人1日当たりのごみ排出量 | | | | 目標種別 | ↘ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 710 g | 701 g | 693 g | 684 g | |
| | 実績 | 719 g | 734 g | 718 g | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| 今後の方針 | 家庭系ごみの削減のための啓発を継続してまいります。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 清掃行政 担当理事 | 指標名 | 廃棄物(ごみ)対策の整備に満足している人の割合 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 25.0 % | 26.0 % | 27.0 % | 28.0 % | |
| | 実績 | 22.7 % | — % | 22.8 % | — | — | |
| | 評価 | — | — | E | — | — | |
| 今後の方針 | 市民ニーズを意識してごみ処理の効率化や新しいサービスを検討します。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 清掃行政 担当理事 | 指標名 | 資源化率(総ごみ量のうち総資源化量の占める割合) | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 10.7 % | 11.5 % | 12.3 % | 13.1 % | |
| | 実績 | 10.7 % | 10.5 % | 10.1 % | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| 今後の方針 | 分別を推進し資源回収するための啓発を継続してまいります。 | | | | | | |

| 関係所属 | |
|-------------------|--|
| 清掃事業課・清掃施設課・建設保全課 | |


6. 快適な生活 ③地域公共交通の充実

| | | |
|------------------|--|----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆ |
| 産業文化部長 (川村浩穂) | <p>超高齢社会交通弱者対策調査検討事業の一環として飯高管内の公共交通機関の再編、地域公共交通計画の策定に向けた調査、検討に着手し、移動手段に関する市民アンケートを実施するなど、移動現況や課題、ニーズを調査してきましたが、活動指標である「飯高管内の移動手段再編進捗率」は目標値の50%に留まっています。これは再編に向けた現状の課題把握、整理をするため交通弱者の声を直接お聞きするワークショップを新型コロナウイルスの感染拡大のため開催することができず、令和4年度に延期したことが大きく影響しています。</p> <p>また「住民1人あたり公共交通機関年間利用回数」ならびに「住民が主体となってコミュニティ交通を導入した地域」もそれぞれ目標に達していません。これらは新型コロナウイルス感染拡大を受け、不要不急の外出控えや、web会議など新しい生活様式の浸透により、出かける方が減少したことによるものと考えます。「鉄道、路線バスとコミュニティバスの結節点数」はすでに令和4年度の目標に達しておりS評価ですが、前年と同数であることから飯高管内での公共交通の再編の進捗率を含めた施策の進捗状況を鑑み、全体としては星2つの評価としました。</p> | |
| |  | |
| | <p><令和3年度 実行宣言> 交通弱者の移動手段の確保に向け取り組みます！</p> | |
| | <p>令和4年度 実行宣言 地域住民との対話を重視し飯高管内の公共交通の再編を円滑に進めることで、超高齢社会における交通弱者のニーズに対応したコミュニティ交通のあり方を見据えた「松阪市地域公共交通計画」の策定に取り組みます。</p> | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|---------------------------------|---|--------------------------|--------|--------|--------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 産業文化 部長 | 項目 | 鉄道、路線バスとコミュニティバスの結節点数 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 22 か所 | 23 か所 | 24 か所 | 25 か所 | |
| | 実績 | 21 か所 | 24 か所 | 24 か所 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 路線バスとコミュニティ交通の連結を前提に飯高管内の公共交通の再編に取り組みます。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 産業文化 部長 | 項目 | 住民が主体となってコミュニティ交通を導入した地域 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 2 地域 | 2 地域 | 2 地域 | 3 地域 | |
| | 実績 | 1 地域 | 1 地域 | 1 地域 | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| 今後の方針 | 路線バス等が運行されていない地域で、地域住民が主体となって運営するコミュニティ交通を引き続き支援していきます。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 産業文化 部長 | 項目 | 住民1人あたり公共交通機関年間利用回数 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 8.00 回 | 8.00 回 | 8.00 回 | 8.00 回 | |
| | 実績 | 7.95 回 | 6.23 回 | 6.56 回 | — | — | |
| | 評価 | — | E | E | — | — | |
| 今後の方針 | 公共交通に慣れ親しんでもらい、利用しようとする意識を育むために、こどもたちがバスに乗車する機会の提供などの利用促進に取り組みます。 | | | | | | |

| |
|-------|
| 関係所属 |
| 商工政策課 |

6. 快適な生活 ④都市空間・住環境の整備

| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆ |
|---------------|---|----|
| 建設部長 (伊藤篤) | <p>都市空間の整備として公園整備は、都市計画区域内人口一人当たりの公園面積を目標の全国平均以上となるよう、松阪市総合運動公園の整備により市民の憩いの場の創出に努め目標を達成しましたが、その成果はすぐには表れず、公園緑地の整備に対する市民満足度は横ばいの状態です。一方、快適な都市空間の創出に向けた取り組みは、松阪駅西地区複合施設事業者募集支援業務委託に着手するとともに、違反屋外広告物の除却や景観重点地区中万地区の指定など、美しい景観のまちづくりを進めました。</p> <p>住環境の整備は、住めない空家と判定した空家については、建物所有者に不良空家除却補助金の活用や適正管理の依頼などで、H30年度実態調査した住めない空家と判定した空家の減少を図りつつ、市営住宅については、今後の市営住宅のあり方に沿って、老朽化住宅からの住み替えを進めましたが、住環境に対する市民満足度の向上は図れず横ばいの状態です。</p> | |
| |  | |
| | <p><令和3年度 実行宣言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害に強いまちづくりと市民の健康管理や憩いの場の整備を進めます ・今後の市営住宅のあり方に関する意見書に沿った業務を進めます ・快適な都市空間と美しい景観のまちづくりを進めます ・適正かつ円滑な建築・開発行政、狭あい道路・空家等の対策を行います | |
| | <p>令和4年度 実行宣言</p> <p>都市空間の整備は、松阪駅西複合施設建設に向けた事業者ヒアリングから1次事業者募集へと進め、松阪駅西地区構想の推進します。公園緑地の整備については、中部台運動公園、松ヶ崎公園など他部局管理の都市公園についても、土木課管理の都市公園として、芝生やグラウンドなど屋外施設の一括管理する方法を関係課と調整し、市民満足度の向上に努めます。</p> <p>住環境の整備は、危険な特定空家化の減少、中心市街地の空家の利活用の充実、近鉄伊勢中川駅近郊における一般住宅建築可能な区域の創出により、市民満足度の向上に努めます。</p> | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|---------------------------|--|---|---------|---------|---------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 建設部長 | 指標名 | 住環境の整備に対する市民満足度 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 3.20 /5 | 3.24 /5 | 3.27 /5 | 3.30 /5 | |
| | 実績 | 3.17 /5 | — /5 | 3.17 /5 | — | — | |
| | 評価 | — | — | E | — | — | |
| 今後の方針 | 良好な景観形成を推進し、空家対策の充実を図ります。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 建設部長 | 指標名 | 公園・緑地の整備に対する市民満足度 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 3.12 /5 | 3.15 /5 | 3.18 /5 | 3.20 /5 | |
| | 実績 | 3.10 /5 | — /5 | 3.12 /5 | — | — | |
| | 評価 | — | — | D | — | — | |
| 今後の方針 | 地域住民のニーズを的確に捉え、樹木管理や遊具の老朽化対策を計画的に進めます。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 建設部長 | 指標名 | 「住めない空家(C判定)※」として判定された空家等数(累計) ※H30年実施 空家等実態調査における判定基準 | | | | 目標種別 | ↘ |
| | 年度 | 平成30年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 720 件 | 700 件 | 680 件 | 660 件 | |
| | 実績 | 758 件 | 668 件 | 611 件 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 空家の現況を把握し、第2次空家対策計画を策定します。また、特定空家の指定を進め、危険な特定空家については、解体除却の代執行を検討します。 | | | | | | |

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

| 数値目標 ④ | 指標名 | 老朽化住宅からの住替え件数（累計） | | | | 目標種別 | ↗ |
|---------------------------|-------|---|-------|-------|-------|-----------|---|
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| 【評価】 | 目標 | — | 50 戸 | 58 戸 | 70 戸 | 83 戸 | |
| | 実績 | 39 戸 | 58 戸 | 67 戸 | — | — | |
| 建設部長 | 評価 | — | S | S | — | — | |
| | 今後の方針 | 引き続き、入居者ニーズに即した住替え先の提案など、親身な交渉を行いながら、計画的な住み替えを進めます。 | | | | | |
| 関係所属 | | | | | | | |
| 建設総務課・土木課・住宅課・都市計画課・建築開発課 | | | | | | | |


6. 快適な生活 ⑤道路等の整備

| | | |
|---------------|---|------|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆☆ |
| 建設部長 (伊藤篤) | 道路等の整備として、地域要望に基づいた道路拡幅や交差点改良など道路整備を進めました。また橋梁の長寿命化事業では、市職員による直営点検により、点検経費を削減し効率化を図りました。 | |
| | ↑ | |
| | ＜令和3年度 実行宣言＞ 安全で快適な生活空間の維持管理に努めます | |
| | 令和4年度 実行宣言 橋りょう点検は、引き続き直営点検により効率化を図るとともに、道路改良事業の用地交渉が難航している事業地区については、粘り強く交渉を行い土地所有者の理解を求め、計画どおりの事業完了に努めます。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|---------------------------|--|--------------------------|---------|---------|---------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 建設部長 | 指標名 | 主要な認定市道のパトロールに基づいた路面補修率 | | | | 目標種別 | → |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 100% | 100% | 100% | 100% | |
| | 実績 | — | 100% | 100% | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 引き続き、直営の巡回パトロールにより迅速な路面補修に努めます。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 建設部長 | 指標名 | 道路の整備に対する市民満足度 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 2.78 /5 | 2.82 /5 | 2.86 /5 | 2.90 /5 | |
| | 実績 | 2.74 /5 | — /5 | 2.81 /5 | — | — | |
| | 評価 | — | — | B | — | — | |
| 今後の方針 | 優先順位の高い路線から工事着手し早期完成に努めます。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 建設部長 | 指標名 | 橋りょう点検に基づき修繕を行う橋りょう数(累計) | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 28 橋 | 48 橋 | 73 橋 | 98 橋 | |
| | 実績 | 10 橋 | 23 橋 | 49 橋 | — | — | |
| | 評価 | — | B | S | — | — | |
| 今後の方針 | 早期に修繕が必要な98橋については、予防保全による対策を進め長寿命化を図ります。 | | | | | | |

| 関係所属 | |
|-----------------------|--|
| 建設総務課・土木課・建設保全課・建築開発課 | |

6. 快適な生活 ⑥上下水道の整備

| | | |
|--------------------------|--|----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆ |
| 上下水道事業 管理者 (長谷川浩司) | <p>水道事業については、経常収支比率（109.3%）、営業収支比率（104.7%）でともに100%以上、料金収納率においても99.7%（3月末時点）となり、高水準の料金収納率を維持できる見込みであります。嬉野管内水道統合ポンプ場増設工事は、地元との調整に時間を要し計画通り進みませんでした。基幹管路の耐震化については平成2年度末の耐震適合率37.6%を令和3年度末では0.3ポイント増の37.9%、60mの整備目標であった老朽管の更新については65mの整備を行い、安心・安全で良質な水の供給に努めました。</p> <p>公共下水道の整備については繰越工事が多く発生し目標とする下水道普及率62.5%を2.0ポイント下回る60.5%となりましたが、整備面積の拡大により収入増を図りました。</p> | |
| |  <p><令和3年度 実行宣言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・上下水道事業の安定経営と高水準の料金収納率の確保に努めます。 ・基幹管路の耐震化と老朽管の更新に努めます。 ・嬉野管内水道統合ポンプ場の用地取得、用地測量を実施し進めます。 | |
| | <p>令和4年度 実行宣言</p> <p>令和4年度も引き続き経営基盤強化に向け、水道料金、下水道使用料の高水準の料金収納率の維持に努めるとともに普及率、水洗化率の向上による収入増を図ります。</p> <p>水道事業建設改良工事では、安心・安全な水の供給のため水道管路の耐震化、老朽管、老朽施設の更新します。</p> <p>下水道整備においては、下水道未普及地域を解消するための整備のほか大型団地の公共下水道への接続に向け、効率的な整備を進めていきます。</p> | |
| | | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|--------------------------------|-----|--|--------|--------|--------|-----------|---|
| 数値目標① 【評価】 上下水道事業 管理者 | 項目名 | 水源の水質事故件数 | | | | 目標種別 | → |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 0件 | 0件 | 0件 | 0件 | |
| | 実績 | 0件 | 0件 | 0件 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | | 引き続き、水質事故件数0件に努めます。 | | | | | |
| 数値目標② 【評価】 上下水道事業 管理者 | 項目名 | 基幹管路の耐震適合率 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 37.5 % | 37.9 % | 38.1 % | 38.2 % | |
| | 実績 | 37.2 % | 37.6 % | 37.9 % | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | | 引き続き、「松阪市水道事業ビジョン」に基づき、基幹管路の耐震化を進めていきます。 | | | | | |
| 数値目標③ 【評価】 上下水道事業 管理者 | 指標名 | 下水道普及率 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 60.8 % | 62.5 % | 63.2 % | 67.1 % | |
| | 実績 | 58.2 % | 59.1 % | 60.4 % | — | — | |
| | 評価 | — | D | C | — | — | |
| 今後の方針 | | 引き続き、整備計画に基づき、管渠整備を進めていきます。 | | | | | |
| 数値目標④ 【評価】 上下水道事業 管理者 | 指標名 | 水洗化率 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 79.5 % | 80.1 % | 80.7 % | 81.1 % | |
| | 実績 | 79.4 % | 79.6 % | 79.5 % | — | — | |
| | 評価 | — | S | E | — | — | |
| 今後の方針 | | 引き続き、水洗化啓発や水洗化補助金等の制度の活用により、水洗化率の向上に努めていきます。 | | | | | |

| 関係所属 | |
|-----------|--|
| 環境課・上下水道部 | |

7. 市民のための市役所 ①行政サービスの充実

| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆☆ |
|--------------------|--|------|
| 秘書広報局長 (船木精二) | <p>二役部長会議では、年間を通じて横断的・効率的な会議の運営を行うことができ、感染防止対策として外局職場のオンライン参加を拡大しました。</p> <p>危機管理案件等の発生時には、速やかに二役へ報告を行い、事態収束に向けた対応を行いました。</p> <p>▲</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <p>政策調整秘書業務の円滑な推進と危機管理における内部統制及び危機管理能力の向上に取り組めます。</p> | ☆☆☆☆ |
| | <p>令和4年度 実行宣言</p> <p>政策調整秘書業務の円滑な推進と危機管理における迅速な対応に努め、内部統制及び全庁的な危機管理能力の向上に取り組めます。</p> | |
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 企画振興部長 (岡本孝雄) | <p>既存概念にとらわれず各部局の取り組みについて、「誰のため」「何のため」の事業であるのか全庁的な視点で横断的な調整に努めました。</p> <p>▲</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <p>総合計画の進捗管理を図るとともに、施策のより効果的な推進を図ります。</p> | ☆☆☆ |
| | <p>令和4年度 実行宣言</p> <p>「人口減少対策」として、地方創生総合戦略にある「定住促進」「少子化対策」「雇用創出」「地域づくり」の分野で取り組み、効果的に事業展開できるよう中長期的な視点で部局間の連携などの調整に努めます。特に、南三重への県立大学の誘致を推進するとともに、交流人口と関係人口の増加につながる取り組みを横断的に進めます。</p> | |
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆☆ |
| DX推進担当理事 (近田弘之) | <p>新たなデジタルツールを導入し、関係部局との協議を進めながら技術的なサポートを行うことで、オンラインでの市民、事業所からの申請や申込手続きを取り入れ、市民の利便性を向上させるとともに、業務の効率化に努めました。今後も、申請システムの利用しやすさの工夫をしながら、オンライン申請可能な手続き等の拡大に取り組みが必要で</p> <p>す。</p> <p>また、職員提案制度による職員からの提案や共創デスクを通じた民間事業者等からの提案など、優れたアイデアを積極的に取り入れ、市民サービスの向上を図りました。</p> <p>▲</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・DXを推進し、業務の効率化を図るとともに市民の利便性を向上させます。 ・行財政改革推進方針に基づく改革を進め、持続可能な市政運営をめざします。 | ☆☆☆☆ |
| | <p>令和4年度 実行宣言</p> <p>オンライン申請（電子申請）の拡大や公開型GIS（地理情報システム）などの導入に取り組み、市役所へ行くことなく、スマホやパソコンからさまざまな申請や手続きが簡単にできる環境の構築を進めます。</p> <p>また、本庁・地域振興局・出張所等の業務機能の見直しやデジタル技術・民間活力の活用などを通じた業務の効率化等に取り組み、職員がより専門性が求められる業務に専念できる配置や体制整備を進め、市民サービスの向上に繋がります。</p> | |

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

| | | |
|------------------------|--|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 地域振興担当 理事 (野呂隆生) | <p>防災対策や窓口対応などの市民の安全や市民サービスの向上のため、地域振興局間で連携や情報共有を図る会議を月1回開催して情報共有を行い、書かない窓口や防災対策を円滑に実施することができました。</p> <p style="text-align: center;">▲</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民自治協議会の運営や活動を支援し、地域づくりを推進するとともに、コミュニティセンター化の方向性を定めま す。 ・地域資源を活用した取り組みを推進し、積極的な情報発信に努め、地域の活性化を図ります。 ・空家バンクへの登録を推進し、若い世代を中心に中山間地域への移住を促進します。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | <p>地域振興局及び出張所の業務やあり方に関する課題について関係部局とともに検討し、現在の市民サービスを維持し、住民福祉の向上など、地域や行政の新たな課題に対応できる組織や業務のあり方について方向性を定めます。</p> | |
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 総務部長 (近田雄一) | <p>条例、規則等の改正に係る相談、助言、指導の要請に応え、適正な法令事務に努めました。職員提案制度に基づき「コンプライアンス・ハンドブック」の作成、業務マニュアルの見直しを指示しました。市庁舎1階ロビーにデジタルサイネージの設置、職員提案による公用車運転用のポータブルナビの貸出、トイレの案内板の改善等を行い、使いやすい市役所の実現に努めました。</p> <p style="text-align: center;">▲</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報公開を進めると共に、法令に基づく行政運営を推進します！ ・財政調整基金を大きく取り崩すことなく財政運営の健全性を保つとともに、庁舎機能の充実に努めます！ ・障がい者雇用の拡大、意欲のある職員の確保と職員力の向上を図ります！ | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | <p>社会情勢や多様化する市民ニーズに対応できる環境づくりに努めます。</p> | |
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 環境生活部長 (田畑吉隆) | <p>マイナンバーカード交付率はカードセンターの設置、図書カードの配布やキッズマイナンバー教室の開催などを通じ、取得率の低い年代層に働きかけることにより年度末において49.7%となり目標を達成することができました。また、証明書コンビニ交付については動画広報を通じ、マイナンバーカード利用に伴う利便性をアピールし、利用率向上を図りました。</p> <p style="text-align: center;">▲</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <p>マイナンバーカードの普及促進と証明書コンビニ交付の利用率の向上を図ります。</p> | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードセンターでのカード交付枚数を令和3年度と比較して3倍を目指します。 ・マイナンバーカードの申請率向上に向けた出張申請受付を積極的に行い普及促進を図ります。 | |
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 建設部長 (伊藤篤) | <p>コロナ禍の影響により資材調達が遅れ工程管理に苦慮しましたが、津波避難タワー、松阪市立嬉野中学校、はにわ館空調設備など、繰越事業も含めると工事67件、委託業務21件、総事業費約35億9千3百万円の事業を安全且つ適正に実施しました。</p> <p style="text-align: center;">▲</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <p>事故の無い安全安心な営繕工事を実施します。</p> | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | <p>引き続き、事業執行に当たっては、スケジュール調整や施工状況の情報共有など所管課との連携を密にし、安全且つ適正な工事監理により工期内の完了に努めます。</p> | |

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|---|---|--------------------------|--------|--------|--------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 環境生活 部長 | 指標名 | マイナンバーカード交付率 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 25.0 % | 44.0 % | 47.0 % | 50.0 % | |
| | 実績 | 20.8 % | 35.8 % | 49.7 % | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 各種手続きがワンストップで行えるようマイナンバーカードセンターを拡張し、カード交付率向上を図っていきます。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 DX推進 担当理事 | 指標名 | 電子申請できる手続きの種類 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 20 種類 | 20 種類 | 20 種類 | 20 種類 | |
| | 実績 | 9 種類 | 10 種類 | 28 種類 | — | — | |
| | 評価 | — | E | S | — | — | |
| 今後の方針 | オンライン申請の充実を図るため、マイナポータルに子育て及び介護ワンストップサービスの登録を行うなど、オンライン申請の利用が多く見込まれる申請メニューの拡大に取り組みます。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 DX推進 担当理事 | 指標名 | 職員提案制度により部局の検討に至った提案（累計） | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 5 提案 | 10 提案 | 15 提案 | 20 提案 | |
| | 実績 | — | 10 提案 | 15 提案 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 職員のやる気を引き出し、積極的に多様なアイデアが提案されるような環境の醸成に努め、優れた提案が市政運営に一つでも多く活かされるよう取り組みを進めます。 | | | | | | |
| 関係所属 | | | | | | | |
| 秘書課・経営企画課・情報システム課・市政改革課・嬉野地域振興局・三雲地域振興局・飯南地域振興局・飯高地域振興局・総務課・財務課・職員課・戸籍住民課・営繕課 | | | | | | | |

7. 市民のための市役所 ②確かな行政サービスの提供

| | | |
|------------------|---|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 企画振興部長 (岡本孝雄) | 「行財政改革推進方針2021」に則り全ての課で行財政改革の取り組みを進めるとともにDXとの連携を推進し、PDCAサイクルによる効率的で効果的な行財政運営に努めました。また、総合計画等評価委員会を設置し施策評価等の進捗管理を行いました。 | |
| | ↑ | |
| | <令和3年度 実行宣言> 総合計画の進捗管理を図るとともに、施策のより効果的な推進を図ります。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 総合計画等評価委員会の評価に対して、改善が必要なものについては、実施計画や当初予算に迅速に反映するよう全市的な調整を図ります。また、財源の確保のため企業版ふるさと納税の推進を図ります。 | |

| | | |
|--------------------|--|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| DX推進担当理事 (近田弘之) | 庁内ネットワークを適正に管理運営し、各種システムをセキュリティ対策を施しつつ安定稼働させ、住民サービスを提供し利便性を担保することができました。 | |
| | ↑ | |
| | <令和3年度 実行宣言> DXを推進し、業務の効率化を図るとともに市民の利便性を向上させます。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 庁内ネットワークおよび各種システムを安全に安定稼働させ、遅滞なく住民サービスを提供します。 | |

| | | |
|----------------|---|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 総務部長 (近田雄一) | これからの行政サービス向上に必要な学芸員、社会福祉士、システムエンジニアといった専門職の採用を行いました。障がい者雇用は、会計年度任用職員を12名任用し法定雇用率の引き上げに努めました。職員研修事業は、WEBを活用した研修を実施しました。入札制度では人的なミスが発生しましたが、入札事務の改善に努め、同様なミスが発生しないようにしました。 | |
| | ↑ | |
| | <令和3年度 実行宣言> ・障がい者雇用の拡大、意欲のある職員の確保と職員力の向上を図ります！ ・適正な入札・契約業務を推進していきます！ | |
| | 令和4年度 実行宣言 障がい者雇用率の引き上げ、職員一人ひとりが仕事への意欲・能力を向上させ、行政課題を解決する人材確保と育成に努めます。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|---------------------------|-------------------|--|-----------|--------|--------|-----------|-----------|
| 数値目標 | 指標名 | 仕事に創意工夫を凝らし、業務の改善や新しい仕事の進め方に積極的に取り組んでいる職員の割合 | | | | 目標種別 | → |
| | ① 【評価】 総務部長 | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) |
| 目標 | | — | 60%以上 | 60%以上 | 60%以上 | 60%以上 | |
| 実績 | | 61.5% | 60.8% | 61.4% | — | — | |
| 評価 | | — | S | S | — | — | |
| | 今後の方針 | 引き続き、業務改善等に取り組む職員の割合を増やしていきます。 | | | | | |
| 数値目標 | 項目 | 庁内ネットワークおよびシステムの稼働停止率 | | | | 目標種別 | → |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| ② 【評価】 DX推進 担当理事 | 目標 | — | 0.1%以下 | 0.1%以下 | 0.1%以下 | 0.1%以下 | |
| | 実績 | 0.01% | 0.01% | 0.01% | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| | 今後の方針 | 本庁舎・各地域振興局及び外局施設の間で各業務に係る情報をつなぐネットワークを適正に管理運営し、各種システムを安全かつ安定に稼働させます。 | | | | | |

| 関係所属 | |
|-------------------------|--|
| 経営企画課・情報システム課・職員課・契約監理課 | |

7. 市民のための市役所 ③公民連携の推進

| | | |
|---|---|------|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆☆ |
| DX推進担当理事 (近田弘之) | 共創デスクを通じた民間事業者からの提案について、5提案を連携協力として、具体的化することができました。 また、指定管理者公募時などにおけるサウンディング型市場調査の実施を通じて、公共施設の今後の在り方に関する民間事業者の考え方やアイデア等を今後の事業スキーム構築に取り入れることができました。 | |
| | <令和3年度 実行宣言> | |
| | 行財政改革推進方針に基づく改革を進め、持続可能な市政運営をめざします。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| 共創デスクやサウンディング型市場調査等を通じて、市政運営に積極的な民間手法の導入を進め、業務の効率化や事業効果のさらなる向上に努めます。また、SIB（ソーシャル・インパクト・ボンド）を用いた公民連携による社会課題解決のための手法について検討を行っていきます。 | | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|-----------------------------------|---|--------------------------------|-------|-------|-------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 DX推進 担当理事 | 指標名 | 指定管理者公募時などにおけるサウンディング型市場調査の実施数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | - | 2 件 | 5 件 | 7 件 | 10 件 | |
| | 実績 | - | 4 件 | 6 件 | - | - | |
| | 評価 | - | S | S | - | - | |
| 今後の方針 | 公共施設の管理運営や未利用市有地の活用などにおいて、事業検討の段階でサウンディング型市場調査を実施し、市場の動向や事業の実現可能性、活用に向けたアイデアなどの把握に努め、より良い事業の実施に繋がります。 | | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 DX推進 担当理事 | 指標名 | 共創デスクによる公民連携の取組数（累計） | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | - | 2 件 | 4 件 | 6 件 | 8 件 | |
| | 実績 | - | 13 件 | 18 件 | - | - | |
| | 評価 | - | S | S | - | - | |
| 今後の方針 | 共創デスクのPRに努めるとともに、課題設定型の提案募集などについても検討を行い、より提案してもらいやすい環境づくりに取り組み、民間団体・民間事業者等と行政が適切な役割分担や協力関係を構築し、公共課題の解決や市民サービスの充実に繋がります。 | | | | | | |

| | |
|-------|--|
| 関係所属 | |
| 市政改革課 | |

7. 市民のための市役所 ④市民との情報共有

| | | |
|------------------|---|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 秘書広報局長 (船木精二) | さまざまな広報媒体を活用して、市民にわかりやすく、スピード感をもった適切な情報提供を行いました。特に、ホームページの新型コロナウイルス感染症特設サイトの項目を見やすくしました。しかし、コロナ禍の影響で各種イベント・出前講座等、一部の事業では目標を達成することができませんでした。 | |
| | ▲ | |
| | <令和3年度 実行宣言> 市民にわかりやすく、スピード感をもった適切な情報提供を行います。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | より見やすく、探しやすいホームページを目指してリニューアルを行い、市内外に広く適切な情報発信を行います。 | |

| | | |
|----------------|--|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 総務部長 (近田雄一) | 審議会などの会議の公開率91.4%、公文書公開440件、個人情報公開33件の請求があり、原則に則って公開しました。また、情報公開並びに個人情報保護に関する研修会を開催し、市民満足度の向上に努めました。 | |
| | ▲ | |
| | <令和3年度 実行宣言> 情報公開を進めると共に、法令に基づく行政運営を推進します！ | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | 情報公開を進めるとともに改正個人情報保護法の施行に備え、個人情報保護施行条例を整備します。また、情報提供範囲の拡大を検討します。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|-----------------------------|-------|---|-----------|-----------|----------|-----------|---|
| 数値目標 ① 【評価】 総務部長 | 項目 | 情報公開・情報提供に対する市民満足度 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 2.96 /5 | 3.00 /5 | 3.05 /5 | 3.10 /5 | |
| | 実績 | 2.96 /5 | — /5 | 2.93 /5 | — | — | |
| | 評価 | — | — | E | — | — | |
| | 今後の方針 | 情報公開制度の主旨に基づいた適正執行と並行して、情報提供範囲の拡大への取り組みによって市民満足度の向上を目指します。 | | | | | |
| 数値目標 ② 【評価】 秘書広報局長 | 項目 | 市ホームページにおける月平均閲覧数 | | | | 目標種別 | → |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 200,000件 | 200,000件 | 200,000件 | 200,000件 | |
| | 実績 | 181,892件 | 312,413件 | 340,826件 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| | 今後の方針 | 誰もがより探しやすい、見やすいホームページを目指してリニューアルを行い、情報発信します。 | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 秘書広報局長 | 項目 | 総合アプリ(松阪ナビ)のダウンロード件数 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 2,000 DL | 4,000 DL | 6,000 DL | 8,000 DL | |
| | 実績 | 1,496 DL | 11,688 DL | 20,055 DL | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| | 今後の方針 | 目標件数には達していますが、引き続き内容を充実させながら、より多くの方の利用を推進します。 | | | | | |
| 数値目標 ④ 【評価】 総務部長 | 指標名 | 審議会などの会議公開率(公開及び一部公開/全体) | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 90.5 % | 91.0 % | 91.5 % | 92.0 % | |
| | 実績 | 90.0 % | 91.8 % | 91.4 % | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| | 今後の方針 | 審議会等の会議及びその議事録について、適時性のある情報を提供するとともに、非公開とする会議・議事録が増加しないように注意する。 | | | | | |

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

| 数値目標 ⑤ 【評価】 秘書広報 局長 | 指標名 | SNS（インスタグラム、ツイッター等）の総フォロワー数 | | | | 目標種別 | ↑ |
|---------------------------------|--|-----------------------------|---------|---------|---------|-----------|---|
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 7,000 件 | 8,000 件 | 9,000 件 | 10,000 件 | |
| | 実績 | 5,380 件 | 8,306 件 | 9,696 件 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 松阪市の公式SNSのフォロワー数を増加させるために、さまざまな情報発信に努めていきます。 | | | | | | |
| 関係所属 | | | | | | | |
| 広報広聴課・総務課 | | | | | | | |

7. 市民のための市役所 ⑤健全な財政運営

| | | |
|--------------------|--|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| DX推進担当理事 (近田弘之) | 公共施設の用途廃止や売却などに関して関係部局等と横断的な検討を行うとともに、各施設所管課をサポートし、宿泊施設スモールやグループホームいいたかなどの運営方法の見直し等を実現しました。 また、松阪市公共施設等総合管理計画の改訂を行い、延べ床面積の削減を指標とする目標からライフサイクルコストを指標とする目標へと見直しを行いました。今後は、公共施設の統廃合によるコスト削減だけではなく、業務見直しや民間活力の活用など幅広い視点からさらなる取り組みを進める必要があります。 | |
| | ↑ <令和3年度 実行宣言> 行財政改革推進方針に基づく改革を進め、持続可能な市政運営をめざします。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | 施設の統廃合、指定管理者制度など民間活力の積極的な導入等に取り組み、市民の利便性の維持・向上を図りつつライフサイクルコストの削減を進めていきます。 | |

| | | |
|----------------|---|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 総務部長 (近田雄一) | 令和2年度に引き続き、施策評価システムの施策達成度を市民意識調査結果とともに再検証し、予算への反映を行うとともに、決算ベースの要求基準による当初予算編成を実施しました。 | |
| | ↑ <令和3年度 実行宣言> ・情報公開を進めると共に、法令に基づく行政運営を推進します！ ・財政調整基金を大きく取り崩すことなく財政運営の健全性を保つとともに、庁舎機能の充実に努めます！ | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | 適正な予算編成・執行管理を行い、健全な財政運営に努めます。 | |

| | | |
|------------------|--|-----|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 税務担当理事 (松下敏幸) | 新型コロナウイルス感染症による経済への影響から、市税等の財源確保が心配されましたが、適正な課税と徴収強化に努めたことにより、市税等現年度分収納率目標値を概ね達成する見込みです。 | |
| | ↑ <令和3年度 実行宣言> 市税等の自主財源の安定確保に努めます！ | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | 引き続き安定的な財政運営のための自主財源確保に努めます。 | |

| | | |
|-------------------|--|------|
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆☆ |
| 競輪事業担当理事 (松本健) | 令和3年度の一般財源への繰入額は、2億6千万円で包括業務委託開始後最高額の更新となりました。また、令和3年度は通常日程に2回開催（計6日間）を追加開催したこともあり、総売上額は約223億円で、2年連続200億円を超えることができました。この要因は、コロナ禍での外出控えに伴う消費需要の影響もありますが、モーニングからミッドナイトまですべての時間帯で競輪を開催したことによるものと考えます。 | |
| | ↑ <令和3年度 実行宣言> 市の自主財源を確保します！安定的な経営に努め、一般財源への繰り入れを強化します。 | |
| | 令和4年度 実行宣言 | |
| | 収益の増加・安定的な経営に努め、一般財源への繰り入れを強化するため、引き続きモーニングからミッドナイトまで競輪開催をするとともに、全国のネットユーザーに向けSNSを活用したタイムリーな情報発信を充実させ、視聴者プレゼント等注目度の高い企画を実施します。 | |

| 施策の進捗状況 | | | | | | | |
|----------------|-------|---|---------|---------|---------|-----------|---|
| 数値目標 ① | 項目 | 市税の現年度課税分の収納率 | | | | 目標種別 | ↑ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| 【評価】 税務担当理事 | 目標 | — | 98.60 % | 98.60 % | 98.70 % | 98.90 % | |
| | 実績 | 98.53 % | 98.53 % | 98.96 % | — | — | |
| | 今後の方針 | 適正な課税と徴収強化及び納税環境の整備を継続的に進め、安定的な財政運営のための自主財源確保に努めます。 | | | | | |

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

| | | | | | | | |
|---|---|------------------------|---------|---------|---------|-----------|---|
| 数値目標 ② 【評価】 DX推進 担当理事 | 指標名 | 公共施設トータルコスト削減目標に対する達成率 | | | | 目標種別 | ↗ |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 2.5 % | 5.0 % | 7.5 % | 10.0 % | |
| | 実績 | — | 1.0 % | 1.8 % | — | — | |
| | 評価 | — | D | D | — | — | |
| 今後の方針 | 公共施設の統廃合によるコスト削減だけでなく、計画的な長寿命化対策を通じた修繕費や更新にかかるコストの抑制、当該施設で行われている業務の見直しや新たな民間活力の積極的な活用など、様々な視点から施設の管理運営の効率化に取り組んでいきます。 | | | | | | |
| 数値目標 ③ 【評価】 総務部長 | 指標名 | 市債残高（一般会計）※臨時財政対策債を除く | | | | 目標種別 | → |
| | 年度 | 令和元年度(基準) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度(目標) | |
| | 目標 | — | 281億円以下 | 281億円以下 | 281億円以下 | 281億円以下 | |
| | 実績 | 281億円 | 237億円 | 248億円 | — | — | |
| | 評価 | — | S | S | — | — | |
| 今後の方針 | 臨時財政対策債を除く市債残高が281億円を超えないようにしていきます。 | | | | | | |
| 関係所属 | | | | | | | |
| 市政改革課・総務課・財務課・市民税課・資産税課・収納課・債権回収対策課・競輪事業課 | | | | | | | |

総合計画に紐づかない所属の「実行宣言」

| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
|----------------------|---|-----|
| 会計管理者 (高木達彦) | <p>・会計事務の効率化に向けて、AI・RPAの活用に向けたWEBでの研修の場を活用しました。公共料金の自動引き落としに向けた取り組みのため、他市の事例の調査を行いました。事務の軽減及び改善について、主幹ミーティングを8回開催しました。</p> <p>・全庁的なスキルアップとチェック機能を強化するため、計10回の会計事務情報の掲載と、WEB研修により会計管理課職員のスキルアップを行い、事務処理のレベルアップに努めました。不適正な会計処理への対応として各課へのフィードバックにを行いミスは是正に努めました。</p> <p>・公金の預入等有利な運用については、新たな債券運用に向けたWEB研修への参加と、SDG'sに寄与したグリーンボンドの運用を開始しました。年度末の調整では定期預金等の運用率が低下し、運用率が80%を切る結果となりました。</p> | |
| | <p style="text-align: center;">▲</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計事務の効率化に向けて取り組みます。 ・全庁的なスキルアップとチェック機能を強化します。 ・公金の預入等有利な運用を行います。（目標：運用率90%） | |
| | <p>令和4年度 実行宣言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計事務の効率化に向けて取り組みます。 ・会計事務に関する各所属職員の意識の醸成を図ります。 ・公金の有利な預け入れに取り組みます。 | |
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 議会事務局長 (中西雅之) | <p>令和3年9月定例議会からタブレット端末を本格使用し、市議会議員のスケジュール管理や通知文書から議案に至るまで、議会運営におけるペーパーレス化を実現しました。</p> | |
| | <p style="text-align: center;">▲</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <p>円滑な議会運営、議会活動へのサポート体制の強化に努めます。</p> | |
| | <p>令和4年度 実行宣言</p> <p>タブレット端末を活用した効果的かつ効率的な議会運営に引き続き取り組むとともに、議会活動の「見える化」や市民参加を図るため、情報の積極的な発信に努めます。</p> | |
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 監査委員事務局長 (刀根薫) | <p>コロナ禍のため対面による研修会は中止となったが、オンラインによる研修・講座は5回受講し、知識の習得、向上に努めました。</p> | |
| | <p style="text-align: center;">▲</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <p>監査能力のより一層の向上を図ります。</p> | |
| | <p>令和4年度 実行宣言</p> <p>監査の補佐能力向上に必要な知識習得のため、オンライン講習等を含めた研修会等に積極的に参加するとともに、事務局内において研修内容の共有化を図ります。</p> | |
| 部局長名 | 令和3年度の評価 | ☆☆☆ |
| 選挙管理委員会事務局長 (山本誠) | <p>令和3年7月25日執行の松阪市議会議員選挙、10月31日執行の衆議院議員選挙において、コロナウイルス感染症対策を徹底し適正かつ効率的に執行しました。また、小中学校に対して、出前授業による模擬選挙を実施し、啓発に努めました。</p> | |
| | <p style="text-align: center;">▲</p> <p><令和3年度 実行宣言></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年7月執行の市議会議員選挙、10月に任期満了を迎える衆議院議員選挙において、感染症対策を徹底し適正かつ効率的に執行します。 ・投票率向上に向けた取り組みを進めるとともに、特に若年層の投票率向上に取り組めます。 | |
| | <p>令和4年度 実行宣言</p> <p>令和4年7月25日任期満了の参議院議員通常選挙について、感染症対策を徹底し適正かつ効率的に執行します。また、令和5年4月29日任期満了の三重県議会議員選挙について適正かつ効率的に執行できるよう準備をします。将来の有権者に向けた啓発に取り組めます。</p> | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|--|---------------|----------|----------|
| 組織名 | 秘書課 | 作成者（評価者） | 課長 松林 正人 |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-① 行政サービスの充実 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| 秘書課は、市政運営の根幹である市長及び副市長の政策形成や政策判断などをサポートする調整的役割を担う秘書業務及び危機管理案件等の情報管理や関係部局との内部統制を行う部署です。 | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| 【達成できたこと】 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍の中、緊急の二役部長会の開催など、年間を通じて横断的・効率的な二役部長会議の運営を行いました。また、二役部長会議開催時の感染対策として、外局職場のオンライン参加を拡大しました。 ・ 各種団体等や各部局からの様々な依頼に対して、二役のスケジュール管理を効率よく行いました。 ・ 危機管理案件等の発生時には、速やかに二役へ報告を行い、事態収束に向けた対応を行いました。 | | | |
| 【達成できなかったこと・改善すべき点】 | | | |
| 特になし | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ アフターコロナにおける効率的な二役スケジュール管理の徹底 ・ 危機管理案件等が発生した場合の迅速な情報収集や報告、また、事態収束に向けて関係部局・機関等との連携や指導・助言を行います。 ・ 危機管理相談員の適切な活用を行い、危機管理案件等には迅速な対応を行います。 | | | |

【秘書課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|------------|------|----------|----------|-------------------|-----------|------|-------|-------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 市長会等事業費 | 7-① | 2,902 | 2,537 | ①三重県政②東海市長会への要望件数 | | | 2,804 | 三重県政及び東海市長会への要望件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 各3件 | ①5件②5件×2回 | S | | 各3件 | | |
| 2 | 市政功労等顕彰事業費 | 7-① | 192 | 192 | 市政功労者数(人、団体) | | | 192 | 市政功労者数(人、団体) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 10人(団体) | 9人(団体) | A | | 10人(団体) | | |
| 3 | 秘書一般経費 | 7-① | 4,203 | 4,199 | 市政等の啓発広告の掲載件数 | | | 4,199 | 市政等の啓発広告の掲載件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 25件 | 25件 | S | | 25件 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|--------------|----------|-----------|
| 組織名 | 広報広聴課 | 作成者（評価者） | 課長 武田 誉利子 |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-④ 市民との情報共有 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>広報広聴課は、迅速な情報発信と様々なツールを組み合わせ、より多くの市政情報を積極的に提供する広報業務、市民のみなさまからの意見をお聴きする広聴業務及び新型コロナウイルス感染症など市民のみなさんに関心の高い情報収集・情報発信を適切に行う部署です。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症など市民のみなさんに関心の高い情報をスピード感をもって適切に発信することができました。 ・行政チャンネルの特別番組など、魅力ある番組作りに努め、「Youtube」を活用して情報発信を行いました。 ・「松阪ナビ」に新しい項目を追加し、より市民の方に分かりやすく情報を提供することができました。 ・庁内組織（広報戦略会議）で、新たな広報戦略についての意見収集や今後の方針、事業の検討を行いました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、市政バスや出前講座の開催を自粛したことから利用件数の目標が達成できませんでした。 ・回覧文書やポスターの配布についてもイベント等の中止により依頼件数が少なかったことで、目標が達成できませんでした。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・誰もがより探しやすい、見やすいホームページを目指してリニューアルを行い、情報発信します。 ・自治体総合アプリ「松阪ナビ」の内容の充実に取り組み、速効性のあるプッシュ通知や双方向性を持った市民とのやりとりができる広報媒体の利用拡大を引き続き進めます。 ・広報戦略会議での意見をもとに「若者との協働シティープロモーション事業」を行います。 | | | |

【広報広聴課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------------|------|----------|----------|--------------------------|--------------|------|--------|--------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 広報松阪発行事業費 | 7-④ | 25,673 | 21,878 | 活動指標 | | | 26,070 | 活動指標 | | |
| | | | | | 広報発行ページ数 | | | | 広報発行ページ数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | 32ページ/月 | 33.6ページ/月 | A | | 32ページ/月 | | |
| 2 | ホームページ等管理運営事業費 | 7-④ | 5,595 | 5,595 | 活動指標 | | | 25,479 | 活動指標 | | |
| | | | | | 情報書き込み件数 | | | | 情報書き込み件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 900件 | 628件 | B | | 900件 | | |
| 3 | 市民対話活動事業費 | 7-④ | 913 | 913 | 活動指標 | | | 1,063 | 活動指標 | | |
| | | | | | ①市政バスの利用状況 ②出前講座の利用件数 | | | | ①市政バスの利用状況 ②出前講座の利用件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①50件 ②250件 | ①8件 ②132件 | E | | ①50件 ②250件 | | |
| 4 | 広報活動交付金 | 7-④ | 136,667 | 136,667 | 活動指標 | | | 終了 | 活動指標 | | |
| | | | | | 回覧文書、ポスター配布依頼件数 | | | | 回覧文書、ポスター配布依頼件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 4回/月 | 3.9回/月 | A | | | | |
| 5 | 行政情報番組制作事業費 | 7-④ | 31,935 | 31,935 | 活動指標 | | | 33,911 | 活動指標 | | |
| | | | | | 自主制作特集本数 | | | | 自主制作特集本数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 40本 | 41本 | S | | 40本 | | |
| 6 | 広報一般経費 | 7-④ | 5,027 | 5,027 | 活動指標 | | | 5,337 | 活動指標 | | |
| | | | | | 各部局からの情報提供件数 | | | | 各部局からの情報提供件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1,500件 | 1,576件 | S | | 1,500件 | | |

| 組織名 | 防災対策課 | 作成者（評価者） | 課長 北川 高宏 |
|---|-------|------------------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | | 5-③ 防災・危機管理対策の充実 | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>防災対策課は『災害時の人的被害ゼロ』を防災ビジョンに掲げ、「災害に強い安全なまちづくり」の実現に向け、防災・減災の基礎となる「市民の防災意識の高揚」と「自助・共助」による初動体制の強化を進め市民・地域とともに防災対策に努めています。令和3年3月「松阪防災の日」「松阪防災週間」制定に伴い、家庭や地域で防災について話し合い、防災の日常化に向けて防災訓練や啓発活動などの取り組みを実施しています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「松阪防災の日」制定初年度として、啓発冊子「災害にそなえる」を刷新・各戸配布し市民へ最新の防災情報の周知を図ることができました。 ・松阪市防災訓練はコロナ禍のため規模縮小となりましたが、地域住民をグループに分け避難所運営マニュアル（基本モデル）を基に避難所開設、避難者受入、資機材の取り扱い等の実践的な訓練と防災リーダー育成を目標とした「目標管理型災害対応訓練」を実施しました。 ・感染症対策をとりながら国民保護協議会・防災会議を開催し、関係機関と顔の見える関係を築くとともに各計画の修正や防災情報の提供等について審議や意見をいただくことができました。 ・各地域で消火栓ボックス内の筒先の盗難が続きましたが、防災資機材整備に要する経費への補助制度「地域防災活動推進助成金」の活用を住民自治協議会へ案内し地域の防災力維持に努めました。 ・危険ブロック塀等除却事業補助金は、広報まつさか7月・11月号で事業終了の周知を行い目標を上回る申請を受け付けることができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災出前講座や地域の訓練については、コロナ禍のためキャンセルや中止、延期が余儀なくされ目標達成に至りませんでした。感染症対策を取り入れた訓練等は必要と考え、いつ発生するかわからない災害に備え、できる限り積極的に実施していきます。 ・「地区防災計画」策定のきっかけとなる「地区防災計画策定セミナー」を開催しましたが、コロナ禍により地域での会議等が中止となり策定には至りませんでした。継続的な支援を行って参ります。 ・一般木造住宅耐震診断、補強事業においては、耐震診断の受診数や補強工事などは増加傾向にあるものの、コロナ感染症の影響で耐震診断のキャンセルもあり目標達成には至りませんでした。引き続き昭和56年以前への個別訪問を継続し、各種耐震施策事業の普及啓発を行います。 ・避難路沿道にある不適合建築物が地震等による倒壊などを防ぐための避難路沿道建築物耐震診断補助金では、所有者側の意向・計画もあり事業実施に至りませんでした。引き続き、建物所有者へ制度の必要性を説明します。 ・津波避難施設整備事業については、松名瀬津波避難タワーは年度内完成し、地域との活用方法等について協議しました。一方、五主津波避難タワーについては、建築工事を一部、令和4年度に繰越しを行ったことから、活用方法等について、現在地域と協議を進めているところです。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度策定の「松阪市業務継続計画（BCP）」について、現状を検証し抽出された課題を解決するために職員研修等を実施し計画の見直しを行います。 ・「地区防災計画」策定支援として引き続き「地区防災計画策定セミナー」を開催します。作成検討中の地区に対し支援方法を検討しより多くの地区で完成を目指します。 ・津波避難タワーを活用した避難訓練や地区防災計画の見直しを地域と協議していきます。 | | | |

【防災対策課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------------|------|----------|----------|-------------------|----------|------|---------|-------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 防災一般経費 | 5-③ | 12,660 | 12,100 | 防災担当職員の防災士資格取得率 | | | 13,274 | 防災担当職員の防災士資格取得率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 50.0% | 50.0% | S | | 50.0% | | |
| 2 | 防災啓発事業費 | 5-③ | 14,023 | 11,051 | 防災出前講座への女性参加率 | | | 9,008 | 防災出前講座への女性参加率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 50.0% | 48.5% | A | | 50.0% | | |
| 3 | 防災訓練事業費 | 5-③ | 900 | 900 | 防災関係機関との総合防災訓練 | | | 900 | 防災関係機関との総合防災訓練 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1回 | 1回 | S | | 1回 | | |
| 4 | 一般木造住宅耐震診断事業費 | 5-③ | 15,959 | 15,009 | 耐震診断の受診戸数 | | | 15,959 | 耐震診断の受診戸数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 300戸 | 269戸 | B | | 300戸 | | |
| 5 | 防災設備等管理事業費 | 5-③ | 48,450 | 48,482 | 移動系無線(IP無線)の稼働率 | | | 53,227 | 移動系無線(IP無線)の稼働率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 6 | 一般木造住宅耐震補強等事業費補助金 | 5-③ | 56,040 | 43,050 | 耐震施策(除却含む)事業の補助件数 | | | 48,540 | 耐震施策(除却含む)事業の補助件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 150件 | 129件 | B | | 150件 | | |
| 7 | 防災行政無線整備事業費 | 5-③ | 26,166 | 26,166 | 防災行政無線の稼働率 | | | 144,732 | 防災行政無線の稼働率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 8 | 高齢者世帯家具等転倒防止支援事業費 | 5-③ | 575 | 368 | 家具固定実施件数 | | | 600 | 家具固定実施件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 50戸 | 27戸 | C | | 50戸 | | |
| 9 | 国民保護法推進事業費 | 5-③ | 211 | 211 | 国民保護協議会の開催 | | | 211 | 国民保護協議会の開催 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1回 | 1回 | S | | 1回 | | |
| 10 | 防災行政無線基地局舎管理事業費 | 5-③ | 3,720 | 3,407 | 同報系防災行政無線の稼働率 | | | 3,474 | 同報系防災行政無線の稼働率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 11 | 地域防災計画策定事業費 | 5-③ | 9,676 | 8,026 | 防災会議委員への防災情報提供 | | | 3,543 | 防災会議委員への防災情報提供 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1回 | 1回 | S | | 1回 | | |
| 12 | 災害用備蓄品管理事業費 | 5-③ | 8,807 | 7,011 | 災害用備蓄品配備計画に基づく備蓄率 | | | 19,538 | 災害用備蓄品配備計画に基づく備蓄率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 13 | 地域防災活動推進助成金 | 5-③ | 1,570 | 864 | 助成金交付団体数 | | | 1,570 | 助成金交付団体数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 20団体 | 27団体 | S | | 20団体 | | |
| 14 | 避難路沿道建築物耐震診断補助金 | 5-③ | 4,460 | 0 | 耐震診断受診件数 | | | 5,352 | 耐震診断受診件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2件 | 0件 | - | | 2件 | | |
| 15 | 避難路沿道建築物耐震改修等事業費補助金 | 5-③ | 4,534 | 2,461 | 耐震補強設計の補助件数 | | | 121,131 | 耐震補強設計の補助件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1件 | 1件 | S | | 1件 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | |
|-----|-----------------|------|----------|----------|---------------|-------|----|----------|-----------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | |
| 16 | 津波避難施設整備事業費 | 5-③ | 697,225 | 632,700 | 造成工事・建築工事 | | | 0 | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1式 | 一部繰越し | A | | - | | |
| 17 | 危険ブロック塀等除却事業補助金 | 5-③ | 7,500 | 5,755 | 危険ブロック塀等除却申請数 | | | 0 | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 65件 | 75件 | S | | - | | |
| 18 | 津波避難施設管理事業費 | 5-③ | 0 | 0 | - | | | 3,511 | 防災訓練等実施回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 4回 | | |
| 19 | コミュニティ助成事業補助金 | 5-③ | 0 | 1,900 | 防災用資機材の整備 | | | 0 | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1地区 | 1地区 | S | | - | | |

【防災対策課】事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | |
|-----|-----------------------|------|----------|----------|----------------------|-----|----|----------|----------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | |
| 1 | 防災出前講座や地域訓練への参加・支援・指導 | 5-③ | / | / | 出前講座・地域訓練支援回数 | | | / | 出前講座・地域訓練支援回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 60回 | 44回 | B | | 50回 | | |
| 2 | 親子防災キャンプの実施 | 5-③ | / | / | 親子で参加できる防災講座の実施 | | | / | 親子で参加できる防災講座の実施 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 20組 | 中止 | - | | 20組 | | |
| 3 | 避難所運営マニュアルの改訂 | 5-③ | / | / | マニュアルを活用した避難所運営訓練の実施 | | | / | マニュアルを活用した避難所運営訓練の実施 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1回 | 1回 | S | | 1回 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 経営企画課 | 作成者（評価者） | 課長 藤木 洋司 |
|---|------------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 7-① 行政サービスの充実 | | |
| | 7-② 確かな行政サービスの提供 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>経営企画課は、市全体にかかわる計画や各部局との総合調整を担う課として業務を行うとともに、総合計画の政策・施策が着実に推進できるよう、外部評価委員会を設けるとともに、施策評価システム等により進捗管理を行っています。また、統計法に基づく各種基幹統計調査を行うとともに、見やすい形で様々なデータをホームページ等で公開することで、市民への情報提供を行っています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法の施行にともない、新たに「松阪市過疎地域持続的発展計画」を、飯南・飯高振興局等と連携を図り策定しました。 ・総合計画等の外部評価委員会として、「総合計画等評価委員会」を新たに設置し、専門的・長期的な視点から評価や意見をいただきました。 ・「経済センサス活動調査」は97.15%と高い回収率となり、事故等もなく実施できました。 ・「松阪若者クラブ 3rd season」を、Web会議システムを活用し開催し、市内で様々な分野において活躍している方々の事例を聞く場とすることで、市内外の若者に松阪への興味や愛着をもってもらう機会をとしました。 ・松阪市政推進会議からの提案「社会的つながり創出提案募集」を実施し、全国から36件の応募をいただくとともに、6件をアイディア賞として採択し、令和4年度に3件の事業化を図りました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響により、市政推進会議および定住自立圏共生ビジョン懇談会、総合計画等評価委員会が、当初予定していた回数の開催が出来ませんでした。遠方等からの出席者については、Web会議システムを活用しながら出来る限り参加が可能な環境を整えました。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査を紙とwebの両方で回答可能な形式で実施することで、より幅広い層からの回答を得ることで、更なる市民ニーズの把握に努めます。 ・SDGsの視点を取り入れた「若者チャレンジ松阪創造事業」を実施し、参加者同士の対話を通して「サステナブル」「魅力発信」「課題解決」につなげます。 ・地域別の就業構造に関する基礎資料を得ることを目的に5年ごとに実施される、就業構造基本調査を事故等に十分注意し実施します。 | | | |

【経営企画課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | 令和4年度 | | | | |
|-----|----------------|------|----------|----------|--------------------|-------|-------|----------|--------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | |
| 1 | 定住自立圏構想推進事業費 | 7-① | 369 | 279 | 具体的取組の平均進捗率 | | | 350 | 具体的取組の平均進捗率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 50.0% | 50.0% | S | | 62.5% | | |
| 2 | 松阪市政推進会議事業費 | 7-① | 806 | 468 | 市政に対する提案および改善案の実行数 | | | 648 | 市政に対する提案および改善案の実行数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 3件 | 3件 | A | | 3件 | | |
| 3 | 総合計画策定事業費 | 7-① | 4,743 | 2,889 | 各施策の平均達成度 | | | 5,387 | 各施策の平均達成度 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 50.0% | 41.6% | B | | 62.5% | | |
| 4 | 若者チャレンジ松阪創造事業費 | 7-① | 385 | 89 | 平均参加人数 | | | 362 | 平均参加人数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 15人 | 11人 | B | | 15人 | | |
| 5 | 出会いサポート事業費 | 7-② | 517 | 338 | 事業参加人数 | | | 終了 | 事業参加人数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 60人 | 34人 | C | | | | |
| 6 | 企画一般経費 | 7-② | 1,155 | 899 | 各施策の平均達成度 | | | 3,568 | 各施策の平均達成度 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 50.0% | 41.6% | B | | 62.5% | | |
| 7 | 統計調査一般経費 | 7-② | 2,712 | 2,712 | 調査員の登録数 | | | 2,771 | 調査員の登録数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 155人 | 162人 | S | | 162人 | | |
| 8 | 各種基幹統計調査事業費 | 7-② | 9,958 | 8,446 | 調査員の登録数 | | | 4,505 | 調査員の登録数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 155人 | 162人 | S | | 162人 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 市政改革課 | 作成者（評価者） | 課長 中井 弘明 |
|---|---------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 7-① 行政サービスの充実 | | |
| | 7-③ 公民連携の推進 | | |
| | 7-⑤ 健全な財政運営 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>市政改革課は、「改革DX係」と「施設マネジメント係」の2係で構成し、「事務事業の見直し」、「DXの推進」、「公民連携」、「組織の見直し」等の市役所内部の行財政改革や、市が保有する公共施設の「適正配置」、「長寿命化」、「有効活用」等を主導します。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員アワード表彰のグッドアイデア部門として職員提案を募集し、16件の提案を受け付け、うち5提案について、令和3年度での取り組みや令和4年度への予算化に繋がりました。 ・共創デスクを通じて民間事業者から20件の提案を受け付け、関係部局に展開し、前年度からの継続案件も含め、5提案を具体的な連携協力で結びつけ、うち2事業者と連携協定の締結を行いました。 ・会議録の作成事務を効率化するため、会議音声を自動でテキスト化する会議録作成支援システムの構築・導入を行い、職員の作業量を使用前に比べて約37%縮減しました。 ・公共施設の用途廃止や民間事業者等への売却・譲渡・貸付、指定管理者制度の導入などに関して、各施設所管課のサポートを行い、宿泊施設スモールやグループホームいいかなどの運営方法の見直しに繋がりました。 ・松阪市公共施設等総合管理計画の改訂を行い、課題となっていた延べ床面積の削減を指標とする目標をライフサイクルコストの削減を指標とする目標へと見直しました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部局の業務量が減少しておらず、業務の見直しや業務負担を軽減する工夫やその手法について、より具体的な提案や各部局へのサポートが求められています。 ・総合管理計画の改訂を行いました。ライフサイクルコストの捉え方に関しては、まだまだ議論する余地が残されています。令和7年度の大改訂に向けて、データの蓄積・精査と検証を継続して行っていく必要があります。 ・新型コロナウイルスのため、予定していた職員研修の実施を見送ったり、課職員のセミナー参加や先進地視察等が減少しました。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・DX推進計画（仮称）を策定するとともに、オンライン申請、公開型GIS（地理情報システム）、RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）などのデジタル技術の導入に取り組み、市民の利便性向上と職員の業務負担の軽減に努めます。 ・デジタル技術の導入を進めていくため、各部局の職員にデジタル技術の利便性や可能性をわかりやすく伝えるとともに、導入時の適切なサポートに努めます。 ・コミュニティーセンター化や重層的支援体制の構築を踏まえ、本庁と地域振興局・出張所などの役割分担や機能のあり方について検討を行います。 ・指定管理者の更新や公共施設の今後の在り方について、関係部局との横断的な検討や施設所管課への支援を行い、市民の利便性向上とライフサイクルコストの低減に努めます。 | | | |

【市政改革課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------|------|----------|----------|------------------|----------|------|--------|------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 行財政改革推進事業費 | 7-① | 3,085 | 2,194 | 行革取組みを実施した所属割合 | | | 1,063 | 行革取組みを実施した所属割合 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 80.0% | 100.0% | S | | 80.0% | | |
| 2 | 公共施設マネジメント推進事業費 | 4-① | 6,707 | 5,479 | 公共施設トータルコスト削減施設数 | | | 6,645 | 公共施設トータルコスト削減施設数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 7件 | 10件 | S | | 10件 | | |
| 3 | 公共施設点検管理事業費 | 7-⑤ | 28,995 | 20,845 | 質の高い点検調査の実施 | | | 39,173 | 質の高い点検調査の実施 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 39施設 | 39施設 | S | | 71施設 | | |
| 4 | DX推進事業費 | 7-② | 0 | 0 | - | | | 21,511 | 行政手続のオンライン申請化数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 27申請 | | |

【市政改革課】事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-------------------------|------|----------|----------|------------------|----------|------|---|------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 「市民のための市役所」に向けた組織のあり方検討 | 7-① | / | / | 検討課題に対する取組割合 | | | / | 検討課題に対する取組割合 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 2 | 「民間活力の導入」の推進 | 7-③ | / | / | 新規民間活力導入事業数 | | | / | 新規民間活力導入事業数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1件 | 1件 | S | | 1件 | | |
| 3 | 有料広告事業等の推進 | 7-⑤ | / | / | 広告等媒体数 | | | / | 広告等媒体数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 15件 | 14件 | A | | 15件 | | |
| 4 | 「公共施設マネジメント」に関する職員研修の実施 | 7-⑤ | / | / | 公共施設マネジメント研修の理解度 | | | / | 公共施設マネジメント研修の理解度 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 80.0% | - | - | | 80.0% | | |
| 5 | 施設カルテの更新・公表 | 7-⑤ | / | / | 施設カルテの更新・公表回数 | | | / | 施設カルテの更新・公表回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1回 | - | - | | 1回 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 情報システム課 | 作成者（評価者） | 課長 高村 直樹 |
|---|------------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 7-① 行政サービスの充実 | | |
| | 7-② 確かな行政サービスの提供 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>情報システム課は、市の根幹となる住民情報システム、庁内ネットワークシステムや市の業務に必要な各種システムに関して、市の業務に支障が出ないよう管理、運用、保守などを行っています。また、市民の方々の大切な情報資産を守るため、技術的な対応を通じて情報セキュリティ対策にも取り組んでいます。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のDX推進について将来への基本的な考え方の方向性を確定しました。 ・総務管理システム及び次期グループウェアの更改に取り組みました。 ・職員用PCを年間を通して1900台貸与しました。 ・Web会議を実施しやすいよう5階特別会議室などの環境整備を行いました。 ・庁内ネットワークの環境を産業振興センターに拡大し無線LAN構築しました。 ・社会保障・税番号制度システムを改修し、利便性を向上させました。 ・アンケート・申請申込フォームツールやビジネスチャットツールを部分導入しました。 ・テレワークシステムの実証を行い、運用しました。 ・松阪市情報通信技術を活用した行政の推進に関する条例を制定しました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民の利便性がより向上するように、更にオンライン化を推し進めていきます。 ・ウィズコロナのワークスタイルをより利便性の高い職場とするための環境を目指します。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・庁内ネットワークの更改に取り組みます。 ・基幹系システムの標準化共通化対応を進めます。 ・基幹系システム外部リモートシステムの導入及び運用を行います。 ・オンライン化（ぴったりサービス）の手続きを可能にします。 ・スキャンデータ管理システムの導入及び運用を行います。 ・アンケート・申請申込フォームツールやビジネスチャットツールを本格運用していきます。 ・庁内の新システム導入や業務支援を行います。 | | | |

【情報システム課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------------|------|----------|---------|---------------------|-------|------|---------|---------------------|----|------|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 活動指標 | | | |
| 1 | 庁内OA化推進事業費 | 7-② | 101,423 | 104,214 | 職員用パソコン貸与数 | | | 112,345 | 職員用パソコン貸与数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1930台 | 1930台 | S | | 1980台 | | | | | |
| 2 | システム管理事業費 | 7-② | 191,187 | 191,187 | システムダウンタイム | | | 223,114 | システムダウンタイム | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | ゼロ | 0.01% | S | | ゼロ | | | | | |
| 3 | 庁内ネットワーク管理事業費 | 7-② | 227,050 | 218,794 | システムダウンタイム | | | 206,947 | システムダウンタイム | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | ゼロ | 0.01% | S | | ゼロ | | | | | |
| 4 | 情報化推進事業費 | 7-① | 3,383 | 3,383 | 情報化推進委員会等の開催 | | | 30,464 | 情報化推進委員会等の開催 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 2回 | 1回 | C | | 2回 | | | | | |
| 5 | 社会保障・税番号制度システム改修事業費 | 7-① | 9,998 | 16,070 | システムの改修 | | | 9,874 | システムの改修 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 2件 | 3件 | S | | 1件 | | | | | |
| 6 | プリンタ等統合事業費 | 7-② | 4,294 | 4,129 | 高機能複合機等の保守 | | | 5,108 | 高機能複合機等の保守 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 33台 | 33台 | S | | 33台 | | | | | |
| 7 | 総務管理システム更新事業費 | 7-② | 0 | 0 | - | | | 95,708 | 各システム更新切替時の安定稼働率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 100.0% | | | | | |
| 8 | IT推進一般経費 | 7-② | 6,271 | 6,271 | セミナー、研修会等への参加回数(延べ) | | | 3,035 | セミナー、研修会等への参加回数(延べ) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 10回 | 41回 | S | | 10回 | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 地域づくり連携課 | 作成者（評価者） | 課長 蒲原 智之 |
|---|--------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 4-① 市民活動の推進 | | |
| | 4-② 中山間地域の振興 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>地域づくり連携課は、地域の特性を生かした住民主体の自律的なまちづくりを推進しています。そのために住民自治協議会や自治会等の地縁団体、市民活動団体の支援をはじめ、これらの地域団体と企業、行政が連携・協働するまちづくりに取り組んでいます。また、少子高齢化や人口減少が進む中山間地域を活性化する取り組みの一つとして移住促進の取り組みを進めています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区市民センターや公民館などの公共施設のコミュニティセンター化について各部局と協議を行い、今後の方向性を住民自治協議会等に報告できました。 ・令和3年4月に新しく松阪市地域づくり組織条例が施行され、全市域に43の住民自治協議会を設置することができました。また、市民アンケートにおいて住民自治協議会の認知度や参加率が向上しました。 ・鎌中地域交流センターを拠点として、地域（鎌田中学校区：第四・港・第一）と学校の連携支援を行うことができました。 ・花岡地区市民センターの自転車駐車場の改修工事を行いました。 ・地域おこし協力隊がSNSを活用して情報発信件数を大幅に増やすなど、地域の情報を多くの方に伝えることができました。 ・田舎暮らしと温泉が楽しめるサテライトオフィスの稼働率が100%に達しました。また、移住促進については各地域振興局と連携した取り組みによって空家バンクの成約世帯数が目標数値に達しました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <p>移住支援補助金の利用がありませんでした。今後、補助金の周知を図っていく必要があります。</p> | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・住民自治協議会が指定管理者となり、地域の活動拠点として活用できるコミュニティセンターの制度を確立していきます。 ・重層的支援の体制整備とコミュニティセンター化を関係部局と連携し、一体的な取り組みとして推進します。 ・地区市民センターの改修を計画的に行い、市民が利用しやすい施設に改善します。 ・空家の登録件数を増やすため空家バンク制度の一部見直しを行い、空家の確保を図るとともに、子育て世帯の新規移住を中心とする移住促進を進めます。 | | | |

【地域づくり連携課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------------------|------|----------|----------|---------------------------|----------|------|---------|---------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 地域マネジメント推進事業費 | 4-① | 1,626 | 920 | 市民アンケートにおける「住民自治協議会」の認知度 | | | 1,626 | 市民アンケートにおける「住民自治協議会」の認知度 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 71.5% | 66.4% | A | | 75.5% | | |
| 2 | 地区集会所建設補助金 | 4-① | 17,496 | 8,996 | 補助メニューに対する満足度 | | | 14,540 | 補助メニューに対する満足度 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 80.0% | 100% | S | | 80.0% | | |
| 3 | 広報活動交付金 | 4-① | 0 | 0 | - | | | 136,144 | 年3回の適正交付 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 3回/年 | | |
| 4 | 住民自治協議会活動交付金 | 4-① | 97,707 | 95,121 | 市民アンケートにおける「住民自治協議会」への参加率 | | | 108,764 | 市民アンケートにおける「住民自治協議会」への参加率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 30.7% | 48.4% | S | | 35.5% | | |
| 5 | 地域の元気応援事業市民活動サポート補助金 | 4-① | 1,000 | 379 | 市民活動サポート部門の応募数 | | | 550 | 市民活動サポート部門の応募数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 6団体 | 5団体 | B | | 6団体 | | |
| 6 | 過疎地域移住定住土地活用事業費 | 4-② | 0 | 0 | - | | | 39,152 | 地域との検討会の回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 2回/年 | | |
| 7 | 市民活動センター管理運営事業費 | 4-① | 21,203 | 21,203 | 市民活動センターの登録団体数 | | | 21,703 | 市民活動センターの登録団体数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 500団体 | 490団体 | A | | 500団体 | | |
| 8 | 市民活動センター施設整備事業費 | 4-① | 917 | 297 | 市民活動センターのLED化 | | | 0 | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 80.0% | 84.8% | S | | - | | |
| 9 | 指定管理者選定委員会事業費 | 4-① | 0 | 0 | - | | | 182 | 指定管理者選定委員会の開催件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 4回 | | |
| 10 | 地域づくり連携一般経費 | 4-① | 2,394 | 2,351 | ペーパーレス化 用紙の削減(コピーカウント料) | | | 2,529 | ペーパーレス化 用紙の削減 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 60,000枚 | 54,441枚 | S | | 55,000枚 | | |
| 11 | コミュニティ助成事業補助金 | 4-① | 18,800 | 17,500 | コミュニティ助成事業への応募団体数 | | | 8,600 | コミュニティ助成事業への応募団体数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 10団体 | 4団体 | D | | 5団体 | | |
| 12 | 空家バンク活用補助金 | 4-② | 3,400 | 3,400 | メディアや会議等を通じた広報活動の実施 | | | 5,500 | メディアや会議等を通じた広報活動の実施 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 5回 | 10回 | S | | 5回 | | |
| 13 | 地域おこし協力隊活動事業費 | 4-② | 6,180 | 6,180 | SNS等での情報発信件数 | | | 7,380 | SNS等での情報発信件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 250回/年 | 400回/年 | S | | 250回/年 | | |
| 14 | 地域おこし協力隊活動補助金 | 4-② | 5,000 | 5,000 | 移住定住を促進するイベントの実施 | | | 6,000 | 移住定住を促進するイベントの実施 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 3回/年 | 20回/年 | S | | 3回/年 | | |
| 15 | 移住支援補助金 | 4-② | 2,244 | 2,244 | 移住支援補助金の利用件数 | | | 2,244 | 移住支援補助金の利用件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 3組 | 0組 | E | | 3組 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------------------|------|----------|----------|---------------|----------|------|--------|---------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 16 | 田舎暮らしと温泉が楽しめるサテライトオフィス推進事業費 | 4-② | 1,216 | 1,216 | レンタルオフィスの稼働率 | | | 1,216 | レンタルオフィスの稼働率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 60.0% | 100% | S | | 60.0% | | |
| 17 | 松阪市住民自治協議会連合会運営交付金 | 4-① | 11,100 | 11,100 | 事業の実施率 | | | 11,100 | 事業の実施率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 91.1% | A | | 100.0% | | |
| 18 | 地区市民センター管理運営事業費 | 4-① | 91,658 | 90,139 | 地区市民センター利用件数 | | | 93,359 | 地区市民センター利用件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 10,000件 | 7,958件 | B | | 10,000件 | | |
| 19 | 地区市民センター施設整備事業費 | 4-① | 3,135 | 3,135 | 整備計画における施設の改修 | | | 25,968 | 整備計画における施設の改修 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1件 | 1件 | S | | 1件 | | |

【地域づくり連携課】 事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------|------|----------|----------|----------------|----------|------|---|----------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 地域交流センター | 4-① | / | / | 地域と学校が連携した取り組み | | | / | 地域と学校が連携した取り組み | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 10回 | 15回 | S | | 10回 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 嬉野地域振興局 | 作成者（評価者） | 局長 谷川 英次 |
|---|---------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 4-① 市民活動の推進 | | |
| | 4-② 中山間地域の振興 | | |
| | 7-① 行政サービスの充実 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>嬉野地域振興局は管内の行政サービスと防災の拠点です。各住民自治協議会の「地域計画」実現に向け、地域や市民団体との連携・協働に取り組んでいます。また、中山間地域である嬉野宇気郷、中郷地区では、人口減少対策のための移住促進、中川地区では都市化に伴う地域コミュニティ機能の脆弱対策、中原地区では浸水対策など、各地区が抱える多様な課題の解決に向け、地域や防災関係団体、関係課等と連携し、各地域振興局や関係部局と情報共有を図り、安全・安心なまちづくりに取り組んでいます。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民サービス向上を検討する嬉野三雲連携会議を12回開催し、災害対策や振興局のあり方などについて協議・情報共有を行いました。 ・嬉野管内独自の振興局日より「うれし伝」を12回発行し、管内の様々な行事や活動紹介など定期的に情報発信を行いました。 ・地域活性化事業については、新型コロナウイルス感染症拡大防止により各種イベントが中止となるなか、八田城山公園及び宇気郷やまゆりの保存整備事業と、文化祭の作品展示部門を実施し、後者においては目標を上回る見学者がありました。今後も引き続き新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、地域と協働し事業実施を目指します。 ・地域資源の整備については、八田城山公園付近の環境整備、やまゆり自生地の獣害防護柵の設置、地域案内板の塗替・建替、鷗尾1/2モニュメントの案内看板設置、髯山遊歩道の環境整備及びベンチの設置等を実施し、魅力アップに努めました。 ・地域づくり連携課及び飯南・飯高地域振興局と連携して移住促進に取り組み、空家バンク成約の目標値を達成しました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中川新町地域交流センターについては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴うまん延防止等重点措置、緊急事態宣言等で9月は1ヶ月間貸館停止としたことから目標が達成出来ませんでした。今後も引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながら、利用の促進を図ります。 ・中山間地域活性化事業については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い多くのイベントが中止となり、集客人数の確保ができませんでした。今後も引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止に留意しながら、地域の活性化につながる資源の整備等を行ってまいります。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・地域おこし協力隊、地域づくり連携課、飯南・飯高地域振興局と連携し、中山間地域の活性化・移住促進を進めていきます。 ・地域資源の整備を各住民自治協議会と協働して進めるとともに、活用方針を定めて魅力化を図り、情報発信を強化するなど、地域資源の観光資源化を進めます。 ・市民サービス向上に向けて、三雲地域振興局との情報共有と連携を図ります。 ・重層的支援体制整備事業のモデル地区となり、地域住民課に「福祉まるごと相談室」を設置し、各関係機関と連携しながら問題の解決に向けて相談者や地域の方々とともに考えていく包括的な支援体制を構築していきます。 | | | |

【嬉野地域振興課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------------|------|----------|----------|-----------------------------|----------|------|--------|-----------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 嬉野地域振興局管理運営事業費 | 7-① | 34,292 | 33,617 | 市民サービスの向上を検討する嬉野三雲連携会議の開催回数 | | | 34,292 | 市民サービスの向上を検討する嬉野三雲連携会議の開催回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | |
| 2 | 嬉野地域振興局施設整備事業費 | 7-① | 0 | 0 | - | | | 3,475 | 事業の進捗管理回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 3回以上 | | |
| 3 | 地域活性化事業費 | 4-① | 16,409 | 930 | イベント参加者数(3事業) | | | 16,740 | イベント参加者数(13事業) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 3,700人 | 4,402人 | S | | 30,000人 | | |
| 4 | 中山間地域活性化事業補助金 | 4-② | 7,114 | 2,621 | イベント参加者数(9事業) | | | 7,112 | イベント参加者数(19事業) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 6,230人 | 6,164人 | A | | 13,000人 | | |
| 5 | 中川新町地域交流センター施設整備事業費 | 7-① | 0 | 0 | - | | | 2,849 | 事業の進捗管理回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 3回以上 | | |
| 6 | 中川新町地域交流センター管理運営事業費 | 7-① | 5,387 | 5,065 | 交流センター利用者数 | | | 7,805 | 交流センター利用者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 7,400人 | 5,796人 | B | | 8,200人 | | |
| 7 | 地域集会所管理事業費 | 4-① | 522 | 847 | 地域集会所の耐震診断、修繕 | | | 452 | 地域集会所の耐震診断、修繕 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 7カ所 | 5カ所 | B | | 7カ所 | | |

【嬉野地域振興課】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------------|------|----------|----------|---------------------|----------|------|---|----------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 三雲地域振興局との情報共有と連携の推進 | 7-① | / | / | 連携会議開催回数 | | | / | 連携会議開催回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | |
| 2 | 嬉野管内独自の広報誌「うれし伝」の発行 | 7-④ | / | / | 広報誌発行回数 | | | / | 広報誌発行回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | |
| 3 | 笑顔と健康わくわくまつりの活性化 | 2-① | / | / | 新型コロナウイルス感染症対策により中止 | | | / | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | - | | |
| 4 | うれしのを美しくする運動の活性化 | 6-② | / | / | 参加者数 | | | / | 参加者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 5,000人以上 | 4,776人 | A | | 5,000人以上 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|--|---------------|----------|----------|
| 組織名 | 三雲地域振興局 | 作成者（評価者） | 局長 荒川 浩和 |
| 関係する『総合計画』施策 | 4-① 市民活動の推進 | | |
| | 7-① 行政サービスの充実 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>三雲地域振興局は、各種手続きなどの行政サービスの提供と地域の安全を守る防災対策を行う拠点であり、2階には三雲天白公民館も併設され、生涯学習活動の拠点ともなっています。また、三雲管内の4つの住民自治協議会の運営や活動を支援するとともに、協働して地域づくりや地域振興に取り組んでいます。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民サービス向上を検討する嬉野三雲連携会議を目標の12回を実施し、災害対策や連携するイベントなどについて検討及び情報共有を行いました。 ・市民サービスに影響しないよう、給水設備（受水槽）の修繕を適正に行いました。 ・書かない窓口を円滑に開始することができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大の影響により武四郎まつりを開催することができませんでした。今後の状況を鑑みながら開催できるよう、感染防止対策とイベント内容を検討する必要があります。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・住民自治協議会との情報共有を図り、運営や活動の支援の充実を図ります。 ・書かない窓口の円滑な運用など、さらなる市民サービスの向上について検証及び検討を行い、嬉野地域振興局や関係部局との情報共有と連携に努めます。 ・庁舎を適切に管理運営するため、老朽化した高圧受電設備の修繕を行います。 ・地域の交流や活性化を図るため、郷土の偉人である松浦武四郎を顕彰する武四郎まつりなど、地域の資源を活かした催しを地域と協働して開催します。 | | | |

【三雲地域振興課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------------|------|----------|----------|----------------------------|----------|------|--------|----------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 三雲地域振興局管理運営事業費 | 7-① | 22,011 | 21,898 | 市民サービス向上を検討する嬉野三雲連携会議の開催回数 | | | 22,352 | 市民サービス向上を検討する嬉野三雲連携会議の開催回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | |
| 2 | 三雲地域振興局施設整備事業費 | 7-① | 4,400 | 3,332 | 年度内の工事進捗率 | | | 3,228 | 年度内の工事進捗率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |

【三雲地域振興課】事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------------------------|------|----------|----------|---|----------|------|---|---|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 三雲管内独自の振興局だより「みくも」を年12回発行 | 7-④ | / | / | 月1回の発行 | | | / | 月1回の発行 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | |
| 2 | 各地域の団体（住民自治協議会、自治会、消防団等）との連携・協力体制 | 4-① | / | / | 各団体との連携のための会議等への出席回数（住民自治協議会、自治会、消防団、その他団体） | | | / | 各団体との連携のための会議等への出席回数（住民自治協議会、自治会、消防団、その他団体） | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 20回以上 | 30回 | S | | 20回以上 | | |
| 3 | 地域活性化事業として「武四郎まつり」等を開催 | 4-④ | / | / | 武四郎まつりの参加者数 | | | / | 武四郎まつりの参加者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 6,500人以上 | - | - | | 4,000人以上 | | |
| 4 | 嬉野地域振興局との情報共有と連携の推進 | 7-① | / | / | 連携の打合せ回数 | | | / | 連携の打合せ回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 飯南地域振興局 | 作成者（評価者） | 局長 池田 肇 |
|--|---------------|----------|---------|
| 関係する『総合計画』施策 | 4-① 市民活動の推進 | | |
| | 4-② 中山間地域の振興 | | |
| | 7-① 行政サービスの充実 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>飯南地域振興局は管内の行政サービスと防災の拠点です。人口減少、少子高齢化という過疎地域特有の課題解決のため、飯高地域振興局及び関係機関との情報共有を図り、観光交流人口や関係人口、移住人口を増加させていくことを柱に各種の事業に取り組んでいます。また、地域と連携・協働しながら、地域住民の活動と地域経済の活性化、安全・安心な暮らしの確保、文化の継承などの事業に取り組んでいます。さらに、地域を担う人材を育成する飯南高等学校の活性化と魅力化に向けた取組を支援しています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯高地域振興局と連携し、観光交流人口の増加、関係人口の創出を目的に、香肌峡県立自然公園やまつさか香肌イレブンの魅力を広く発信するとともに、安全に登山を楽しめるよう登山道の点検と整備を行い、登山やカヌーなどの自然体験イベントを実施しました。 ・令和3年度を初年度とする「過疎地域持続的発展計画」を関係各課とともに策定しました。また、計画の実現に向けた取り組みについて過疎地域の持続的発展を考える会とともに検討を行いました。 ・飯南高校の魅力化と活性化を図り、地域を担う人材を育成するため、地域とともに活動を支援しました。 ・地域づくり連携課と連携して移住促進に取り組み、空家バンク成約の目標値を達成しました。 ・住民自治協議会会長会議を定期的開催して情報共有を図り、住民協議会活動を支援して地域づくり活動を推進しました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の事業については概ね目標値を達成することができましたが、香肌峡県立自然公園への誘客や知名度向上を図るための情報発信についてさらに工夫をしていく必要があります。 ・飯南高校に県外生徒を受け入れる下宿については2件の協力を得られていますが、令和4年度の県外生徒の入学を実現することはできませんでした。今後も県外生徒の受け入れに向けて地域と連携し、飯南高校のPRに努めるとともに魅力化と活性化の支援に努めます。 ・移住者を受け入れる空家の確保が課題となっています。地域及び地域づくり連携課と連携して空家バンクへの登録物件を増やしていく必要があります。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・飯高地域振興局と連携し、香肌峡県立自然公園の自然等、豊かな地域資源を生かし観光交流人口の増加を図るため、「まつさか香肌イレブン」プロジェクトを進めるとともに、アプリを活用するなど更なる知名度向上に努めます。 ・過疎地域の活性化を図るための事業を盛り込んだ「過疎地域持続的発展計画」の実現や過疎地域の活性化に向けて、過疎地域の持続的発展を考える会との検討を継続していきます。 ・飯南高校の魅力化と活性化、地域を担う人材育成のため、地域みらい留学など飯南高校の魅力化等にかかるクラウドファンディングへの取り組みなど、地域と連携・協力して引き続き支援を行うとともに、県外生徒募集に係る生徒受入れ家庭の確保に努めます。 ・住民自治協議会との情報共有を図り、運営や活動の支援の充実を図ります。 ・リバーサイド茶倉及び茶倉駅の運営管理について、サウンディングで提案された案をもとに検討を行い、より効果的で効率的に運営する施設の運営管理者を選定します。 | | | |

【飯南地域振興課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | 令和4年度 | | | | |
|-----|---------------------|------|----------|----------|---------------------|-------|----|----------|---------------------|----|----|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | |
| 1 | 飯南地域振興局管理運営事業費 | 7-① | 37,295 | 37,273 | 飯南飯高連携会議の開催 | | | 23,085 | 飯南飯高連携会議の開催 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | | |
| 2 | 飯南産業文化センター管理運営事業費 | 7-① | 12,234 | 11,648 | 会館利用率(部屋、利用時間帯から算出) | | | 12,282 | 会館利用率(部屋、利用時間帯から算出) | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 25.0% | 13.0% | C | | 25.0% | | | |
| 3 | 飯南産業文化センター施設整備事業費 | 7-① | 0 | 0 | - | | | 1,661 | 計画、契約、着工、施工、完成時の確認 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | - | - | - | | 5回 | | | |
| 4 | 飯南コミュニティセンター管理事業費 | 7-① | 1,727 | 1,727 | 庁内の整理整頓とチェック | | | 1,727 | 庁内の整理整頓とチェック | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | | |
| 5 | 飯南コミュニティセンター施設整備事業費 | 7-① | 0 | 0 | - | | | 3,410 | 計画、契約、着工、施工、完成時の確認 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | - | - | - | | 5回 | | | |
| 6 | 出張所管理事業費 | 7-① | 11,898 | 11,898 | 飯南飯高連携会議の開催 | | | 12,085 | 飯南飯高連携会議の開催 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | | |
| 7 | 過疎地域交流施設管理運営事業費 | 4-② | 4,668 | 4,668 | 半期ごとの点検 | | | 4,544 | 半期ごとの点検 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 2回 | 2回 | S | | 2回 | | | |
| 8 | 過疎地域魅力アップ推進事業費 | 4-② | 1,458 | 2,758 | 4半期ごとの工程管理 | | | 6,571 | 4半期ごとの工程管理 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 4回 | 4回 | S | | 4回 | | | |
| 9 | 田舎暮らし交流移住促進事業費 | 4-② | 3,476 | 2,712 | 調整企画会議と進捗管理 | | | 5,024 | 調整企画会議と進捗管理 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | | |

【飯南地域振興課】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | 令和4年度 | | | | |
|-----|---------------------|------|----------|----------|--------------------|-----|----|----------|--------------------|----|----|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | |
| 1 | 飯南かわら版の発行 | 7-④ | / | / | 毎月発行 | | | / | 毎月発行 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | | |
| 2 | 過疎地域の持続的発展を考える会 | 4-② | / | / | 会議の開催 | | | / | 会議の開催 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 2回 | 2回 | S | | 2回 | | | |
| 3 | 飯高地域振興局との情報共有と連携の推進 | 7-① | / | / | 連携会議の開催 | | | / | 連携会議の開催 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | | |
| 4 | 飯南高校活性化のための検討 | 4-② | / | / | 連携及び支援強化のため定例会議を開催 | | | / | 連携及び支援強化のための会議への参加 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 6回 | 6回 | S | | 6回 | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 飯高地域振興局 | 作成者（評価者） | 局長 村林 由美子 |
|---|---------------|----------|-----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 4-① 市民活動の推進 | | |
| | 4-② 中山間地域の振興 | | |
| | 7-① 行政サービスの充実 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>飯高地域振興局管内は市面積の約4割という広範囲な行政エリアを有し、その9割以上を山林が占める中山間地域で、地域振興局と3つの出張所が行政サービス及び防災の拠点となっています。人口減少、少子高齢化が著しく進み、集落機能や生活環境の維持、防災対策などの課題に取り組むとともに、飯南地域振興局と連携して、豊かな自然や歴史文化などの地域資源を活用し、交流人口や関係人口、移住・定住者の増加に繋げられるよう地域の活性化に取り組んでいます。さらに、地域を担う人材を育成するため飯南高等学校の活性化と魅力化に向けた取り組みを支援しています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飯南地域振興局と連携し、観光交流人口の増加、関係人口の創出を目的に、香肌峡県立自然公園やまつさか香肌イレブンの魅力を広く発信するとともに、安全に登山を楽しめるよう登山道の点検と整備を行い、登山やカヌーなどの自然体験イベントを実施しました。 ・令和3年度を初年度とする「過疎地域持続的発展計画」を関係各課とともに策定しました。また、計画の実現に向けた取り組みについて過疎地域の持続的発展を考える会とともに検討を行いました。 ・観光交流連携協定を締結している東吉野村と宇陀市と共同で観光P R ポスターを作成しました。 ・飯南高校の魅力化と活性化を図り、地域を担う人材を育成するため、地域とともに活動を支援しました。 ・地域づくり連携課と連携して移住促進に取り組み、空家バンク成約の目標値を達成しました。 ・住民自治協議会の運営や活動を積極的に支援し、地域活動の推進を図りました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染拡大防止のため香肌峡ふれあいフェスティバルを中止しましたが、今年度は開催に向けてイベントの内容及び感染防止対策を検討します。 ・山の日の登山道巡視と山岳救助隊の訓練は悪天候のため中止しましたが、今後も山岳遭難防止の啓発と事案発生時の迅速な捜索活動ができるよう関係者との情報共有や連携を密に行います。 ・飯南高校に県外生徒を受け入れる下宿については2件の協力を得られていますが、令和4年度の県外生徒の入学を実現することはできませんでした。今後も県外生徒の受け入れに向けて地域と連携し、飯南高校のP Rに努めるとともに魅力化と活性化の支援に努めます。 ・移住者を受け入れる空家の確保が課題となっています。地域及び地域づくり連携課と連携して空家バンクへの登録物件を増やしていく必要があります。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・飯南地域振興局と連携し、まつさか香肌イレブンを活用するトレイルランニング大会の開催に向けた準備などを進めます。また、地域の魅力の情報発信に努めるとともに、登山地図アプリの活用や自然体験イベントを通じて地域の知名度アップを図り、香肌峡エリアへの誘客及び観光施設の利用者増につなげていきます。 ・過疎地域の活性化を図るための事業を盛り込んだ「過疎地域持続的発展計画」の実現や過疎地域の活性化に向けて、過疎地域の持続的発展を考える会との検討を継続していきます。 ・地域おこし協力隊、地域づくり連携課、嬉野・飯南地域振興局と連携し、移住促進及び中山間地域の活性化を進めていきます。 ・住民自治協議会との情報共有を図り、運営や活動の支援の充実に努めます。 ・飯南高校の魅力化と活性化、地域を担う人材育成のため、地域みらい留学など飯南高校の魅力化等にかかるクラウドファンディングへの取り組みなど、地域と連携・協力して引き続き支援を行うとともに、県外生徒募集に係る生徒受入れ家庭の確保に努めます。 ・「福祉まるごと相談室」のモデル地区として、その取り組みを検証しながら重層的な支援体制を構築していきます。 ・飯高地域振興局庁舎の屋上防水工事に合わせて、太陽光発電設備の導入を図り、カーボンニュートラルを推進します。 | | | |

【飯高地域振興課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------|------|----------|----------|--------------------------|----------|------|---------|--------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 飯高地域振興局管理運営事業費 | 7-① | 30,949 | 31,826 | 市民サービス向上を検討する飯南飯高連携会議の開催 | | | 36,119 | 市民サービス向上を検討する飯南飯高連携会議の開催 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | |
| 2 | 飯高山岳救助隊支援事業補助金 | 4-② | 236 | 236 | 登山道巡視等活動回数 | | | 236 | 登山道巡視等活動回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 5回 | 4回 | A | | 5回 | | |
| 3 | 飯高地域振興局施設整備事業費 | 7-① | 43,065 | 43,065 | 施設整備の進捗管理 | | | 127,753 | 施設整備の進捗管理 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 4回 | 4回 | S | | 4回 | | |
| 4 | 飯高総合開発センター管理事業費 | 7-① | 6,740 | 7,665 | 庁舎内の整理整頓とチェック | | | 6,676 | 庁舎内の整理整頓とチェック | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | |

【飯高地域振興課】事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|------------------------------|------|----------|----------|--------------------|----------|------|---|--------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 出張所（川俣、森、波瀬）業務の効率化 | 7-① | / | / | 局内ワーキングの開催 | | | / | 局内ワーキングの開催 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 6回 | 11回 | S | | 6回 | | |
| 2 | 地域活性化事業 香肌峡ふれあいフェスティバルの開催 | 4-② | / | / | 参加者数 | | | / | 参加者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 500人 | 中止 | - | | 500人 | | |
| 3 | 過疎地域の持続的発展を考える会 | 4-② | / | / | 会議の開催 | | | / | 会議の開催 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2回 | 2回 | S | | 2回 | | |
| 4 | 飯高管内独自の振興局だより「飯高とときだより」の発行 | 7-④ | / | / | 年12回発行 | | | / | 年12回発行 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | |
| 5 | 飯南地域振興局との情報共有と連携の推進 | 7-① | / | / | 連携会議の開催 | | | / | 連携会議の開催 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | |
| 6 | 飯南高校活性化のための検討及び支援 | 4-② | / | / | 連携及び支援強化のため定例会議を開催 | | | / | 連携及び支援強化のため定例会議を開催 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 6回 | 6回 | S | | 6回 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 総務課 | 作成者（評価者） | 課長 田中 靖 |
|---|---------------|----------|---------|
| 関係する『総合計画』施策 | 7-① 行政サービスの充実 | | |
| | 7-④ 市民との情報共有 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>総務課は条例、規則、規程、要綱などの制定や改正、市の業務における法務相談など、市の事務・事業に関連する法務全般について支援しています。</p> <p>また、市の事務・事業に関し市民への説明責任を明らかにし、市民の市政へ理解と信頼を深めるための情報公開制度の推進や、市の取り扱う個人情報の適正な管理・保護に関する業務を行っています。</p> <p>そのほか、社会に有益な人材の育成を目的とする給付型の奨学金の給付、市の文書の保管・收受・発送及び各課からの依頼による印刷業務並びに公平委員会、固定資産評価審査委員会及び行政不服審査委員会事務局などの事務も担っています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大学奨学金を給付し、将来の有益な人材育成に寄与しました。 ・ 情報公開を進め、開かれた市政に寄与しました。 ・ 弁護士法務相談を実施し、45件の政策決定に寄与しました。 ・ 情報公開並びに個人情報保護に関する研修会を開催し、令和4年度の制度改正に備えました。 ・ 条例、規則等の改正に係る相談、助言、指導にあたり、適正な法令事務を執行しました。 ・ 庁内外宛ての文書等を適切かつ正確に発送、收受すると共に、保管状況を保ちました。 ・ 各課からの依頼に応え、緊急な案件であっても可能な限り正確かつ早期に印刷し提供しました。 ・ 新型コロナ禍により、所管委員会が関係する研修会の開催形態が変更されたが、オンライン開催となったことで例年の実績より多い3人の事務局員が参加しました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナ禍により、所管委員会が関係する研修会が中止され、研修に参加することができませんでした。 ・ 「情報公開・情報提供に対する市民満足度」における数値目標が、基準の数値と比較してR3年度では「▲0.03」となりました。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 改正個人情報保護法の施行に備え、関係例規を整備します。 ・ 公平かつ公正な行政運営は、法令の正確な理解と正しい運用の下にあり、職員としての知識と理解を高めるため、法令データの正確な提供に努めます。また、さらに高度な法的対応が求められる場合、リーガルアドバイザーや顧問弁護士の適切な支援を提供します。 ・ 文書管理をはじめとして、庁内での文書印刷業務、遞送便業務など、各所属の日常業務を支える役割を着実に果たします。 ・ 情報公開制度の主旨に基づいた適正執行と並行して、情報提供範囲の拡大への取り組みによって市民満足度の向上を目指します。 | | | |

【総務課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------------|------|----------|----------|--------------------------|----------|------|--------|--------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 大学奨学金給付事業費 | 7-① | 6,193 | 6,191 | 奨学生応募者の人数 | | | 5,772 | 奨学生応募者の人数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 30人 | 39人 | S | | 30人 | | |
| 2 | 情報公開事業費 | 7-④ | 1,777 | 1,729 | 情報公開制度研修の受講職員の満足度 | | | 1,777 | 情報公開制度研修の受講職員の満足度 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 85.0% | 89.0% | S | | 85.0% | | |
| 3 | 個人情報保護事業費 | 7-④ | 297 | 212 | 個人情報保護研修会の受講職員の満足度 | | | 2,282 | 個人情報保護研修会の受講職員の満足度 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 85.0% | 89.0% | S | | 85.0% | | |
| 4 | 弁護士法務支援事業費 | 7-① | 2,003 | 2,000 | 法務相談により政策決定がなされた案件数 | | | 2,000 | 法務相談により政策決定がなされた案件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 48件 | 45件 | A | | 48件 | | |
| 5 | 文書管理事業費 | 7-① | 14,891 | 12,946 | 文書管理に関する職員研修の実施回数 | | | 14,004 | 文書管理に関する職員研修の実施回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1回 | 1回 | A | | 1回 | | |
| 6 | 行政不服審査事業費 | 7-① | 227 | 176 | 行政不服審査制度にかかる研修会の実施及び参加回数 | | | 224 | 行政不服審査制度にかかる研修会の実施及び参加回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2回 | - | - | | 2回 | | |
| 7 | 総務一般経費 | 7-① | 15,609 | 15,609 | 部局長シート「施策7-①」の令和3年度の評価 | | | 15,585 | 部局長シート「施策7-①」の令和4年度の評価 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ☆☆☆ | ☆☆☆ | A | | ☆☆☆ | | |
| 8 | 公平委員会事業費 | 7-① | 567 | 125 | 委員会及び研修会への参加回数 | | | 468 | 委員会及び研修会への参加回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 5回 | - | - | | 5回 | | |
| 9 | 固定資産評価審査委員会事業費 | 7-① | 207 | 139 | 委員会事務局員の研修参加回数 | | | 204 | 委員会事務局員の研修参加回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2回 | 3回 | S | | 2回 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 財務課 | 作成者（評価者） | 課長 中尾 珠巳 |
|---|---------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 7-④ 行政サービスの充実 | | |
| | 7-⑤ 健全な財政運営 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| 財務課は、持続可能で健全な財政運営をめざした適正な予算編成・執行管理に努めるとともに、公有財産の適正かつ効率的な管理、市民の利便性・効率性の高い庁舎機能の確保を図り、「市民に優しく親しまれる市役所づくり」の実現を目指しています。 | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・決算ベースをもとにした要求基準により、新たな手法で当初予算編成に取り組みました。また、令和3年度に引き続き、施策評価システムの施策達成度を市民意識調査結果とともに、予算への反映を行うことで、事業内容や効果を再検証する機会となりました。 ・財政状況の公表を6月と12月の年2回、広報松阪と一緒にご家庭へ届けることができました。 ・市民からの意見等への対応を協議するため、職場ミーティングを開催し、情報共有や意見交換とともに解決策を全員で考えることができました。 ・市庁舎1階ロビーに、デジタルサイネージの設置を行うとともに、職員アワードグッドアイデア部門で提案のあった公用車運転用のポータブルナビの貸出開始、トイレの案内板の改善、本庁女子トイレへの簡易ドアの設置を行いました。 ・公用車の安全運転利用を推進し、事故件数の削減に努めました。（9件→9件） ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、令和2年度に引続きカウンターや階段の手すり、ドアノブなどを定期的に消毒（清拭）し、市民が安心して来庁できる環境づくりに努めました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <p>財産管理推進委員会を2回開催しましたが、具体的な新たな遊休未利用地の活用はできませんでした。</p> | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・施策評価システムと連携し、個々の事務事業の効率性にかかる検証により、予算への反映を行います。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として引き続き、庁舎の出入口、各窓口に常時アルコール消毒液を設置するとともに、カウンターや階段の手すり、ドアノブなどを定期的に消毒（清拭）し、市民が安心して来庁できる環境づくりに努めます。 ・庁舎清掃業務として障がい者を雇用するにあたり、働きやすい職場環境の整備に努めます。 ・カーボンニュートラルの取組みとして、本庁舎等の屋上に太陽光設備、EV充電スタンドの設置、電気自動車（リース1台）の導入を行います。 | | | |

【財務課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|------------|------|----------|----------|-------------------|----------|------|---------|-------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 財政管理事業費 | 7-⑤ | 1,405 | 1,405 | 財政状況の公表 | | | 1,405 | 財政状況の公表 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2回 | 2回 | S | | 2回 | | |
| 2 | 庁舎等維持管理事業費 | 7-⑤ | 146,326 | 146,326 | 市民からの意見等への対応協議の実施 | | | 130,959 | 市民からの意見等への対応協議の実施 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 12回 | 9回 | B | | 12回 | | |
| 3 | 庁舎等整備事業費 | 7-① | 30,755 | 22,769 | R3年度予定の空調設備工事の進捗率 | | | 381,637 | R4年度予定の外壁工事の進捗率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 4 | 市有財産管理事業費 | 7-⑤ | 5,889 | 5,889 | 未利用地の処分 | | | 9,582 | 未利用地の処分 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1件以上 | 1件 | S | | 1件以上 | | |
| 5 | 車両管理事業費 | 7-⑤ | 24,209 | 24,209 | 集中管理車の事故10件未満 | | | 24,810 | 集中管理車の事故10件未満 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 9件 | 9件 | S | | 9件 | | |
| 6 | 財務書類作成事業費 | 7-⑤ | 9,618 | 9,618 | 解説項目の作成 | | | 6,970 | 解説項目の作成 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 7 | 財産管理一般経費 | 7-⑤ | 309 | 309 | 集中管理車の事故10件未満 | | | 349 | 集中管理車の事故10件未満 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 9件 | 9件 | S | | 9件 | | |

【財務課】事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------|------|----------|----------|------------|----------|------|---|------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 財産管理推進委員会 | 7-⑤ | / | / | 未利用地の活用、対策 | | | / | 未利用地の活用、対策 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2回以上 | 2回 | S | | 2回以上 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 職員課 | 作成者（評価者） | 課長 中西 章 |
|---|------------------|----------|---------|
| 関係する『総合計画』施策 | 7-① 行政サービスの充実 | | |
| | 7-② 確かな行政サービスの提供 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| 職員課は、「定員適正化方針」に沿った職員採用による人材の確保と、市民ニーズや行政課題に柔軟かつ迅速に対応できる職員の人材育成を目指しています。また、各部局の業務量に見合った適正な人員を配置に取り組みとともに、職員の健康管理にも配慮しつつ「最少の経費で最大の効果」が得られるよう努めています。 | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 職員採用においては、新たに学芸員、社会福祉士、システムエンジニア（社会人経験者）をそれぞれ新たに公募し、採用することができました。 障がい者雇用については、本庁清掃業務や文書収発業務を中心に、年度当初より会計年度任用職員を12名採用するなどし、障がい者の法定雇用率を引き上げることができました。 職員研修事業は、昨年度に引き続きコロナ禍の中で、急遽日程変更や中止をせざるを得ない状況であったものの、ZoomやYouTubeを利用したWEB研修に切り替えて概ね実施することができました。 通信教育講座受講者については57名が講座を修了することができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 採用試験の総受験者数は549人と受験の機会を前期・後期とし、センター方式に切り替えた成果は出ましたが、合格者の辞退も出るなど今年度に課題を残しました。 職員資格取得等補助金の利用者は1名にとどまりました。補助金制度の周知をより充実させ、業務に関わる資格取得を応援していきます。 健康診断については、人間ドック受診者を含め全職員が受けましたが、二次検査等受診結果通知書の提出率は33.6%と、昨年度の25%は上回ったものの50%には届きませんでした。引き続き職員の健康管理意識を高めるため、提出率の引き上げに努めます。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 職員採用については、引き続き社会福祉士やシステムエンジニアなど専門職枠を設け、必要な人材確保に努めます。 障がい者雇用については、雇用計画に基づき各部署で障がい者雇用率が達成できるよう取り組みを強化します。 今年度より勤勉手当への結果反映を行った人事評価制度については、人事評価検討委員会を開催し課題を整理したうえでより精度の高い人事評価制度を目指します。 コロナ禍で培ったWEBも活用し、従来型の研修方法も踏まえながら、多くの職員が参加できスキルアップができる研修を実施していきます。 健康診断結果に基づく二次検査結果報告通知の提出率50%を達成するため、未提出者に提出を促す取り組みを行います。 | | | |

【職員課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------|------|----------|----------|--|----------|------|---------|--|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 職員研修事業費 | 7-① | 5,444 | 2,186 | 職員アンケート調査による研修の理解度 | | | 5,895 | 職員アンケート調査による研修の理解度 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 90.0% | 86.1% | A | | 90.0% | | |
| 2 | 職員採用試験事業費 | 7-② | 5,138 | 4,249 | 採用試験総受験者数 | | | 5,322 | 採用試験総受験者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 450人 | 549人 | S | | 450人 | | |
| 3 | 職員通信教育講座受講補助金 | 7-② | 376 | 416 | 通信教育受講者修了者数 | | | 376 | 通信教育受講者修了者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 50人 | 57人 | S | | 50人 | | |
| 4 | 職員資格取得等補助金 | 7-② | 90 | 90 | 資格取得等補助金制度申請者 | | | 90 | 資格取得等補助金制度申請者 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2人 | 1人 | C | | 2人 | | |
| 5 | 職員福利厚生事業費 | 7-② | 154,456 | 124,924 | 産休・育休による欠員に対する補充率 | | | 170,341 | 産休・育休による欠員に対する補充率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 6 | 安全衛生事業費 | 7-② | 11,837 | 11,647 | 二次検査等受診結果通知書の提出率 | | | 11,791 | 二次検査等受診結果通知書の提出率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 50.0% | 33.6% | C | | 50.0% | | |
| 7 | 当直関連業務事業費 | 7-① | 8,754 | 8,754 | 宿日直の業務日誌及び報告事項のチェック | | | 8,655 | 宿日直の業務日誌及び報告事項のチェック | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 週3日 | 週5日 | S | | 週5日 | | |
| 8 | 人事評価制度事業費 | 7-② | 1,557 | 1,535 | 職員アンケート調査による人事評価支援研修の理解度 | | | 1,613 | 職員アンケート調査による人事評価支援研修の理解度 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 95.0% | 88.1% | A | | 95.0% | | |
| 9 | 人事管理一般経費 | 7-② | 15,081 | 13,475 | 仕事に創意工夫を凝らし、業務の改善や新しい仕事の進め方に積極的に取り組んでいる職員の割合 | | | 15,022 | 仕事に創意工夫を凝らし、業務の改善や新しい仕事の進め方に積極的に取り組んでいる職員の割合 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 60%以上 | 61.4% | S | | 60%以上 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|--|------------------|----------|----------|
| 組織名 | 契約監理課 | 作成者（評価者） | 課長 田中 新也 |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-② 確かな行政サービスの提供 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| 契約監理課は、市が発注する公共工事、物品調達等の入札及び契約に関する業務並びに市が整備する道路や建物の工事検査を主な業務としています。 | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <p>（電子入札システム事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子入札執行率は、工事は実績92%（目標93%）、物品86.9%（目標90%）で概ね達成しました。 <p>（契約監理事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> 目標である平均入札参加者10.4社（目標11社）、市内業者受注率94.4%（目標96.0%）で概ね達成しました。 工事の発注における平準化や週休2日制の導入を発注各課に促進し、実施に繋がりました。 入札等監視委員会の監視の下、入札及び契約業務の適正化が図られました。 インセンティブ型入札の発注件数は7件（目標8件以上）で概ね達成しました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <p>令和3年度に入札制度が改正され、最低制限価格率計算書が必要となりましたが、これは本来、公表しない資料ですが、誤って入札公告に添付してしまいました。以後、最低制限価格率計算書の提出時期の変更、データのセキュリティー強化、公告前のチェック体制を強化するなどの改善策を講じ、適正な入札契約事務の執行に努めています。</p> | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【重点取組と目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各課との連携や複数人によるチェックを強化し、入札・契約業務を適正に実施します。 入札参加者の負担軽減、事務の効率化を一層図るため、新しい電子入札システムを導入します。 働き方改革等により、早期発注による工事の平準化と工事の週休2日制の導入を一層促進します。 職員のスキルアップや情報共有を目的とした研修を実施します。 | | | |

【契約監理課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | 令和4年度 | | | | |
|--------|-------------|--------|----------|----------|----------------|--------|-------|----------|----------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | |
| 1 | 電子入札システム事業費 | 7-② | 44,156 | 44,156 | ①電子入札執行率(工事関係) | | | 78,973 | ①電子入札執行率(工事関係) | | |
| | | | | | ②電子入札執行率(物品関係) | | | | ②電子入札執行率(物品関係) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①93.0% | ①92.0% | A | | ①93.0% | | |
| ②90.0% | ②86.9% | ②90.0% | | | | | | | | | |
| 2 | 契約監理事業費 | 7-② | 6,508 | 6,508 | ①平均入札参加者(工事) | | | 6,806 | ①平均入札参加者(工事) | | |
| | | | | | ②市内業者受注率(工事) | | | | ②市内業者受注率(工事) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①11社 | ①10.4社 | A | | ①11社 | | |
| ②96.0% | ②94.4% | ②96.0% | | | | | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|--|-------------|----------|-----------|
| 組織名 | 市民税課 | 作成者（評価者） | 課長 長谷川 欽也 |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-⑤ 健全な財政運営 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>市民税課は、個人市民税、法人市民税、軽自動車税（環境性能割・種別割）、市たばこ税について適正な課税を行い、税負担の公正化を意識した安定的な自主財源の確保に努めています。</p> <p>また、税務証明の交付においては、マイナンバーカードを利用したコンビニエンスストアでの税務証明書の交付や窓口での税務証明交付手数料のキャッシュレス決済導入など行政サービスの利便性向上に努めています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・税務窓口での税務証明発行時の渡し間違い件数0件でした。（発行件数45,333件） ・軽自動車税の課税に対する審査申出容認件数0件でした。（課税件数79,528件） ・税務一般経費の適切な執行により、公平かつ適正な賦課事務を遂行することができました。 ・情報発信については、市行政チャンネルを活用し、申告に関する周知や軽自動車税に関する周知を職員自らの出演による映像放送や文字放送により、税に対する正しい知識をわかり易くご理解いただくための周知に努めることができました。（市ホームページ24回、市行政チャンネル1回、市広報誌11回） ・職員のスキル向上のため、職員自らが講師を務める申告研修（7回）を開催するとともに、各種専門研修（4回）へも職員を参加させることができました。 ・個人市民税の公平・公正な課税に向けた未申告調査の実施による所得把握率は71.1%（目標値70.0%）でした。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法人市民税においても公平・公正な課税に向けた未申告法人調査を実施した結果、申告割合44.4%（目標値60.0%）でした。今後は三税（国税・県税・市税）との連携を更に強化し、調査方法等を見直し、法人の実態把握を効果的・効率的に行っていきます。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【重点取組と目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歳入予算の主要財源である市税の確保を図るため、法令等による適正な課税とともに未申告者に対する調査を行い、公平性の確保に努めていきます。 ・税制改正等への対応として、迅速な情報収集と適切な対応に努めるとともに、関係部署との緊密な情報共有を図ります。また、専門的な知識習得のために研修や説明会への積極的な参加や他の自治体との情報交換に取り組みます。 ・市民生活に密接に関係する制度創設等の内容や影響について、広報誌・ホームページなどの様々な媒体により周知を行います。 ・新型コロナウイルスが与える影響を含めた社会情勢や経済状況等の変化、税制改正による税収への影響を踏まえ、税収見込みについて速やかに修正を加えるなど、財政運営に活かしていきます。また、「新しい生活様式」を踏まえ窓口対応等感染拡大予防に取り組みます。 | | | |

【市民税課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|------------|------|----------|----------|-----------------------------------|----------|------|--------|-----------------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 税務証明交付事業費 | 7-⑤ | 2,200 | 2,002 | 税諸証明発行時の渡し間違い件数 | | | 1,526 | 税諸証明発行時の渡し間違い件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0件 | 0件 | S | | 0件 | | |
| 2 | 税務一般経費 | 7-⑤ | 16,206 | 15,706 | 税務一般経費の適切な執行により、公平かつ適正な賦課事務を遂行する。 | | | 16,429 | 税務一般経費の適切な執行により、公平かつ適正な賦課事務を遂行する。 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | A | A | A | | A | | |
| 3 | 市民税賦課事業費 | 7-⑤ | 70,066 | 68,373 | 未申告調査による所得把握率 | | | 71,661 | 個人住民税の未申告調査による所得把握率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 70.0% | 71.1% | S | | 67.0% | | |
| 4 | 法人市民税賦課事業費 | 7-⑤ | 1,337 | 1,312 | 未申告法人調査に伴う申告割合 | | | 統合 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 60.0% | 44.4% | B | | | | |
| 5 | 軽自動車税賦課事業費 | 7-⑤ | 14,053 | 13,691 | 課税に対する審査申出容認件数 | | | 16,925 | 課税に対する審査申出容認件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0件 | 0件 | S | | 0件 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|--|-------------|----------|---------|
| 組織名 | 資産税課 | 作成者（評価者） | 課長 岡田 康 |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-⑤ 健全な財政運営 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>資産税課は、固定資産税（土地・家屋・償却資産）・都市計画税（土地・家屋）の課税業務を行っており、課税業務には、複雑な税制度や法令に対応することが求められています。また現地確認や家屋調査などの実地調査も多く行っています。</p> <p>台風等の災害時に被害住家の調査を行います。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・審査申出の件数を無くすために納税者に理解を得られるように適正な評価と課税説明を行い、申請件数を1件に留めることができました。（申請件数1件） ・電算システム（登記通知のデジタル化）やRPA（自動化ツールによる納税通知書差替自動化）を活用するなど創意工夫により業務の効率化を図り、今後の更なる業務の見直しや効率化に繋げることができました。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しながら、オンラインなどの活用により出来る限り、会議や研修を実施し、また講座など受講し、業務の連携を図るとともに専門知識の習得に繋げることができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <p>今後も民間委託や電算システムの活用など社会情勢に合わせた業務の改善、効率化への対策を講じながら適正な評価に取り組んでいきます。</p> | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・審査申出に至る以前に納税者に理解していただくため、適正な評価、説明責任が果たせるよう研修や参考書籍の購入、専門情報の収集など職員のスキルアップを図るとともに重要事案の周知・共有、外部委託業者との連携等により対応していきます。 ・民間委託や電算システム等を活用し、業務の見直し、事務の効率化を図り、改善に取り組んでいきます。 ・新型コロナウイルス感染症等に対して、適切な状況の把握に努め、オンラインやデジタル技術の活用など動向を見据えた対策を講じながら業務を遂行していきます。 | | | |

【資産税課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-------------|------|----------|----------|------------------|----------|------|--------|------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 固定資産税賦課事業費 | 7-⑤ | 53,154 | 52,845 | 審査申出の申請件数(10件以下) | | | 50,218 | 審査申出の申請件数(10件以下) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 10件 | 1件 | S | | 10件 | | |
| 2 | 固定資産税評価替事業費 | 7-⑤ | 18,614 | 17,723 | 審査申出の申請件数(10件以下) | | | 66,734 | 審査申出の申請件数(10件以下) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 10件 | 1件 | S | | 10件 | | |

各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 収納課 | 作成者（評価者） | 課長 西 光一 |
|---|-------------|----------|---------|
| 関係する『総合計画』施策 | 7-⑤ 健全な財政運営 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>持続可能な市政運営の実現と市民の信頼を保つため、堅実かつ安定的な自主財源の確保と税負担の公平性の確保に努めます。そのために社会情勢に柔軟に対応した納税環境を整備することで、税の自主納付の推進と納期内納付の推進を図るとともに、地方税法等に基づく厳正で適正な滞納整理等の強化に努め、滞納を累積しない取組みや滞納解消へ向けての取組みを進め、収納率の向上に努めます。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市税等過誤納還付金及び市税徴収事業費の活動指標の目標として、現年度課税分収納率98.6%とし収納率向上に取組み、最終的に収納率は概ね目標達成の見込みです。 令和元年10月より開始した「地方税共通納税システム」による電子納税について、周知を図るため、事業所等に対してチラシの配布を行い、納税者の利便性向上に努めました。 三重地方税管理回収機構に職員を派遣し、滞納整理のレベルアップを図るとともに、滞納額の解消に努めました。 年間を通じて、職員の意識を高め、差押えに取組みました。（令和3年度844件） | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <p>なし</p> | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 翌年度への繰越（滞納繰越分）を増加させないよう、現年度課税分の徴収強化に取り組めます。 納税環境のデジタル化が進む中、納税者の利便性の向上と収納確保に向け、納付機会の拡充について更なる調査・研究を行います。 納税環境整備が進む中でデジタル化や新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からも、口座振替やインターネット等を活用した納税環境づくりに努め、既存業務の見直しを行い、削減できるものは削減して対応していきます。 | | | |

【収納課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------|------|----------|----------|--------------|----------|------|---------|--------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 市税等過誤納還付金 | 7-⑤ | 100,000 | 100,000 | 市税の現年課税分の収納率 | | | 100,000 | 市税の現年課税分の収納率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 98.6% | 98.96% | S | | 98.7% | | |
| 2 | 市税徴収事業費 | 7-⑤ | 87,416 | 87,125 | 市税の現年課税分の収納率 | | | 94,386 | 市税の現年課税分の収納率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 98.6% | 98.96% | S | | 98.7% | | |

【収納課】事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-------------------------|------|----------|----------|----------------|----------|------|---|----------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 地方税共通納税システムの利用 拡大を図る | 7-⑤ | / | / | 事業所等に周知用チラシを配布 | | | / | 事業所等に周知用チラシを配布 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 4,000部 | 4,808部 | S | | 4,000部 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|-------------|----------|----------|
| 組織名 | 債権回収対策課 | 作成者（評価者） | 課長 松田 武己 |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-⑤ 健全な財政運営 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>債権回収対策課は、自主財源の確保と市民負担の公平性を図るため、税外未収債権の徴収強化と適正管理の促進を主な業務としています。</p> <p>強制徴収公債権（公課）については、所管課から移管された債権の滞納処分などを実行し徴収強化を図っています。</p> <p>非強制徴収公債権・私債権については、所管課の債権回収に必要な法的手続きの実行を支援しています。</p> <p>所管課職員等を対象に研修会を開催し、債権の適正管理・回収に関する知識の増進及び意識の向上を図っています。</p> <p>所管課ヒアリング等を通じて債権の適正管理について指導・助言を行っています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移管債権4公課の徴収率実績は、40.0%で、目標徴収率30%を達成できました。 ・公課の所管課との間で、債権管理に関する知識や情報を共有する場を設けました。 ・非強制徴収公債権及び私債権は、支払督促16件、少額訴訟3件、債権執行1件について法的手続きに着手しました。 ・債権の適正管理に関する研修を所管課所属長及び新規採用者を対象に実施し、目標値80%以上の満足度に対して、所属長89.4%、新規採用者97.7%を得ました。 ・全庁的な未収債権調査をもとに9所管課にヒアリングを実施し、債務者ごとの回収計画等について助言・指導を行いました。そのなかで法的手続きを依頼された4所管課の満足度は100.0%でした。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時効の援用がされず累積していた私債権について、令和3年度に所管課に対して債権管理条例に基づく適正管理を促したことにより債権放棄が実施されました。しかしながら本質的な問題として、毎年、地方自治法等の関係法令等に基づき適正な管理がなされず時効が到来する債権があることから、庁内における未収債権の適正管理の徹底を図ります。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・所管課が関係法令等に基づいた適正な債権管理が実施できるよう、令和3年度に策定し本年4月に運用を開始した非強制徴収公債権及び私債権に係る債権管理事務マニュアルについて、所管課ヒアリング等を通じてその浸透を図ります。 | | | |

【債権回収対策課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------|------|----------|----------|---|------------------|------|-------|---|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 債権回収対策事業費 | 7-⑤ | 1,448 | 1,448 | ①移管債権の徴収強化(徴収率) ②職員向け研修、法的支援・相談に関する 債権所管課の満足度 | | | 1,448 | ①移管債権の徴収強化(徴収率) ②職員向け研修、法的支援・相談に関する 債権所管課の満足度 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①30.0% ②80.0% | ①40.0% ②95.7% | A | | ①30.0% ②80.0% | | |

【債権回収対策課】事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------|------|----------|----------|---------------|----------|------|---|---------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 債権管理職員研修会 | 7-⑤ | / | / | 債権管理の職員研修会の開催 | | | / | 債権管理の職員研修会の開催 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2回 | 2回 | A | | 2回 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 環境課 | 作成者（評価者） | 課長 下倉 基彦 |
|---|----------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 6-④ 自然と生活の環境保全 | | |
| | 6-⑥ 上下水道の整備 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>環境課は政策係、保全係、墓苑係の3係で構成し、みんなで地球にやさしい生活をおくることで、自然環境に配慮した豊かな自然を身近に感じることができるまちをつくっていきます。</p> <p>政策係：環境における市の方向性（計画やビジョン等の策定）の検討、啓発活動に伴うイベントの企画や環境学習等を行う。太陽光発電施設に係る相談対応や自治体新電力事業を通じたエネルギーの地産地消等の取組（再生可能エネルギー）。</p> <p>保全係：公害等に関する届出及び相談業務、狂犬病予防及び畜犬登録等の窓口業務を行う。</p> <p>墓苑係：篠田山霊苑の管理・保全及び篠田山斎場の運営等、火葬・斎場業務を行う。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・犬猫去勢避妊手術費補助金 保健所にて引取り収容された犬猫の内、譲渡先がなく殺処分された犬猫はありませんでした。引き続き、殺処分される犬猫が1匹でも減るように取り組んでいきます。 ・斎場・火葬場施設整備事業費 篠田山斎場・嬉野斎場の施設・設備の修繕を行いました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境パートナーシップ会議事業費 パートナー通信の発行数について、予定していたイベント、及び会議の開催がコロナ感染の拡大により実施できなかったことから、記事内容が不足し発行回数が減りました。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・2050年のカーボンニュートラルの実現に向け、「地域脱炭素ロードマップ」に示された重点施策の取組である公共施設の太陽光発電設備等の設置を推進します。 ・Matsusaka-EMSを運用することで、率先してエコオフィスを実践するとともに、公共施設の温室効果ガス排出抑制に努めます。 ・畜犬登録等事業費では、効率的な狂犬病予防集合注射の実施及び接種率向上の啓発を行い、狂犬病の予防に努めます。 ・斎場・火葬場管理事業費は、松阪市3か所の火葬場の維持管理において適正に運用を行います。 | | | |

【環境課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|------------------|------|----------|----------|-------------------------|--------|----|----------|-------------------------|----|----|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | | |
| 1 | 畜犬登録等事業費 | 6-① | 4,275 | 4,275 | 狂犬病予防注射の接種率 | | | 5,146 | 狂犬病予防注射の接種率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 73.0% | 77.8% | S | | 73.0% | | | | | |
| 2 | 行旅死亡人取扱事業費 | 6-① | 1,054 | 1,054 | 行旅死亡人の処理 | | | 1,365 | 行旅死亡人の処理 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | A | | 100.0% | | | | | |
| 3 | 公衆便所管理事業費 | 6-① | 3,298 | 3,410 | トイレの不具合件数 | | | 3,298 | トイレの不具合件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 月1回以下 | 年間2回 | S | | 月1回以下 | | | | | |
| 4 | 共同簡易飲料水供給施設管理事業費 | 6-⑥ | 300 | 300 | 木柵、栃谷両地区の利用者からの苦情件数 | | | 880 | 木柵、栃谷両地区の利用者からの苦情件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 0件 | 0件 | S | | 0件 | | | | | |
| 5 | 犬猫去勢避妊手術費補助金 | 6-① | 3,000 | 3,000 | 犬猫の殺処分数 | | | 3,000 | 犬猫の殺処分数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 10頭・匹以下 | 0匹 | S | | 10頭・匹以下 | | | | | |
| 6 | 環境衛生一般経費 | 6-① | 1,496 | 1,353 | 備蓄消毒薬剤の消費期限(800本)の維持 | | | 1,496 | 備蓄消毒薬剤の消費期限(800本)の維持 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 7 | 環境調査事業費 | 6-① | 3,219 | 3,019 | 騒音・振動・悪臭に関する苦情件数 | | | 3,313 | 騒音・振動・悪臭に関する苦情件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 月1件以下 | 0件 | S | | 月1件以下 | | | | | |
| 8 | 環境啓発活動事業費 | 6-① | 2,397 | 1,376 | エネルギー使用量(電気)を現状より増やさない。 | | | 2,286 | エネルギー使用量(電気)を現状より増やさない。 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 7.25kWh/人・日 | 未確定 | - | | 7.25kWh/人・日 | | | | | |
| 9 | Matsusaka-EMS事業費 | 6-① | 1,221 | 1,110 | エコオフィス計画によるCO2の削減の達成 | | | 1,636 | エコオフィス計画によるCO2の削減の達成 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | △10.5% | 未確定 | - | | △12.4% | | | | | |
| 10 | 環境基本計画策定事業費 | 6-① | 0 | 0 | - | | | 576 | 第二次環境基本計画の中間見直し版の策定 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 策定 | | | | | |
| 11 | 環境パートナーシップ会議事業費 | 6-① | 1,567 | 0 | パートナー通信の発行 | | | 1,972 | 環境フェア来場者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 2回 | 1回 | C | | 4,000人 | | | | | |
| 12 | 温暖化対策調査等事業費 | 6-① | 0 | 0 | - | | | 10,000 | 年度内の業務進捗率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 100.0% | | | | | |
| 13 | 環境保全一般経費 | 6-① | 994 | 596 | 騒音・振動・悪臭に関する苦情件数 | | | 1,161 | 騒音・振動・悪臭に関する苦情件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 月1件以下 | 0件 | S | | 月1件以下 | | | | | |
| 14 | 火葬施設解体事業費 | 6-① | 0 | 0 | - | | | 1,435 | 工事に伴う利用者からの苦情件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 0件 | | | | | |
| 15 | 斎場・火葬場管理事業費 | 6-① | 83,154 | 83,133 | 利用者からの苦情・要望への対応率 | | | 90,380 | 利用者からの苦情・要望への対応率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | A | | 100.0% | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------|------|----------|----------|--------------------|----------|--------------------|----|--------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 16 | 篠田山墓地管理事業費 | 6-① | 12,841 | 12,841 | 利用者からの苦情・要望への対応率 | 17,524 | 利用者からの苦情・要望への対応率 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | | 100.0% | A | 100.0% | | |
| 17 | 斎場・火葬場施設整備事業費 | 6-① | 10,769 | 9,900 | 工事に伴う利用者からの苦情件数 | 117,984 | 工事に伴う利用者からの苦情件数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0件 | | 0件 | A | 0件 | | |
| 18 | 篠田山霊苑施設整備事業費 | 6-① | 7,700 | 6,848 | 工事に伴う利用者からの苦情件数 | 23,000 | 工事に伴う利用者からの苦情件数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0件 | | 0件 | A | 0件 | | |
| 19 | し尿業者許可事業費 | 6-① | 15 | 0 | 2年に1回の更新件数率 | 65 | 2年に1回の更新件数率 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | | - | - | 100.0% | | |
| 20 | し尿転送業務負担金 | 6-① | 7,480 | 7,480 | 飯南・飯高管内の利用者からの苦情件数 | 7,480 | 飯南・飯高管内の利用者からの苦情件数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0件 | | 0件 | S | 0件 | | |
| 21 | 合理化事業計画策定事業費 | 6-① | 2,530 | 2,310 | 合理化事業計画の策定 | 0 | - | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 策定 | | 策定 | S | - | | |
| 22 | 松阪地区広域衛生組合分担金 | 6-① | 378,501 | 347,895 | し尿等の処理率 | 374,129 | し尿等の処理率 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | | 100.0% | S | 100.0% | | |

【環境課】事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-------------|------|----------|----------|--------------------------------|----------|--------------------------------|----|--------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 環境基本計画の周知活動 | 6-① | | | 計画の周知に向けた冊子(こども版)の小学5年生全児童への配布 | | 計画の周知に向けた冊子(こども版)の小学5年生全児童への配布 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | | 100.0% | S | 100.0% | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 清掃事業課 | 作成者（評価者） | 課長 小林 努 |
|--|-----------------------|----------|---------|
| 関係する『総合計画』施策 | 4-⑤ スポーツと運動したまちづくりの推進 | | |
| | 6-② 資源循環型社会の推進 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>清掃事業課は、ごみの分別・収集・処理を市民、事業者、行政が連携して取り組み、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を推進し、無駄なく資源を有効に利用できる資源循環型のまちづくりをめざします。</p> <p>管理係：一般廃棄物処理業の許可、一般廃棄物集積所補助金申請 他</p> <p>収集係：一般廃棄物の収集運搬、リサイクル処理 他</p> <p>資源循環係：廃棄物の資源化・減量化、廃棄物減量のための補助 他</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全安心な運行計画でごみ収集を行うため、年次計画に基づき塵芥収集車を購入することにより、購入車両は目標値を上回る稼働率となりました。 ・生ごみの堆肥化容器等購入補助金は、目標の申請件数を大きく上回りました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団回収を含む家庭系ごみの一人一日当たりの排出量は、目標の701gを17g上回る718gとなりました。この要因として、人口減少や新型コロナウイルス感染症対策による外出の自粛等があげられます。家庭系ごみの減量に対するさらなる啓発に努めます。 ・公務災害の件数は、5件以下の目標に対して、6件が発生する結果となりました。今後安全衛生委員会での原因究明の検証等による再発防止対策の検討や、ミーティング時における注意喚起の徹底等を実践します。 ・家電4品目の不法投棄処理台数は、95台以下の目標に対して、96台の処理台数となりました。不法投棄監視パトロールのあり方や不法投棄場所等の検証を行い、処理台数の減少に努めます。 ・リサイクルセンター施設の見学者数は、コロナ禍による外出の自粛等の影響で目標に達しませんでした。施設紹介のDVD等を作成し教材用として活用することで、見学手法の見直しと、住民のごみ減量化の意識向上を図ります。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・適正なごみ処理体制を維持するために、冊子『ごみ・分別ガイドブック』等の周知や啓発、業務量に応じた人員配置によるごみ処理体制の強化等に取り組みます。 ・集団回収を含む家庭系ごみの総量は、令和3年度は、39,804tで前年度と比較して1,797tの減量となりましたが、継続して分別の徹底や減量に対する啓発に取り組みます。 ・不法投棄の防止のために監視体制の検討や強化、啓発の推進により、不法投棄をさせない環境づくりに取り組みます。 | | | |

【清掃事業課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------------|------|----------|---------|-----------------------------|---------|------|---------|----------------------------|----|------|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 活動指標 | | | |
| 1 | 清掃一般経費 | 6-② | 8,973 | 8,767 | 家庭系ごみ(集団回収含む)一人一日当たりのごみ排出量 | | | 10,144 | 家庭系ごみ(集団回収含む)一人一日当たりのごみ排出量 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 701g以下 | 718g | A | | 693g以下 | | | | | |
| 2 | 松ヶ崎公園管理事業費 | 4-⑤ | 14,426 | 13,880 | グラウンド利用者数 | | | 15,030 | グラウンド利用者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 24,000人以上 | 15,240人 | C | | 24,000人以上 | | | | | |
| 3 | 塵芥収集事業費 | 6-② | 432,771 | 422,187 | 家電四品目の不法投棄処理台数 | | | 433,479 | 家電四品目の不法投棄処理台数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 95台以下 | 96台 | A | | 90台以下 | | | | | |
| 4 | 廃棄物集積所設置補助金 | 6-② | 2,250 | 2,250 | ごみの散乱についての問い合わせ件数 | | | 2,250 | ごみの散乱についての問い合わせ件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 26件以下 | 26件 | S | | 26件以下 | | | | | |
| 5 | 塵芥収集車購入事業費 | 6-② | 8,327 | 6,578 | 購入車両の稼働率 | | | 13,037 | 購入車両の稼働率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 83%以上 | 92.86% | S | | 84%以上 | | | | | |
| 6 | 塵芥処理一般経費 | 6-② | 8,602 | 8,410 | 公務災害の件数 | | | 9,901 | 公務災害の件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 5件以下 | 6件 | B | | 5件以下 | | | | | |
| 7 | リサイクル事業費 | 6-② | 70,931 | 70,654 | 家庭系ごみ(集団回収を含む)1人1日当たりのごみ排出量 | | | 68,237 | 資源物の分別基準の品質検査 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 701g以下 | 718g | A | | A判定 | | | | | |
| 8 | ごみ減量対策事業費 | 6-② | 3,012 | 2,071 | ごみ減量のための啓発講座開催数 | | | | ごみ減量のための啓発講座開催数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 30件 | 29件 | A | | 30件 | | | | | |
| 9 | 生ごみ堆肥化容器等購入補助金 | 6-② | 1,000 | 1,000 | 申請件数 | | | 1,000 | 申請件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 50件 | 93件 | S | | 50件 | | | | | |
| 10 | 資源物集団回収活動補助金 | 6-② | 15,375 | 9,375 | 集団回収量 | | | 10,060 | 集団回収量 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 3,000t | 2,350t | B | | 3,000t | | | | | |
| 11 | リサイクルセンター管理事業費 | 6-② | 15,386 | 13,561 | リサイクルセンター施設の見学者数 | | | 14,566 | リサイクルセンター施設の見学者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,200人 | 865人 | B | | 1,200人 | | | | | |
| 12 | 省資源再資源化一般経費 | 6-② | 1,230 | 1,037 | 資源物品質調査業務への参加回数 | | | 0 | 資源物品質調査業務への参加回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 2回 | 0回 | - | | - | | | | | |

【清掃事業課】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|--|------|----------|--|----------|-----|------|--|----------|----|------|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 活動指標 | | | |
| 1 | 出前授業 対象：市内小学生 バッカー車によるごみ投入体験、ごみ分別学習等 | 6-② | | | 参加児童数 | | | | 参加児童数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 15校 | 16校 | A | | 15校 | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---|------|----------|----------|----------------------|----------|------|---|----------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 2 | 自治会等の要請によるごみ回収 地域の一斉清掃、草刈 等に応じて 収集する。 | 6-② | / | / | 出勤回数 | | | / | 出勤回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 130回 | 136回 | S | | 130回 | | |
| 3 | 充電式小型家電による発火対策 啓発、収集、処理方法を関係課等で 協議(3回以上)しR2年度中に方 針を決定する。 | 6-② | / | / | 活動指標 | | | / | 活動指標 | | |
| | | | | | 充電式小型家電によるバッテリー車発火件数 | | | | 充電式小型家電によるバッテリー車発火件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 3件 | 0件 | S | | 3件以内 | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|----------------|----------|----------|
| 組織名 | 清掃施設課 | 作成者（評価者） | 課長 宇佐美 毅 |
| 関係する『総合計画』施策 | 6-② 資源循環型社会の推進 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>清掃施設課では、一般廃棄物の焼却処理をはじめ、燃えないごみや粗大ごみの破碎選別処理、並びに燃えるごみを焼却した後の焼却灰や燃えないごみ等の破碎残渣などの埋立処分を行っています。</p> <p>また、既存の一般廃棄物最終処分場の埋立割合が令和8年度中に100%（満杯）に達することが見込まれることから、新たな施設の整備に努め、令和9年度の供用開始を目指しています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンターでは、排ガス排出基準値（協定基準値）以下の施設管理を行い、周辺地域の環境保全に努めました。 ・一般廃棄物最終処分場では、処理水放流水質基準値（協定基準値）以下の水質を保持し、周辺地域の環境保全に努めました。 ・新最終処分場施設整備事業費では、整備計画地に係る全地権者の半数以上（76,470.70㎡／121,852.83㎡）から整備計画地を購入しました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クリーンセンターでは、リチウムイオン電池やカセットボンベ、スプレー缶の混入が原因と考えられる火災検知器の作動により、高速回転式破碎機が緊急停止した回数は86回（前年比14回増）でした。令和3年4月から資源物として充電式小型家電を追加させていただきましたが、引き続きごみの分け方、出し方の周知を図り、市民の皆様の協力をいただけるよう努めてまいります。 ・上川町遊歩道公園の利用者数は目標2,500人に対し、1,113人でした。公園内のトイレや芝生及び樹木等の適正な管理に努め、利用者を受け入れる環境を整えてまいります。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・一般廃棄物の処理（最終処分を含む。）では、排ガス排出基準値、および処理水放流水質基準値について、それぞれ協定基準値以下を保ち、施設ごとの周辺地域の環境の保全に努めます。 ・クリーンセンターに持ち込まれた一般廃棄物について、ごみの分け方、出し方の周知を図り、資源物として再生利用できるよう搬入者に対する啓発に努めます。 ・一般廃棄物の処理では、高速回転式破碎機の円滑な運転に寄与するよう、充電式小型家電の分別に係る啓発をはじめ、搬入者に対する分別指導等に取り組みます。 ・新最終処分場施設整備事業では、令和3年度から土地の購入を開始していますが、令和4年度末までに整備計画地の土地の取得が完了できるよう取り組みます。 | | | |

【清掃施設課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------|------|----------|----------|---|-----------------|------|------------|---|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | クリーンセンター管理事業費 | 6-② | 13,784 | 13,192 | 排気ガスの排出値を地元協定値以下にする。 ①ばいじん ②HCl(塩化水素) ③SOx(硫黄酸化物) ④Nox(窒素酸化物) ⑤ダイオキシン類 | | | 17,518 | 排気ガスの排出値を地元協定値以下にする。 ①ばいじん ②HCl(塩化水素) ③SOx(硫黄酸化物) ④Nox(窒素酸化物) ⑤ダイオキシン類 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①0.01g/miN | ①0.003g/miN | S | | ①0.01g/miN | | |
| | | | | | ②50ppm | ②7.9ppm | | | ②50ppm | | |
| | | | | | ③50ppm | ③4.9ppm | | | ③50ppm | | |
| | | | | | ④100ppm | ④71ppm | | | ④100ppm | | |
| | | | | | ⑤0.1ng-TEQ/miN | ⑤0.05ng-TEQ/miN | | | ⑤0.1ng-TEQ/miN | | |
| 2 | 最終処分場管理事業費 | 6-② | 8,028 | 7,958 | 処理水を地元協定値以下に処理する。 ①BOD(生物化学的酸素要求量) ②COD(化学的酸素要求量) ③SS(浮遊物質) | | | 8,402 | 処理水を地元協定値以下に処理する。 ①BOD(生物化学的酸素要求量) ②COD(化学的酸素要求量) ③SS(浮遊物質) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①10mg/L | ①1.6mg/L | S | ①10mg/L | | | |
| | | | | | ②20mg/L | ②1.4mg/L | | | ②20mg/L | | |
| | | | | | ③10mg/L | ③検出せず | | | ③10mg/L | | |
| 3 | 上川町遊歩道公園管理事業費 | 6-② | 13,637 | 12,777 | 利用者数 | | | 14,379 | 利用者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2,500人 | 1,113人 | D | 2,500人 | | | |
| 4 | ごみ処理事業費 | 6-② | 321,590 | 319,655 | 排気ガスの排出値を地元協定値以下にする。 ①ばいじん ②HCl(塩化水素) ③SOx(硫黄酸化物) ④Nox(窒素酸化物) ⑤ダイオキシン類 | | | 393,354 | 排気ガスの排出値を地元協定値以下にする。 ①ばいじん ②HCl(塩化水素) ③SOx(硫黄酸化物) ④Nox(窒素酸化物) ⑤ダイオキシン類 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①0.01g/miN | ①0.003g/miN | S | ①0.01g/miN | | | |
| | | | | | ②50ppm | ②7.9ppm | | | ②50ppm | | |
| | | | | | ③50ppm | ③4.9ppm | | | ③50ppm | | |
| | | | | | ④100ppm | ④71ppm | | | ④100ppm | | |
| | | | | | ⑤0.1ng-TEQ/miN | ⑤0.05ng-TEQ/miN | | | ⑤0.1ng-TEQ/miN | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | |
|-----|-------------------|------|----------|----------|--|-------------------------------|--|-------------------------------|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | |
| 5 | 最終処分場事業費 | 6-② | 50,146 | 43,902 | 処理水を地元協定値以下に処理する。 ①BOD(生物化学的酸素要求量) ②COD(化学的酸素要求量) ③SS(浮遊物質) | 36,168 | 処理水を地元協定値以下に処理する。 ①BOD(生物化学的酸素要求量) ②COD(化学的酸素要求量) ③SS(浮遊物質) | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①10mg/L ②20mg/L ③10mg/L | ①1.6mg/L ②1.4mg/L ③検出せず | S | ①10mg/L ②20mg/L ③10mg/L |
| 6 | 最終処分場施設整備事業費 | 6-② | 1,500 | 1,251 | 処理水を地元協定値以下に処理する。 ①BOD(生物化学的酸素要求量) ②COD(化学的酸素要求量) ③SS(浮遊物質) | 13,977 | 処理水を地元協定値以下に処理する。 ①BOD(生物化学的酸素要求量) ②COD(化学的酸素要求量) ③SS(浮遊物質) | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①10mg/L ②20mg/L ③10mg/L | ①1.6mg/L ②1.4mg/L ③検出せず | S | ①10mg/L ②20mg/L ③10mg/L |
| 7 | クリーンセンター施設整備事業費 | 6-② | 27,698 | 27,698 | 業務の進捗状況に対する評価 | 3,036 | 高速回転式破砕機稼働率 | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | S | S | S | 90%以上 |
| 8 | 一般廃棄物処理基本計画等策定事業費 | 6-② | 0 | 0 | 業務の進捗状況に対する評価 | 7,057 | 業務の進捗状況に対する評価 | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | A |
| 9 | 新最終処分場施設整備事業費 | 6-② | 621,686 | 621,169 | 業務の進捗状況に対する評価 | 362,145 | 業務の進捗状況に対する評価 | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | S | S | S | A |

【清掃施設課】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | |
|-----|---------|------|----------|----------|----------------------------|----------|----------------------------|--------|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | |
| 1 | ごみ処理事業費 | 6-② | | | 家庭系ごみ(集団回収含む)一人一日当たりのごみ排出量 | | 家庭系ごみ(集団回収含む)一人一日当たりのごみ排出量 | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 |
| | | | | | 701g以下 | 718g | A | 693g以下 |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 戸籍住民課 | 作成者（評価者） | 課長 橋本 尚由 |
|---|-------|---------------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | | 7-① 行政サービスの充実 | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>戸籍住民課では、以下の業務を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民票の写し・戸籍・印鑑登録証明書等の証明書発行業務 ・印鑑登録業務 ・婚姻等の戸籍届、住所異動届等の受付 ・おくやみコーナーでのワンストップサービス ・マイナンバーカードの普及促進及び交付申請業務 | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マイナンバーカードの申請・交付手続きは、本庁、4振興局の5か所で行っていますが、交通の利便性が良く、生活に密着した市内の商業施設内に6か所目のマイナンバーカードセンターを開設しました。図書カードの配布やキッズマイナンバー教室の開催等、カードの取得率が低い年代の取得率向上に取り組みました。 ・仕事等で市役所に出向けない方への申請促進、マイナンバーカードの健康保険証利用周知等、様々なニーズに対応するための出張申請窓口の実施に取り組みました。 ・マイナンバーカードの利用方法のさらなる周知及び利用促進を図ることにより、市役所に出向くことなくコンビニ等で戸籍その他の証明書を取得できる証明書コンビニ交付の利用率向上につなげました。 ・「婚姻等の戸籍届出」「住民異動」に伴う各種手続きが簡潔にできるように進化した「書かない窓口」を実施しました。窓口連携の横展開を実施（保険年金課、介護保険課、こども支援課等）しました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <p>令和3年12月31日で終了の予定であったマイナポイント事業が思いがけず延長となり、年明けより第2弾として継続することとなった。令和3年中の終了と想定し、行程を設定していたために冗長性が備わっておらず、第2弾への対応が後手に回ってしまった。ポイントの範囲が拡大し関連する保険年金課、情報システム課と連携を深めつつ、さらなるカード交付数の拡大を目指すためセンターの活用を図っていく。</p> <p>令和3年度は書かない窓口の他課連動初年となったが、関連する窓口担当課との連携をさらに密にすることで市民の利便性向上を導き出したいと考えている。</p> | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>マイナポイント第2弾が実施されることとなり、ポイントの拡充が図られたこともあり、さらなるカード申請の増加が予想されることからマイナンバーカードセンターの拡充が必要です。</p> <p>これまでの当センター借用面積を拡大し、従前のカードの申請・交付手続きとともに情報企画課と共同して保険証の紐づけ、公金受取口座登録及びそれぞれのポイント付与業務をセンター一か所にて行うことを企図しています。</p> <p>書かない窓口においては令和3年度から開始した他課との連携を進め、より効果的となるよう改善を進めています。</p> | | | |

【戸籍住民課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|--------------|------|----------|----------|---------------------------|----------|------|--------|---------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 個人番号カード交付事業費 | 7-① | 131,633 | 126,445 | マイナンバーカードの申請率 | | | 76,271 | マイナンバーカードの申請率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 54.0% | 55.2% | S | | 64.0% | | |
| 2 | 戸籍住民基本台帳一般経費 | 7-① | 62,039 | 74,873 | 手続きに要する所要時間の削減 (R元年度比) | | | 97,295 | 手続きに要する所要時間の削減 (R元年度比) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 15.0% | 24.1% | S | | 15.0% | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 地域安全対策課 | 作成者（評価者） | 課長 大塚 弘也 |
|--|---------|-------------------|----------|
| | | 5-① 交通安全対策の充実 | |
| | | 5-② 防犯対策と消費者保護の充実 | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>「交通安全対策の充実」では、様々な交通安全対策を行い、松阪市民の交通安全意識の高揚、交通ルールの遵守、交通マナーの向上に取り組み、交通事故死者数ゼロをめざします。</p> <p>「防犯対策の充実」では、安全で安心なまちづくりをすすめるため、地域や関係団体と連携し、刑法犯認知件数のさらなる減少をめざします。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まん延防止等重点措置、緊急事態宣言が発出されていない期間において、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行いながら、幼児から高齢者を対象とした交通安全教室や交通安全推奨像伝達式、反射材着用推進推奨像伝達式等の交通安全対策に取り組み、反射材等の啓発物の普及に努め、交通事故死傷者数は前年の283人から262人へ、交通事故死者数は前年の12人から4人へと減少し、全国ワースト2位から68位となりました。 ・地域の防犯対策の一環として、防犯カメラを新たに設置する自治会を対象として、購入費及び設置工事費に対して補助金を交付し、目標10台を上回る17台を設置することにより、地域の防犯力と体感治安の向上を図り、刑法犯認知件数は前年の813件から、651件へと減少しました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスデルタ株流行による、8月下旬から9月末までのまん延防止等重点措置、緊急事態宣言期間と、オミクロン株流行による1月下旬以降のまん延防止等重点措置期間は、交通安全教室や各種啓発活動を自粛したため、「交通安全啓発延べ人数」の目標7,000人に対して実績が6,576人、「交通安全教室延べ参加者数」の目標18,500人に対して実績が11,401人、「防犯啓発活動等の開催回数」の目標14回に対し実績が10回となりました。なお、感染拡大防止のため、「高齢ドライバー運転能力自己診断事業」、「安全・安心フェスタまつさか」は開催しませんでした。 ・特殊詐欺等被害件数は、昨年と同じく8件で目標には届きませんでした。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で対面での啓発活動が行いにくい中で、四季の交通安全運動時にあわせて、非接触型の啓発として、交通安全啓発動画を作成します。 ・交通事故統計資料等を調査し、事故多発地点の市内ワースト箇所を公表し、事故件数の減少につなげます。 ・高齢者の交通事故防止のため、反射材着用を推進し、高齢ドライバー運転能力自己診断事業を実施し、受講者数の目標を60人とします。 ・「ハンドサインキャンペーン」、「まもってくれてありがとう運動」を展開し、横断歩道での車の停止率の向上を図り、横断歩道での交通事故件数の減少をめざします。 ・65歳以上の高齢者を対象とした、特殊詐欺等被害防止を目的に製造された機器を購入する際の費用の一部を補助し、高齢者の特殊詐欺等被害防止を図ります。 ・感染症対策をしっかりと行い、交通安全教室、交通安全対策と防犯対策の啓発、各事業を実施し、さらなる交通事故死傷者数、交通事故死者数、刑法犯認知件数の減少をめざします。 | | | |

【地域安全対策課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|--------------------|------|----------|----------|----------------------|----------|------|--------|----------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 交通安全啓発事業費 | 5-① | 4,711 | 3,232 | 交通安全啓発延べ人数 | | | 4,291 | 交通安全啓発延べ人数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 7,000人 | 6,576人 | A | | 7,000人 | | |
| 2 | 交通安全教育推進事業費 | 5-① | 3,293 | 2,940 | 交通安全教室延べ参加者数 | | | 3,293 | 交通安全教室延べ参加者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 18,500人 | 11,401人 | C | | 19,000人 | | |
| 3 | 自転車駐車対策事業費 | 5-① | 10,225 | 10,222 | 放置自転車対策啓発延べ人数 | | | 10,625 | 放置自転車対策啓発延べ人数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 6,000人 | 6,300人 | S | | 7,000人 | | |
| 4 | 交通安全対策一般経費 | 5-① | 5,138 | 5,121 | 交通事故死者数全国ワースト順位 前年以上 | | | 5,158 | 交通事故死者数全国ワースト順位 前年以上 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2位以上 | 68位 | S | | 68位以上 | | |
| 5 | 高齢ドライバー運転能力自己診断事業費 | 5-① | 475 | 13 | ドラレコ運転診断受講者数 | | | 475 | ドラレコ運転診断受講者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 60人 | - | - | | 60人 | | |
| 6 | 安全・安心なまちづくり推進事業費 | 5-② | 1,430 | 655 | 安全・安心施策推進協議会等の開催回数 | | | 1,635 | 安全・安心施策推進協議会等の開催回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 3回 | 2回 | C | | 3回 | | |
| 7 | 防犯対策事業費 | 5-② | 8,780 | 8,414 | 防犯啓発活動等の開催回数 | | | 8,575 | 防犯啓発活動等の開催回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 14回 | 10回 | B | | 14回 | | |
| 8 | 防犯カメラ設置補助金 | 5-② | 1,000 | 1,000 | 防犯カメラの設置台数 | | | 1,000 | 防犯カメラの設置台数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 10台 | 17台 | S | | 10台 | | |
| 9 | 犯罪被害者日常生活支援事業費 | 5-② | 490 | 490 | 犯罪被害者への支援件数 | | | 490 | 犯罪被害者への支援件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0件 | 0件 | - | | 0件 | | |
| 10 | 特殊詐欺等被害防止機器購入補助金 | 5-② | 800 | 800 | 特殊詐欺等被害件数 | | | 800 | 特殊詐欺等被害件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 5件 | 8件 | E | | 4件 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|-------------------|----------|----------|
| 組織名 | 人権・多様性社会課 | 作成者（評価者） | 課長 越川 元博 |
| 関係する『総合計画』施策 | 4-⑥ 人権尊重・多様性社会の推進 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>人権・多様性社会課は、以下の実現をめざしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの人権が尊重され、あらゆる差別をなくすための人権意識を高め、すべての人々が希望と誇りを持って社会に参加できる地域社会 ・性別、国籍、障がい等にかかわらず個人として尊重され、個性と能力を十分に発揮することができる多様性社会(Diversity) ・誰も自殺に追い込まれることのない社会 | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <p>新型コロナウイルス感染症により、人を集めての啓発事業の展開は困難でありましたが、新たにWEB配信の手法を活用し、人権講演会の配信を2回行うことができました。</p> <p>また、多様性社会実現の取り組みでは、新型コロナウイルスの取り組みをテーマに県内・市内活動中の市民団体の代表者による「多文化共生シンポジウム」を開催し、録画収録をしたものをWEB配信、また男女共同においては、「男女共同参画松阪フォーラム」を講演会のみ規模を縮小し、同じくWEB配信を行い、多様性社会実現のための一助としました。</p> | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <p>新型コロナウイルス感染症禍において新たな手法での啓発をいくつか実施することができましたが、街頭啓発や小規模での研修会など基礎自治体の強みを生かした、市民への直接的な取り組みができませんでした。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症の状況の把握に努め、新たな手法での啓発方法を検討・研究する必要があると思います。</p> | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度において達成ができなかった審議会等における女性委員の登用率目標値35%が達成できるよう、さらに各課、関係機関等に対し、啓発等を行っていきます。 ・人権問題についての正しい理解と認識を深めていただき、あらゆる差別をなくすための啓発を実施していきます。 ・関係機関等と連携しながら多文化共生社会の確立に努めていきます。 ・誰も自殺に追い込まれることのないよう、自殺予防対策、啓発に努めていきます。 | | | |

【人権・多様性社会課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------------|------|----------|----------|-----------------------|----------|------|-------|-----------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 人権啓発事業費 | 4-⑥ | 4,709 | 4,329 | 人権講演会参加者満足度 | | | 6,454 | 人権講演会参加者満足度 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 95.0% | 96.6% | A | | 95.0% | | |
| 2 | 地域自殺対策強化事業費 | 4-⑥ | 498 | 498 | メンタルパートナー養成講座参加者数 | | | 498 | メンタルパートナー養成講座参加者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 300人 | 79人 | E | | 300人 | | |
| 3 | 人権啓発一般経費 | 4-⑥ | 2,878 | 2,878 | 人権施策審議会の開催回数 | | | 2,991 | 人権施策審議会の開催回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2回 | 2回 | S | | 2回 | | |
| 4 | 男女共同参画行政推進事業費 | 4-⑥ | 1,753 | 1,505 | 男女共同参画松阪フォーラム参加者満足度 | | | 1,759 | 男女共同参画松阪フォーラム参加者満足度 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 95.0% | 100.0% | S | | 95.0% | | |
| 5 | 国際交流事業団体補助金 | 4-⑥ | 600 | 600 | 補助金交付団体数 | | | 600 | 補助金交付団体数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 4団体 | 0団体 | E | | 4団体 | | |
| 6 | 多文化共生推進事業費 | 4-⑥ | 1,385 | 1,385 | 多文化共生講演会(シンポジウム)の参加者数 | | | 1,379 | 多文化共生講演会(シンポジウム)の参加者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 150人 | 162回 | S | | 150人 | | |
| 7 | 生活オリエンテーション事業費 | 4-⑥ | 7,447 | 7,447 | 通訳、翻訳対応件数 | | | 7,267 | 通訳、翻訳対応件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 8,000件 | 6,588件 | B | | 9,000件 | | |
| 8 | 多様性社会一般経費 | 4-⑥ | 2,614 | 2,614 | 男女共同参画審議会の開催回数 | | | 2,652 | 男女共同参画審議会の開催回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2回 | 2回 | S | | 2回 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|------------------|----------|---------|
| 組織名 | 健康福祉総務課 | 作成者（評価者） | 課長 大西 学 |
| 関係する『総合計画』施策 | 2-③ 地域福祉・生活支援の充実 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>健康福祉総務課は、少子高齢化や人口減少が進むなか、複雑な課題を抱えた世帯や制度の狭間と言われるような世帯の課題解決のために、重層的支援体制を構築していきます。</p> <p>また、保健・福祉・子育て等幅広い分野を担う健康福祉部内の横断的施策の企画及び総合調整を行っています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月1日に、社会福祉法人松阪市社会福祉協議会に委託し、相談支援包括化推進員を市役所1階の松阪市生活相談支援センター内に配置し、複雑な課題を抱えた世帯等の課題解決に向け、関係する支援機関の役割分担を行いながらチームで支援を行い多機関協働事業を実施しました。 ・福祉分野だけでなく、地域づくり、商工、収納、教育委員会等の7部局23課で構成した松阪市重層的支援体制整備庁内連携会議を設置し、重層的支援体制整備事業の推進に係る部局横断的な連携体制を構築しました。 ・高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業は、高齢者支援課、介護保険課、健康づくり課、保険年金課、健康福祉総務課の5課で実施体制等を協議し、令和4年度の事業実施に繋げました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松阪市の重層的支援体制整備事業に向けた取組に対し、健康と福祉の地域づくりアドバイザーから助言等を毎月いただき進める予定でしたが、オンライン会議での3回となりました。アドバイザーからの助言のなかで、庁内外の連携の強化が課題であることを認識できたため、連携強化に向けた取組をより充実させていきます。 ・福祉、保健等のニーズが益々多様化、複雑化する中で、部内の連携、横の繋がりが大切となります。実施計画作成に当たって、複数の課が関連する事業等について総合的な調整役を担います。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・身近な相談を地域で受け止める相談窓口「福祉まるごと相談室」を7月からモデル事業として3地区（鎌田、嬉野、飯高）で実施し、効果検証をしながら令和5年度以降の市内全域の設置をめざします。 ・地域づくり連携課、住民自治協議会等の地域と連携し、コミュニティセンター化と重層的支援体制整備の一体的な取り組みを進めていきます。 ・重層的支援体制整備事業の本格実施に向け、多機関協働、アウトリーチ等を通じた継続的支援、参加支援事業を実施していきます。 ・6月を目途に、市役所1階にひきこもり相談窓口を設置し、相談支援、居場所づくりや家族教室など、ひきこもりの当事者やその家族に対し必要な支援を行っていきます。 | | | |

【健康福祉総務課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------|------|----------|----------|-----------------------|----------|------|---------|----------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 社会福祉協議会補助金 | 2-③ | 211,361 | 211,361 | 地域福祉活動の支援地区数 | | | 177,428 | 地域福祉活動の支援地区数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 43地区 | 43地区 | S | | 43地区 | | |
| 2 | 包括的相談支援事業費 | 2-③ | 12,162 | 12,162 | 相談支援包括化推進員の設置 | | | 0 | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2人 | 2人 | S | | - | | |
| 3 | 重層的支援体制推進事業費 | 2-③ | 0 | 0 | - | | | 69,083 | 身近な相談窓口のモデル設置箇所数(累計) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 3箇所 | | |
| 4 | 地域の健康と福祉推進事業費 | 2-③ | 566 | 566 | 健康と福祉の地域づくりアドバイザーとの協議 | | | 0 | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 12回 | 3回 | E | | - | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 地域福祉課 | 作成者（評価者） | 課長 前出 和也 |
|---|------------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 1-④ 子ども・子育て支援の推進 | | |
| | 2-③ 地域福祉・生活支援の充実 | | |
| | 2-⑤ 障がい福祉の推進 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>地域福祉課は、「地域福祉係」「福祉医療係」「社会福祉法人指導監査係」「生活サポート係」の4係と「隣保館（第一・第二・中原）」「福祉会館」の4施設を所管しています。</p> <p>地域福祉（活動）計画の実行に向けての取組、福祉医療費助成、社会福祉法人の指導監査の実施、生活困窮者の自立の促進、人権啓発と住民交流の拠点施設の運営、福祉活動への参加を促進する活動の場の提供等の事業を行い、地域における支え合い活動の普及を図り、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることのできる地域社会づくりの推進を図ります。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の地域福祉の推進を目的とした第3期松阪市地域福祉（活動）計画が令和4年度で期間満了となることから、松阪市地域福祉計画策定委員会を設立し、令和3年9月に第1回目、令和4年1月に第2回目を開催し、第4期松阪市地域福祉（活動）計画策定に向けた協議を実施することができました。 ・生活困窮者自立相談支援事業、家計改善支援事業、就労準備支援事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により経済的に困窮された方の相談が大幅に増えましたが、電話予約や窓口分散などの感染予防対策をとりながら、随時相談業務を行い、きめ細やかな支援ができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活困窮者住居確保給付金支給事業について、新型コロナウイルス感染症の影響により、経済的に困窮された方への支給が増大しましたが、給付終了時の目標である就労や収入増加につなげることは困難でした。今後は、生活困窮に陥る前に相談し、住まいを確保しつつ安心して就職活動に取り組めるよう、制度内容を広く周知するとともに、常用就労に結びつけられるようハローワークとの連携強化や情報共有をより一層進めます。 ・生活困窮世帯学習支援事業について、新型コロナウイルス感染症の影響により学習室の開催を中止した期間があったことから、目標を達成することができませんでした。 ・隣保館事業費は、新型コロナウイルス感染拡大防止にかかる緊急事態宣言等のため、定期講座、貸館事業の中止、自主事業の自粛などが相次いだことにより目標を下回りました。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度より（令和2年社会福祉法改正により取り組むこととなった）重層的支援体制整備事業を中心に、（高齢、障がい、児童等の各分野に共通する支援である）生活困窮者自立支援、権利擁護支援、（社会的孤立を防ぐ取組としての）ひきこもり対策、再犯防止を骨子として盛り込んだ第4期松阪市地域福祉（活動）計画を実施するため、計画策定委員会を開催し関係機関や関係部署とも意見交換し令和4年度に計画を完成します。 ・自身が亡くなった場合の死後の手続きについての相談窓口を、地域福祉課・地域福祉係に開設します。相談内容に応じて、死後事務を取り扱うエンディングサポート協力事業者等を紹介したり、経済的に困窮する身寄りの無い高齢者等には契約締結の費用の一部を補助します。 ・令和4年度は、任期3年である民生委員児童委員全国一斉改選が行われます。民生委員児童委員の選出には地域からの推薦が必要となります。高齢化が進む社会では民生委員児童委員の活動は大変重要であることから、地域へ支援を進めます。 | | | |

【地域福祉課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-------|----------------------|------|----------|----------|---------------------------|----------|---------------------------|----|--------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 地域福祉計画策定事業費 | 2-③ | 802 | 465 | 第4期地域福祉(活動)計画策定に向けての進捗管理 | 3,780 | 第4期地域福祉(活動)計画の完成 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | | 100.0% | A | 100.0% | | |
| 2 | 保護司会補助金 | 2-③ | 1,544 | 1,544 | 更生保護サポートセンター開設日数 | 1,548 | 更生保護サポートセンター開設日数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 180日/年 | | 217日/年 | A | 180日/年 | | |
| 3 | 遺族会補助金 | 2-③ | 1,056 | 1,056 | 上部団体役員会への参加率 | 777 | 上部団体役員会への参加率 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 75.0% | | 100.0% | S | 75.0% | | |
| 4 | 厚生団体補助金 | 2-③ | 40 | 0 | 新型コロナウイルス感染症対策により中止 | 40 | 松阪地区母親大会参加者数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | | - | - | 80人 | | |
| 5 | 民生委員児童委員協議会連合会活動費補助金 | 2-③ | 4,719 | 4,719 | ①活動日数(一人平均) | 5,019 | ①活動日数(一人平均) | | | | |
| | | | | | ②相談支援件数(一人平均) | | ②相談支援件数(一人平均) | | | | |
| | | | | | ③研修参加回数(一人平均) | | ③研修参加回数(一人平均) | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| ①5日/月 | ①5日/月 | A | ①5日/月 | | | | | | | | |
| ②1回/月 | ②1回/月 | | ②2回/月 | | | | | | | | |
| ③1回/年 | ③1回/年 | | ③1回/年 | | | | | | | | |
| 6 | 民生委員児童委員一斉改選事業費 | 2-③ | 0 | 0 | - | 873 | 年度内の業務進捗率 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | | - | - | 100.0% | | |
| 7 | 社会福祉統計調査事業費 | 2-③ | 410 | 0 | 新型コロナウイルス感染症対策により中止 | 410 | 調査依頼時の実績率 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | | - | - | 100.0% | | |
| 8 | 戦没者追悼式事業費 | 2-③ | 882 | 882 | 追悼式出席者数 | 880 | 追悼式出席者数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 45人 | | 37人 | B | 500人 | | |
| 9 | 中国残留邦人等生活支援給付事業費 | 2-③ | 5,934 | 4,492 | 支援・相談員訪問面談回数 | 5,771 | 支援・相談員訪問面談回数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 25回/年 | | 25回/年 | S | 25回/年 | | |
| 10 | 社会福祉法人指導監査等事業費 | 2-③ | 1,062 | 1,062 | 設立認可、定款変更等の届出受理後、2週間以内の処理 | 1,020 | 設立認可、定款変更等の届出受理後、2週間以内の処理 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | | 100.0% | S | 100.0% | | |
| 11 | 地区民生委員児童委員協議会補助金 | 2-③ | 9,960 | 9,960 | 研修の実施、地域活動の実施 | 9,960 | 研修の実施、地域活動の実施 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 各1回 | | 各1回 | A | 各1回 | | |
| 12 | 生活困窮者自立相談支援事業費 | 2-③ | 19,583 | 19,244 | 生活困窮者自立相談受付件数 | 21,865 | 生活困窮者自立相談受付件数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 270件/月 | | 559件/月 | S | 270件/月 | | |
| 13 | 生活困窮者住居確保給付金支給事業費 | 2-③ | 24,183 | 18,100 | 給付終了時の就労又は増収率 | 19,674 | 給付終了時の就労又は増収率 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 80.0% | | 55.9% | B | 80.0% | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------------------|------|----------|---------|-------------------------------------|-----------------|------|---------|-------------------------------------|----|------|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 活動指標 | | | |
| 14 | 生活困窮者家計改善支援事業費 | 2-③ | 5,208 | 5,208 | 生活困窮者家計相談件数 | | | 5,220 | 生活困窮者家計相談件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 20件/月 | 53.3件/月 | S | | 20件/月 | | | | | |
| 15 | 生活困窮者就労準備支援事業費 | 2-③ | 5,933 | 5,933 | 生活困窮者就労準備支援事業対応件数 | | | 5,838 | 生活困窮者就労準備支援事業対応件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 20件/年 | 45件/年 | S | | 20件/年 | | | | | |
| 16 | 生活困窮世帯学習支援事業費 | 2-③ | 6,169 | 4,925 | 利用登録者の参加率 | | | 6,247 | 利用登録者の参加率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 90.0% | 80.5% | B | | 90.0% | | | | | |
| 17 | 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業費 | 2-③ | 0 | 31,614 | 新規および継続相談件数 | | | 17,768 | 新規および継続相談件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 80件/月 | 82件/月 | S | | 80件/月 | | | | | |
| 18 | エンディングサポート事業費 | 2-③ | 0 | 0 | - | | | 746 | 市民啓発活動回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 3回/年 | | | | | |
| 19 | 社会福祉一般経費 | 2-③ | 4,739 | 9,259 | 経費の効率化(当初予算額からの削減額) | | | 4,401 | 経費の効率化(当初予算額からの削減額) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 50千円 | 50千円 | A | | 30千円 | | | | | |
| 20 | 医療費助成事業費(障がい者) | 2-⑤ | 479,468 | 428,968 | 助成データチェック業務に要する日数 | | | 493,438 | 助成データチェック業務に要する日数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 25日/月 | 25日/月 | S | | 25日/月 | | | | | |
| 21 | 福祉会館管理運営事業費 | 2-③ | 13,300 | 10,009 | 会館利用団体等の利用回数 ①福祉関係団体等 ②一般使用者等 | | | 12,645 | 会館利用団体等の利用回数 ①福祉関係団体等 ②一般使用者等 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | ①500回 ②20回 | ①1,958回 ②41回 | S | | ①1,800回 ②30回 | | | | | |
| 22 | 隣保館管理運営事業費 | 2-③ | 31,896 | 27,584 | 来館者の施設利用満足度 | | | 31,239 | 来館者の施設利用満足度 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 良い90%以上 | 87.7% | A | | 良い90%以上 | | | | | |
| 23 | 隣保館施設整備事業費 | 2-③ | 13,412 | 12,170 | 改修工事完了に向けた進捗管理 | | | 40,315 | 改修工事完了に向けた進捗管理 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 24 | 隣保館事業費 | 2-③ | 8,741 | 5,413 | 各隣保館における対前年度利用者比率 | | | 8,615 | 各隣保館における対前年度利用者比率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 76.2% | B | | 100.0% | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | 令和4年度 | | | | |
|-----|---------------------|------|----------|-----------|-------------------|--------|----|----------|-------------------|----|----|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | |
| 25 | 医療費助成事業費(こども) | 1-① | 602,796 | 529,642 | 助成データチェック業務に要する日数 | | | 585,883 | 助成データチェック業務に要する日数 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 25日/月 | 25日/月 | S | | 25日/月 | | | |
| 26 | 医療費助成事業費(一人親家庭等) | 1-① | 112,520 | 108,020 | 助成データチェック業務に要する日数 | | | 112,246 | 助成データチェック業務に要する日数 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 25日/月 | 25日/月 | S | | 25日/月 | | | |
| 27 | 災害弔慰金 | 2-③ | 5,000 | 5,000 | 支給対象者の把握率 | | | 5,000 | 支給対象者の把握率 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | |
| 28 | 小災害見舞金 | 2-③ | 1,300 | 1,300 | 対象者への見舞金支給までの期間 | | | 1,300 | 対象者への見舞金支給までの期間 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 3日以内 | 3日以内 | S | | 3日以内 | | | |
| 29 | 住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費 | 2-③ | 0 | 1,739,875 | 支給決定者への支給率 | | | 246,631 | 支給決定者への支給率 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | |

【地域福祉課】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | 令和4年度 | | | | |
|-----|--------------------|------|----------|----------|------------------------|--------|----|----------|------------------------|----|----|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | |
| 1 | 第3期地域福祉(活動)計画の推進業務 | 2-③ | / | / | 第3期地域福祉(活動)計画関連事業の進捗管理 | | | / | 第3期地域福祉(活動)計画関連事業の進捗管理 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | |
| 2 | 民生委員児童委員協議会連合会事務局 | 2-③ | / | / | 正副会長会議・理事会の開催 | | | / | 正副会長会議・理事会の開催 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 各11回 | 各11回 | S | | 各11回 | | | |
| 3 | 日本赤十字社松阪支部事務局 | 2-③ | / | / | 社資・義援金の募金等の適正管理 | | | / | 社資・義援金の募金等の適正管理 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|---------------------|-----------------|-----------------|
| 組織名 | 障がい福祉課 | 作成者（評価者） | 課長 西嶋 秀喜 |
| 関係する『総合計画』施策 | 2-⑤ 障がい福祉の推進 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| 障がいのある方が自らの意思に基づき、社会のあらゆる分野の活動に参加・参画し、その人らしく生き生きと自立した生活を送ることができるよう必要な障害福祉サービスの提供を行うとともに、障がい者やその家族からの相談支援体制の充実を図り、必要なサービスが継続的に提供されるよう関係機関と連携して取り組みます。 | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| 【達成できたこと】 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・円滑な介護保険制度への移行のため、マーベル、相談支援事業所、包括支援センター、障がい福祉課などが、移行支援連携会議を中心として連携し、適切な福祉サービスの提供へ繋げました。 ・令和3年4月1日からの新たな「障害福祉サービス等利用の手引き」の運用開始、同年10月1日からの地域生活支援事業の見直しなどを通じ、相談支援の標準化と質の向上、効率化に取り組みました。 ・災害時に障がいのある方がより安心して避難生活が送れるよう障害福祉サービスを提供する11法人24事業所と「災害時における福祉避難所の設置・運営に関する協定」を締結しました。 ・聴覚障がい者の感染症拡大防止対策を考慮した情報保障として、市独自の遠隔手話通訳サービスを利用できる環境を整備しました。 ・障害福祉サービス提供事業所からのコロナ感染症対応の相談に応じ、臨時的在宅支援などの円滑な制度利用を勧めるなど、障がい者に必要なサービスが継続的に利用できるよう関係機関と連携して取り組みました。 ・コロナ禍においても相談支援事業所と連携し、障害福祉サービスの支給決定を遅延なく行いました。 ・グループホームの整備推進については、令和3年度中に市内で7事業所、定員37名の新規指定がありました。 | | | |
| 【達成できなかったこと・改善すべき点】 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者・障がい者虐待防止ネットワーク、地域自立支援協議会、差別解消支援地域協議会など、障がい者とその家族や障害福祉サービス提供事業所などの協議の場等について、制度改正等に伴うもの以外は、コロナの影響により開催を見送りました。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の高齢化、障がいの重度化、親亡き後の課題に対応する一環として、障がい者の地域での生活を支える地域生活支援拠点の整備に向けた関係機関による協議を開始します。 ・地域で自立した生活を支援するためグループホームの整備を推進します。 ・相談支援専門員の育成に取り組むため新任研修及び現任研修の実務演習に取り組み、マーベル、相談支援事業所、障がい福祉課との顔の見える関係づくりを進めることで相談支援体制の充実に努めます。 ・医療的ケア児や重症心身障害児の地域での受入が円滑に行われるよう関係機関と連携して取り組みます。 ・障害福祉サービス提供事業所の福祉避難所指定への理解を深め、福祉避難所の指定に取り組みます。 ・包括的な支援が必要な障がい者の安心した地域生活を実現するため重層的支援関係機関とのより良い連携について検討していきます。 | | | |

【障がい福祉課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------|------|-----------|-----------|--------------------------|----------|---------|-----------|--------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 重度障がい者外出支援事業費 | 2-⑤ | 25,316 | 25,316 | 活動指標 | | | 26,250 | 活動指標 | | |
| | | | | | 重度心身障がい者タクシー料金助成事業利用者数 | | | | 重度障がい者外出支援事業利用者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 550人 | 524人 | A | | 950人 | | | | |
| 2 | 障がい者ケア事業費 | 2-⑤ | 2,398 | 1,043 | 活動指標 | | | 2,398 | 活動指標 | | |
| | | | | | 障がい者等からの相談件数 | | | | 障がい者等からの相談件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 53件 | 59件 | S | | 53件 | | | | |
| 3 | 障がい者団体活動事業費補助金 | 2-⑤ | 2,060 | 1,960 | 活動指標 | | | 2,060 | 活動指標 | | |
| | | | | | 各障がい者団体の組織率 | | | | 各障がい者団体の組織率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 8.0% | 8.3% | S | | 8.0% | | | | |
| 4 | 心身障害者扶養共済掛金助成金 | 2-⑤ | 72 | 72 | 活動指標 | | | 72 | 活動指標 | | |
| | | | | | 三重県心身障害者扶養共済掛金助成金対象者数 | | | | 三重県心身障害者扶養共済掛金助成金対象者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 1人 | 0人 | E | | 1人 | | | | |
| 5 | 手話普及啓発事業費 | 2-⑤ | 2,354 | 2,054 | 活動指標 | | | 2,354 | 活動指標 | | |
| | | | | | 手話施策推進会議市民委員の採用 | | | | 手話施策推進会議市民委員の参画 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 3人 | 3人 | S | | 3人 | | | | |
| 6 | 障がい者福祉給付事業費 | 2-⑤ | 1,272 | 1,335 | 活動指標 | | | 1,752 | 活動指標 | | |
| | | | | | 重度障がい者(児)紙オムツ給付件数 | | | | 重度障がい者(児)紙オムツ給付件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 200件 | 363件 | S | | 200件 | | | | |
| 7 | 特別障害者手当等給付事業費 | 2-⑤ | 79,294 | 79,294 | 活動指標 | | | 79,115 | 活動指標 | | |
| | | | | | 特別障害者手当受給者数 | | | | 特別障害者手当受給者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 220人 | 225人 | S | | 220人 | | | | |
| 8 | 障がい者福祉一般経費 | 2-⑤ | 25,636 | 23,479 | 活動指標 | | | 28,883 | 活動指標 | | |
| | | | | | 介護給付費給付件数 | | | | 介護給付費給付件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 22000件 | 19,344件 | B | | 22,000件 | | | | |
| 9 | 介護給付費等給付事業費 | 2-⑤ | 3,911,192 | 3,950,192 | 活動指標 | | | 4,087,694 | 活動指標 | | |
| | | | | | 介護給付費給付件数 | | | | 介護給付費等給付件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 22000件 | 19,344件 | B | | 22,000件 | | | | |
| 10 | 自立支援医療費給付事業費 | 2-⑤ | 229,287 | 229,287 | 活動指標 | | | 229,287 | 活動指標 | | |
| | | | | | 自立支援医療費(育成医療・更生医療)給付決定件数 | | | | 自立支援医療費(育成医療・更生医療)給付決定件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 150件 | 216件 | S | | 200件 | | | | |
| 11 | 障害者補装具費給付事業費 | 2-⑤ | 39,180 | 39,180 | 活動指標 | | | 43,149 | 活動指標 | | |
| | | | | | 障害者補装具費給付件数 | | | | 障害者補装具費給付件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 320件 | 307件 | A | | 320件 | | | | |
| 12 | 障害者日常生活用具給付等事業費 | 2-⑤ | 46,380 | 56,180 | 活動指標 | | | 48,291 | 活動指標 | | |
| | | | | | 障害者日常生活用具給付件数 | | | | 障害者日常生活用具給付件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 3,800件 | 4,230件 | S | | 3,800件 | | | | |
| 13 | 障害者日常生活支援事業費 | 2-⑤ | 122,215 | 121,765 | 活動指標 | | | 104,095 | 活動指標 | | |
| | | | | | 日中一時支援利用者数 | | | | 日中一時支援利用者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 330人 | 298人 | A | | 330人 | | | | |
| 14 | 移動支援事業費 | 2-⑤ | 84,000 | 84,000 | 活動指標 | | | 84,000 | 活動指標 | | |
| | | | | | 移動支援利用者数 | | | | 移動支援利用者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 300人 | 303人 | S | | 300人 | | | | |
| 15 | 地域活動相談支援事業費 | 2-⑤ | 39,006 | 39,006 | 活動指標 | | | 38,952 | 活動指標 | | |
| | | | | | 障がい者相談支援員による支援件数 | | | | 障がい者相談支援員による相談支援実人数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 5,000件 | 3,021件 | C | | 1,000人 | | | | |

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|------------------|------|----------|--|----------|--|---------------------------|---------|----------|---------|------|---------------------------|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 活動指標 | | | |
| 16 | 意思疎通支援事業費 | 2-⑤ | 14,141 | | 14,052 | | 聴覚障がい者の意思疎通支援のための登録手話通訳者数 | | | 13,836 | | 聴覚障がい者の意思疎通支援のための登録手話通訳者数 | | |
| | | | 目標 | | 実績 | | 評価 | 目標 | | 実績 | | 評価 | | |
| | | | 12人 | | 13人 | | S | 12人 | | | | | | |
| 17 | 福祉ホーム運営事業費補助金 | 2-⑤ | 320 | | 320 | | 福祉ホーム利用者数 | | | 320 | | 福祉ホーム利用者数 | | |
| | | | 目標 | | 実績 | | 評価 | 目標 | | 実績 | | 評価 | | |
| | | | 1人 | | 1人 | | S | 1人 | | | | | | |
| 18 | 障害者総合支援認定審査事業費 | 2-⑤ | 10,598 | | 10,598 | | 障害者自立支援認定審査件数 | | | 10,647 | | 障害者自立支援認定審査件数 | | |
| | | | 目標 | | 実績 | | 評価 | 目標 | | 実績 | | 評価 | | |
| | | | 550件 | | 575件 | | S | 550件 | | | | | | |
| 19 | 自立支援協議会事業費 | 2-⑤ | 806 | | 806 | | 会議等開催回数 | | | 806 | | 会議等開催回数 | | |
| | | | 目標 | | 実績 | | 評価 | 目標 | | 実績 | | 評価 | | |
| | | | 4回 | | 0回 | | - | 4回 | | | | | | |
| 20 | 障害者福祉センター管理運営事業費 | 2-⑤ | 5,993 | | 5,993 | | 障害者福祉センター利用者登録人数 | | | 5,988 | | 障害者福祉センター利用者登録人数 | | |
| | | | 目標 | | 実績 | | 評価 | 目標 | | 実績 | | 評価 | | |
| | | | 120人 | | 96人 | | B | 120人 | | | | | | |
| 21 | 障害者福祉センター活動事業費 | 2-⑤ | 13,840 | | 13,659 | | 障害者福祉センター社会参加促進事業利用人数 | | | 13,844 | | 障害者福祉センター社会参加促進事業利用人数 | | |
| | | | 目標 | | 実績 | | 評価 | 目標 | | 実績 | | 評価 | | |
| | | | 100人 | | 89人 | | B | 100人 | | | | | | |
| 22 | 障害児通所支援事業費 | 2-⑤ | 692,275 | | 719,975 | | 児童発達支援延べ利用者数 | | | 755,800 | | 障害児通所支援給付件数 | | |
| | | | 目標 | | 実績 | | 評価 | 目標 | | 実績 | | 評価 | | |
| | | | 2,800人 | | 2,545人 | | A | 10,000人 | | | | | | |
| 23 | 障害児福祉手当等給付事業費 | 2-⑤ | 23,833 | | 23,833 | | 障害児福祉手当受給者数 | | | 23,712 | | 障害児福祉手当受給者数 | | |
| | | | 目標 | | 実績 | | 評価 | 目標 | | 実績 | | 評価 | | |
| | | | 120人 | | 110人 | | A | 120人 | | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 保護課 | 作成者（評価者） | 課長 松田 佳浩 |
|---|------------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 2-③ 地域福祉・生活支援の充実 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>生活保護制度は、資産や能力等すべてを活用してもなお生活に困窮する方に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い「健康で文化的な最低限度の生活」を保障するとともに、自立を助長することを目的とし、生活困窮者対策の中の最後のセーフティネットとしての役割を担っています。このため、保護課では生活に困窮する方に、社会保障や生活困窮の支援対策、様々な生活課題に対応する福祉サービスなどの情報提供に努めるとともに、生活保護適正実施の基本となる訪問・面接活動により生活保護受給者の自立阻害要因を把握し、個々に必要な支援等を行います。また「被保護者健康管理支援事業」を健康づくり課と共に取り組みます。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度の重点取組として「訪問調査活動の充実」の目標を面接率80%以上としていました。新型コロナウイルス感染防止対策として『電話による聞き取り調査』に重点を置き、聞き取りができたものもカウントしたことから面接率は95.8%となりました。 ・扶養義務調査の補完は、令和3年度は618件を調査し、全数の3分の2に達しました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自立支援プログラムによる就労開始件数が17件に留まりました。保護受給者の中で高齢者や精神疾患を患った方の増加により自立支援プログラムの対象者を選定することも難しくなってきました。 ・被保護者健康管理支援事業はコロナウイルス感染予防として、訪問を自粛していることから健康づくり課保健師との同行訪問は実施できていませんが、令和3年度はアンケートにより実態把握に努めました。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>令和4年度の重点取組は、訪問調査活動の充実と扶養義務調査の補完の継続と自立支援プログラムの見直しの検討の3点とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問調査活動の充実は、目標として面接率90%以上とします。新型コロナウイルス感染収束の見込みは不明なため、引き続き感染防止対策として『電話による聞き取り調査』を中心に実施いたします。 ・扶養義務調査の補完は、扶養義務者把握のための戸籍が取得できていないものがあることから、その戸籍を収集し、扶養義務者を把握するものです。全数約1750件の3分の2を調査することができましたので、引き続き目標は400ケースとします。 ・自立支援プログラム対象者の選定を、高齢者や精神疾患を患った方の増加を考慮し、実効性が高くなるよう見直しを検討します。 | | | |

【保護課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | 令和4年度 | | | | |
|-----|----------------|------|-----------|-----------|-----------------------|--------|----|-----------|-----------------------|----|----|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | |
| 1 | 嘱託医師報酬 | 2-③ | 900 | 900 | 医療検討会での検討件数 | | | 900 | 医療検討会での検討件数 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 100件 | 90件 | A | | 100件 | | | |
| 2 | 生活保護適正実施推進事業費 | 2-③ | 4,183 | 4,183 | 後発医薬品の使用割合 | | | 4,406 | 後発医薬品の使用割合 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 90.0% | 88.00% | A | | 90.0% | | | |
| 3 | 生活保護受給者就労支援事業費 | 2-③ | 2,980 | 2,980 | 自立支援プログラムによる就労開始、自立件数 | | | 0 | 自立支援プログラムによる就労開始、自立件数 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 30件 | 17件 | C | | 30件 | | | |
| 4 | 生活保護一般経費 | 2-③ | 14,554 | 14,072 | 訪問計画に対する面接率 | | | 15,371 | 訪問計画に対する面接率 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 80.0% | 95.8% | S | | 80.0% | | | |
| 5 | 生活保護扶助費 | 2-③ | 3,880,000 | 3,580,000 | 訪問計画に対する面接率 | | | 3,780,000 | 訪問計画に対する面接率 | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | |
| | | | | | 80.0% | 95.8% | S | | 80.0% | | | |

第3章 各所属と「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|--------------|----------|----------|
| 組織名 | 高齢者支援課 | 作成者（評価者） | 課長 西山 充代 |
| 関係する『総合計画』施策 | 2-④ 高齢者福祉の推進 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>高齢者支援課は、高齢者が安心して元気で暮らし続けられるよう、在宅福祉サービスや養護老人ホームの入所手続き、元気高齢者づくりのための介護予防や、認知症の人や家族の支援に取り組んでいます。高齢者サービス係、地域包括支援係、老人福祉センター（松寿園）の3つの係で業務を行っています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「もめんノート」は、令和3年度は1237冊を市民に配布し累計10673冊となりました。書き方講座は、コロナ禍のため縮小し計22回、304名の市民に参加いただいたほか、市ホームページで書き方の動画配信、医療介護関係者の研修会、図書館とのコラボ事業等を企画し、有効活用を進めました。 ・「認知症高齢者等個人賠償責任保険制度」は、令和3年度に51人が加入し累計で216人が加入しています。また「松阪市成年後見センター」は年間200件の相談に対応し、高齢者等が安心して暮らし続けるための仕組みづくりを行いました。 ・医療と介護の連携向上として、高齢者施設からの救急搬送時の課題解決のため、情報連携をスムーズにするためのガイドラインを作成しましたので、医療介護及び消防関係者がオンラインで勉強会を行いました。その中で「もめんノート」や「救急医療情報キット」の活用をアピールしました。また、在宅医療講演会は参集型を中止し、在宅診療の医師2名の講演と対談をケーブルTVとYouTubeで動画配信し、啓発に努めました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により介護予防教室や地域包括支援センターの様々な講座が中止となり、参加が減少しました。今後も感染防止対策を徹底し開催方法の工夫で要介護状態にならない取り組みが必要です。 ・老人クラブの加入者が減少しています。高齢者の社会参加の場として活性化が望まれます。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>今年度から重層的支援体制が開始されるなか、健康寿命の延伸を目指し「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施」に取り組み、地域包括ケアシステムのさらなる推進を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施」は、市内モデル3地区において、75歳以上高齢者の特性と課題を分析し、医療専門職の指導により高齢者の社会参加と介護予防に取り組みます。 ・「もめんノート」については、医療・介護の関係者と連携して有効活用の取り組みを行うほか、身寄りのない高齢者や家族と疎遠な状況の市民の終末期を支援する「エンディングサポート事業」と連携して利用を進めます。 ・認知症高齢者等やその家族への支援については、「認知症ハンドブック」等で相談窓口の周知を行うほか、「認知症高齢者等個人賠償責任保険制度」や「おかえりSOSネットワーク」の加入促進を進めます。 | | | |

【高齢者支援課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------------|------|------------|--------|----------|----|-------------------|----|------------|----|-------------------|--|------|--|
| | | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | |
| 1 | 飯南ふれあいセンター管理 事業費 | 2-④ | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | |
| | | | 12,144 | | 12,144 | | 複合利用施設としての年間利用件数 | | 13,157 | | 複合利用施設としての年間利用件数 | | | |
| | | | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | 300件 | 367件 | S | | | | 300件 | | | | | |
| 2 | 飯南ふれあいセンター施設 整備事業費 | 2-④ | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | |
| | | | 1,463 | | 1,463 | | 工期内での完成 | | 1,810 | | 工期内での完成 | | | |
| | | | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | 年度内 | 年度内 | S | | | | 年度内 | | | | | |
| 3 | 高齢者虐待防止緊急一時保 護事業費 | 2-④ | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | |
| | | | 308 | | 308 | | 緊急時の初動開始(対応検討含) | | 308 | | 緊急時の初動開始(対応検討含) | | | |
| | | | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | 24時間以内 | 0件 | - | | | | 24時間以内 | | | | | |
| 4 | 老人クラブ活動事業補助金 | 2-④ | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | |
| | | | 8,192 | | 7,192 | | 活動補助申請のクラブ数 | | 8,192 | | 活動補助申請のクラブ数 | | | |
| | | | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | 50件 | 43件 | B | | | | 40件 | | | | | |
| 5 | 長寿者祝事業費 | 2-④ | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | |
| | | | 2,873 | | 2,873 | | 満100歳訪問対象者 | | 3,206 | | 満100歳訪問対象者へのお祝い | | | |
| | | | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | 40人 | 26人 | C | | | | 60人 | | | | | |
| 6 | 高齢者等活力推進事業費 | 2-④ | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | |
| | | | 8,521 | | 8,521 | | お元氣応援ポイント事業の登録団体数 | | 8,535 | | お元氣応援ポイント事業の登録団体数 | | | |
| | | | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | 630団体 | 638団体 | S | | | | 670団体 | | | | | |
| 7 | 終活情報登録事業費 | 2-④ | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | |
| | | | 900 | | 900 | | 市民への周知活動回数 | | 502 | | 市民への周知活動回数 | | | |
| | | | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | 25回 | 22回 | B | | | | 25回 | | | | | |
| 8 | 成年後見サポート事業費 | 2-④ | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | |
| | | | 11,000 | | 11,000 | | 成年後見センターの普及啓発 | | 11,000 | | 成年後見センターの普及啓発 | | | |
| | | | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | 関係機関10ヶ所PR | 7回 | B | | | | 関係機関10ヶ所PR | | | | | |
| 9 | 認知症高齢者等個人賠償保 険事業費 | 2-④ | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | |
| | | | 551 | | 551 | | 保険加入者数 | | 551 | | 保険加入者数(累計) | | | |
| | | | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | 250人 | 216人 | B | | | | 300人 | | | | | |
| 10 | 老人福祉一般経費 | 2-④ | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | |
| | | | 7,756 | | 7,594 | | 消耗品費の対前年度決算3%減 | | 7,336 | | 消耗品費の対前年度決算3%減 | | | |
| | | | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | 3%減 | 36.3%減 | S | | | | 3%減 | | | | | |
| 11 | 高齢者生活管理指導短期宿 泊事業費 | 2-④ | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | |
| | | | 698 | | 698 | | 短期宿泊による一時的養護者数 | | 698 | | 短期宿泊による一時的養護者数 | | | |
| | | | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | 8人以下 | 1人 | S | | | | 8人以下 | | | | | |
| 12 | 緊急通報装置貸与事業費 | 2-④ | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | |
| | | | 11,226 | | 11,226 | | 緊急通報装置貸与台数 | | 11,082 | | 緊急通報装置貸与台数 | | | |
| | | | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | 570台 | 482台 | B | | | | 570台 | | | | | |
| 13 | 高齢者在宅生活支援事業費 | 2-④ | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | |
| | | | 1,035 | | 1,035 | | 延べサービス提供時間数 | | 1,035 | | 延べサービス提供時間数 | | | |
| | | | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | 400時間 | 305時間 | B | | | | 400時間 | | | | | |
| 14 | 寝具丸洗乾燥事業費 | 2-④ | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | |
| | | | 1,362 | | 1,362 | | 延べ利用者数 | | 1,362 | | 延べ利用者数 | | | |
| | | | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | 280人 | 252人 | A | | | | 280人 | | | | | |
| 15 | 訪問理美容サービス事業費 | 2-④ | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | |
| | | | 105 | | 105 | | 延べ利用者数 | | 105 | | 延べ利用者数 | | | |
| | | | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | 20人 | 34人 | S | | | | 20人 | | | | | |

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-------------------------|------|----------|----------|-------------------|---------|----|----------|-------------------|----|----|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | | |
| 16 | 日常生活用具給付事業費 | 2-④ | 832 | 832 | 延べ利用者数 | | | 832 | 延べ利用者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 30人 | 8人 | E | | 30人 | | | | | |
| 17 | 老人ホーム入所措置事業費 | 2-④ | 287,370 | 287,370 | 入所措置利用延べ人数 | | | 285,609 | 入所措置利用延べ人数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,500人 | 1,575人 | S | | 1,500人 | | | | | |
| 18 | 老人福祉施設整備費補助金 | 2-④ | 0 | 0 | - | | | 20,000 | 工期内での完成 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 年度内 | | | | | |
| 19 | 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的実施事業費 | 2-④ | 0 | 0 | - | | | 4,940 | ポピュレーションアプローチ実施回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 25回 | | | | | |
| 20 | 松寿園管理運営事業費 | 2-④ | 15,287 | 15,287 | 施設貸館の稼働率(月単位) | | | 15,264 | 施設貸館の稼働率(月単位) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 70.0% | 57.0% | B | | 70.0% | | | | | |
| 21 | 飯南高齢者生活福祉センター管理事業費 | 2-④ | 14,441 | 14,441 | 居室部門の月単位稼働率 ※居室数5 | | | 8,923 | 年間利用件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 85.0% | 40.1% | D | | 250件 | | | | | |
| 22 | 飯南高齢者生活福祉センター施設整備事業費 | 2-④ | 0 | 0 | - | | | 2,178 | 工期内での完成 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 年度内 | | | | | |
| 23 | 飯南高齢者生活福祉センター管理事業費 | 2-④ | 13,953 | 14,453 | 居室部門の月単位稼働率 ※居室数8 | | | 13,953 | 居室部門の月単位稼働率 ※居室数8 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 85.0% | 60.0% | C | | 85.0% | | | | | |
| 24 | 飯南高齢者生活福祉センター施設整備事業費 | 2-④ | 4,950 | 3,520 | 工期内での完成 | | | 7,847 | 工期内での完成 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | S | | 年度内 | | | | | |
| 25 | 飯南老人福祉センター管理運営事業費 | 2-④ | 7,853 | 7,837 | 複合利用施設としての年間利用件数 | | | 7,924 | 複合利用施設としての年間利用件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,200件 | 1,472件 | S | | 1,200件 | | | | | |
| 26 | 飯南老人福祉センター施設整備事業費 | 2-④ | 2,700 | 1,792 | 履行期間内での業務の完了 | | | 45,303 | 履行期間内での業務の完了 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | S | | 年度内 | | | | | |
| 27 | 指定管理者等選定委員会事業費 | 2-④ | 0 | 0 | - | | | 72 | 審査選定委員会の開催回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 2回 | | | | | |
| 28 | 宮川福祉施設組合分担金 | 2-④ | 37,205 | 37,205 | 会議への参加 | | | 78,000 | 会議への参加 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 3回 | 15回 | S | | 3回 | | | | | |
| 29 | 医療介護連携システム事業費 | 2-④ | 330 | 330 | システム使用者数 | | | 330 | システム使用者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 610人 | 741人 | S | | 800人 | | | | | |
| 30 | 介護予防・生活支援サービス事業費 | 2-④ | 308,221 | 281,071 | サービス延べ件数 | | | 295,548 | サービス延べ件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 14,300件 | 13,180件 | A | | 14,300件 | | | | | |
| 31 | 高額介護予防サービス費等相当事業費 | 2-④ | 2,547 | 1,743 | 延べ件数 | | | 1,433 | 延べ件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 312件 | 256人 | B | | 312件 | | | | | |
| 32 | 介護予防ケアマネジメント事業費 | 2-④ | 45,150 | 45,150 | ケアマネジメント延べ件数 | | | 44,900 | ケアマネジメント延べ件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 9,200人 | 8,544人 | A | | 9,200人 | | | | | |

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------------|------|----------|----------|----------------------------------|----------|------|---------|----------------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 33 | 一般介護予防事業費 | 2-④ | 56,473 | 54,873 | 活動指標 | | | 55,146 | 活動指標 | | |
| | | | | | 一般介護予防事業の延べ参加者数 | | | | 一般介護予防事業の延べ参加者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 5000人 | 6,199人 | S | 6,500人 | | | |
| 34 | 地域包括支援センター事業費 | 2-④ | 148,169 | 148,169 | 活動指標 | | | 150,350 | 活動指標 | | |
| | | | | | センターでの総合相談等個別対応件数 | | | | センターでの総合相談等個別対応件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 3,500件 | 4,291件 | S | 4,500件 | | | |
| 35 | 高齢者支援事業費 | 2-④ | 54,235 | 54,235 | 活動指標 | | | 54,183 | 活動指標 | | |
| | | | | | 紙オムツ給付延べ利用者数 | | | | 紙オムツ給付延べ利用者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 8,500人 | 7,903人 | A | 8,500人 | | | |
| 36 | 安心生きがい支援事業費 | 2-④ | 392 | 392 | 活動指標 | | | 338 | 活動指標 | | |
| | | | | | 高齢者安心見守り隊活動(年間) | | | | 高齢者安心見守り隊活動(年間) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 10回 | 16回 | S | 10回 | | | |
| 37 | 在宅医療・介護連携推進事業費 | 2-④ | 25,300 | 25,458 | 活動指標 | | | 25,342 | 活動指標 | | |
| | | | | | 地域包括ケア推進会議の実施 | | | | 地域包括ケア推進会議の実施 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2回 | 3回 | S | 3回 | | | |
| 38 | 生活支援体制整備事業費 | 2-④ | 27,687 | 27,687 | 活動指標 | | | 27,730 | 活動指標 | | |
| | | | | | 地域資源の紹介機関紙の発行(年間) | | | | 地域資源の紹介機関紙の発行(年間) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 3回 | 3回 | S | 3回 | | | |
| 39 | 認知症総合支援事業費 | 2-④ | 37,193 | 36,300 | 活動指標 | | | 37,079 | 活動指標 | | |
| | | | | | 認知症初期集中支援チームの初回訪問(受付日より14日以内)実施率 | | | | 認知症初期集中支援チームの初回訪問(受付日より14日以内)実施率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 80.0% | 86.7% | S | 80.0% | | | |
| 40 | 審査支払手数料 | 2-④ | 1,243 | 1,243 | 活動指標 | | | 1,243 | 活動指標 | | |
| | | | | | 総合事業の審査支払にかかる件数 | | | | 総合事業の審査支払にかかる件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 24,000人 | 21,700人 | A | 24,000人 | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|--|--------------|----------|----------|
| 組織名 | 介護保険課 | 作成者（評価者） | 課長 田中 孝子 |
| 関係する『総合計画』施策 | 2-④ 高齢者福祉の推進 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>介護保険課は、「第9次高齢者保健福祉計画及び第8期介護保険事業計画」に基づき、「介護を受けながら安心してできる暮らし」を支えるため、介護保険料の賦課徴収、介護度の認定にかかる訪問調査・審査、介護サービス事業者の指定や運営に係る指導・監査、介護給付の適正化などに取り組んでいます。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8期介護保険事業計画に基づき、市内初の定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の開設に向け、公募・選定と開設準備経費の支援を行いました。 ・コロナ禍で面会制限されている高齢者施設入所者の家族に会いたいという願いに応えるため、オンライン面会で生じる施設の負担に対し奨励金を支給することで、オンライン面会実施施設は22施設から60施設（実施率63%）に増加しました。 ・介護保険料の賦課徴収は、例年の督促や催告に加え、新たに口座振替勧奨通知の送付を行い、現年度収納率は前年度と比較し向上しました。 ・介護認定審査会は、感染防止策を徹底したうえで、目標の325回開催し、公平・公正かつ効率的な審査判定を実施することができました。 ・居宅介護支援事業所及び地域密着型介護事業所等の実地指導については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、24事業所を対象にオンライン等で実施し、指定有効期間内の実施割合の目標値100%を継続するとともに、サービスの質の確保・向上に努めました。 ・介護給付費の適正化のため、活動指標に掲げたケアプラン点検は対象事業所の廃止等により点検事業所数が減ったものであり、認定調査票の全件点検、介護給付費通知は計画どおり実施できました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険暫定サービス利用者負担助成金は、目標0件に対し実績3件となりましたが、介護サービス利用者が認定調査前に死亡したことによるものです。次年度も申請時の被保険者の状況把握の強化と調査員との迅速な調整により、認定調査の確実な実施に取り組みます。 ・介護保険制度に対する啓発冊子等の配布については、新型コロナウイルス感染症の影響からイベントや出前講座等が中止となり、配布部数が減少しました。少人数の講座の開催やオンラインの活用など、引き続き工夫しながら制度の周知に努めます。 | | | |
| <p>【重点取組と目標】</p> <p>第8期介護保険事業計画に基づき、引き続き介護サービス提供体制の質的充実及び量的確保を進めるとともに、必要な介護サービスが必要な方に適切に提供されるよう介護給付の適正化に取り組みます。</p> <p>引き続き、新型コロナウイルス感染症の情報収集・発信に努め、介護事業所等が感染予防、感染症のまん延防止対策等の適切な対応がとれるよう取り組みます。</p> <p>また、「第10次高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画」策定のための策定委員会の立ち上げ、各種調査等に取り組みます。</p> | | | |

【介護保険課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------------|------|-----------|-----------|---------------------------|--------------------|------|-----------|---------------------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 介護保険事業特別会計繰出金 | 2-④ | 2,917,100 | 2,862,706 | 活動指標 | | | 2,918,421 | 活動指標 | | |
| | | | | | ①介護給付費の通知 ②ケアプラン点検事業所数 | | | | ①介護給付費の通知 ②ケアプラン検証対象事業所に対する点検事業所割合 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | ①3回 ②10事業所 | ①3回 ②8事業所 | A | | ①3回 ②100.0% | | |
| 2 | 介護保険暫定サービス利用者負担助成金 | 2-④ | 48 | 117 | 活動指標 | | | 122 | 活動指標 | | |
| | | | | | 認定調査前に死亡された暫定サービス利用者数 | | | | 認定調査前に死亡された暫定サービス利用者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0件 | 3件 | E | | 0件 | | |
| 3 | 社会福祉法人等利用者負担軽減措置事業費 | 2-④ | 100 | 100 | 活動指標 | | | 100 | 活動指標 | | |
| | | | | | 軽減措置実施法人の割合 | | | | 軽減措置実施法人の割合 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 84.1% | B | | 100.0% | | |
| 4 | 離島等地域特別加算利用者負担軽減措置事業費 | 2-④ | 90 | 90 | 活動指標 | | | 90 | 活動指標 | | |
| | | | | | 負担軽減措置事業利用者数 | | | | 負担軽減措置事業利用者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 30人 | 53人 | S | | 40人 | | |
| 5 | 福祉有償運送運営協議会事業費 | 2-④ | 188 | 188 | 活動指標 | | | 188 | 活動指標 | | |
| | | | | | 輸送中の事故件数 | | | | 輸送中の事故件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0件 | 0件 | S | | 0件 | | |
| 6 | グループホームいいか管理運営事業費 | 2-④ | 1,685 | 3,582 | 活動指標 | | | 終了 | 活動指標 | | |
| | | | | | 安心安全なグループホームの改修 | | | | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 年度内の改修 | 令和3年10月12日履行確認 | S | | | | |
| 7 | 指定管理者等選定委員会事業費 | 2-④ | 74 | 74 | 活動指標 | | | 終了 | 活動指標 | | |
| | | | | | グループホームいいかの民間譲渡の決定 | | | | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 年度内の譲渡契約の締結 | 令和3年12月16日契約締結 | S | | | | |
| 8 | 公的介護施設等整備費補助金 | 2-④ | 19,940 | 14,000 | 活動指標 | | | 0 | 活動指標 | | |
| | | | | | 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所の整備 | | | | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1事業所の指定 | 1事業所整備完了(令和4年5月指定) | S | | - | | |
| 9 | 一般管理経費 | 2-④ | 41,817 | 47,645 | 活動指標 | | | 42,029 | 活動指標 | | |
| | | | | | 法改正に応じた介護保険システムの改修 | | | | 時間外勤務手当の削減 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 7月末までの改修 | 令和3年7月30日完了 | S | | 前年度比10% | | |
| 10 | 介護保険事業計画等策定事業費 | 2-④ | 0 | 0 | 活動指標 | | | 393 | 活動指標 | | |
| | | | | | - | | | | ①策定委員会の立ち上げ・開催 ②在宅実態調査の実施 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | ①1回 ②600件 | | |
| 11 | 三重県国民健康保険団体連合会負担金 | 2-④ | 900 | 900 | 活動指標 | | | 900 | 活動指標 | | |
| | | | | | 第三者行為求償事務研修会への参加回数 | | | | 第三者行為求償事務研修会への参加回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1回 | 2回 | S | | 1回 | | |
| 12 | 賦課徴収事業費 | 2-④ | 24,516 | 23,652 | 活動指標 | | | 25,104 | 活動指標 | | |
| | | | | | 介護保険料の収納率向上(現年度) | | | | 介護保険料の収納率向上(現年度) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 99.3% | 99.4% | S | | 99.3% | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------------|------|----------|--------|--|-----------------------|------|---------|---|----|------|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 活動指標 | | | |
| 13 | 認定調査等事業費 | 2-④ | 113,879 | 90,860 | 三重県介護保険審査会への要介護認定不服申し立て件数 | | | 109,928 | 三重県介護保険審査会への要介護認定不服申し立て件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 0件 | 0件 | S | | 0件 | | | | | |
| 14 | 認定審査会運営事業費 | 2-④ | 72,412 | 71,633 | 公平・公正かつ効率的な審査判定の実施回数 | | | 69,769 | 公平・公正かつ効率的な審査判定の実施回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 325回 | 325回 | S | | 305回 | | | | | |
| 15 | 趣旨普及事業費 | 2-④ | 1,153 | 1,073 | ①介護保険ハンドブック送付数 ②イベント等における啓発冊子等の配布部数 | | | 740 | ①介護保険ハンドブック送付数 ②講座等における啓発冊子等の配布部数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | ①65歳到達者全 員 ②1,000部 | ①65歳到達者全 員 ②97部 | C | | ①65歳到達者全 員 ②1,000部 | | | | | |
| 16 | 地域密着型サービス運営委員会 事業費 | 2-④ | 115 | 115 | 介護事業所の不正請求件数 | | | 112 | 介護事業所の不正請求件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 0件 | 0件 | S | | 0件 | | | | | |
| 17 | 介護サービス事業所監査事業費 | 2-④ | 160 | 160 | 指定更新事業所に対する実地指導割合 | | | 160 | 指定更新事業所に対する運営指導実施割合 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 18 | 介護給付適正化等事業費 | 2-④ | 9,634 | 7,914 | ①介護給付費の通知 ②ケアプラン点検事業所数 | | | 10,238 | ①介護給付費の通知 ②ケアプラン検証対象事業所に対する点検事 業所割合 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | ①3回 ②10事業所 | ①3回 ②8事業所 | A | | ①3回 ②100.0% | | | | | |
| 19 | 介護・福祉空間整備費補助金 | 2-④ | 0 | 21,750 | 介護施設の改修補助に対する応募件数 | | | 0 | - | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1施設以上 | 3施設 | S | | - | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 保険年金課 | 作成者（評価者） | 課長 松田 和義 |
|--|--------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 2-① 健康づくりの推進 | | |
| | 2-④ 高齢者福祉の推進 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>保険年金課は、病気にかかった時に安心して医療が受けられるよう、また将来の生活の保障である年金が受給できるよう、制度の安定した運営に取り組んでいます。</p> <p>急速な高齢化と医療技術の高度化により、医療給付費が毎年増加し財政は厳しい状態となる中、将来にわたって医療保険制度を持続させるためには医療費適正化の取り組みが必要であり、特定健診の受診率向上やジェネリック医薬品の普及促進等を一層進めていきます。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定健診の実施などにより疾病予防や医療費抑制を図り、国民健康保険・後期高齢者医療制度の安定した運営に努めました。 ・医療費適正化の取り組みとして、医療費通知・ジェネリック医薬品の差額通知などを行いました。 ・国保税の納税奨励として、納税通知書発送時にチラシ・口座振替届出書を同封するなど、啓発に努めました。 ・糖尿病性腎症重症化予防事業のマニュアルを医療機関等と連携して整備することが出来ました。 ・後期高齢者医療保険料の口座振替奨励、納期限到来の事前通知による納付のうっかり忘れ防止など保険料収納率の向上に努めました。 ・国民年金について、日本年金機構と連携し協力体制を強化する中で、資格異動・免除申請・裁定請求などの迅速・適切な処理に努めました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・糖尿病性腎症重症化予防受診率については、対象者に個別通知をして勧奨を行ないましたが、目標の40%に対し23.9%にとどまりました。 ・国民健康保険運営協議会はコロナ禍のため、対面での開催は出来ず1回の書面決議となりました。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険運営協議会での協議を踏まえ、国民健康保険の安定的な運営を目指していきます。 ・引き続き、国民年金、後期高齢者医療制度の安定的な運営を目指していきます。 ・かかりつけ医等医療機関と連携し、受診勧奨を行い特定健診受診率の対前年度比の増に努めます。同じく糖尿病性腎症重症化予防事業についても、対象者が健康的な生活が維持できるように、保健師による保健指導を進めていきます。 ・後期高齢者医療制度について、令和4年10月1日から医療費窓口負担が2割に引き上げられること、被保険者証が2回交付されることなどを周知します。 | | | |

【保険年金課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-------------------|------|-----------|-----------|--------------------------------------|------------------|------|-----------|--------------------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 国民健康保険事業特別会計繰出金 | 2-① | 1,440,170 | 1,411,909 | 特定健診の受診率 | | | 1,483,815 | 特定健診の受診率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 53.5% | 40.0% | B | | 56.7% | | |
| 2 | 国民年金事務事業費 | 2-④ | 5,066 | 7,436 | 国民年金制度の周知に向けた「広報まつさか」への記事掲載回数 | | | 5,066 | 国民年金制度の周知に向けた「広報まつさか」への記事掲載回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 6回 | 10回 | S | | 5回 | | |
| 3 | 後期高齢者医療事業特別会計繰出金 | 2-① | 2,477,486 | 2,436,186 | 財源確保のための収納率向上(現年度保険料収納率) | | | 2,481,412 | 財源確保のための収納率向上(現年度保険料収納率) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 99.5% | 99.2% | A | | 99.5% | | |
| 4 | 一般管理経費 | 2-① | 115,457 | 111,737 | ジェネリック医薬品の差額通知、特定健診未受診者への受診勧奨通知回数 | | | 124,185 | ジェネリック医薬品の差額通知、特定健診未受診者への受診勧奨通知回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2回 | 2回 | S | | 2回 | | |
| 5 | 事務処理標準システム導入事業費 | 2-① | 0 | 0 | - | | | 38,337 | 事務処理標準システム導入 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 100.0% | | |
| 6 | 国保事業協力交付金 | 2-① | 1,500 | 1,500 | ①医療機関における医科の返戻件数 ②医療機関における歯科の返戻件数 | | | 1,500 | ①医療機関における医科の返戻件数 ②医療機関における歯科の返戻件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①1,500件 ②300件 | ①1,230件 ②310件 | B | | ①1,500件 ②300件 | | |
| 7 | 三重県国民健康保険団体連合会負担金 | 2-① | 3,570 | 3,570 | 第三者行為求償事務研修会への参加回数 | | | 3,518 | 第三者行為求償事務研修会への参加回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1回 | 1回 | S | | 1回 | | |
| 8 | 賦課徴収事業費 | 2-① | 190 | 128 | 賦課徴収専門講座・研修の受講人数 | | | 159 | 賦課徴収専門講座・研修の受講人数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 3人 | - | - | | 3人 | | |
| 9 | 納税奨励事業費 | 2-① | 3,788 | 3,788 | 国保税納付における口座振替の割合 | | | 3,549 | 国保税納付における口座振替の割合 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 対前年比増 | △2.0% | A | | 対前年比増 | | |
| 10 | 国保運営協議会事業費 | 2-① | 361 | 361 | 国保運営協議会の開催回数 | | | 361 | 国保運営協議会の開催回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2回 | 1回 | C | | 2回 | | |
| 11 | 保健衛生普及事業費 | 2-① | 10,274 | 10,348 | ①医療費のお知らせ ②ジェネリック医薬品の差額通知 | | | 10,752 | 医療費のお知らせ | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①2回 ②2回 | ①2回 ②2回 | S | | 2回 | | |
| 12 | 保健事業負担金 | 2-① | 3,596 | 3,596 | ①医療機関における医科の返戻件数 ②医療機関における歯科の返戻件数 | | | 3,640 | ①医療機関における医科の返戻件数 ②医療機関における歯科の返戻件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①1,500件 ②300件 | ①1,230件 ②310件 | B | | ①1,500件 ②300件 | | |
| 13 | 健康フェスティバル補助金 | 2-① | 0 | 0 | - | | | 2,700 | 健康フェスティバルへの参加者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 3,700人 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------|------|----------|----------|--------------------------|----|----|----------|--------------------------|----|----|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | | |
| 14 | 歯と口腔の健康まつり補助金 | 2-① | 0 | 0 | 活動指標 | | | 900 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | — | | | | 歯と口腔の健康まつりへの参加者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 15 | 疾病予防事業費 | 2-① | 250 | 250 | 活動指標 | | | 250 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | 糖尿病重症化予防受診勧奨における受診率 | | | | 糖尿病重症化予防受診勧奨における受診率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 16 | 高額医療費資金貸付事業費 | 2-① | 2,400 | 2,400 | 活動指標 | | | 2,400 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | 高額医療費資金貸付申請に対する実施 | | | | 高額医療費資金貸付申請に対する実施 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 17 | 出産費資金貸付事業費 | 2-① | 1,008 | 1,008 | 活動指標 | | | 1,008 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | 出産費資金貸付に対する実施 | | | | 出産費資金貸付に対する実施 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 18 | 特定健康診査等事業費 | 2-① | 165,801 | 165,801 | 活動指標 | | | 170,764 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | 特定健診の受診率 | | | | 特定健診の受診率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 19 | 一般管理経費 | 2-④ | 23,293 | 23,293 | 活動指標 | | | 23,520 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | 財源確保のための収納率向上(現年度保険料収納率) | | | | 財源確保のための収納率向上(現年度保険料収納率) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |
| 20 | 徴収事業費 | 2-④ | 5,337 | 5,337 | 活動指標 | | | 5,519 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | 口座振替での納付件数 | | | | 口座振替での納付件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 健康づくり課 | 作成者（評価者） | 課長 糸川 千久佐 |
|---|------------------|----------|-----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 1-① 子ども・子育て支援の推進 | | |
| | 2-① 健康づくりの推進 | | |
| | 2-② 地域医療の推進 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>健康づくり課は健康センターはるるを拠点とした、「保健予防係」「地域医療係」「新型コロナワクチン室」の2係1室です。保健予防係は、妊娠、出産、子育て期を途切れなく支援する「松阪版ネウボラ」を推進する母子保健事業、予防接種、健康増進事業、がん検診、歯と口腔の健康づくりなどを実施しています。</p> <p>地域医療係は、休日夜間応急診療所・一次救急医療活動、PCR検査センターを実施し、新型コロナワクチン室は、新型コロナワクチンの接種体制の構築、接種を実施しています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナワクチン接種体制を整備し、集団接種会場の運営、個別接種医療機関での接種を進め、87.7%の方に2回目接種をしていただきました。 ・新型コロナワクチン接種の、5歳から11歳の小児への接種、18歳以上の追加接種(3回目)の接種体制を整備し、接種を開始しました。 ・感染予防対策に留意しながら、幼児健診や訪問事業、はるる遊ぼうDAYなど母子保健事業を継続実施しました。 ・特定不妊治療費助成、一般不妊治療費助成を、令和4年4月の保険適用開始までの間、充実し助成を行いました。 ・ウォーキングマップ第4号を作成し、配布と活用したウォーキングイベントを開催しました。 ・新型コロナウィルス感染症対策を踏まえた健康づくり事業として、動画配信や健康講座を実施しました。 ・休日夜間応急診療所では、トリアージを実施し、感染対策を行い診療所を継続し運営しました。 ・PCR検査センター及び感染拡大防止検査を実施し、感染拡大防止に努めました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、自粛した生活の中、子育てに不安をかかえる保護者に対し、支援を充実し、松阪版ネウボラを推進します。 ・がん検診の受診率は低く、コロナ禍において受診行動に制約がありました。がんの早期発見早期治療は重要であり、がん検診受診勧奨を充実します。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナワクチン接種体制を構築し、希望する方に円滑に接種ができるよう取り組みます。 ・令和6年度からの第3次健康づくり計画の策定に向けて、市民アンケートを実施し準備を進めます。 ・松阪版ネウボラを推進するため、産後ケア事業や相談体制を充実するとともに、福祉部門と情報共有のうえ、多職種で連携し支援を行います。 ・がん検診受診券発行意向調査を実施し、がん検診の受診勧奨を行います。 | | | |

【健康づくり課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------------|------|----------|-----------|---|----------|------|---------|---|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 食生活改善推進員支援事業費 | 2-① | 151 | 151 | 食生活改善推進員研修会参加者数 | | | 240 | 食生活改善推進員研修会参加者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 540人 | 408人 | B | | 540人 | | |
| 2 | 献血推進協議会運営費補助金 | 2-① | 160 | 160 | 定期献血における年間献血者数 | | | 160 | 定期献血における年間献血者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 500人 | 762人 | S | | 500人 | | |
| 3 | 予防接種事業費 | 2-① | 475,067 | 437,347 | 定期A類接種率 | | | 559,652 | 定期A類接種率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 94.5% | A | | 100.0% | | |
| 4 | 感染症予防事業費 | 2-① | 225 | 225 | 新型インフルエンザ対策に係るBCP策定率 | | | 216 | 新型インフルエンザ対策に係るBCP策定率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 5 | 予防接種健康被害対策事業費 | 2-① | 17,190 | 15,963 | 予防接種健康被害発生時の健康被害調査委員会の開催 | | | 16,284 | 予防接種健康被害発生時の健康被害調査委員会の開催 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 6 | 食生活改善推進協議会補助金 | 2-① | 410 | 410 | 食生活改善推進員地区グループ活動回数(委託事業を除く) | | | 410 | 食生活改善推進員地区グループ活動回数(委託事業を除く) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 210回 | 133回 | C | | 210回 | | |
| 7 | 骨髄移植ドナー支援事業助成金 | 2-① | 320 | 320 | ドナー数 | | | 320 | ドナー数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2人 | 0人 | E | | 2人 | | |
| 8 | 予防接種県外接種費用助成金 | 2-① | 1,127 | 1,277 | 助成件数 | | | 1,127 | 助成件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100件 | 91件 | A | | 100件 | | |
| 9 | おたふくかぜワクチン接種費用助成金 | 2-① | 7,500 | 4,000 | おたふくかぜワクチン1回接種率(3歳児) | | | 5,000 | おたふくかぜワクチン1回接種率(3歳児) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 95.0% | 84.3% | B | | 95.0% | | |
| 10 | 麻しん及び風しんワクチン接種費用助成金 | 2-① | 126 | 126 | MRワクチン接種率(年中児) | | | 112 | MRワクチン接種率(年中児) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 93.8% | A | | 100.0% | | |
| 11 | 風しんワクチン接種費用助成金 | 2-① | 700 | 400 | 助成件数 | | | 650 | 助成件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 140件 | 59件 | D | | 130件 | | |
| 12 | 特別の理由による任意予防接種費用助成金 | 2-① | 600 | 270 | 助成者数 | | | 350 | 助成者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 3人 | 1人 | D | | 1人 | | |
| 13 | 新型コロナウイルスワクチン接種事業費 | 2-① | 910,874 | 1,960,133 | 接種率 | | | 985,218 | 接種率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 70.0% | 87.7% | S | | 70.0% | | |
| 14 | 予防一般経費 | 2-① | 3,680 | 3,680 | 松阪保健所管内市町保健衛生業務対策協議会が開催する研修会への保健予防係保健師出席率 | | | 3,700 | 松阪保健所管内市町保健衛生業務対策協議会が開催する研修会への保健予防係保健師出席率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 85.0% | 94.4% | S | | 85.0% | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|------------------|------|----------|----------|---|-----------------|----|----------|---|----|----|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | | |
| 15 | 母子保健事業費 | 1-① | 152,414 | 146,538 | 乳児家庭全戸訪問実施率 | | | 153,729 | 乳児家庭全戸訪問実施率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 91.0% | A | | 100.0% | | | | | |
| 16 | 乳幼児健康診査事業費 | 1-① | 25,768 | 25,689 | 1歳6か月、3歳児健康診査受診率 | | | 30,095 | 1歳6か月、3歳児健康診査受診率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 94.1% | A | | 100.0% | | | | | |
| 17 | 特定不妊治療費助成金 | 1-① | 8,050 | 15,476 | 助成件数 | | | 5,750 | 助成件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 165件 | 199件 | S | | 103件 | | | | | |
| 18 | 妊婦一般健康診査県外受診費助成金 | 1-① | 3,019 | 3,019 | 助成件数 | | | 2,533 | 助成件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 300件 | 249件 | B | | 250件 | | | | | |
| 19 | 未熟児養育医療給付事業費 | 1-① | 18,406 | 18,406 | 給付対象者利用率 | | | 18,404 | 給付対象者利用率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 20 | 不育症治療費助成金 | 1-① | 1,050 | 1,700 | 助成件数 | | | 1,050 | 助成件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 20件 | 17件 | B | | 15件 | | | | | |
| 21 | 産婦健康診査県外受診費助成金 | 1-① | 360 | 360 | 助成件数 | | | 360 | 助成件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 80件 | 61件 | B | | 72件 | | | | | |
| 22 | フッ化物洗口事業補助金 | 1-① | 332 | 332 | 対象園の事業実施 | | | 417 | 対象園の事業実施 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 78.6% | B | | 100.0% | | | | | |
| 23 | 一般不妊治療費助成金 | - | 4,000 | 4,000 | 一般不妊治療費助成を受けた夫婦 | | | 終了 | 一般不妊治療費助成を受けた夫婦 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 80組 | 79組 | A | | | | | | | |
| 24 | 健康づくり推進事業費 | 2-① | 1,267 | 1,267 | 松阪市健康づくり推進協議会の開催 | | | 4,948 | 松阪市健康づくり推進協議会の開催 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1回 | 1回 | S | | 2回 | | | | | |
| 25 | 健康教育事業費 | 2-① | 4,892 | 3,475 | 健康教育利用者数 | | | 4,763 | 健康教育利用者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 8,000人 | 5,451人 | B | | 8,000人 | | | | | |
| 26 | 健康相談事業費 | 2-① | 521 | 521 | 健康相談利用者数 | | | 917 | 健康相談利用者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,200人以上 | 3,793人 | S | | 1,200人以上 | | | | | |
| 27 | 健康診査事業費 | 2-① | 328,743 | 317,543 | ①胃がん検診受診率(50~69歳) ②大腸がん検診受診率(40~69歳) | | | 331,514 | ①胃がん検診受診率(50~69歳) ②大腸がん検診受診率(40~69歳) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | ①15.0% ②15.0% | ①11.1% ②8.3% | C | | ①15.0% ②15.0% | | | | | |
| 28 | 中学生ピロリ菌除菌治療費助成金 | 2-① | 73 | 73 | 助成件数 | | | 73 | 助成件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 10件 | 0件 | - | | 10件 | | | | | |
| 29 | 健康センター管理運営事業費 | 2-① | 27,036 | 26,571 | 年間利用延人数(休日夜間応急診療所を除く) | | | 26,322 | 年間利用延人数(休日夜間応急診療所を除く) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 35,000人以上 | 29,163人 | B | | 30,000人以上 | | | | | |

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------------------|------|----------|----------|---------------|--------|----|----------|---------------|----|----|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | | |
| 30 | 三雲保健福祉センター管理運営事業費 | 2-① | 20,700 | 20,700 | 年間利用延人数 | | | 20,700 | 年間利用延人数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 6,500人 | 5,127人 | B | | 14,000人 | | | | | |
| 31 | 三雲保健福祉センター施設整備事業費 | 2-① | 36,630 | 29,552 | 施設整備の実施 | | | 1,979 | 施設整備の実施 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 32 | 飯高保健センター管理運営事業費 | 2-① | 6,118 | 6,208 | 年間利用延人数 | | | 6,465 | 年間利用延人数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 3,700人 | 8,419人 | S | | 3,700人 | | | | | |
| 33 | 飯高保健センター施設整備事業費 | 2-① | 0 | 0 | - | | | 1,573 | 施設整備の実施 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 100.0% | | | | | |
| 34 | 健診センター管理運営事業費 | 2-① | 800 | 2,058 | 健診センター施設修繕の実施 | | | 800 | 健診センター施設修繕の実施 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 35 | 指定管理者選定委員会事業費 | 2-① | 0 | 0 | - | | | 122 | 選定委員会の開催 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 2回 | | | | | |
| 36 | 歯科センター管理運営事業費 | 2-② | 7,459 | 7,534 | 歯科休日応急診療所開設率 | | | 5,598 | 歯科休日応急診療所開設率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 37 | 地域医療推進事業費 | 2-② | 39,823 | 39,819 | 休日夜間応急診療所開設率 | | | 43,560 | 休日夜間応急診療所開設率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 38 | 病院群輪番制病院運営費補助金 | 2-② | 34,665 | 34,666 | 二次救急開設率 | | | 34,594 | 二次救急開設率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 39 | 地域医療安定化対策支援補助金 | 2-② | 5,060 | 4,560 | かかりつけ医がある割合 | | | 5,060 | かかりつけ医がある割合 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 80.0% | 71.8% | A | | 80.0% | | | | | |
| 40 | 小児救急輪番制運営事業補助金 | 2-② | 12,839 | 12,839 | 小児二次救急開設率 | | | 12,812 | 小児二次救急開設率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 41 | PCR検査センター管理運営事業費 | 2-② | 19,718 | 19,718 | PCR検査センター開設率 | | | 13,431 | PCR検査センター開設率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 42 | 休日夜間応急診療所管理運営事業費 | 2-② | 120,191 | 109,675 | 休日夜間応急診療所開設率 | | | 118,719 | 休日夜間応急診療所開設率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 43 | 新型コロナウイルス感染症による休業診療所支援補助金 | - | 1,400 | 1,400 | 補助対象診療所 | | | 終了 | 補助対象診療所 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1診療所 | 0件 | E | | | | | | | |
| 44 | 新型コロナウイルス感染拡大防止検査事業費 | 2-① | 0 | 9,797 | 要請された検査実施効率 | | | 8,599 | 要請された検査実施率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 45 | 飯高診療所事業費 | 2-② | 2,853 | 2,853 | 病院・診療所の安定した開設 | | | 2,747 | 飯高診療所開設日数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | A | A | A | | 229日 | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------------|------|----------|----------|---------------|----------|------|--------|---------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 46 | 飯高診療所医療機器整備事業費 | 2-② | 3,864 | 3,754 | 医療機器整備の実施 | | | 693 | 医療機器整備の実施 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 47 | 飯南眼科クリニック事業費 | 2-② | 11,197 | 11,197 | 病院・診療所の安定した開設 | | | 11,442 | 飯南眼科クリニック開設日数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | A | A | A | | 229日 | | |
| 48 | 嬉野宇気郷診療所事業費 | 2-② | 132 | 99 | 病院・診療所の安定した開設 | | | 終了 | 活動指標 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | A | A | A | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | こども支援課 | 作成者（評価者） | 課長 北川 顕宏 |
|--|------------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 1-① 子ども・子育て支援の推進 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>こども支援課は、次世代を担う子どもたちが保護者とともに地域で心身ともに健やかに育つことができる環境づくりを進め、子どもたちの成長を支援し、児童の福祉の増進を図ります。</p> <p>「第2期松阪市子ども・子育て支援事業計画」の点検・進捗管理を行っていくほか、要保護児童の早期対応に努めるとともに、配偶者からの暴力の防止・被害者の保護と自立支援を図ります。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待への対応については、児童相談所・学校・警察署等の関係機関と連携して早期発見・早期対応に努めた結果、児童虐待による死亡等の重篤な案件が発生することはありませんでした。 ・令和3年9月からコロナ禍における子育て世帯の離婚・DV・児童虐待等に関する臨時相談（弁護士資格を有する職員が同席）を開始し、主に離婚に係る手続きや養育費の取決めについて、相談者の不安を解消することができました。 ・養育費の取り決めに関する公正証書等の作成に対する補助を令和3年度から実施し、離婚後の養育費の履行確保の促進を図り、養育者と子どもの生活の安定に努めることができました。 ・子育て世帯の方が転入された時に知りたいと思う子育て情報を提供していくために、本市の子育て情報をホームページに「松阪市子育て情報サイト」としてまとめました。 ・新型コロナウイルス感染症緊急経済対策として実施した、低所得の子育て世帯生活支援特別給付金（ひとり親世帯・ひとり親以外の世帯）及び子育て世帯への臨時特別給付金について、迅速に支給することでコロナ禍で生活が苦しい世帯を支援することができました。特に子育て世帯への臨時特別給付金の支給のうち高校生世代や公務員世帯への支給は、他市町は年明け以降しか対応できないところ、本市においては、こども医療費の受給資格を活用することで、対象世帯のうち72%の世帯に年末までの支給をすることができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童虐待による死亡等の重篤な案件は発生しなかったものの、児童虐待相談対応件数は年々増加し、令和2年度の116件に対して令和3年度は40件増の156件となりました。増加の要因としては、社会全体の児童虐待に対する関心の高まりによる積極的な通告が実施されたことによる面と、コロナ禍で外出の自粛が長引いていることで家庭内の衝突が多く発生した面との両面の要因が考えられますが、起こった児童虐待への対応に加えて、子どもを虐待から守る取り組みを引き続き行っていく必要があります。 ・養育費の取り決めに関する公正証書等の作成に対する支援と同時に、養育費保証契約に係る支援の周知を行いました但し補助申請をされた方は1件に留まったことから、養育費の取り決めが行われていても養育費の支払いが止まるケースがあることを認識していただくよう、より一層養育費保証契約については説明に努めていく必要があります。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・年々増加傾向にある児童虐待への通告に対して迅速・的確に対応するため、松阪市こども家庭総合支援センターの機能を活かして児童相談所・学校・警察署等の関係機関との連携を密にしながら早期対応・早期解消に取り組みます。 ・児童虐待防止に対する市民の意識を高めるための啓発活動に努めます。 ・園や学校における集団生活や家庭内の人間関係など、家庭や児童の種々の問題に関する相談に柔軟に応じ、相談者等の問題の解消及び不安の軽減を図ります。 ・今年度から重層的支援体制が始まることから、新たに設置される福祉まるごと相談室職員や学校等との連携を図りながらヤングケアラーに対する支援等に努めます。 ・少子化対策については何が有効なのか、他市の取組も参考に今後の市の取組内容を改めて確認します。 | | | |

【こども支援課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|--------------------------|------|-----------|-----------|------------------------|--------|------|-----------|------------------------|----|------|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 活動指標 | | | |
| 1 | 子ども・子育て支援推進事業費 | 1-① | 700 | 700 | 子ども・子育て支援事業計画の点検・評価事業数 | | | 634 | 子ども・子育て支援事業計画の点検・評価事業数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 114事業 | 115事業 | S | | 116事業 | | | | | |
| 2 | 児童手当支給事業費 | 1-① | 2,463,543 | 2,465,979 | 現況届の未提出者数 | | | 2,375,731 | 現況届の未提出者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | ゼロ | 6人 | A | | ゼロ | | | | | |
| 3 | 児童福祉一般経費 | 1-① | 44 | 44 | ファミリーサポートセンター年度末の登録会員数 | | | 94 | ファミリーサポートセンター年度末の登録会員数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 650人 | 658人 | S | | 650人 | | | | | |
| 4 | ファミリーサポートセンター事業費 | 1-① | 10,505 | 10,505 | 年度末の登録会員数 | | | 10,767 | 年度末の登録会員数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 650人 | 658人 | S | | 650人 | | | | | |
| 5 | 三世帯同居・近居支援補助金 | 1-① | 6,058 | 6,058 | 助成世帯数 | | | 6,058 | 助成世帯数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 27世帯 | 27世帯 | S | | 27世帯 | | | | | |
| 6 | 自立支援教育訓練給付金 | 1-① | 1,225 | 1,225 | 対象講座修了者数 | | | 7,150 | 対象講座修了者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 7人 | 4人 | C | | 7人 | | | | | |
| 7 | 高等職業訓練給付金 | 1-① | 21,332 | 21,332 | 取得資格を活用した就業者数 | | | 18,091 | 取得資格を活用した就業者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 6人 | 4人 | C | | 6人 | | | | | |
| 8 | 児童扶養手当支給事業費 | 1-① | 771,247 | 771,247 | 現況届の未提出者数 | | | 720,606 | 現況届の未提出者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | ゼロ | 9人 | A | | ゼロ | | | | | |
| 9 | ファミリーサポートセンター利用支援補助金 | 1-① | 252 | 252 | 延利用件数 | | | 441 | 延利用件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 300件 | 417件 | S | | 300件 | | | | | |
| 10 | 母子寡婦福祉会活動補助金 | 1-① | 432 | 432 | 会員数 | | | 432 | 会員数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 160人 | 145人 | A | | 160人 | | | | | |
| 11 | 母子・父子寡婦福祉資金貸付事務事業費 | 1-① | 94 | 94 | 申請受付から県担当部署へ送付するまでの日数 | | | 94 | 申請受付から県担当部署へ送付するまでの日数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 5日以内 | 5日以内 | S | | 5日以内 | | | | | |
| 12 | 養育費の取り決めに関する公正証書等作成促進補助金 | 1-① | 350 | 350 | 養育費を受け取っていない方への勧奨率 | | | 500 | 養育費を受け取っていない方への勧奨率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 13 | 養育費保証契約促進補助金 | 1-① | 500 | 500 | 養育費を受け取っていない方への勧奨率 | | | 300 | 養育費を受け取っていない方への勧奨率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 14 | 児童センター管理運営事業費 | 1-① | 7,408 | 7,477 | 1日あたりの平均利用者数 | | | 7,927 | 1日あたりの平均利用者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 13人 | 7人 | C | | 13人 | | | | | |
| 15 | 家庭児童相談事業費 | 1-① | 9,649 | 9,649 | 相談、通告に対する対応率 | | | 8,787 | 相談、通告に対する対応率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 16 | 養育支援訪問事業費 | 1-① | 2,984 | 2,984 | 相談に対する対応率 | | | 3,470 | 相談に対する対応率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | |
|-----|---|------|----------|-----------|----------------|--------|----|----------|----------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | |
| 17 | 子育て支援ショートステイ事業費 | 1-① | 998 | 998 | 相談に対する対応率 | | | 998 | 相談に対する対応率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 18 | 一里親事業費 | 1-① | 90 | 90 | 子どもたちの満足度 | | | 終了 | 活動指標 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | - | - | | | | |
| 19 | 交通遺児入進学卒業祝金支給事業費 | 1-① | 150 | 150 | 広報・窓口等による周知期間 | | | 150 | 広報・窓口等による周知期間 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 12か月 | 12か月 | S | | 12か月 | | |
| 20 | 女性保護事業費 | 1-① | 108 | 108 | DV相談等に対する対応率 | | | 69 | DV相談等に対する対応率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 21 | 母子生活支援施設入所事業費 | 1-① | 20,164 | 20,164 | 施設からの自立世帯数 | | | 14,509 | 施設からの自立世帯数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1世帯 | 0世帯 | E | | 1世帯 | | |
| 22 | 助産施設入所事業費 | 1-① | 4,237 | 4,237 | 申請受付から入所決定まで日数 | | | 3,613 | 申請受付から入所決定まで日数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 5日以内 | 5日以内 | S | | 5日以内 | | |
| 23 | 要保護児童対策事業費 | 1-① | 710 | 710 | 児童虐待による死亡等重篤件数 | | | 706 | 児童虐待による死亡等重篤件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0件 | 0件 | S | | 0件 | | |
| 24 | 児童養護施設退所者等支援給付金 | 1-① | 100 | 100 | 制度の周知率 | | | 300 | 制度の周知率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 25 | 子育て世帯等臨時特別支援事業費 | 1-① | 0 | 2,566,166 | 支給決定者への支給率 | | | 終了 | 活動指標 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | | | |
| 26 | 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯以外の子育て世帯分)支給事業費 | 1-① | 0 | 139,462 | 支給決定者への支給率 | | | 終了 | 活動指標 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | | | |
| 27 | 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(ひとり親世帯分)支給事業費 | 1-① | 0 | 132,300 | 支給決定者への支給率 | | | 終了 | 活動指標 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | | | |

【こども支援課】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | |
|-----|----------------|------|----------|----------|---------|----|----|----------|---------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | |
| 1 | 出前講座「児童虐待について」 | 1-① | / | / | 出前講座の実施 | | | / | 出前講座の実施 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 3回 | 2回 | C | | 3回 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | こども未来課 | 作成者（評価者） | 課長 大野 千賀子 |
|---|------------------|----------|-----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 1-① 子ども・子育て支援の推進 | | |
| | 1-② 未就学児への支援 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>こども未来課は保育幼稚園係、保育園、幼稚園、認定こども園で構成し、未就学児の子育て環境に関わる業務に取り組んでいます。保育幼稚園係では、公私立保育園・公立幼稚園・公立こども園の運営及び補助金等、病児・病後児保育・一時預かり事業、子育て支援センターに関すること等を実施しています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土曜一日（全日）保育を実施する園を2園から3園増加し5園とすることを検討し、令和4年4月から5園で開始しました。 ・春日保育園で午後9時までの超延長保育を10月から開始しました。また、利用者を増やすために、利用料金の見直しを行い令和4年4月から変更しました。 ・土砂災害特別警戒区域に一部掛かるひかり保育園の安全性を確保するため、中川幼稚園、豊田幼稚園とひかり保育園を「幼稚園型認定こども園」として、また三雲北・南幼児園を「幼保連携型認定こども園」として、令和5年4月に開園する方針を決め、保護者や地域との意見交換会の場をもちました。 ・幸・花岡地区の公立4園の再編統廃合を民間活力により進める中で、令和5年4月に開園する新私立園1園と令和6年度末で閉園する公立2園を決定しました。 ・策定後5年が経過した松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針を改訂しました。 ・「令和時代の保育所運営定着事業」に参加し、働きやすい職場環境づくりに取り組む魅力ある保育園に公立保育園の代表として三郷保育園が表彰されました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大石地区の幼保連携型認定こども園の整備について、整備方針（場所、年度等）の決定には至りませんでした。 ・保育園において、職員の年休の取得等、今後より一層働きやすい職場環境づくりに取り組む必要があります。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度から重層的支援体制が開始されるなか、子育て支援センターが行っている育児相談等の中で複数の分野にまたがる課題を抱える保護者への連携体制の構築をおこなっていきます。 ・大石地区で計画している幼保連携型認定こども園の整備方針を定めていきます。 ・「松阪市立幼稚園・保育園あり方基本方針」等に基づき幼稚園で閉園基準の15人未満となる3園（港・阿坂・伊勢寺）の再編・統廃合を進めていきます。 ・潜在保育士登録促進事業で潜在保育士の掘り起こしをし、保育現場への復職就職に向けての取組を行うなど待機児童（育休等から復帰する保護者の増加）の解消を目指します。 ・保育園等において医療的ケア児の受け入れを可能とするため、ガイドライン作成等、支援体制の構築に努めます。 ・保育施設等の手続きのオンライン化を進めていきます。 ・昨年度に引き続き、時間外勤務の削減、月1回の年休取得等働きやすい職場環境を作っていきます。 ・お子様連れの保護者が、こども未来課での相談等の際にゆっくりと話ができる環境を整えるためキッズコーナーの設置や窓口カウンター等の整理・整頓をおこないます。 | | | |

【こども未来課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------------|------|-----------|-----------|---------------------|----------|----|-----------|---------------------|----|----|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | | |
| 1 | 子育て支援センター管理運営事業費 | 1-① | 29,193 | 29,659 | 公立子育て支援センターの年間利用者数 | | | 31,611 | 公立子育て支援センターの年間利用者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 30,000人 | 22,881人 | B | | 30,000人 | | | | | |
| 2 | 私立保育園子育て支援センター運営事業費 | 1-① | 19,200 | 19,200 | 私立子育て支援センターの年間利用者数 | | | 19,200 | 私立子育て支援センターの年間利用者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 15,000人 | 9,617人 | C | | 15,000人 | | | | | |
| 3 | 病児・病後児保育事業費 | 1-① | 28,154 | 30,182 | 病児・病後児保育施設利用児童数 | | | 29,182 | 病児・病後児保育施設利用児童数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 延600人 | 延770人 | S | | 延600人 | | | | | |
| 4 | 一時預かり事業費 | 1-① | 13,164 | 13,164 | 一時預かり利用人数 | | | 11,198 | 一時預かり利用人数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 延600人 | 延306人 | C | | 延600人 | | | | | |
| 5 | 子育てのための施設等利用給付事業費 | 1-② | 49,440 | 49,440 | 給付率 | | | 49,440 | 給付率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100% | S | | 100.0% | | | | | |
| 6 | 保育士修学支援事業費 | 1-② | 15,477 | 15,477 | 修学資金貸付申込件数 | | | 15,477 | 修学資金貸付申込件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 30件 | 13件 | D | | 35件 | | | | | |
| 7 | 潜在保育士活用事業費 | 1-② | 0 | 0 | - | | | 3,118 | 潜在保育士就職・復職支援研修 受講者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 25人 | | | | | |
| 8 | 私立保育園施設整備等補助金 | 1-② | 153,792 | 153,792 | 私立認可保育園の受入れ児童数 | | | 158,074 | 私立認可保育園の受入れ児童数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 2,550人 | 2,434人 | A | | 2,590人 | | | | | |
| 9 | 私立保育園延長保育促進事業費補助金 | 1-② | 9,476 | 9,476 | 私立認可保育園の延長保育利用児童数 | | | 9,960 | 私立認可保育園の延長保育利用児童数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 延13,500人 | 延11,416人 | B | | 延13,500人 | | | | | |
| 10 | 私立保育園運営事業費 | 1-② | 2,375,831 | 2,373,331 | 私立認可保育園の受入れ児童数 | | | 2,430,738 | 私立認可保育園の受入れ児童数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 2,550人 | 2,434人 | A | | 2,590人 | | | | | |
| 11 | 私立保育園障がい児保育事業費補助金 | 1-② | 85,008 | 85,008 | 私立認可保育園の障がい児保育実施園数 | | | 77,525 | 私立認可保育園の障がい児保育実施園数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 15園 | 15園 | S | | 15園 | | | | | |
| 12 | 私立保育園低年齢児保育推進事業費補助金 | 1-② | 13,300 | 13,300 | 私立認可保育園の受入れ0～2歳児数 | | | 12,350 | 私立認可保育園の受入れ0～2歳児数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,090人 | 1,024人 | A | | 1,120人 | | | | | |
| 13 | 私立保育園施設整備費補助金 | 1-② | 0 | 0 | - | | | 292,022 | 整備着工園数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 1園 | | | | | |
| 14 | 保育所等改修費等支援事業補助金 | 1-① | 16,500 | 16,500 | 0～2歳児の受入児童数(10/1時点) | | | 0 | - | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,660人 | 1,616人 | A | | - | | | | | |
| 15 | 地域型保育給付事業費 | 1-① | 20,134 | 22,634 | 0～2歳児の受入児童数(10/1時点) | | | 45,571 | 0～2歳児の受入児童数(10/1時点) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,660人 | 1,616人 | A | | 1,680人 | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------------------|------|----------|----------|----------------------------|--------|----|-----------|--------------------------------|----|----|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | | |
| 16 | 保育士等処遇改善臨時特例事業費補助金 | 1-② | 0 | 10,057 | 活動指標 | | | 37,031 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | スムーズな補てん運営(申請から支払いまで要する期間) | | | | スムーズな補てん運営(申請から支払いまで要する期間) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 25日以内 | 25日以内 | S | | | | | | | |
| 17 | 保育園管理運営事業費 | 1-② | 996,396 | 995,316 | 活動指標 | | | 1,021,918 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | 公立保育園の受入れ児童数 | | | | 公立保育園の受入れ児童数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,970人 | 1,709人 | B | | | | | | | |
| 18 | 保育園広域入園事業費 | 1-② | 24,076 | 24,076 | 活動指標 | | | 24,171 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | 申請受付から決定までに要する期間 | | | | 申請受付から決定までに要する期間 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 25日以内 | 25日以内 | S | | | | | | | |
| 19 | 保育園施設整備事業費 | 1-② | 3,058 | 3,058 | 活動指標 | | | 16,731 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | 緊急修繕整備率 | | | | 緊急修繕整備率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | | | | | | |
| 20 | 保育園一般経費 | 1-② | 5,843 | 5,843 | 活動指標 | | | 5,964 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | 公立保育園の受入れ児童数 | | | | 公立保育園の受入れ児童数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,970人 | 1,709人 | B | | | | | | | |
| 21 | 幼稚園管理運営事業費 | 1-② | 409,822 | 405,532 | 活動指標 | | | 410,187 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | 公立幼稚園の受入れ児童数 | | | | 公立幼稚園の受入れ児童数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 900人 | 723人 | B | | | | | | | |
| 22 | 幼稚園施設整備事業費 | 1-② | 23,045 | 25,849 | 活動指標 | | | 11,791 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | 緊急修繕整備率 | | | | 緊急修繕整備率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | | | | | | |
| 23 | 公立幼稚園等施設型給付事業費 | 1-② | 821 | 821 | 活動指標 | | | 821 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | 他市町における公定価格の算定回数の確認 | | | | 他市町における公定価格の算定回数の確認 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1回 | 1回 | S | | | | | | | |
| 24 | 嬉野・三雲管内認定こども園改修事業費 | 1-② | 0 | 0 | 活動指標 | | | 29,454 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | - | | | | 嬉野・三雲管内における保育園要件の受入れ児童数(3~5歳児) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | | | | | | |
| 25 | 子育てのための施設等利用給付事業費 | 1-② | 72,246 | 72,246 | 活動指標 | | | 72,246 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | 給付率 | | | | 給付率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | | | | | | |
| 26 | 私立幼稚園振興補助金 | 1-② | 300 | 300 | 活動指標 | | | 300 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | 私立幼稚園の内科・歯科検診受診に対する補助率 | | | | 私立幼稚園の内科・歯科検診受診に対する補助率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | | | | | | |
| 27 | 私立幼稚園等施設型給付事業費 | 1-② | 104,935 | 104,935 | 活動指標 | | | 106,638 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | 公定価格の算定確認回数 | | | | 公定価格の算定確認回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 2回 | 2回 | S | | | | | | | |
| 28 | 実費徴収に係る補足給付事業費 | 1-② | 2,228 | 2,228 | 活動指標 | | | 2,228 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | スムーズな補てん運営(申請から支払いまで要する期間) | | | | スムーズな補てん運営(申請から支払いまで要する期間) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 25日以内 | 25日以内 | S | | | | | | | |
| 29 | 私立幼稚園ワンモアベイビー支援補助金 | 1-② | 990 | 990 | 活動指標 | | | 990 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | スムーズな補てん運営(申請から支払いまで要する期間) | | | | スムーズな補てん運営(申請から支払いまで要する期間) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 25日以内 | 25日以内 | S | | | | | | | |
| 30 | 幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業費補助金 | 1-② | 0 | 275 | 活動指標 | | | 1,002 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | スムーズな補てん運営(申請から支払いまで要する期間) | | | | スムーズな補てん運営(申請から支払いまで要する期間) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 25日以内 | 25日以内 | S | | | | | | | |
| 31 | 副食材料費負担金 | 1-② | 12,760 | 12,760 | 活動指標 | | | 12,760 | 活動指標 | | | | | |
| | | | | | スムーズな補てん運営(申請から支払いまで要する期間) | | | | スムーズな補てん運営(申請から支払いまで要する期間) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 25日以内 | 15日 | S | | | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------------|------|----------|----------|----------|----------|------|----|----|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 32 | 民間保育所運営法人選定委員会 事業費 | 1-① | 0 | 77 | 委員会の開催回数 | 0 | - | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2回 | | 2回 | S | - | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|--|------------------|----------|----------|
| 組織名 | 子ども発達総合支援センター | 作成者（評価者） | 所長 荒木 章次 |
| 関係する『総合計画』施策 | 1-① 子ども・子育て支援の推進 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>子ども発達総合支援センターは、心身の発達に心配がある又は障がいのある児童及びその家族へ途切れのない支援を提供することを目的に事業展開をしています。主として、心身の発達を促す療育・訓練を提供するとともに、保育園、幼稚園、認定こども園及び小中学校等関係機関との連携・協働によって子育て、就園・就学及び発達に関する相談支援を行っています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年4月から「児童発達支援センター」として機能拡充し、保育所等訪問支援事業、障害児相談支援事業を開始しました。 ・集団療育に、新たに未就園児への毎日通所の場を設けました。 ・放課後等デイサービスでは、子どもの状況に応じて複数での訓練を実施しました。 ・保護者の意向を丁寧に聴きとるため、個別面談等の時間を設け、保護者の思いや悩みを伺い、療育・訓練の振り返りと今後の方向性を共有する機会を持ちました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートでは、利用機会の増加を望む意見が寄せられており、安定した事業展開及び提供サービスの質の向上のため専門的人材の確保を図る必要があります。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、児童発達支援地域スクールが予定していた回数の開催ができませんでした。令和4年度は今後の状況にもよりますが、必要な場合は時間短縮等の対策を講じ、開催の方向を模索していきます。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・質の高いサービスの提供、利用者の満足度向上に取り組んでいきます。 ・重層的支援体制として、心身の発達に心配がある又は障がいのある児童及びその家族に対し、保健、医療、福祉、教育等の関係機関と連携して相談に応じるとともに児童発達支援センターとして途切れのない支援を充実していきます。 | | | |

【子ども発達総合支援センター】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------------------|------|----------|----------|-----------------------------------|----------|------|--------|-----------------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 子ども発達総合支援センター管理運営事業費 | 1-① | 84,629 | 83,744 | 利用者アンケートの満足度 | | | 84,270 | 利用者アンケートの満足度 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 95.0% | 88.5% | A | | 95.0% | | |
| 2 | 育ちサポート推進事業費 | 1-① | 13,106 | 13,789 | 就園・就学及び発達に関する相談についての個別保護者アンケート満足度 | | | 14,414 | 就園・就学及び発達に関する相談についての個別保護者アンケート満足度 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 95.0% | 92.3% | A | | 95.0% | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 商工政策課 | 作成者（評価者） | 課長 西浦 有一 |
|--|-------------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 3-④ 商工業の振興 | | |
| | 3-⑧ 雇用・勤労者福祉の充実 | | |
| | 5-② 防犯対策と消費者保護の充実 | | |
| | 6-③ 地域公共交通の充実 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>商工政策課では、「人口減少対策」として、若い世代の人口流出に歯止めをかけ、市民のみなさまが安全・安心で快適な生活が実現できる基盤を築くため、商工業環境の充実、創業支援、中小企業・小規模事業者の事業力向上支援、魅力ある就労環境の整備や雇用機会の創出と安定ならびに勤労者福祉の向上、安心安全な消費生活環境の整備、利便性の高い地域公共交通の確保・維持に取り組みます。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナに負けるな！松阪みんなの商品券事業及びキャッシュレス還元事業では、市内で約2億6千万円の消費効果をあげることができました。 ・南三重地域若者地元定着推進事業では、周知や関係機関への働きかけ等により、就職マッチング支援サイト『南三重就活ナビ』に掲載する事業所が大幅に増加しました。 ・持続可能な公共交通網の形成に向けて、少子高齢化の進展が顕著な飯高管内の公共交通の再編、地域公共交通計画の策定に向けた調査、検討をスタートし、飯高管内の高校生以上全員、飯高管内を除く地域の65歳以上1万人に対して、移動手段に関する市民アンケートを実施、移動現況を調査しました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内における創業者数の減少傾向がみられたため、長期的な視点を持ち創業しやすい環境整備を行うとともに、事業周知方法の見直しに努めます。 ・南三重地域若者地元定着推進事業では、就職マッチング支援サイト『南三重就活ナビ』に掲載する事業所は大幅に増加しましたが、県外・地元の就職生に対して、地元企業への関心をさらに高めてもらう必要があるため、周知や活用についての取り組みを各市町や関係機関と連携して進めていきます。 ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、飯高管内で、自動車運転免許証や自動車を保有していない方など移動手段に困っている方を対象に開催する予定だった「移動手段に関する懇談会」を令和4年度に延期することになりました。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・アフターコロナを見据えた地域経済の回復の基盤づくりを長期的な視点も踏まえ「新規創業、担い手発掘の環境整備及び女性起業家支援ネットワークの構築」及び「市内中小・小規模事業者における経営基盤の強化支援」に2つの側面から取り組みを行います。 ・南三重地域若者地元定着推進事業では『南三重就活ナビ』のサイト内容の充実を図りながら、SNSを活用した情報発信、セミナーの開催等のソフト事業を行い、若者の地元定着、地元就職に向け南三重地域の各市町が一体となって取り組んでいきます。 ・引き続き、障がい者就職面接会をハローワーク松阪・松阪地域雇用対策協議会と共催し、障がい者の採用の増加を図ります。 ・令和5年4月1日からカリヨン（更新）、ワークセンター松阪（新規）への指定管理者制度導入に向け、指定管理者の選定業務を行います。 ・飯高管内の公共交通の見直しについては、令和5年度の実証実験、令和6年度の本格運行を目指して再編に取り組んでいきます。また、令和4年度、「第二次松阪市地域公共交通網形成計画」が終期を迎えることから、新たに「松阪市地域公共交通計画」を策定します。 | | | |

【商工政策課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------------|------|----------|----------|------------------------------------|----------|------|--------|------------------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 勤労者総合福祉推進事業費補助金 | 3-⑧ | 27,200 | 27,200 | 補助団体登録会員数の維持 | | | 27,200 | 補助団体登録会員数の維持 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ±0人 | -377人 | A | | ±0人 | | |
| 2 | 勤労者地域づくり活性化事業費補助金 | 3-⑧ | 600 | 0 | 行事等参加者数の維持 | | | 600 | 行事等参加者数の維持 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ±0人 | - | - | | ±0人 | | |
| 3 | 勤労者生活資金貸付金 | 3-⑧ | 8,000 | 8,000 | 協調融資枠の活用率 | | | 8,000 | 協調融資枠の活用率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 38.8% | D | | 100.0% | | |
| 4 | 高齢者就業機会確保事業費補助金 | 3-⑧ | 10,880 | 10,880 | 補助団体登録会員数の維持 | | | 10,880 | 補助団体登録会員数の維持 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ±0人 | -3人 | A | | ±0人 | | |
| 5 | 障がい者雇用促進事業費 | 3-⑧ | 430 | 289 | 障がい者雇用・就労促進フォーラム参加者数 | | | 429 | 障がい者雇用・就労促進フォーラム参加者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100人 | - | - | | 100人 | | |
| 6 | 南三重地域若者地元定着推進事業費 | 3-⑧ | 3,500 | 3,500 | マッチング支援サイト事業所掲載件数(延べ) | | | 1,750 | マッチング支援サイト事業所掲載件数(延べ) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 200社 | 171社 | B | | 220社 | | |
| 7 | 労働一般経費 | 3-⑧ | 3,945 | 3,622 | 職業相談員による職業相談件数 | | | 3,790 | 職業相談員による職業相談件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 840件 | 1,061件 | S | | 840件 | | |
| 8 | 指定管理者選定委員会事業費 | 3-④ | 0 | 0 | - | | | 117 | 指定管理者の選定委員会開催回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 2回 | | |
| 9 | ワークセンター松阪管理運営事業費 | 3-⑧ | 40,127 | 39,357 | ワークセンター松阪利用者数 | | | 40,009 | ワークセンター松阪利用者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 10万人 | 66,898人 | C | | 10万人 | | |
| 10 | ワークセンター松阪施設整備事業費 | 3-⑧ | 0 | 0 | - | | | 18,000 | ワークセンター松阪利用者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 10万人 | | |
| 11 | 企業内人権啓発事業費 | 3-⑧ | 95 | 69 | 事業所に対する人権啓発実施率(雇用保険被保険者数30人以上の事業所) | | | 95 | 事業所に対する人権啓発実施率(雇用保険被保険者数30人以上の事業所) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 12 | 消費生活関連事業費 | 5-② | 7,090 | 6,740 | 消費生活出前講座開催回数 | | | 7,220 | 消費生活出前講座開催回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 24回 | 5回 | E | | 24回 | | |
| 13 | 商工一般経費 | 3-⑧ | 572 | 500 | 部局長シート「施策3-⑧」における令和3年度の評価 | | | 1,293 | 部局長シート「施策3-⑧」における令和4年度の評価 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ☆☆☆ | ☆☆ | C | | ☆☆☆ | | |
| 14 | 小規模事業資金保証料補給金 | 3-④ | 4,860 | 1,460 | 周知する媒体数 | | | 4,536 | 周知する媒体数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 3媒体以上 | 3媒体 | S | | 3媒体以上 | | |
| 15 | 松阪市中心商店街活性化促進協議会補助金 | 3-④ | 450 | 450 | 商店街と連携する団体等の増加 | | | 450 | 商店街と連携する団体等の増加 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1件 | 1件 | S | | 1件 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-------------------------|------|----------|----------|---------------------------|--------|----|----------|---------------------------|----|----|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | | |
| 16 | 商店街活性化総合事業費補助金 | 3-④ | 5,760 | 4,260 | 営業店舗数の維持 | | | 5,525 | 営業店舗数の維持 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | ±0事業所 | -5事業所 | A | | ±0事業所 | | | | | |
| 17 | 商工団体補助金 | 3-④ | 26,100 | 26,100 | 会員数の維持 | | | 28,500 | 会員数の維持 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | ±0事業所 | 215事業所 | S | | ±0事業所 | | | | | |
| 18 | 創業も充実！松阪市店舗魅力アップ事業費 | 3-④ | 5,050 | 3,900 | 補助申請件数 | | | 6,575 | 補助申請件数(創業者) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 25件 | 23件 | A | | 6件 | | | | | |
| 19 | 創業・再挑戦アシスト資金保証料補給金 | 3-④ | 2,072 | 2,072 | 創業・再挑戦アシスト資金融資制度利用件数 | | | 13,333 | 創業・再挑戦アシスト資金融資制度利用件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 30件 | 13件 | D | | 35件 | | | | | |
| 20 | 女性起業家等のつながり交流創出事業費 | 3-④ | 0 | 0 | — | | | 4,687 | 講座開催回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | — | — | — | | 5回 | | | | | |
| 21 | 豪商のまち松阪起業家支援事業費 | 3-④ | 4,200 | 4,200 | 相談支援から創業につながった人数 | | | 4,200 | 相談支援から創業につながった人数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 30人 | 18人 | C | | 30人 | | | | | |
| 22 | 産業支援センター運営事業費 | 3-④ | 21,885 | 21,058 | 相談件数 | | | 25,502 | 相談件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 700件 | 1,405件 | S | | 700件 | | | | | |
| 23 | 指定管理者選定委員会事業費 | 3-④ | 0 | 0 | — | | | 111 | 指定管理者の選定委員会開催回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | — | — | — | | 2回 | | | | | |
| 24 | コロナに負けるな！飲食店営業継続緊急支援事業費 | 3-④ | 172,174 | 103,363 | 申請件数 | | | 終了 | — | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,275件 | 1,023件 | B | | | | | | | |
| 25 | コロナに負けるな！松阪みんなの商品券事業費 | 3-④ | 550,828 | 565,231 | 商品券販売率 | | | 0 | — | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 90.0% | 80.3% | B | | — | | | | | |
| 26 | 商工振興一般経費 | 3-④ | 622 | 544 | 部局長シート「施策3-④」における令和3年度の評価 | | | 432 | 部局長シート「施策3-④」における令和4年度の評価 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | ☆☆☆ | ☆☆☆ | S | | ☆☆☆ | | | | | |
| 27 | 中心市街地活性化複合施設管理運営事業費 | 3-④ | 1,020 | 1,020 | モニタリング回数 | | | 1,020 | モニタリング回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 年12回 | 年12回 | S | | 年12回 | | | | | |
| 28 | 中心市街地活性化複合施設整備事業費 | 3-④ | 2,750 | 1,199 | モニタリング回数 | | | 25,190 | モニタリング回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 年12回 | 年12回 | S | | 年12回 | | | | | |
| 29 | 産業振興センター管理運営事業費 | 3-④ | 15,331 | 14,916 | 年間利用率 | | | 15,399 | 年間利用率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 35.0% | 37.4% | S | | 35.0% | | | | | |
| 30 | 産業振興センター施設整備事業費 | 3-④ | 26,180 | 21,180 | 年間利用率 | | | 0 | — | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 35.0% | 37.4% | S | | — | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | |
|-----|-----------------------|------|----------|----------|-------------------|-------------|----|----------|-------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | |
| 31 | 地域公共交通システム事業費 | 6-③ | 195,890 | 193,013 | 住民1人あたり公共交通年間利用回数 | | | 196,252 | 住民1人あたり公共交通年間利用回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 8.00回 | 6.56回 | B | | 8.00回 | | |
| 32 | 超高齢社会交通弱者対策調査検討事業費 | 6-③ | 7,532 | 6,739 | 飯高管内の移動手段再編進捗率 | | | 15,693 | 飯高管内の移動手段再編進捗率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 70.0% | 35.0% | D | | 100.0% | | |
| 33 | コミュニティ交通運行事業補助金 | 6-③ | 500 | 200 | 補助金交付団体数 | | | 500 | 補助金交付団体数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2団体 | 1団体 | C | | 2団体 | | |
| 34 | コロナに負けるな!キャッシュレス還元事業費 | 3-④ | 0 | 395,671 | 市内経済波及効果 | | | 0 | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1,295,000千円 | 1,647,082千円 | S | | - | | |
| 35 | 伊勢鉄道経営持続化負担金 | 6-③ | 0 | 1,649 | 伊勢鉄道の運行継続 | | | 終了 | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 運行継続 | 運行継続 | S | | | | |

【商工政策課】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | |
|-----|-------------------|------|----------|----------|-------|------|----|----------|-------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | |
| 1 | セーフティネット保証制度の認定事務 | 3-⑧ | | | 迅速な認定 | | | | 迅速な認定 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 3日以内 | 3日以内 | S | | 3日以内 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 観光交流課 | 作成者（評価者） | 課長 福山 桂 |
|---|--------------|----------|---------|
| 関係する『総合計画』施策 | 3-⑥ 観光・交流の振興 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>観光交流課は、松阪市の魅力を国内だけでなく海外へと発信し、観光誘客の拡大に取り組むとともに、受け入れ環境の整備を行い、国内外の都市間でのヒト・物・情報の交流を推進しています。</p> <p>令和3年3月策定の「松阪市観光振興ビジョン」で定めた、市が目指すべき未来像実現のために、観光客の周遊性・滞在性を高め、地域経済が活性化する取り組みを行います。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光プロモーションサイトで、松阪の観光資源の魅力などを積極的に発信し、サイトの閲覧は目標を達成することができ、昨年に比べて23%増となりました。 ・SNSを活用した情報発信として、観光情報officialインスタグラムアカウント「visit_matsusaka」を活用した効果的な観光情報の発信により、多くのフォロワーを獲得することができ、県内の各市町や観光協会が運用するインスタグラムアカウントとしてはフォロワー数1位となりました。 ・感染症対策を徹底したうえで、国内最大級のお城ファンの祭典である「お城EXPO2021」に初出展し、松坂城跡および松阪市のPRに努めることができました。（来場者数13,624人） ・次年度に向けて、長谷川邸において庭園ライトアップイベントを試験的に実施し、観光資源の磨き上げを行うことができました。 ・国際交流員(CIR)を雇用し、アフターコロナにおけるインバウンドの回復期を見据えた観光情報発信と観光者受入態勢の整備を行うことができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・豪商エリアの指定管理施設4館の入館者数は、対前年比107.7%と増加したものの、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により目標達成には至りませんでした。 ・観光協会事業費補助金については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により観光協会主催事業が中止されるなど、大きく影響を受け、評価することができませんでした。 ・首都圏での観光プロモーションである「松阪WEEK IN三重テラス」や「豪商のまち松阪プロモーション」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止、規模縮小を余儀なくされました。 ・「飯高ホテルズメール」の利用者数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により目標の数値以下となり、目標達成には至りませんでした。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・「アフターコロナ観光促進事業」を始めとした観光プロモーションやWeb等を活用し、アフターコロナを見据えた効果的な施策を展開するとともに、観光にかかる各種データの収集、分析を進め旅行者ニーズにあった情報発信を行い、着地型の事業やイベントを実施することで、コロナ禍により落ち込んだ観光需要の回復、地域産業の活性化と持続的な成長につなげます。 ・三井高利生誕400年を記念した各種事業を効果的に展開し、翌年度の三井越後屋創業350年記念事業につなげていきます。 | | | |

【観光交流課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------------|------|----------|----------|--|------------|------|--------|--|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 国際交流員(CIR)活用事業費 | 3-⑥ | 4,582 | 4,582 | 外国人観光客への情報発信 | | | 5,192 | 国際交流員派遣事業の実績 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 60回(日) | 62回 | S | | 20件 | | |
| 2 | 観光客誘致事業費 | 3-⑥ | 13,392 | 13,392 | 観光プロモーションサイトページビュー数 | | | 12,428 | 観光プロモーションサイトページビュー数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 267,000ビュー | 326,289ビュー | S | | 270,000ビュー | | |
| 3 | お肉のまち松阪プロモーション事業費 | 3-⑥ | 0 | 0 | - | | | 10,709 | キャンペーン応募件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 1,000件 | | |
| 4 | 観光協会運営費補助金 | 3-⑥ | 9,000 | 9,000 | 職員雇用に係る補助割合 | | | 9,000 | 職員雇用に係る補助割合 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 50.0% | 49.25% | S | | 50.0% | | |
| 5 | 観光協会事業費補助金 | 3-⑥ | 19,826 | 5,922 | 観光協会主催4大祭り(初午、宣長、祇園、氏郷)の参加人数 | | | 20,326 | 観光協会主催4大祭り(初午、宣長、祇園、氏郷)の参加人数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 194,500人 | - | - | | 194,500人 | | |
| 6 | 都市間交流事業費 | 3-⑥ | 4,222 | 4,222 | 観光・交流事業の実施回数 | | | 6,216 | 観光・交流事業の実施回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 13事業 | - | - | | 13事業 | | |
| 7 | インバウンドプロモーション事業費 | 3-⑥ | 2,255 | 2,255 | 観光情報多言語サイトページビュー数 | | | 2,448 | 観光情報多言語サイトページビュー数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 10,000ビュー | 2,958ビュー | E | | 11,000ビュー | | |
| 8 | 豪商のまち松阪プロモーション事業費 | 3-⑥ | 11,141 | 3,055 | 豪商のまち松阪プロモーションサイトページビュー数 | | | 10,879 | 豪商のまち松阪プロモーションサイトページビュー数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 9,700ビュー | - | - | | 9,900ビュー | | |
| 9 | リバーサイド茶倉施設管理事業費 | 3-⑥ | 12,761 | 12,782 | 施設利用者数(対前年比) | | | 11,308 | 施設利用者数(対前年比) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 110.0% | 103.7% | A | | 101.0% | | |
| 10 | 観光施設管理運営事業費 | 3-⑥ | 4,723 | 4,723 | 管理施設の観光レクリエーション入込客数(松阪公園、伊勢山上、大石不動院、松名瀬海水浴場) | | | 5,130 | 管理施設の観光レクリエーション入込客数(松阪公園、伊勢山上、大石不動院、松名瀬海水浴場)(対前年比) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 110.0% | 80.3% | B | | 110.0% | | |
| 11 | 観光情報センター管理運営事業費 | 3-⑥ | 10,205 | 10,205 | 施設利用者数の維持(対前年比) | | | 10,453 | 施設利用者数(対前年比) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 160.0% | 111.7% | C | | 110.0% | | |
| 12 | 飯高グリーンライフ山林舎施設管理事業費 | 3-⑥ | 1,748 | 1,840 | 施設利用者数(対前年比) | | | 1,658 | 施設利用者数(対前年比) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 107.0% | 113.0% | S | | 101.0% | | |
| 13 | 飯高森林とのふれあい環境整備施設管理事業費 | 3-⑥ | 1,590 | 1,710 | 施設利用者数(対前年比) | | | 1,501 | 施設利用者数(対前年比) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 110.0% | 101.4% | A | | 101.0% | | |
| 14 | 飯高奥香肌峡林間キャンプ場施設管理事業費 | 3-⑥ | 16 | 16 | 施設活用に向けた事務手続 進捗率 | | | 16 | 施設活用に向けた事務手続 進捗率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------------------|------|----------|----------|---|------------|----|----------|---------------------------------|----|----|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | | |
| 15 | 香肌峡健康の森運動公園施設管理事業費 | 3-⑥ | 4,700 | 5,744 | 施設利用者数(対前年比) | | | 500 | 施設利用者数(対前年比) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 114.0% | 106.9% | A | | 101.0% | | | | | |
| 16 | 飯高ホテルスメール関連施設整備事業費 | 3-⑥ | 19,436 | 19,436 | 施設利用者数(対前年比) | | | 終了 | 施設利用者数(対前年比) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 114.0% | 106.9% | A | | | | | | | |
| 17 | 指定管理者等選定委員会事業費 | 3-⑥ | 195 | 195 | 審査選定委員会 開催回数(1施設あたり) | | | 198 | 審査選定委員会 開催回数(1施設あたり) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 年2回 | 年3回 | S | | 年2回 | | | | | |
| 18 | 魅力ある観光地づくり支援事業費 | 3-⑥ | 10,193 | 10,193 | まつさか交流物産館来館者数(対前年比) | | | 10,821 | まつさか交流物産館来館者数(対前年比) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 140.0% | 111.8% | B | | 110.0% | | | | | |
| 19 | 飯高総合案内施設管理事業費 | 3-⑥ | 2,011 | 1,665 | 施設利用者数(対前年比) | | | 2,011 | 施設利用者数(対前年比) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 110.0% | 109.2% | A | | 101.0% | | | | | |
| 20 | 定住自立圏観光連携事業費 | 3-⑥ | 2,100 | 2,100 | 定住自立圏の観光レクリエーション入込客数 | | | 2,100 | 定住自立圏の観光レクリエーション入込客数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 3,000,000人 | 2,638,985人 | B | | 3,500,000人 | | | | | |
| 21 | 豪商のまち松阪観光・文化施設管理事業費 | 3-⑥ | 82,590 | 82,181 | 4施設の入館者数(豪商、長谷川、小津、原田)の維持(対前年比) | | | 75,495 | 4施設の入館者数(豪商、長谷川、小津、原田)の維持(対前年比) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 190.0% | 107.7% | C | | 105.0% | | | | | |
| 22 | まつさか地域資源魅力発信事業費 | 3-⑥ | 3,111 | 3,111 | 観光インフォメーションサイト「ワクワク」サイトページビュー数 | | | 4,320 | 観光インフォメーションサイト「ワクワク」サイトページビュー数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 120,000ビュー | 151,651ビュー | S | | 123,000ビュー | | | | | |
| 23 | 氏郷が築いた松坂城魅力発信事業費 | 3-⑥ | 1,463 | 1,463 | PRグッズの作成、歴民での企画展開催、お城エキスポへの出展(実施出展回数3回) | | | 1,915 | お城エキスポ等でのアンケート取得数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 3回 | 3回 | S | | 1,700件 | | | | | |
| 24 | 三井高利生誕400年・三井越後屋創業350年記念事業費 | 3-⑥ | 0 | 0 | - | | | 18,562 | 三井家発祥地入館者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 2,500人 | | | | | |
| 25 | 松阪観光支援・宿泊施設飲食店応援クーポン事業費 | 3-⑥ | 0 | 0 | - | | | 24,293 | クーポン配布枚数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 14,700枚 | | | | | |
| 26 | アフターコロナを見据えたシティプロモーション事業費 | 3-⑥ | 0 | 0 | - | | | 24,035 | 専用電子雑誌のページビュー数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 120,000ビュー | | | | | |
| 27 | 松阪の「映えスポット」でメモリアルフォト事業費 | 3-⑥ | 0 | 0 | - | | | 1,392 | 想定利用者数(20人)に対する利用率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 80.0% | | | | | |
| 28 | 観光一般経費 | 3-⑥ | 3,204 | 3,204 | 部局長シート「施策3-⑥」の令和3年度の評価 | | | 3,329 | 部局長シート「施策3-⑥」の令和4年度の評価 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | ☆☆☆☆ | ☆☆☆ | A | | ☆☆☆☆ | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|--|-------------------|----------|---------|
| 組織名 | 地域ブランド課 | 作成者（評価者） | 課長 三木 敦 |
| 関係する『総合計画』施策 | 3-⑦ 松阪牛・地域ブランドの振興 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>特産品の販路拡大のほか、ブランド大使の情報発信とマスコットキャラクター「ちゃちゃも」により市のPRを図っています。また、ふるさと応援寄附金を通じて特産品PRや誘客、地域活性化、財源確保に努めています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税返礼品における新規事業所数は、前年度に比べ20事業所を増やすとともに、返礼品数は189品増やすことができました。また、外部申込サイトの追加やPR強化により、寄附金13億7,769万円は前年度を9,041万円上回る結果となりました。 ・地域特産品ブランド戦略では、まつさか食のまちアドバイザーなどにより販路拡大26カ所と目標値を上回る結果となりました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと応援寄附金は、新規事業者や返礼品の拡充、申込サイトの追加、PR広告などにより前年度を9,041万円上回ったものの目標の20億円には届きませんでした。 <p>令和4年度はさらに返礼品の充実やPR広告の強化などに努め目標達成に向けて取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マスコットキャラクター「ちゃちゃも」のデザインと着ぐるみの利用では、コロナ禍の影響からイベント等が中止になり目標値を大きく下回ったものの、「ちゃちゃも」ラインスタンプを1,829件販売し、松阪市のPRに大きく寄与しました。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【重点取組と目標】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら次の重点事業に取り組みます。</p> <p>ふるさと応援寄附金の目標額（20億円）達成に向け返礼品のブラッシュアップや魅力ある返礼品の発掘、またより効果的なPR広告に努め、目標達成に向けて取り組みます。</p> <p>地域ブランド戦略として、松阪ブランドの認定を増やすとともに、SNSなどで全国へ発信することで、販路拡大と地域活性化に繋がります。</p> | | | |

【地域ブランド課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-------------------------|------|----------|----------|----------------------------|----------------|------|---------|----------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | ふるさと特産品PR事業費 | 3-⑦ | 693,616 | 708,959 | 応援寄附金額 | | | 716,520 | 応援寄附金額 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 20億円 | 1,377,697,730円 | C | | 20億円 | | |
| 2 | 地域特産品ブランド戦略事業費 | 3-⑦ | 9,599 | 8,369 | 松阪ブランドの販路確立 | | | 9,285 | 松阪ブランドの販路確立 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 25か所 | 26か所 | S | | 25か所 | | |
| 3 | ブランド大使・マスコットキャラクター活用事業費 | 3-⑦ | 1,483 | 615 | マスコットキャラクターのデザイン・着ぐるみの利用件数 | | | 1,404 | マスコットキャラクターのデザイン・着ぐるみの利用件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 165回 | 69回 | D | | 170回 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|-------------|----------|----------|
| 組織名 | 競輪事業課 | 作成者（評価者） | 課長 福島 慎也 |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-⑤ 健全な財政運営 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>競輪事業課では、自転車競技法にもとづき、自転車その他の機械振興や体育事業などの公益増進、市の自主財源確保を目的に、自転車競走を行っています。ファンや地域に愛される競輪場をめざすとともに、モーニング、昼間、ナイター、ミッドナイトと全ての時間帯で開催を実施することにより、全国のネットユーザーの顧客の幅を広げており、更なる収益増加を図っています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競輪事業特別会計から一般会計への繰り入れが、前年度の6千万円を大きく上回る2億6千万円を繰り入れることができました。 ・財政調整基金に前年度収益金より約3億5千万円を積み立てることができ、競輪事業運営の安定・健全化が図れました。 ・ご来場のお客様並びに全国のネットユーザーに、モーニング、昼間、ナイター、ミッドナイトの全ての時間帯で競輪開催を提供することができました。 ・開催日程の希望追加を2開催行い、特に3月ナイターでは、ガールズ初の6レース制トーナメントの開催を実施し、新しい競輪にチャレンジすることができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・競輪場の来場者は、新型コロナウイルスの影響により、外出控えやイベントなどのファンサービスによる来場促進が行えず、減少する結果となりました。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い競輪開催にも大きな影響があるなか、感染対策を強化し、安全・安心な競輪開催を実施し、収益の確保に努めます。また、モーニング競輪、昼間の競輪、ナイター競輪、ミッドナイト競輪、ガールズ競輪を開催し、早朝から深夜まで様々な選択肢を提供することで、ファンや地域に愛される競輪場を目指し、安定した経営に努めます。 ・スポーツ振興研修センター内トレーニングジムの一般開放や自転車競技愛好者へのバンク貸し出しを行い、市民の健康増進にも力を入れていきます。 | | | |

【競輪事業課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------|------|------------------|------------------|-------------------------------------|------------------|------|------------|-------------------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 総務一般経費 | 7-⑤ | 8,795 | 13,523 | 収支差額の財政調整基金積立金額 | | | 8,992 | 収支差額の財政調整基金積立金額 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1億円 | 3.5億円 | S | | 1億円 | | |
| 2 | 普通競輪開催事業費 | 7-⑤ | 10,616,591 | 17,553,882 | 活動指標 | | | 11,471,378 | 活動指標 | | |
| | | | | | ミッドナイト競輪の開催 | | | | ミッドナイト競輪の開催 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 8節24日 | 8節24日 | S | 8節24日 | | | | | |
| 3 | 日本競輪選手会三重支部補助金 | 7-⑤ | 2,240 | 2,240 | 活動指標 | | | 2,240 | 活動指標 | | |
| | | | | | 三重支部所属選手訓練研修会 | | | | 三重支部所属選手訓練研修会 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 6回 | 6回 | S | 6回 | | | | | |
| 4 | スポーツ振興研修センター補助金 | 7-⑤ | 16,964 | 28,208 | 活動指標 | | | 34,674 | 活動指標 | | |
| | | | | | ①一般宿泊者数 ②トレーニングジム利用者数 | | | | ①一般宿泊者数 ②トレーニングジム利用者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | ①300人 ②4,000人 | ①494人 ②4,105人 | S | ①300人 ②4,000人 | | | | | |
| 5 | 記念競輪開催事業費 | 7-⑤ | 4,739,374 | 4,109,173 | 活動指標 | | | 4,736,046 | 活動指標 | | |
| | | | | | 記念競輪売上金額 | | | | 記念競輪売上金額 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 50億円 | 44.4億円 | B | 50億円 | | | | | |
| 6 | 包括業務委託事業費 | 7-⑤ | 384,576 | 384,576 | 活動指標 | | | 397,634 | 活動指標 | | |
| | | | | | ①包括受託事業者へのモニタリング ②施設整備委託へのモニタリング | | | | ①包括受託事業者へのモニタリング ②施設整備委託へのモニタリング | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | ①12回 ②6回 | ①12回 ②6回 | S | ①12回 ②6回 | | | | | |
| 7 | 一般会計繰出金 | 7-⑤ | 0 | 260,000 | 活動指標 | | | 0 | 活動指標 | | |
| | | | | | 一般会計への繰出金 | | | | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | 1億円 | 2.6億円 | S | - | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|----------------|----------|----------|
| 組織名 | 企業誘致連携課 | 作成者（評価者） | 課長 牧野 浩也 |
| 関係する『総合計画』施策 | 3-⑤ 企業誘致・連携の推進 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・市内への新規企業進出や市内企業の工場拡張等の再投資に対し、用地確保、行政手続き、操業後のフォローアップをワンストップサービスで提供します。 ・市内企業の経営力向上のため、マーケティングから販売促進に至るまで切れ目なく支援します。 ・成長産業や企業重要拠点等の誘致、企業間・産学官金連携を推進します。 ・都市圏での企業誘致ネットワークを拡充します。 | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内企業における新規事業の設備投資に関して、2件の立地協定を締結しました。 ・新商品開発や受発注・人材マッチング、販路開拓に向けて、12件の企業間連携及び産学官連携を支援しました。 ・延べ289社の企業・団体を訪問（リモート含む）し、市の企業立地にかかる情報提供や意見交換を実施しました。 ・松阪市産業用適地整備計画を踏まえ候補地を選定し、地域への説明会を開催しました。 ・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けた市内中小企業に対し、国が実施する小規模事業者持続化補助金及びものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金の事業者負担分の一部を支援する補助金を令和2年度に引き続き実施し、延べ179社を支援しました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三大都市圏における開催を想定していた産業人交流会については、都市部の感染収束の目途が立たなかったことから開催を中止しました。 ・中小企業ハンズオン支援事業について、コロナ禍による制限により、採択事業者への十分な販路拡大支援が難しかったため、令和4年度も同事業者の支援を継続します。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・企業誘致活動のベースとなる企業等への訪問やリモート面談を積極的に行います。 企業等訪問延べ件数：400件 ・ハンズオン支援対象事業の効果的な実施のため、他企業・支援機関・大学等との連携を図ります。 ハンズオン支援関連企業等訪問延べ件数：25件 | | | |

【企業誘致連携課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------------|------|----------|----------|--------------------|----------|------|--------|--------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 企業誘致推進事業費 | 3-⑤ | 9,797 | 7,668 | 企業等訪問延べ件数 | | | 10,058 | 企業等訪問延べ件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 400社 | 289社 | B | | 400社 | | |
| 2 | 企業立地促進奨励金 | 3-⑤ | 70,313 | 59,313 | 企業等訪問延べ件数 | | | 70,313 | 企業等訪問延べ件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 400社 | 289社 | B | | 400社 | | |
| 3 | 産業経済人交流事業費 | 3-⑤ | 3,680 | 327 | 交流会参加者数 | | | 3,654 | 交流会参加者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 150人 | — | — | | 150人 | | |
| 4 | 企業連携推進事業費 | 3-⑤ | 3,244 | 101 | 企業等訪問延べ件数 | | | 3,228 | 企業等訪問延べ件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 400社 | 289社 | B | | 400社 | | |
| 5 | 中小企業伴走型支援事業費 | 3-⑤ | 4,500 | 4,500 | ハンズオン支援関連企業等訪問延べ件数 | | | 5,000 | ハンズオン支援関連企業等訪問延べ件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 25社 | 20社 | B | | 25社 | | |
| 6 | 中小企業販路拡大支援補助金 | 3-⑤ | 2,500 | 1,868 | ハンズオン支援関連企業等訪問延べ件数 | | | 2,500 | ハンズオン支援関連企業等訪問延べ件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 25社 | 20社 | B | | 25社 | | |
| 7 | 中小企業営業活動コロナ対策支援補助金 | 3-⑤ | 0 | 0 | — | | | 5,000 | ハンズオン支援関連企業等訪問延べ件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | — | — | — | | 25社 | | |
| 8 | 小規模事業者を支える持続化支援事業補助金 | 3-⑤ | 92,800 | 83,000 | 本補助金申請事業者数 | | | 22,073 | 本補助金申請事業者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 162事業者 | 164事業者 | S | | 66事業者 | | |
| 9 | 中小企業を支えるものづくり等支援事業補助金 | 3-⑤ | 23,700 | 23,000 | 本補助金申請事業者数 | | | 13,200 | 本補助金申請事業者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 12事業者 | 15事業者 | S | | 7事業者 | | |
| 10 | 航空宇宙産業製造基盤支援事業補助金 | 3-⑤ | 5,000 | 3,917 | 本補助金申請事業者数 | | | 5,000 | 本補助金申請事業者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 10事業者 | 10事業者 | S | | 10事業者 | | |
| 11 | 中小企業カーボンニュートラル推進事業費 | 3-⑤ | 0 | 0 | — | | | 24,914 | 省工不最適化診断申込件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | — | — | — | | 10件 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 農水振興課 | 作成者（評価者） | 課長 西口 敏弘 |
|--|-------------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 3-① 農業の振興 | | |
| | 3-③ 水産業の振興 | | |
| | 3-⑦ 松阪牛・地域ブランドの振興 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>農業の振興のうち平坦地域においては、担い手農家を中心とした水稻、小麦、大豆の2年3作の作付けを推進し、中山間地域では獣害に強い作物の作付振興に加え、農地の保全や防護柵の設置などの支援に取り組んでいます。</p> <p>水産業については、漁業拠点となる漁師漁港の長寿命化に係る改修工事を行うとともに、アサリ、ガザミなどの水産資源の増殖に向けた支援に取り組んでいます。</p> <p>松阪牛の振興については、世界のブランド「松阪牛」のPRを国内外で行うとともに、「特産松阪牛」の肥育農家に対する支援に取り組んでいます。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理機構を活用した年間の新規集積面積について、目標を上回る63haを集積し、農業の振興を図りました。 ・猟友会による有害鳥獣の捕獲業務や防護柵の設置などについて支援し、農作物被害の軽減に取り組みました。 ・猟師漁港機能保全事業の第2期計画として、猟師漁港の水域施設（航路・泊地）の測量業務及び設計、積算を実施しました。 ・特産松阪牛の生産振興として、素牛導入となる兵庫県産子牛108頭への支援を行いました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域の農業支援として、モロヘイヤ・シシトウなどの奨励作物の推進を図りましたが、耕作者や後継者の減少などにより目標を達成することができませんでした。今後、より獣害に強い作物の研究を進め推進を図ります。 ・ジャンボタニシの防除対策について、薬剤・石灰窒素の散布に対して支援し被害防止を図りましたが、目標の被害面積（0a）を達成できませんでした。今後も支援に取り組み、被害の防止を図ります。 ・飯高地域資源活用交流施設と松阪農業公園ベルファームについて、新型コロナウイルスの影響により目標を達成することができませんでした。施設の適切な管理を行い、来客者の対応が十分できるよう努めます。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、2年連続で中止となっていた「松阪牛まつり」について、来場者が安心して参加できるよう、開催に向け検討を進めます。</p> | | | |

【農水振興課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------|------|----------|--------|--|----------|------|--------|--|----|------|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 活動指標 | | | |
| 1 | 松阪牛まつり事業費 | 3-⑦ | 22,365 | 0 | 来場者数 | | | 23,600 | 来場者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 35,000人 | — | — | | 35,000人 | | | | | |
| 2 | 農業総務一般経費 | 3-① | 3,580 | 3,241 | 部局長の実行宣言に掲げる施策3-①に対する評価 | | | 3,761 | 部局長の実行宣言に掲げる施策3-①に対する評価 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | ☆☆☆ | ☆☆☆☆ | S | | ☆☆☆ | | | | | |
| 3 | 茶園耕作放棄地再生補助金 | 3-① | 0 | 0 | — | | | 1,000 | 耕作放棄地再生面積 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | — | — | — | | 2ha | | | | | |
| 4 | 有害鳥獣対策事業費 | 3-① | 5,400 | 5,400 | 鳥獣による農作物被害額 | | | 5,730 | 鳥獣による農作物被害額 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 12,000千円 | 11,740千円 | S | | 11,500千円 | | | | | |
| 5 | 有害鳥獣捕獲補助金 | 3-① | 24,550 | 19,983 | 鳥獣による農作物被害額 | | | 24,800 | 鳥獣による農作物被害額 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 12,000千円 | 11,740千円 | S | | 11,500千円 | | | | | |
| 6 | 有害鳥獣防護柵設置補助金 | 3-① | 3,650 | 3,650 | 鳥獣による農作物被害額 | | | 3,650 | 鳥獣による農作物被害額 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 12,000千円 | 11,740千円 | S | | 11,500千円 | | | | | |
| 7 | 有害鳥獣対策環境整備事業費 | 3-① | 11,000 | 10,520 | 獣害防護柵設置による地元住民の満足度 | | | 7,857 | 獣害防護柵設置による地元住民の満足度 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 8 | 農業後継者対策補助金 | 3-① | 150 | 0 | 「松阪地区農村青少年クラブ連絡協議会」のうち市内会員数 | | | 150 | 「松阪地区農村青少年クラブ連絡協議会」のうち市内会員数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 17名 | 6名 | D | | 10名 | | | | | |
| 9 | 特産振興補助金 | 3-① | 2,200 | 2,200 | 特産振興作物のうち産地強化計画作物の作付面積(なばな、モロヘイヤ、ブロッコリー) | | | 2,200 | 特産振興作物のうち産地強化計画作物の作付面積(なばな、モロヘイヤ、ブロッコリー) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,129a | 1,740a | S | | 1,158a | | | | | |
| 10 | 茶防霜施設設置補助金 | 3-⑦ | 175 | 175 | 関西茶品評会(深蒸し煎茶)入賞率 | | | 175 | 関西茶品評会(深蒸し煎茶)入賞率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 30.0% | 31.7% | S | | 30.0% | | | | | |
| 11 | 薬用作物作付実証事業費 | 3-① | 0 | 0 | — | | | 800 | 実証(ほ場面積) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | — | — | — | | 20a | | | | | |
| 12 | 松阪茶PR推進事業費 | 3-① | 1,263 | 1,263 | 関西茶品評会(深蒸し煎茶)入賞率 | | | 1,443 | 関西茶品評会(深蒸し煎茶)入賞率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 30.0% | 31.7% | S | | 30.0% | | | | | |
| 13 | 茶防霜施設改修事業補助金 | 3-⑦ | 0 | 0 | 関西茶品評会(深蒸し煎茶)入賞率 | | | 1,488 | 関西茶品評会(深蒸し煎茶)入賞率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 30.0% | 31.7% | S | | 30.0% | | | | | |
| 14 | アライグマ対策事業費 | 3-① | 712 | 892 | 捕獲頭数 | | | 812 | 捕獲頭数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 150頭 | 195頭 | S | | 150頭 | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------------------|------|----------|----------|-----------------------------|--------|----|----------|-----------------------------|----|----|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | | |
| 15 | 農業振興一般経費 | 3-① | 487 | 487 | 部局長の実行宣言に掲げる施策3-①に対する評価 | | | 612 | 部局長の実行宣言に掲げる施策3-①に対する評価 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | ☆☆☆ | ☆☆☆☆ | S | | ☆☆☆ | | | | | |
| 16 | 農山村振興一般経費 | 3-① | 300 | 300 | 部局長の実行宣言に掲げる施策3-①に対する評価 | | | 300 | 部局長の実行宣言に掲げる施策3-①に対する評価 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | ☆☆☆ | ☆☆☆☆ | S | | ☆☆☆ | | | | | |
| 17 | 松阪肉牛協会補助金 | 3-⑦ | 350 | 350 | 枝肉共進会の優秀牛(A-5、B-5)出品率 | | | 350 | 枝肉共進会の優秀牛(A-5、B-5)出品率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 90.0% | 89.6% | A | | 90.0% | | | | | |
| 18 | 松阪肉牛共進会出品奨励事業補助金 | 3-⑦ | 4,000 | 0 | 市内農家の共進会本選出品頭数 | | | 4,000 | 市内農家の共進会本選出品頭数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 7頭 | — | — | | 7頭 | | | | | |
| 19 | 特産松阪牛出荷奨励事業補助金 | 3-⑦ | 4,000 | 4,000 | 特産松阪牛出荷頭数 | | | 4,000 | 特産松阪牛出荷頭数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 70頭 | 63頭 | A | | 50頭 | | | | | |
| 20 | 松阪牛PR推進事業費 | 3-⑦ | 4,000 | 2,000 | 松阪牛個体識別管理システムの認知度 | | | 4,000 | 松阪牛個体識別管理システムの認知度 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 75.0% | — | — | | 75.0% | | | | | |
| 21 | 松阪食肉公社の安全安心対策支援事業負担金 | 3-⑦ | 18,843 | 18,843 | 「公社のあり方」について、三重県、関係市町との協議回数 | | | 18,789 | 「公社のあり方」について、三重県、関係市町との協議回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 3回 | 4回 | S | | 3回 | | | | | |
| 22 | 特産松阪牛素牛導入促進事業補助金 | 3-⑦ | 10,000 | 10,000 | 導入頭数 | | | 10,000 | 導入頭数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 60頭 | 108頭 | S | | 50頭 | | | | | |
| 23 | 畜産振興一般経費 | 3-⑦ | 723 | 723 | 部局長の実行宣言に掲げる施策3-⑦に対する評価 | | | 723 | 部局長の実行宣言に掲げる施策3-⑦に対する評価 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | ☆☆☆ | ☆☆ | C | | ☆☆☆ | | | | | |
| 24 | 経営所得安定対策直接支払推進事業費 | 3-① | 14,368 | 14,217 | 水田への高収益作物(野菜、花き等)の作付面積 | | | 16,001 | 水田への高収益作物(野菜、花き等)の作付面積 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 6,210a | 5,174a | B | | 7,064a | | | | | |
| 25 | 水田活用推進対策補助金 | 3-① | 40,500 | 40,500 | 人・農地プランの実質化 | | | 43,000 | 実質化された人・農地プラン地区数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 110地区 | 112地区 | S | | 115地区 | | | | | |
| 26 | 中山間地域水田活用推進対策補助金 | 3-① | 2,475 | 1,905 | 奨励作物などの作付面積 | | | 2,375 | 奨励作物などの作付面積 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,500a | 1,324a | B | | 1,500a | | | | | |
| 27 | ジャンボタニシ防除対策補助金 | 3-① | 17,000 | 15,796 | ジャンボタニシによる被害面積 | | | 6,150 | ジャンボタニシによる被害面積 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 0ha | 3.7a | E | | 0ha | | | | | |
| 28 | 持続的経営体支援交付金 | 3-① | 0 | 0 | — | | | 15,000 | 成果目標(規模拡大など)の達成度 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | — | — | — | | 100.0% | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------------------|------|----------|----------|-----------------------|--------|----|----------|-----------------------|----|----|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | | |
| 29 | 環境保全型農業直接支払交付金 | 3-① | 80 | 0 | 市内の「みえの安心食材」認定経営体数 | | | 880 | 市内の「みえの安心食材」実認定経営体数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 70経営体 | 66経営体 | A | | 56経営体 | | | | | |
| 30 | 農業経営基盤強化促進事業費 | 3-① | 2,643 | 2,643 | 認定農業者等担い手農家への農地集積率 | | | 2,705 | 認定農業者等担い手農家への農地集積率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 54.0% | 52.6% | A | | 57.0% | | | | | |
| 31 | 中山間地域等直接支払交付金 | 3-① | 16,109 | 16,109 | 本事業の加入集落数 | | | 16,109 | 本事業の加入集落数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 21集落 | 21集落 | S | | 21集落 | | | | | |
| 32 | 農業経営基盤強化資金等利子補給促進補助金 | 3-① | 507 | 517 | 本事業の新規活用件数 | | | 465 | 本事業の新規活用件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 3件 | 8件 | S | | 4件 | | | | | |
| 33 | 新規就農者総合支援補助金 | 3-① | 10,500 | 6,000 | 青年就農計画認定経営体数 | | | 10,618 | 青年就農計画認定経営体数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 19経営体 | 13経営体 | C | | 20経営体 | | | | | |
| 34 | 機構集積協力補助金 | 3-① | 6,100 | 27,969 | 農地中間管理機構を活用した年間新規集積面積 | | | 2,000 | 農地中間管理機構を活用した年間新規集積面積 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 20ha | 63ha | S | | 15ha | | | | | |
| 35 | がんばる認定農業者等支援補助金 | 3-① | 6,000 | 5,797 | 成果目標(規模拡大など)の達成度 | | | 6,000 | 成果目標(規模拡大など)の達成度 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 36 | 担い手確保・経営強化支援補助金 | 3-① | 25,000 | 4,356 | 成果目標(規模拡大など)の達成度 | | | 25,000 | 成果目標(規模拡大など)の達成度 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 37 | 強い農業づくり総合支援交付金 | 3-① | 3,000 | 0 | 成果目標(規模拡大など)の達成度 | | | 30,000 | 成果目標(規模拡大など)の達成度 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | - | - | | 100.0% | | | | | |
| 38 | ヘルファーム施設管理事業費 | 3-① | 39,694 | 40,345 | 指定管理者の「当期純利益>0」達成度 | | | 48,846 | 指定管理者の「当期純利益>0」達成度 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 0% | E | | 100.0% | | | | | |
| 39 | ヘルファーム施設整備事業費 | 3-① | 19,340 | 18,340 | 指定管理者の「当期純利益>0」達成度 | | | 137,893 | 指定管理者の「当期純利益>0」達成度 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 0.0% | E | | 100.0% | | | | | |
| 40 | 多目的研修集会施設管理事業費 | 3-① | 1,417 | 984 | 施設の利用率 | | | 終了 | 施設の利用率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 26.0% | 6.8% | E | | | | | | | |
| 41 | 飯南茶業伝承館管理事業費 | 3-⑦ | 2,341 | 2,341 | 施設の利用者数 | | | 999 | 施設の利用者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 900人 | 477人 | C | | 700人 | | | | | |
| 42 | 飯高産業振興センター管理事業費 | 3-① | 6,163 | 5,762 | 施設の利用者数 | | | 6,626 | 施設の利用者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 2,323人 | 1,828人 | B | | 2,346人 | | | | | |
| 43 | 飯高産業振興センター施設整備事業費 | 3-① | 3,011 | 1,610 | 施設の利用者数 | | | 0 | 施設の利用者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 2,323人 | 1,828人 | B | | - | | | | | |
| 44 | 飯南和紙和牛センター管理運営事業費 | 3-① | 774 | 774 | 深野和紙の保存(紙漉き体験人数) | | | 393 | 深野和紙の保存(紙漉き体験人数) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 235人 | 134人 | C | | 239人 | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-------------------|------|----------|--------|----------------------------|----------|------|--------|----------------------------|----|------|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 活動指標 | | | |
| 45 | 飯高地域資源活用交流施設管理事業費 | 3-① | 22,491 | 25,404 | 施設の入込客数 | | | 23,058 | 施設の入込客数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 352,400人 | 278,241人 | B | | 360,000人 | | | | | |
| 46 | 指定管理者選定委員会事業費 | 3-① | 213 | 213 | 指定管理者選定委員会の開催回数 | | | 203 | 指定管理者選定委員会の開催回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 2回 | 2回 | S | | 2回 | | | | | |
| 47 | 水産業総務一般経費 | 3-③ | 584 | 420 | 部局長の実行宣言に掲げる施策3-③に対する評価 | | | 481 | 部局長の実行宣言に掲げる施策3-③に対する評価 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | ☆☆☆ | ☆☆☆☆ | A | | ☆☆☆ | | | | | |
| 48 | 稚點等放流事業補助金 | 3-③ | 2,450 | 2,450 | 目標増殖量の達成度 | | | 2,450 | 目標増殖量の達成度 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 285.40% | S | | 100.0% | | | | | |
| 49 | 川鶴対策事業補助金 | 3-③ | 140 | 84 | 各内水面漁協が掲げる川鶴捕獲(70羽)の達成度 | | | 140 | 各内水面漁協が掲げる川鶴捕獲(70羽)の達成度 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 60.0% | C | | 100.0% | | | | | |
| 50 | 水産資源増殖事業費 | 3-③ | 300 | 300 | ガザミ放流種苗量 | | | 統合 | ガザミ放流種苗量 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 15万尾 | 28万尾 | S | | | | | | | |
| 51 | 水産資源増殖事業補助金 | 3-③ | 2,400 | 2,400 | 覆砂の実施面積 | | | 3,300 | 覆砂の実施面積 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 120㎡ | 190㎡ | S | | 120㎡ | | | | | |
| 52 | 水産物消費拡大推進事業費補助金 | 3-③ | 400 | 0 | 市の水産特産品のPR回数 | | | 400 | 市の水産特産品のPR回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 4回 | - | - | | 4回 | | | | | |
| 53 | 漁港海岸施設管理事業費 | 3-③ | 1,770 | 1,770 | 漁港海岸等の清掃活動等の実施 | | | 1,884 | 漁港海岸等の清掃活動等の実施 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 年3回 | 年2回 | C | | 年3回 | | | | | |
| 54 | 漁港機能保全事業費 | 3-③ | 7,078 | 31,378 | 猟師漁港機能保全事業(第二期)の進捗率(R3~R7) | | | 14,076 | 猟師漁港機能保全事業(第二期)の進捗率(R3~R7) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 10.0% | 10.0% | S | | 30.0% | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|-----------|----------|----------|
| 組織名 | 林業振興課 | 作成者（評価者） | 課長 中林 正明 |
| 関係する『総合計画』施策 | 3-② 林業の振興 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>林業を取り巻く環境は、長期にわたる国産材の需要低迷により、生産活動が停滞し、未整備森林が増加するなど、極めて厳しい状況となっています。このような現状に対応するため、「木材生産」「森林環境保全」「地域材利用」を施策の3本柱として、森林整備の促進、及び森林資源の活用に向けた取り組みを進めています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木材搬出等の効率化を図るため、林道の舗装工事を実施するとともに、重機使用や原材料支給により林道の保全を図りました。 ・森林所有者への今後の森林管理に対する意向調査と未整備森林での間伐について、目標面積を達成することができました。 ・山腹崩壊等の危険がある斜面上部の森林整備をはじめ、集落に隣接する危険木やライフライン（配電線）を寸断する恐れのある支障木の事前伐採を行い、防災対策を図りました。 ・森林公園は新指定管理者のもと、ネット予約機能の追加をはじめオートサイトの新設やイベント講座等の充実により利用者数10%の増加につなげました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマスへの有効活用について、ウッドショックの影響により木材価格が高騰し、市場出荷へと移行したことから減少しました。林地残材の有効活用に向け、「森林活プロジェクト」の周知等を推進します。 ・松阪の木を使用した新築木造住宅への建築支援については、目標棟数を達成することが出来ませんでした。令和4年度は、交付対象枠に市外の工務店、建築士を加え、より広域的な松阪の木の需要拡大につなげていきます。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・小規模森林の集約化に対する支援により、森林施業の推進するとともに、利用間伐や架線集材など木材搬出への支援を行うことで、森林整備の促進と素材生産量の増大につなげていきます。 ・森林環境譲与税を活用した森林資源管理事業において、森林所有者への意向調査と未整備森林の間伐を推進していきます。 ・松阪の木を使用した木造住宅の建築促進を通じた、地域材の需要拡大の取り組みを進めていきます。 ・2050年カーボンニュートラルの実現に向け、市域の約7割を占める森林における間伐などの森林整備から生まれたCO2吸収量を、国が認証するJ-クレジット制度への取り組みを進めていきます。 | | | |

【林業振興課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|--------------------|------|----------|----------|------------------------|-----------|----|----------|------------------------|----|----|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | | |
| 1 | 緑化推進事業費 | 3-② | 350 | 350 | 緑化苗木等の配布自治会数 | | | 350 | 緑化苗木等の配布自治会数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 10自治会 | 6自治会 | C | | 10自治会 | | | | | |
| 2 | 林業総務一般経費 | 3-② | 3,508 | 3,544 | 道路賠償責任保険の加入路線数 | | | 4,126 | 道路賠償責任保険の加入路線数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 222路線 | 222路線 | S | | 222路線 | | | | | |
| 3 | 地域森林集約化推進事業補助金 | 3-② | 0 | 0 | - | | | 3,390 | 森林経営計画増加面積 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 30ha | | | | | |
| 4 | 森林環境創造事業費 | 3-② | 12,680 | 12,680 | 「環境林づくり協定」に基づく間伐面積 | | | 12,280 | 「環境林づくり協定」に基づく間伐面積 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 60ha | 43ha | B | | 60ha | | | | | |
| 5 | 森林環境学習事業費 | 3-② | 2,900 | 2,876 | 森林環境学習実施対象小学校数 | | | 2,900 | 森林環境学習実施対象小学校数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 2校 | 2校 | S | | 2校 | | | | | |
| 6 | 里山の森林安全安心対策事業費 | 3-② | 12,700 | 12,924 | 集落や公共施設周辺の間伐及び支障木の伐採箇所 | | | 13,184 | 集落や公共施設周辺の間伐及び支障木の伐採箇所 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 9箇所 | 15箇所 | S | | 9箇所 | | | | | |
| 7 | 林業労働者退職金共済掛金補助金 | 3-② | 324 | 324 | 補助を行う飯南・飯高地域の林業事業所数 | | | 312 | 補助を行う飯南・飯高地域の林業事業所数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 9事業所 | 6事業所 | C | | 9事業所 | | | | | |
| 8 | 森林経営計画作成推進事業費補助金 | 3-② | 6,225 | 6,463 | 森林経営計画作成面積 | | | 4,800 | 森林経営計画作成面積 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100ha | 63ha | C | | 100ha | | | | | |
| 9 | 木質バイオマス有効活用対策事業補助金 | 3-② | 6,500 | 5,500 | 未利用間伐材などの運搬重量 | | | 6,500 | 未利用間伐材などの運搬重量 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 23,000t | 9,219t | D | | 24,000t | | | | | |
| 10 | みなと森と水ネットワーク促進事業費 | 3-② | 184 | 100 | 東京都港区での地域材のPR活動 | | | 184 | 東京都港区での地域材のPR活動 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 2回以上 | 1回 | C | | 2回以上 | | | | | |
| 11 | 松阪荒滝生活環境保全林管理事業費 | 3-② | 709 | 605 | 窓口でのパンフレット配布数 | | | 709 | 保全林の草刈面積 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100部 | 100部 | S | | 1.92ha | | | | | |
| 12 | 松阪創造の森施設管理事業費 | 3-② | 3,304 | 2,112 | 施設及び作業路の草刈面積 | | | 1,765 | 施設及び作業路の草刈面積 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 4.6ha | - | - | | 4.6ha | | | | | |
| 13 | 松阪ちとせの森施設管理事業費 | 3-② | 929 | 929 | 施設内の下草刈面積(年2回) | | | 1,153 | 施設内の下草刈面積(年2回) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 0.85ha/2回 | 0.85ha/2回 | S | | 0.85ha/2回 | | | | | |
| 14 | 林地台帳整備事業費 | 3-② | 1,430 | 1,430 | 林業台帳整備 | | | 1,430 | 林業台帳整備 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 60筆 | 235筆 | S | | 60筆 | | | | | |
| 15 | 嬉野どんぐりの森管理事業費 | 3-② | 50 | 50 | 施設内の下草刈面積 | | | 50 | 施設内の下草刈面積 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,000㎡ | 1,000㎡ | S | | 1,000㎡ | | | | | |

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------------------|------|----------|----------|------------------------|---------|----|----------|------------------------------|----|----|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | | |
| 16 | いきいき松阪の森づくり事業補助金 | 3-② | 25,975 | 25,975 | 利用間伐促進事業への支援 | | | 25,975 | 利用間伐促進事業への支援 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 18,000㎡ | 12,377㎡ | C | | 18,000㎡ | | | | | |
| 17 | 林業支援センター運営事業費 | 3-② | 9,529 | 8,758 | 原木・製材品の販路拡大 | | | 9,244 | 原木・製材品の販路拡大 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 5社 | 5社 | S | | 5社 | | | | | |
| 18 | 森林資源管理事業費 | 3-② | 59,250 | 59,250 | 森林の経営管理を行う意向調査 | | | 84,000 | 森林の経営管理を行う意向調査 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,000ha | 1,037ha | S | | 1,000ha | | | | | |
| 19 | 流域防災機能強化対策事業費 | 3-② | 5,300 | 5,300 | 早急な整備が必要とされる森林整備面積 | | | 5,700 | 早急な整備が必要とされる森林整備面積 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 10ha | 13ha | S | | 15ha | | | | | |
| 20 | 森林再生力強化対策事業費 | 3-② | 7,500 | 3,635 | 獣害防止施設等整備延長 | | | 7,500 | 獣害防止施設等整備延長 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 12,000m | 8,373m | C | | 12,000m | | | | | |
| 21 | 松阪の木利用推進事業補助金 | 3-② | 6,750 | 3,250 | 支援する「松阪の木」を使用した新築木材住宅数 | | | 6,750 | 支援する「松阪の木」を使用した新築木材住宅数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 40棟 | 15棟 | D | | 40棟 | | | | | |
| 22 | 災害からライフラインを守る事前伐採事業費 | 3-② | 12,200 | 12,200 | 支障木の伐採本数 | | | 20,200 | 支障木の伐採本数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,000本 | 1,007本 | S | | 1,000本 | | | | | |
| 23 | 森林有害鳥獣被害対策事業補助金 | 3-② | 1,000 | 600 | 防護柵設置、修繕補助に係る交付件数 | | | 1,000 | 防護柵設置、修繕補助に係る交付件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 20件 | 6件 | D | | 20件 | | | | | |
| 24 | 木造住宅建築促進事業補助金 | 3-② | 16,000 | 4,952 | 支援する「松阪の木」を使用した新築木造住宅数 | | | 32,640 | 支援する「松阪の木」を使用した新築木造住宅数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 40棟 | 16棟 | D | | 100棟 | | | | | |
| 25 | J-クレジット創出事業費 | 3-② | 0 | 0 | - | | | 1,590 | 造林、間伐によるCO2吸収量(間伐1ha≒5t-CO2) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 100t-CO2 | | | | | |
| 26 | 森林公園管理運営事業費 | 3-② | 29,349 | 29,515 | 指定管理者によるイベント等実施回数 | | | 29,349 | 指定管理者によるイベント等実施回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 14回 | 18回 | S | | 14回 | | | | | |
| 27 | 森林公園施設整備事業費 | 3-② | 0 | 0 | - | | | 9,600 | EVスタンド設置 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 1基 | | | | | |
| 28 | 飯高林業総合センター管理運営事業費 | 3-② | 6,124 | 5,989 | 適正な施設維持管理等 | | | 6,051 | 施設の利用者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1式 | 1式 | S | | 1,500人 | | | | | |
| 29 | 林道・作業道等維持管理事業費 | 3-② | 13,635 | 23,570 | 林道作業道の舗装工事 | | | 23,085 | 林道作業道の舗装工事 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 2路線 | 1路線 | C | | 1路線 | | | | | |
| 30 | 治山事業費 | 3-② | 3,563 | 3,108 | 要望に基づく治山事業計画書作成 | | | 3,648 | 要望に基づく治山事業計画書作成 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 8箇所 | 6箇所 | B | | 5箇所 | | | | | |
| 31 | 林道・作業道整備事業費 | 3-② | 11,700 | 10,601 | 姉野上小川町地内の林道トロセ線開工工事 | | | 60,371 | 姉野上小川町地内の林道トロセ線開工工事 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 230m | 57m | E | | 270m | | | | | |

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------------|------|----------|----------|-------------------------|----------|------|-------|-------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 32 | 飯南・飯高市有林管理事業費 | 3-② | 2,003 | 2,003 | 市有林の巡視団地数 | | | 3,116 | 市有林の巡視団地数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 9団地 | 9団地 | S | | 11団地 | | |
| 33 | 飯南・飯高市有林再造林事業費 | 3-② | 4,543 | 4,070 | 皆伐跡地へ広葉樹の植林面積 | | | 5,657 | 皆伐跡地へ広葉樹の植林面積 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1.5ha | 1.2ha | B | | 1.35ha | | |
| 34 | 林業施設災害復旧事業費 | 3-② | 4,000 | 4,000 | 被災林道の復旧工事にかかる迅速な現場対応の実施 | | | 4,000 | 被災林道の復旧工事にかかる迅速な現場対応の実施 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |

【林業振興課】事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------|------|----------|----------|--------------|----------|------|---|--------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 森林活プロジェクト | | / | / | 未利用間伐材等の運搬重量 | | | / | 未利用間伐材等の運搬重量 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1,800 t | 1,262 t | B | | 1,500 t | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|-------------|----------|---------|
| 組織名 | 農村整備課 | 作成者（評価者） | 課長 森 唯人 |
| 関係する『総合計画』施策 | 3-④ 農業の振興 | | |
| | 5-⑤ 浸水対策の充実 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>農業者とともに自然環境に配慮しながら、安定した農業生産が維持できるように、施設整備と水環境の保全並びに資源を確保し、生産性の向上を通じて農業の体質強化を図ります。また、多面的な機能を有している農地を保全し、農村に居住する人が快適な生活環境を享受できるように、農業基盤整備事業を行っています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業において、黒部第一地区・黒部第二地区・黒部第三地区の長寿命化を行い、耐用年数の延伸とライフサイクルコストの低減に取り組みました。 ・ 県営ほ場整備事業において、朝見上地区、寺井地区、北谷地区の環境条件整備に取り組みました。 ・ 県営ため池等整備事業において、白石池の改修工事と坊谷池改修事業の新規採択、ため池3か所の耐震調査業務委託を行い、用水の安定供給と防災の強化に取り組みました。 ・ 多面的機能支払交付金事業において、地域の共同活動を支援し、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮に努めました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県営ため池等整備計画事業において土質調査を行ったところ、想定した土質分布と差異があったため、ボーリング調査の掘削延長及び土質試験回数が増加し、計画していたか所数の調査が出来ませんでした。引き続き調査を行っていきます。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業において、黒部第一地区・黒部第二地区・黒部第三地区・三雲南部地区・三雲南部2期地区の長寿命化に取り組みます。 ・ 県営ほ場整備事業において、朝見上地区、寺井地区、北谷地区の環境条件整備と山室地区の計画に取り組みます。 ・ 県営ため池等整備事業において、坊谷池の改修工事とため池37か所の豪雨・劣化状況評価業務委託を行い、用水の安定供給と防災の強化に取り組みます。 ・ 多面的機能支払交付金事業において、地域の共同活動を支援し、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮に努めます。 | | | |

【農村整備課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-------------------------|------|----------|----------|-------------------------------|----------|------|---------|-------------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 市単土地改良事業費 | 3-① | 38,690 | 31,034 | 工事実施箇所 | | | 44,345 | 工事実施箇所 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 8か所 | 8か所 | S | | 9か所 | | |
| 2 | 公共事業等附帯事業費 | 3-① | 30,000 | 29,660 | 年度内事業進捗率 | | | 33,000 | 工事実施箇所 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1地区 | 1地区 | S | | 1地区 | | |
| 3 | ふるさと・水と土保全対策事業補助金 | 3-① | 250 | 250 | 年度内事業進捗率 | | | 250 | 事業実施箇所 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1地区 | 1地区 | S | | 1地区 | | |
| 4 | 県営ため池等整備計画事業費 | 3-① | 20,500 | 16,874 | 事業実施箇所 | | | 21,400 | 事業実施箇所 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 4か所 | 3か所 | B | | 37か所 | | |
| 5 | 三雲地区モデル事業排水施設管理事業費 | 3-① | 3,092 | 3,366 | 上下水道部と公共下水道供用開始地域の接続状況の確認等の協議 | | | 5,843 | 上下水道部と公共下水道供用開始地域の接続状況の確認等の協議 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1回 | 1回 | S | | 1回 | | |
| 6 | 三雲地区モデル事業排水施設整備事業費 | 3-① | 0 | 0 | - | | | 5,200 | 改修に伴う施設の合理化 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 1か所 | | |
| 7 | 小規模土地改良事業補助金 | 3-① | 900 | 900 | 受益者との調整 | | | 900 | 受益者との調整 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 10日以内 | 10日以内 | S | | 10日以内 | | |
| 8 | 多面的機能支払交付金事業費 | 3-① | 195,436 | 184,078 | 本事業の組織数の維持 | | | 212,040 | 本事業の組織数の維持 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 85組織 | 86組織 | S | | 85組織 | | |
| 9 | 県営ため池等整備事業負担金 | 3-① | 5,540 | 1,840 | 事業実施箇所 | | | 4,900 | 事業実施箇所 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1地区 | 1地区 | S | | 1地区 | | |
| 10 | 土地改良施設維持管理適正化事業補助金 | 3-① | 1,500 | 1,000 | 事業実施箇所 | | | 500 | 事業実施箇所 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 4か所 | 3か所 | B | | 1か所 | | |
| 11 | 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金 | 3-① | 16,450 | 43,602 | 事業実施箇所 | | | 49,000 | 事業実施箇所 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2か所 | 2か所 | S | | 1か所 | | |
| 12 | 県営基幹水利施設ストックマネジメント計画事業費 | 3-① | 41,200 | 9,845 | 県との協議 | | | 10,000 | 県との協議 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 4回 | 4回 | S | | 4回 | | |
| 13 | 農業水路等長寿命化・防災減災事業交付金事業費 | 3-① | 0 | 0 | - | | | 19,900 | 事業実施箇所 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 2か所 | | |
| 14 | 農村公園施設整備事業費 | 3-① | 0 | 0 | - | | | 29,161 | 事業実施箇所 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 1箇所 | | |
| 15 | 農地一般経費 | 3-① | 12,232 | 10,950 | ピーフロードの月例点検 | | | 12,233 | ピーフロードの月例点検 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 月1回 | 月1回 | S | | 月1回 | | |

第3章 各所属の「評価」と「実行宣言」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-------------------------|------|----------|--|----------|--|-------------------------|-------|----------|--------|------|-------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 活動指標 | | | |
| 16 | 県営ほ場整備事業土地改良区補助金 | 3-① | 4,500 | | 4,150 | | 補助金対象土地改良区数 | | | 4,500 | | 補助金対象土地改良区数 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 3改良区 | 3改良区 | S | | | 3改良区 | | |
| 17 | 県営ほ場整備計画事業費 | 3-① | 0 | | 0 | | - | | | 13,400 | | 地元と県との調整 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | - | - | - | | | 2回 | | |
| 18 | 県営ほ場整備事業負担金 | 3-① | 46,562 | | 38,024 | | 土地改良区と県との調整 | | | 41,884 | | 土地改良区と県との調整 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 5回 | 5回 | S | | | 6回 | | |
| 19 | 湛水防除施設管理事業費 | 5-⑤ | 55,573 | | 56,597 | | 排水機場の月例点検の実施 | | | 62,387 | | 排水機場の月例点検の実施 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 月1回 | 月1回 | S | | | 月1回 | | |
| 20 | 土地改良施設維持管理適正化事業費 | 5-⑤ | 44,535 | | 44,510 | | 整備補修を行う機場数 | | | 67,621 | | 整備補修を行う機場数 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 1機場 | 2機場 | S | | | 2機場 | | |
| 21 | 基幹水利施設技術管理強化特別指導事業費 | 5-⑤ | 17,838 | | 17,838 | | 排水機場の運転管理における指導・援助の実施 | | | 17,809 | | 排水機場の運転管理における指導・援助の実施 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 月3回 | 月3回 | S | | | 月3回 | | |
| 22 | 湛水防除施設整備事業費 | 5-⑤ | 4,791 | | 4,779 | | 湛水防除施設の機械・電気設備の補修・更新機場数 | | | 11,917 | | 湛水防除施設の機械・電気設備の補修・更新機場数 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 2機場 | 2機場 | S | | | 9機場 | | |
| 23 | 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金 | 5-⑤ | 44,210 | | 53,510 | | 事業実施箇所 | | | 79,600 | | 事業実施箇所 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 3地区 | 3地区 | S | | | 5地区 | | |
| 24 | 県営基幹水利施設ストックマネジメント計画事業費 | 5-⑤ | 41,200 | | 13,398 | | 県との協議 | | | 14,060 | | 県との協議 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 4回 | 4回 | S | | | 4回 | | |
| 25 | 農地等災害復旧事業費 | 3-① | 1,500 | | 3,100 | | 受益者との調整 | | | 1,500 | | 受益者との調整 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 30日以内 | 30日以内 | S | | | 30日以内 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|-----------|----------|----------|
| 組織名 | 文化課 | 作成者（評価者） | 課長 松葉 和也 |
| 関係する『総合計画』施策 | 4-④ 文化の振興 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>文化課は文化芸術の振興と文化財の保存活用に関する業務を行っています。文化芸術の振興は、地域や文化団体等と協働して推進するとともに、文化ホールなどを拠点に鑑賞や参加機会の充実を図っています。また、文化財の保存活用は、法令による保護措置を行うとともに、博物館施設などを拠点に保存や活用を通じて市民の文化に対する愛着や誇りを醸成する取組を進めています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市美術展覧会においては、出展者や入場者へのコロナ対策の徹底、密のおそれのある公開審査や合評会、表彰式を一部縮小し、安全かつ出品数等も大きな落ち込みもなく、無事開催することができました。 ・コロナ禍においても、芸術文化活動奨励金・勲功賞交付事業により活動を支援し、人材育成につなげることができました。 ・文化情報を適切に発信することで文化や文化財への関心を高めることができました。 ・コロナ感染拡大の影響を受けづらい、殿町武家屋敷生垣等保存整備事業や文化財保存整備事業に対する補助金や、市内遺跡緊急発掘調査事業等に関しては、確実に指標を達成することができました。 ・郷土資料室においては市民参加の勉強会を着実に実施することで、郷土に関する歴史学習の場の提供を行い市民の学ぶ意欲に応えることができました。 ・老朽化した中郷文化財保管庫を着実に除却することができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍において、感染リスクのあるイベント等については規模を縮小したり、取りやめたりしたことから、文化芸術に触れる機会が減少し、また、施設への入館者数も目標数を大きく下回りました。 ・コロナの影響により、各文化財施設では入館者数等が軒並み減少しました。また、参加体験型の事業も大きく人数を減らしたものの、感染防止対策を行いつつ、少人数でも事業を継続することができました。今後も、感染の状況に応じた手法を取り入れ、文化財の保存や活用につながる活動を維持していきます。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・文化財センター施設整備事業費における収蔵庫建設を、スケジュール通り着実かつ円滑に進めていきます。 ・文化ホールの改修や松坂城跡の保存整備を進め、安全安心の向上に努めます。 ・文化施設での感染対策の徹底、リモートや動画等を活用した情報の発信などによりコロナ禍においても安心して文化に触れることのできる機会を提供します。 | | | |

【文化課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|--------------------|------|----------|----------|------------------------|---------|----|----------|------------------------|----|----|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | | |
| 1 | 本居宣長記念館補助金 | 4-④ | 36,450 | 41,608 | 本居宣長記念の1日当たりの入館者数 | | | 35,437 | 本居宣長記念の1日当たりの入館者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 70.0人 | 49.0人 | B | | 70.0人 | | | | | |
| 2 | 市美術展覧会開催事業費 | 4-④ | 3,303 | 2,372 | 市美術展覧会への出品者数 | | | 3,340 | 市美術展覧会への出品者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 300人 | 265人 | B | | 300人 | | | | | |
| 3 | 芸術文化活動奨励金・勲功賞交付事業費 | 4-④ | 705 | 705 | 芸術文化活動奨励金の交付件数 | | | 705 | 芸術文化活動奨励金の交付件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 9件 | 9件 | S | | 9件 | | | | | |
| 4 | 埴輪制作事業費 | 4-④ | 404 | 180 | 出前教室の開催回数 | | | 448 | 出前教室の開催回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 10回 | 未実施 | - | | 10回 | | | | | |
| 5 | 音楽文化活動事業費 | 4-④ | 1,813 | 392 | フェスティバルへの出場者数 | | | 1,813 | フェスティバルへの出場者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,350人 | 一部未実施 | - | | 1,350人 | | | | | |
| 6 | 文化芸術団体共催事業費 | 4-④ | 342 | 135 | 催物の満足度 | | | 385 | 催物の満足度 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 90.0% | 94.8% | S | | 90.0% | | | | | |
| 7 | 小津安二郎顕彰事業費 | 4-④ | 5,356 | 6,437 | 小津安二郎企画展の1日当たりの入場者数 | | | 7,658 | 松坂城跡入込客数に対する入館者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 80.0人 | 56.9人 | B | | 12.9% | | | | | |
| 8 | 文化振興一般経費 | 4-④ | 4,724 | 4,299 | 松阪市HP「文化情報」ページへのアクセス件数 | | | 4,761 | 松阪市HP「文化情報」ページへのアクセス件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 60,000件 | 74,538件 | S | | 60,000件 | | | | | |
| 9 | 文化財保存管理活用事業費 | 4-④ | 18,266 | 17,537 | 御城番屋敷の1日当たりの入館者数 | | | 18,332 | 御城番屋敷の1日当たりの入館者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 118人 | 59人 | C | | 118人 | | | | | |
| 10 | 殿町武家屋敷生垣等保存整備事業補助金 | 4-④ | 1,080 | 1,080 | 補助対象となる生垣の総延長の維持 | | | 1,080 | 補助対象となる生垣の総延長の維持 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 310m以上 | 341.6m | S | | 310m以上 | | | | | |
| 11 | 無形民俗文化財保存活用補助金 | 4-④ | 1,218 | 1,010 | 市指定民俗文化財の活動件数の維持 | | | 1,218 | 市指定民俗文化財の活動件数の維持 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 18件 | 14件 | B | | 18件 | | | | | |
| 12 | 埋蔵文化財発掘調査事業費 | 4-④ | 6,724 | 6,724 | 埋蔵文化財発掘調査の年間受託件数 | | | 5,979 | 埋蔵文化財発掘調査の年間受託件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1件 | 0件 | - | | 1件 | | | | | |
| 13 | 市内遺跡緊急発掘調査事業費 | 4-④ | 3,134 | 5,034 | 市内遺跡緊急発掘調査の年間調査実施件数 | | | 3,134 | 市内遺跡緊急発掘調査の年間調査実施件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 15件 | 15件 | S | | 15件 | | | | | |
| 14 | 埋蔵文化財活用事業費 | 4-④ | 746 | 433 | 活用普及の啓発活動への参加者数 | | | 745 | 活用普及の啓発活動への参加者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,800人 | 一部未実施 | - | | 1,800人 | | | | | |
| 15 | 郷土資料室資料保存管理事業費 | 4-④ | 3,331 | 3,331 | 古文書解読勉強会の開催日数 | | | 3,539 | 古文書解読勉強会の開催日数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 6回 | 8回 | S | | 6回 | | | | | |

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------------|------|----------|----------|----------------------|----------|----|----------|----------------------|----|----|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | | |
| 16 | 文化財保存整備事業補助金 | 4-④ | 354 | 354 | 指定文化財件数の維持 | | | 199 | 指定文化財件数の維持 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 271件 | 279件 | S | | 279件 | | | | | |
| 17 | 指定文化財保存修理事業費 | 4-④ | 3,586 | 3,413 | 保存修理の必要性(アンケート) | | | 3,586 | 保存修理の必要性(アンケート) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 必要90%以上 | 未実施 | — | | 必要90%以上 | | | | | |
| 18 | 旧長谷川治郎兵衛家保存整備事業費 | 4-④ | 1,481 | 1,451 | 旧長谷川治郎兵衛家の1日当たりの入館者数 | | | 22,601 | 旧長谷川治郎兵衛家の1日当たりの入館者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 55人 | 36人 | C | | 55人 | | | | | |
| 19 | 松坂城跡保存整備事業費 | 4-④ | 59,367 | 62,251 | 松坂城跡入込客数 | | | 71,324 | 松坂城跡入込客数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 165,000人 | 117,523人 | B | | 165,000人 | | | | | |
| 20 | 中郷文化財保管庫解体事業費 | 4-④ | 20,840 | 10,000 | 年度内除却 | | | 終了 | 年度内除却 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | | | | | | |
| 21 | 松阪市民文化会館管理運営事業費 | 4-④ | 57,991 | 42,561 | 会館利用率 | | | 57,673 | 会館利用率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 77.0% | ワクチン接種会場 | — | | 77.0% | | | | | |
| 22 | 松阪市民文化会館施設整備事業費 | 4-④ | 13,000 | 9,886 | 会館利用率 | | | 17,979 | 会館利用率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 77.0% | ワクチン接種会場 | — | | 77.0% | | | | | |
| 23 | 松阪コミュニティ文化センター管理運営事業費 | 4-④ | 24,705 | 21,440 | 会館利用率 | | | 40,851 | 会館利用率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 90.0% | 55.3% | C | | 90.0% | | | | | |
| 24 | 松阪コミュニティ文化センター施設整備事業費 | 4-④ | 260,530 | 260,530 | 会館利用率 | | | 終了 | 会館利用率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 90.0% | 55.3% | C | | | | | | | |
| 25 | 嬉野ふるさと会館管理運営事業費 | 4-④ | 35,719 | 36,997 | 会館利用率 | | | 36,457 | 会館利用率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 85.0% | 83.6% | A | | 85.0% | | | | | |
| 26 | 嬉野ふるさと会館施設整備事業費 | 4-④ | 25,673 | 13,682 | 会館利用率 | | | 81,813 | 会館利用率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 85.0% | 83.6% | A | | 85.0% | | | | | |
| 27 | 文化センター自主事業費 | 4-④ | 12,034 | 4,223 | 催物の満足度 | | | 14,028 | 催物の満足度 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 90.0% | 86.7% | A | | 90.0% | | | | | |
| 28 | 文化財センター管理運営事業費 | 4-④ | 50,088 | 49,390 | 文化財センターの年間来館者数 | | | 54,274 | 文化財センターの1日当たりの来館者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 55,000人 | 24,385人 | D | | 175人 | | | | | |
| 29 | 文化財センター特別企画展等事業費 | 4-④ | 4,416 | 4,211 | はにわ館の年間入館者数 | | | 4,000 | はにわ館の1日当たりの来館者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 7,000人 | 4,818人 | C | | 45人 | | | | | |
| 30 | 文化財センター施設整備事業費 | 4-④ | 347,357 | 320,607 | 文化財センターの年間来館者数 | | | 264,728 | 文化財センターの1日当たりの来館者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 55,000人 | 24,385人 | D | | 175人 | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------------|------|----------|----------|---------------------|----------|----|----------|---------------------------|----|----|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | | |
| 31 | 歴史民俗資料館管理運営事業費 | 4-④ | 13,514 | 13,038 | 松坂城跡入込客数に対する入館者数 | | | 13,667 | 松坂城跡入込客数に対する入館者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 13.4% | 12.1% | A | | 12.9% | | | | | |
| 32 | 松浦武四郎記念館管理運営事業費 | 4-④ | 14,057 | 14,057 | 来館者満足度(アンケート) | | | 16,869 | 記念館の1日当たりの入館者数(武四郎まつりを除く) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 満足90%以上 | 満足92% | A | | 26人 | | | | | |
| 33 | 松浦武四郎記念館特別企画展等事業費 | 4-④ | 901 | 1,159 | 来館者満足度(アンケート) | | | 3,328 | 記念館の1日当たりの入館者数(武四郎まつりを除く) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 満足90%以上 | 満足92% | A | | 26人 | | | | | |
| 34 | 松浦武四郎記念館民俗資料収集保管事業費 | 4-④ | 541 | 541 | 文化財害虫捕獲頭数(年3回調査) | | | 541 | 害虫調査の年間実施回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 年間20頭以下 | 工事で調査できず | — | | 2回 | | | | | |
| 35 | 松浦武四郎記念館施設整備事業費 | 4-④ | 210,191 | 196,194 | 来館者満足度(アンケート) | | | 終了 | | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 満足90%以上 | 満足92% | A | | | | | | | |
| 36 | 松浦武四郎誕生地管理運営事業費 | 4-④ | 3,635 | 2,900 | 来館者満足度(アンケート) | | | 3,635 | 誕生地の1日当たりの入館者数(武四郎まつりを除く) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 満足90%以上 | 満足94% | A | | 13人 | | | | | |
| 37 | 松浦武四郎記念館交流事業費 | 4-④ | 3,079 | 2,649 | 北海道でのイベントの参加者数(3日間) | | | 2,165 | 記念館の1日当たりの入館者数(武四郎まつりを除く) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 5,000人以上 | 3,720人 | B | | 26人 | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 建設総務課 | 作成者（評価者） | 課長 左路 有 |
|--|-----------------|----------|---------|
| 関係する『総合計画』施策 | 5-⑤ 浸水対策の充実 | | |
| | 6-④ 都市空間・住環境の整備 | | |
| | 6-⑤ 道路等の整備 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| 建設総務課は、道路や河川、公園、港湾等の整備に関する「国県等との連絡調整・要望」等他機関との連絡調整を行っています。また建設部各課の経理、庶務を行っています。 | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、各種会合の中止や、国・県等への要望活動も制限されましたが、三重県社会基盤整備協会に関係する会合の参加や、要望活動も実施することができました。 ・橋りょう、道路、河川の整備工事等においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けることなく、おおよそ計画どおりの進捗が図れました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海岸環境改善活動におけるSNSの情報発信数において、当初、発信を予定していた「川と海のクリーン大作戦」が新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となったため、発信回数が減ってしまいました。今後は県が実施する清掃事業など「川と海のクリーン大作戦」以外の活動についても、情報発信していきます。 ・県施行松阪港改修事業負担金については、国の補助金額が県の要望額を下回ったことから岸壁改修延長が目標値に達しませんでした。が、国の1次補正予算を活用することにより岸壁改修延長は伸びる見込みです。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・松阪市内における道路・河川・港湾等の整備に関する国、県等への要望活動について、コロナ禍であってもできる方法も準備し、インフラ整備の促進に向け、確実に国・県等へ要望をしていきます。 ・建設部各課の予算執行において、適切な事務処理を行います。 | | | |

【建設総務課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|------------------|------|----------|----------|-----------------------|----------|------|--------|-----------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 三重県社会基盤整備協会負担金 | 6-⑤ | 2,703 | 2,703 | 協会に係る会合への参加 | | | 2,000 | 協会に係る会合への参加 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 5回 | 5回 | S | | 5回 | | |
| 2 | 道路橋りょう一般経費 | 6-⑤ | 9,672 | 9,422 | 消耗品費の削減率(前年比) | | | 7,545 | 消耗品費の削減率(前年比) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1.0% | 8.9% | S | | 1.0% | | |
| 3 | 河川一般経費 | 5-⑤ | 500 | 494 | 河川に関する要望回数 | | | 536 | 河川に関する要望回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2回 | 3回 | S | | 2回 | | |
| 4 | 県施行急傾斜地崩壊対策事業負担金 | 5-⑤ | 10,000 | 6,960 | 工事施工延長(他事業区間を含む) | | | 6,500 | 工事施工延長(他事業区間を含む) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 140m | 172m | S | | 100m | | |
| 5 | 県施行海岸環境整備事業負担金 | 6-⑤ | 555 | 282 | 海岸環境改善活動におけるSNSの情報発信数 | | | 555 | 海岸環境改善活動におけるSNSの情報発信数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 5回 | 3回 | C | | 5回 | | |
| 6 | 県施行松阪港改修事業負担金 | 6-⑤ | 52,979 | 47,979 | 岸壁の延長 | | | 40,466 | 岸壁の延長 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 72m | 48m | C | | 23m | | |
| 7 | 港湾管理一般経費 | 6-⑤ | 174 | 93 | 港湾に関する要望回数 | | | 244 | 港湾に関する要望回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2回 | 3回 | S | | 2回 | | |
| 8 | 公園一般経費 | 6-④ | 454 | 454 | 緑化に関する活動 | | | 454 | 緑化に関する活動 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 年2回 | 年2回 | S | | 年2回 | | |
| 9 | 県施行街路事業負担金 | 6-⑤ | 500 | 667 | 年間の事業進捗率 | | | 0 | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0.1% | 0.1% | S | | - | | |

各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 土木課 | 作成者（評価者） | 課長 野邊 敏彦 |
|---|-----------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 5-⑤ 浸水対策の充実 | | |
| | 6-④ 都市空間・住環境の整備 | | |
| | 6-⑤ 道路等の整備 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>快適な住環境を推進し安全・安心な生活のための道路・橋梁の整備、浸水被害の軽減を図るため治水及び雨水対策等の河川・排水路の整備、良好な公園環境の提供に向けた公園の整備と総合運動公園の円滑な運営を行います。</p> <p>また、これらの施設整備に係る公共事業用地を早期に取得し公共事業の推進に努めます。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合雨水対策10か年戦略事業などの浸水対策や、道路・橋りょうや公園の整備については、概ね目標を達成することができ、市民が安心して暮らせる環境づくりに取組むことができました。 ・橋りょう長寿命化修繕事業費では、26橋の修繕工事を実施し、橋梁の耐用年数の引き延ばしとライフサイクルコストの抑制に取り組みました。 ・総合雨水対策10か年戦略事業費では、松阪地区浸水対策検討会で策定した対策実施計画書に基づき、名古屋川流域と百々川流域の2箇所の事業を実施し、地域の浸水対策に取り組みました。 ・総合運動公園スケートパークは3年目を迎え、東京オリンピック2020のカナダスケートボード代表チーム事前キャンプ地として受け入れし、カナダスケートボード連盟からすばらしい評価と感謝のメッセージを頂きました。さらに、2月には第1回スケートボード日本オープン(ストリート)の開催地(4月1日～3日)として選ばれたことは、当スケートパークが世間に広く知られることとなり、スケートボードの魅力を発信でき、来場者の増加に繋がる取組みとなりました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合運動公園建設事業（補助）では、令和3年度明許繰越費（348,931千円）の予算措置が多額となり、園路およびキャンプ場の整備が遅れました。そのため、令和4年度上半期において、予算執行が概ねできるよう計画的かつ効率的に取り組めます。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【重点取組と目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合雨水対策10か年戦略事業や浸水対策事業等では、対策実施計画書に基づき、床上浸水被害が0に近づくよう浸水対策の充実を図ります。 ・橋りょう長寿命化修繕事業や根本御麻生園線、東出線など地域における代替輸送路及び避難路として整備し、防災性の向上を図る取組みを行います。 ・総合運動公園建設事業費（補助）では、令和4年度の完成に向け事業を進め、二ズの高まる健康増進や憩いの場を創出し、感染症対策を含めたユニバーサルデザインの公園づくりを目指します。 | | | |

【土木課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------|------|----------|----------|---------------------|----------|------|---------|---------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 道路整備単独事業費 | 6-⑤ | 157,500 | 180,092 | 事業完了予定路線数 | | | 89,740 | 事業完了予定路線数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 6路線 | 6路線 | S | | 3路線 | | |
| 2 | 星合舞出線道路改良事業費 | 6-⑤ | 30,000 | 20,550 | 期末の事業進捗率 | | | 20,000 | 期末の事業進捗率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 76.0% | 76.0% | S | | 83.0% | | |
| 3 | 地方創生道整備事業費 | 6-⑤ | 40,000 | 50,000 | 期末の事業進捗率 | | | 35,000 | 期末の事業進捗率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 45.0% | 55.0% | S | | 72.0% | | |
| 4 | 根木御麻生園線道路改良事業費 | 6-⑤ | 50,000 | 48,530 | 期末の整備率 | | | 90,000 | 期末の整備率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 23.0% | 23.0% | S | | 66.0% | | |
| 5 | 東出線道路改良事業費 | 6-⑤ | 34,500 | 57,431 | 期末の整備率 | | | 22,000 | 期末の整備率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 35.0% | 60.0% | S | | 57.0% | | |
| 6 | 橋りょう長寿命化事業費 | 6-⑤ | 185,000 | 225,788 | 橋りょうの直営点検数 | | | 319,000 | 橋りょうの直営点検数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 320橋 | 315橋 | A | | 320橋 | | |
| 7 | 河川改良単独事業費 | 5-⑤ | 85,600 | 85,000 | 年間の整備延長 | | | 51,500 | 年間の整備延長 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 130m | 203m | S | | 20m | | |
| 8 | 準用河川九手川改修事業費 | 5-⑤ | 51,000 | 90,000 | 年間の整備延長 | | | 126,000 | 年間の整備延長 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 70m | 60m | B | | 35m | | |
| 9 | 浸水対策事業費 | 5-⑤ | 118,600 | 110,037 | 河川及び排水路の整備延長 | | | 78,000 | 雨水ポンプ場整備箇所数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 210m | 200m | A | | 1箇所 | | |
| 10 | 総合雨水対策10か年戦略事業費 | 5-⑤ | 55,000 | 55,000 | 事業着手箇所数 | | | 160,300 | 事業着手箇所数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2箇所 | 2箇所 | S | | 2箇所 | | |
| 11 | 都市公園維持管理事業費 | 6-④ | 218,486 | 218,486 | 定期点検における修繕が必要な遊具の割合 | | | 238,457 | 定期点検における修繕が必要な遊具の割合 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 21.0% | 19.0% | S | | 18.0% | | |
| 12 | 都市公園整備事業費 | 6-④ | 14,600 | 65,111 | 四阿建て替え | | | 41,000 | 四阿建て替え | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1棟 | 14基 | S | | 1棟 | | |
| 13 | 公園施設長寿命化対策支援事業費 | 6-④ | 0 | 0 | - | | | 9,000 | 長寿命化計画作成 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 1業務 | | |
| 14 | 総合運動公園建設事業費(単独) | 6-④ | 38,070 | 38,070 | 期末の整備率 | | | 24,000 | 期末の整備率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 98.0% | A | | 100.0% | | |
| 15 | 総合運動公園建設事業費(補助) | 6-④ | 486,000 | 394,000 | 期末の整備率 | | | 0 | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 98.0% | A | | - | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------|------|----------|----------|-------------------|----------|------|-------|-------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 16 | 道路橋りょう災害復旧事業費 | 6-⑤ | 2,000 | 297 | 被災した施設の復旧率(国災は除く) | | | 2,000 | 被災した施設の復旧率(国災は除く) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 17 | 河川災害復旧事業費 | 5-⑤ | 2,000 | 0 | 被災した施設の復旧率(国災は除く) | | | 2,000 | 被災した施設の復旧率(国災は除く) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | — | — | | 100.0% | | |
| 18 | 公園施設災害復旧事業費 | 6-④ | 16,860 | 15,156 | 被災した施設の復旧率(国災は除く) | | | 2,000 | 被災した施設の復旧率(国災は除く) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 建設保全課 | 作成者（評価者） | 課長 鈴木 英之 |
|---|--------------------|----------|-------------|
| 関係する『総合計画』施策 | 5-① 交通安全対策の充実 | | 5-⑤ 浸水対策の充実 |
| | | | 6-⑤ 道路等の整備 |
| | 組織の概要（主な業務） | | |
| <p>建設保全課は、生活道路や小河川、排水路などの管理や市所管の道路、水路などの公有財産の境界確認を行います。施設の老朽化などの課題がありますが、側溝修繕や道路舗装修繕などを行うことにより安全で快適な生活空間の維持、地域住民からいただく多種多様な要望に対する十分な調整や協議、地域間バランス、優先順位を考慮した事業実施及び、交通安全対策事業として事故が起きた箇所など、危険箇所に対し交通弱者に配慮した交通環境の迅速な整備に努めます。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路・河川維持修繕事業では、地元要望690件について、関係する各自治会等と調整のうえ約66%を実施し、生活環境の充実を図ることができました。 ・最終処分場関連維持修繕事業では、工事実施にあたり地域と修繕箇所の確認を行い、目標30箇所予定の舗装修繕を35箇所で完結することができました。 ・中川駅東西連絡地下道管理事業では、定期点検等により不具合なくエレベーターの運転を行い、連絡地下道の安全で快適な利用を維持することができました。 ・道路清掃等事業などの歩道・地下道の定期的な清掃業務や、街路樹・道路照明灯・排水ポンプ施設・調整池・水防倉庫の維持管理については、概ね目標を達成することができ、安全で快適な生活空間の維持に取り組むことができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・道路事故対策白線等整備事業では、庁管内23路線、北部建設保全事務所管内6路線、西部建設保全事務所管内3路線、合計32路線9.4kmの外側線の引き直しなど、交通事故対策を実施しましたが、施工単価が増額傾向にあることが原因となり目標延長に及びませんでした。 ・道路台帳整備事業では、市道新認定や廃止など87路線7.4kmの台帳補正を行い、個々の延長が短かく目標延長に及びませんが、路線補正が実施できました。 ・交通安全対策施設整備事業では、道路反射鏡54基・防護柵設置19箇所735mなど合わせて、86箇所を実施しました。目標100箇所に及びませんが、引き続き目安とし、地域要望等を参考に必要箇所を精査して実施していきます。 ・水防一般経費では、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から東京での水防研修会は不参加とし水防訓練も中止しました。コロナ禍での訓練方法について検討していきます。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>市民生活に身近な、6527路線、延長約1944kmにもおよぶ認定市道のほか、小河川や排水路など施設を常時良好な状態に保ち、安心・安全な市民生活の確保に努めます。また、地域住民の要望に対する十分な調整や協議及び地域間バランス、優先順位を考慮した速やかな事業実施を行います。</p> <p>災害発生時に重要な物流経路となる緊急輸送道路の老朽化した舗装の修繕工事を実施し災害発生時に機能する輸送ルートの確保を図ります。</p> <p>また、通学路合同点検で抽出された対策必要箇所への交通安全対策および、通学路や幹線道路につながる生活道路などで路面表示が消えかけている路線を中心に「消えている」「消えかけている」路面標示等の引き直しを行い、安全性向上の拡充を図ります。</p> | | | |

【建設保全課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-------------------|------|----------|---------|--|----------|------|---------|--|----|------|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 活動指標 | | | |
| 1 | 用地対策事業費 | 5-⑤ | 11,684 | 11,684 | 未登記財産の処理 | | | 14,022 | 未登記財産の処理 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 2件 | 2件 | S | | 2件 | | | | | |
| 2 | 道路維持修繕事業費 | 6-⑤ | 413,323 | 413,323 | 要望に対する実施達成率 | | | 412,915 | 要望に対する実施達成率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 65.0% | 66.0% | S | | 65.0% | | | | | |
| 3 | 雪寒対策道路維持事業費 | 6-⑤ | 2,875 | 2,875 | 雪寒時の道路維持管理を図るため積雪回数を上回る凍結防止対策回数 | | | 2,875 | 雪寒時の道路維持管理を図るため積雪回数を上回る凍結防止対策回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1回 | 0回 | - | | 1回 | | | | | |
| 4 | 道路台帳整備事業費 | 6-⑤ | 18,000 | 14,806 | 台帳を補正した路線の延長 | | | 18,000 | 台帳を補正した路線の延長 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 10km | 7.4km | B | | 10km | | | | | |
| 5 | 街路樹剪定等事業費 | 6-⑤ | 16,106 | 16,106 | 大きくなり過ぎた周辺へ悪影響を及ぼしている樹木の剪定本数 | | | 18,600 | 大きくなり過ぎた周辺へ悪影響を及ぼしている樹木の剪定本数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 620本 | 663本 | S | | 620本 | | | | | |
| 6 | 交通安全対策施設整備事業費 | 5-① | 27,896 | 27,896 | 安全な道路環境の整備を図る交通安全対策実施箇所数 | | | 25,760 | 安全な道路環境の整備を図る交通安全対策実施箇所数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100箇所 | 86箇所 | B | | 100箇所 | | | | | |
| 7 | 道路施設点検事業費 | 6-⑤ | 6,000 | 4,765 | 道路附属施設点検箇所数 | | | 9,000 | 道路附属施設点検箇所数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 39箇所 | 39箇所 | S | | 41基 | | | | | |
| 8 | 最終処分場関連維持修繕事業費 | 6-⑤ | 21,000 | 21,000 | 舗装修繕の箇所数 | | | 0 | - | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 30箇所 | 35箇所 | S | | - | | | | | |
| 9 | 交通事故防止安全対策事業費 | 5-① | 10,000 | 10,000 | 交通量の多い幹線市道・小中学校周辺の通学路を対象とした路線の対策実施延長 | | | 60,000 | 交通量の多い幹線市道・小中学校周辺の通学路を対象とした路線の対策実施路線数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 17km | 9.4km | C | | 50路線 | | | | | |
| 10 | 中川駅前・連絡道管理事業費 | 6-⑤ | 13,382 | 12,305 | エスカレーターの良好な稼働率(維持管理不備を原因とする停止日数を除いた日数) | | | 13,445 | エスカレーターの良好な稼働率(維持管理不備を原因とする停止日数を除いた日数) | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 11 | クリーンセンター関連維持修繕事業費 | 6-⑤ | 4,549 | 2,967 | 側溝整備の延長・舗装修繕の延長 | | | 7,500 | 側溝整備の延長・舗装修繕の延長 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100m | 122m | S | | 100m | | | | | |
| 12 | 緊急輸送道路等舗装維持修繕事業費 | 6-⑤ | 0 | 0 | - | | | 71,000 | 緊急輸送道路等舗装維持修繕の延長 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 2km | | | | | |
| 13 | 道路維持一般経費 | 6-⑤ | 33,271 | 32,628 | 安定した道路維持専用車両の運行 | | | 34,112 | 安定した道路維持専用車両の運行 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 78,000km | 91,082km | S | | 78,000km | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-------------|------|----------|--------|---------------------------------|---------|------|--------|----------------------------------|----|------|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 活動指標 | | | |
| 14 | 河川維持修繕事業費 | 5-⑤ | 59,494 | 59,494 | 要望に対する実施達成率 | | | 52,472 | 要望に対する実施達成率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 65.0% | 66.0% | S | | 65.0% | | | | | |
| 15 | 樋門・樋管等管理事業費 | 5-⑤ | 23,104 | 19,509 | 樋門管理者からの不具合に関する報告や修繕要望を受けた際の対応率 | | | 23,210 | 樋門管理者等からの不具合に関する報告や修繕要望を受けた際の対応率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 16 | 調整池管理事業費 | 5-⑤ | 10,425 | 10,239 | 調整池に関する不具合に関する要望等を受けた際の対応率 | | | 10,583 | 調整池に関する不具合に関する要望等を受けた際の対応率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 17 | 水防施設管理事業費 | 5-⑤ | 1,080 | 1,080 | 水防倉庫18箇所の土のう袋の備蓄枚数 | | | 2,067 | 水防倉庫18箇所の土のう袋の備蓄枚数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 27,000袋 | 27,000袋 | S | | 27,000袋 | | | | | |
| 18 | 水防一般経費 | 5-⑤ | 1,223 | 211 | 水防法に関する研修への参加及び訓練実施の回数 | | | 1,181 | 水防法に関する研修への参加及び訓練実施の回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1回 | 0回 | — | | 1回 | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|-----------------|----------|----------|
| 組織名 | 住宅課 | 作成者（評価者） | 課長 紀平 幸信 |
| 関係する『総合計画』施策 | 6-④ 都市空間・住環境の整備 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>住宅課は、昭和40年代以降を中心に市営住宅の整備を進め、現在では改良住宅等も含め管理戸数が1,661戸となっており、住宅に困窮する低所得者等に対して低廉な家賃で賃貸し、生活の安定と社会福祉の増進に寄与することを目的としています。</p> <p>基本業務として、市営住宅及び関連施設の管理、住宅の入退去事務、使用料の徴収、不正入居、悪質滞納者への対応などを行っています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅管理運営事業では、現年度家賃徴収率の目標とした98%以上を達成しました。また、市営住宅老朽化対策に伴う住替えについても目標8戸を上回り9戸の住替えを行いました。 ・市営住宅及び諸施設を維持し、住みよい住環境を提供するために、市営住宅維持修繕費では、ベランダ帯防水について40戸の目標に対して73戸の修繕を行いました。また、市営住宅修繕工事費では、目標どおりベランダ手摺塗装53戸、物置改修16戸、合わせて69戸をの修繕工事を実施しました。 ・公営住宅ストック改善事業費では、長寿命化計画に基づき、屋上防水3棟、外壁改修3棟、給水システム（受水槽）改修3棟の工事及び設計業務を目標どおり実施しました。 ・市営住宅解体事業費では、老朽化した市営住宅の解体を3件の予定を上回る5件を実施しました。 ・一般管理経費では、過年度滞納分の徴収率について、目標を2.5%としました。滞納全額一括返済などもあり目標を上回る3.7%を達成することができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あり方検討委員会の答申の中で、市営住宅入居者に浴槽の設置を検討することとされていたため、浴槽の設置について検討を行いました。老朽化が進む市営住宅において入居者の安心・安全を確保するため、外壁等の修繕を優先したことから新規入居者に一律入居前に浴槽を設置することができませんでした。今後も引き続き検討をしていきたいと思います。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>市営住宅を適正に管理運営していく上で必要となる、松阪市営住宅長寿命化計画の現計画が令和4年度までとなっているため、令和5年度から10年間における市営住宅の修繕等の計画を含めた長寿命化計画の作成を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大による離職に伴い住居を失う方への市営住宅一時使用についても今年度も引き続き対応していきます。またウクライナからの難民の方への住居の提供につきましても検討をしていきたいと思います。 | | | |

【住宅課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------|------|----------|----------|-----------------------------------|---------------|------|---------|-----------------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 市営住宅管理運営事業費 | 6-④ | 47,993 | 46,128 | ①現年度家賃徴収率の向上 ②市営住宅老朽化対策としての住替え | | | 44,959 | ①現年度家賃徴収率の向上 ②市営住宅老朽化対策としての住替え | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①98.0% ②8戸 | ①98.6% ②9戸 | S | | ①98.0% ②8戸 | | |
| 2 | 市営住宅維持修繕費 | 6-④ | 101,250 | 101,250 | ベランダ帯防水 | | | 100,327 | ベランダ帯防水 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 40戸 | 73戸 | S | | 40戸 | | |
| 3 | 市営住宅修繕工事費 | 6-④ | 28,636 | 25,697 | 物置改修、ベランダ手摺塗装 | | | 44,995 | 物置改修、ベランダ手摺塗装 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 69戸 | 69戸 | S | | 99戸 | | |
| 4 | 市営住宅解体事業費 | 6-④ | 17,840 | 17,840 | 老朽化市営住宅の解体 | | | 28,369 | 老朽化市営住宅の解体 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 3棟 | 5棟 | S | | 3棟 | | |
| 5 | 公営住宅ストック改善事業費 | 6-④ | 88,021 | 77,134 | 屋上防水、外壁改修、給水システム(受水槽)改修 | | | 134,718 | 屋上防水、外壁改修、給水システム(受水槽)改修 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 9棟 | 9棟 | S | | 11棟 | | |
| 6 | 一般管理経費 | 6-④ | 1,128 | 103 | 滞納繰越分の徴収率 | | | 804 | 滞納繰越分の徴収率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2.5% | 3.7% | S | | 2.5% | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|--|-----------------|----------|----------|
| 組織名 | 都市計画課 | 作成者（評価者） | 課長 松本 尚久 |
| 関係する『総合計画』施策 | 6-④ 都市空間・住環境の整備 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>都市計画課は二つの係で構成しています。まちづくり計画係：「中心市街地のまちづくり」「都市計画の決定及び変更」「都市計画図」に関する事など、まちづくりに関する計画を推進します。景観係：景観法に基づく「景観計画の策定及び変更」、「建築、開発行為等の届出」、三重県屋外広告物条例に基づく「屋外広告物」の許可事務に関する事など、よりよい景観の形成を図っていきます。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物事業では、許可事務、措置命令・指導事務などを行い、屋外広告物適正化旬間中には、主要道路のパトロールを5回実施し、違反屋外広告物の簡易除却を行いました。 ・都市計画審議会事業では、都市計画審議会を開催し、「松阪都市計画地区計画の変更」について審議し、手続きを行いました。 ・都市景観推進事業では、景観審議会を開催し、「中万地区の重点地区の指定」や「松坂城跡周辺地区の景観形成基準の変更」について審議し、手続きを行いました。また、市内の良好な景観を後世に残すため、次世代を担う小中学生を対象に「まつさか景観絵画コンクール」を開催し、867人からの作品応募がありました。コンクール入賞作品については、広く市民の方々に観覧してもらうよう、市内5か所で展示し普及啓発に努めました。 ・中心市街地整備事業では、松阪駅西地区複合施設計画を進める中、令和2年度に実施した「松阪駅西地区複合施設実施方針」を踏まえ、公民連携による複合施設整備は可能であるとし、民間事業者の公募・契約締結に至るまでの業務支援として「松阪駅西地区複合施設事業者募集支援業務委託」を実施し、令和3年度、4年度にかけて募集要項の作成など事業を進めています。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地整備事業では、事業者の公募における募集要項の作成について、令和3年度中に1次募集を行う予定であったが、コロナ禍や国際情勢の変化など、企業の投資マインドが低下がみられ、年度内に実施することを控えました。令和4年度は、事業者に対しサウンディング調査などを実施し、企業動向等を確認しながら公募を行い、年度末の決定を目指して進めています。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・屋外広告物事業では、屋外広告物適正化旬間中（9月予定）には、市内をパトロールし、公衆に対する危害の防止、美観風致の維持に努めます。 ・都市景観推進事業では、社会の多様性やライフスタイルの変化などを踏まえ、令和5年度の景観計画改正に向け案の作成を行います。また、重点地区や候補地において、継続的に意見交換会や景観まちづくり通信の発行などを行い、地域の景観まちづくり活動を支援し、持続的な景観保全に努めます。 ・中心市街地整備事業では、昨年度に実施した「松阪駅西地区複合施設事業者募集支援業務委託」を継続的に進め、松阪駅西地区複合施設の整備に向け、民間事業者の公募・契約締結を目指します。 ・都市計画変更事業費では、激甚化・頻発化する災害に対する防災意識の高まりや急速な人口減少など、社会情勢の変化を踏まえた適切な土地利用を図るため、市街化区域の見直し等を検討していきます。 | | | |

【都市計画課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|------------|------|----------|----------|------------------------------|----------|------|--------|------------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 屋外広告物事業費 | 6-④ | 3,115 | 2,827 | 屋外広告物適正化旬間中のパトロール回数 | | | 3,130 | 屋外広告物適正化旬間中のパトロール回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 3回 | 5回 | S | | 3回 | | |
| 2 | 都市計画審議会事業費 | 6-④ | 379 | 51 | 審議会開催時の可決を経る。 | | | 382 | 審議会開催時の可決を経る。 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 1回 | | |
| 3 | 都市景観推進事業費 | 6-④ | 5,994 | 5,713 | まつさか景観絵画コンクール作品応募者数 | | | 5,994 | まつさか景観絵画コンクール作品応募者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 500人 | 867人 | S | | 500人 | | |
| 4 | 都市計画変更事業費 | 6-④ | 4,100 | 0 | 適正な納品率 | | | 4,900 | 適正な納品率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 0.0% | - | | 100.0% | | |
| 5 | 都市計画一般経費 | 6-④ | 4,934 | 4,354 | 都市計画全事業の目標達成率 | | | 5,056 | 都市計画全事業の目標達成率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 6 | 中心市街地整備事業費 | 6-④ | 7,539 | 6,490 | 「事業者の公募」などの検討に向けた事業者ヒアリング業者数 | | | 18,406 | 「事業者の公募」などの検討に向けた事業者ヒアリング業者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 5社 | 5社 | S | | 2社 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|--|---------------|----------|----------|
| 組織名 | 営繕課 | 作成者（評価者） | 課長 山本 直弘 |
| 関係する『総合計画』施策 | 7-① 行政サービスの充実 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>営繕課は、建築係・営繕係・設備係の3系の構成となっており、市の公共施設における営繕工事及びその関連業務を適正かつ着実に実施し、誰もが安全・安心に使用できる公共施設の構築や快適で機能の充実した施設とすることを旨として、設計及び工事を行っています。</p> <p>また、公共施設の健全な維持保全のため、施設管理部局等と連携して、定期点検の業務を実施しています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <p>令和2年度からの繰越工事「松名瀬津波避難タワー新築工事」及び「五主津波避難タワー新築工事」、「松阪市立嬉野中学校校舎大規模改造工事（第1期）」、「はにわ館空調設備等整備工事」など、『工事57件 約21億円、委託業務 17件 約5,200万円』の発注を行い、「塩浜排水区沖スポンプ場増設工事」や「農業屋コミュニティ文化センター特定天井等改修工事」などの繰越事業も含め、『工事67件 約35億円、委託業務21件 約9,300万円』について、一部でコロナ禍の影響で材料の納入が困難なため工期延長を行った事業もありましたが、概ね工期内に適正に完了することができました。</p> | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <p>達成できなかったこと・・・コロナ禍の影響により材料の納入が困難な状況が発生したため工期を延長しました。</p> <p>改善すべき点・・・特に無し。</p> | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>令和4年度においては、「松阪市文化財センター収蔵庫新築工事」などの繰越事業、工期延長を行った「はにわ館空調設備等整備工事」など、適正に工期内に完了できるよう工事監理を行います。また、「松阪市立嬉野中学校校舎大規模改造工事（第2期）」や「徳和小学校外壁・サッシ改修工事（第1期）」などの小中学校の改修工事では、学校環境に配慮した工事の進捗に努め、事故の無いよう安全対策に留意した工事監理に努めます。</p> | | | |

【営繕課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------|------|----------|----------|--------------|----------|------|-------|--------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 営繕管理事業費 | 7-① | 4,530 | 4,530 | 営繕業務を適正に実施する | | | 5,956 | 営繕業務を適正に実施する | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 建築開発課 | 作成者（評価者） | 課長 水越 敏 |
|--|-----------------|----------|---------|
| 関係する『総合計画』施策 | 6-④ 都市空間・住環境の整備 | | |
| | 6-⑤ 道路等の整備 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>建築開発課は建築基準法や都市計画法等に関する建築・開発行政を行っており、その事務のほとんどが許認可事務であることから厳格かつ円滑な審査、これらの事務に係る事前相談や指導等については適正かつ迅速な対応をめざしています。また、狭あい道路の解消や空家等の対策を促進し、まちの安全性や快適性の維持・向上をめざしています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 建築開発事業において、建築確認申請等の341件、開発行為許可申請等の294件を適正に審査し、円滑に処理することができました。また、建築・開発等の事前相談が1,194件あり、その内の1,116件（93.5%）について、迅速（処理日数7日以内）に処理することができました。 ・ 空家等対策事業において、地域住民や、空家の所有者・利用希望者から292件の相談があり、その内の241件（82.5%）について、空家の所有者への適正管理依頼による自主的な改善が行われたものや、空家の所有者・利用希望者への情報提供を行うことができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不良空家等除却促進補助金において、38件の事前判定申請があり、その内不良空家等に該当した23件について、除却費用の一部を補助することができましたが、申請辞退等があったため目標件数（24件）を達成できませんでした。引き続き、空き家の所有者に対して当補助金を周知し活用を図っていきます。 ・ 狭あい道路整備促進補助金において、所有者等から寄付を受けた33件の道路後退用地について、助成金と報償金により取得することができましたが、測量・分筆登記に時間を要し寄付手続きまで至らないものがあったため目標件数（36件）を達成できませんでした。引き続き、道路後退用地等の所有者に対して当補助金を周知し活用を図っていきます。 ・ 狭あい道路整備促進事業費において、目標拡幅整備件数を下回りましたが、予算額のほとんどを執行できました。引き続き、取得した道路後退用地等の拡幅整備を進めていきます。 （目標件数40件・実績31件） ・ 中心市街地空家等解消リセット推進事業費において、中心市街地内にある空家等が流通していないことから申請がありませんでした。（目標件数24件・実績0件）令和4年度からの新規事業である「まちなか空家流通促進補助金」と併せて、利活用等の制度を周知し支援制度等の活用を図っていきます。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 狭あい道路の問題を解消するため、補助金制度の周知を行い、道路後退用地の取得に繋げていきます。また、取得した道路後退用地等の拡幅整備を進めていきます。 ・ 中心市街地内にある空家の所有者に対して、「まちなか空家流通促進補助金」と併せて「中心市街地空家等解消リセット推進事業」の周知を行い、「まちなか空家利活用促進制度」への登録を促し、空家等の流通を促進させていきます。 | | | |

【建築開発課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------------|------|----------|----------|----------------------|----------|------|--------|----------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 建築開発事業費 | 6-④ | 11,458 | 10,148 | 事前相談等の処理率(迅速化件数/総件数) | | | 13,438 | 事前相談等の処理率(迅速化件数/総件数) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 93.0% | 93.5% | S | | 93.0% | | |
| 2 | 空家等対策事業費 | 6-④ | 5,287 | 3,532 | 相談処理率(処理件数/相談件数) | | | 8,287 | 相談処理率(処理件数/相談件数) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 80.0% | 82.5% | S | | 80.0% | | |
| 3 | 狭あい道路整備促進事業費 | 6-⑤ | 17,640 | 17,640 | 拡幅整備件数 | | | 21,140 | 拡幅整備件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 40件 | 31件 | B | | 36件 | | |
| 4 | 不良空家等除却促進補助金 | 6-④ | 6,000 | 6,000 | 補助件数 | | | 6,000 | 補助件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 24件 | 23件 | A | | 24件 | | |
| 5 | 狭あい道路整備促進補助金 | 6-⑤ | 11,880 | 11,880 | 補助件数 | | | 13,200 | 補助件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 36件 | 33件 | A | | 40件 | | |
| 6 | 中心市街地空家等解消リセット推進事業費 | 6-④ | 1,200 | 1,200 | 空家等削減数 | | | 5,400 | 空家等削減数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 24軒 | 0件 | E | | 25軒 | | |
| 7 | まちなか空家流通促進補助金 | 6-④ | 0 | 0 | - | | | 2,000 | 補助件数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 10件 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|--|------------|----------|----------|
| 組織名 | 消防団事務局 | 作成者（評価者） | 局長 松本 芳昭 |
| 関係する『総合計画』施策 | 5-④ 消防力の充実 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>消防団事務局は、消防団運営を円滑に進める部局として、消防団が活動しやすい環境づくりに努め、消防団活動のより一層の充実を図ることで、魅力ある消防団づくりにつなげます。</p> <p>消防団の災害対応能力の維持向上を図るため、資機材を充実させるとともに、知識・技能の習得に努め、広域消防等と連携を密にし、地域防災力の要として充実強化させます。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員数の減少に加え、消防団員一人ひとりの役割や負荷が増加している状況を踏まえ、消防団員の処遇改善として、年額報酬の引き上げ及び出勤報酬の見直しを行いました。 ・生活環境が変わり基本団員としての任用要件に適合しなくなっても、地域において消防団活動を継続してもらえるよう、任用要件を拡充し消防団活動へ参加しやすい環境整備を行いました。 ・市民の方に幅広く消防団活動についての理解を得るため、デジタルサイネージや民間企業の配達員などに協力を依頼し積極的な広報活動を実施しました。 ・住民自治協議会に参画する消防団員が防災士の資格を取得し、地域の防災リーダーとして活動できるよう環境整備を図りました。 ・車両更新については、小型動力ポンプ付軽積載車を更新配備し、消防力の強化を図りました。 ・消防団活動の効率化と消防力の強化を図るために、飯南方面団の4分団を2分団に統合し、地域の実情に応じた再編を行いました。 ・コロナ禍で消防団の実践的な訓練、研修会などの開催ができないため、災害対応能力の維持向上を目的に松阪市消防団限定のホームページに映像資料などを掲載し、いつでもどこでも消防団活動に必要な教養を身につけられるようにしました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍により、すべての災害対応訓練等の実施ができませんでした。消防団員の災害対応技術の向上やモチベーションの維持のため、新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行い、小規模であっても各種訓練を実施していく必要があります。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・消防団員の処遇改善、環境整備を行いました。引き続き、様々な媒体を活用し、市民の皆様に消防団活動への理解と関心を持っていただくよう、情報発信を積極的に行い消防団員の確保に取り組みます。 ・消防団の活性化を図るため、被雇用者が入団しやすく活動しやすい環境づくりのため、消防団協力事業所の認定を増やせるよう取り組みます。 ・消防力の強化のため、消防団車両の更新、消防用機械器具等装備の整備に取り組みます。また、昨年度に引き続き、消防団員の適正人員数や分団の統合についても検討を進めます。 ・災害現場での受傷事故防止、新型コロナウイルス感染防止など安全管理の徹底に取り組みます。 ・新型コロナウイルス感染防止対策を十分に行い、可能な限り各種訓練を実施します。 | | | |

【消防団事務局】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|--------------------|------|-----------|-----------|-------------------|-----------|-------------------|----|--------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 松阪地区広域消防組合分担金 | 5-④ | 2,022,476 | 1,963,510 | 救急出動における平均現場到着時間 | 2,099,121 | 救急出動における平均現場到着時間 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 8分以内 | | 8分47秒 | A | 8分以内 | | |
| 2 | 消防団員出動報酬 | 5-④ | 51,179 | 26,763 | 消防団員訓練等出動に伴う参加率 | 54,283 | 消防団員訓練等出動に伴う参加率 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | | 100.0% | S | 100.0% | | |
| 3 | 消防団員年額報酬 | 5-④ | 44,899 | 40,809 | 消防団員の条例定数充足率 | 49,450 | 消防団員の条例定数充足率 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | | 86.2% | B | 100.0% | | |
| 4 | 消防団員退職報償金等 | 5-④ | 38,403 | 28,706 | 消防団員退職報償金該当者の支払い | 36,241 | 消防団員退職報償金該当者の支払い | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | | 100.0% | S | 100.0% | | |
| 5 | 消防団員等福祉共済加入掛金 | 5-④ | 4,260 | 3,750 | 福祉共済加入率 | 3,900 | 福祉共済加入率 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | | 100.0% | S | 100.0% | | |
| 6 | 小型動力ポンプ付積載車等購入事業費 | 5-④ | 28,710 | 12,930 | 火災等の災害対応率 | 28,588 | 火災等の災害対応率 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | | 100.0% | S | 100.0% | | |
| 7 | 消防団防災資機材等整備事業費 | 5-④ | 5,415 | 5,415 | 消防団員貸与物品の貸与率 | 5,415 | 消防団員貸与物品の貸与率 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | | 100.0% | S | 100.0% | | |
| 8 | 消防団員公務災害補償費 | 5-④ | 2,121 | 2,121 | 公務災害補償費加入率 | 2,002 | 公務災害補償費加入率 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | | 100.0% | S | 100.0% | | |
| 9 | 消防団員健康診断事業費 | 5-④ | 549 | 437 | 自営業の消防団員定期健康診断受診率 | 548 | 自営業の消防団員定期健康診断受診率 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | | 72.5% | B | 100.0% | | |
| 10 | 非常備消防一般経費 | 5-④ | 19,406 | 16,820 | 研修会等の参加率 | 19,736 | 研修会等の参加率 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | | 100.0% | S | 100.0% | | |
| 11 | 水道事業会計繰出金 | 5-④ | 24,371 | 24,371 | 新規公設消火栓設置・維持管理率 | 12,475 | 新規公設消火栓設置・維持管理率 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | | 100.0% | S | 100.0% | | |
| 12 | 消防施設管理事業費 | 5-④ | 5,110 | 5,110 | 消火栓点検維持管理率 | 4,368 | 消火栓点検維持管理率 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | | 100.0% | S | 100.0% | | |
| 13 | 消防防災施設整備事業費 | 5-④ | 0 | 0 | — | 17,599 | 団車庫維持管理率 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | — | | — | — | 100.0% | | |
| 14 | 消防・防災訓練センター管理運営事業費 | 5-④ | 285 | 235 | 訓練センター施設使用満足度 | 285 | 訓練センター施設使用満足度 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | | 100.0% | S | 100.0% | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|------------------------|------|----------|----------|----------------------|----------|------|--------|----------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 15 | 消防救急デジタル無線(共通波)整備事業負担金 | 5-④ | 21,709 | 21,709 | 無線共通波整備にかかる通信エリアカバー率 | | | 21,709 | 無線共通波整備にかかる通信エリアカバー率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 95.0% | A | | 100.0% | | |

【消防団事務局】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------------|------|----------|----------|--------------|----------|------|---|--------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 「消防団協力事業所表示制度」の推進取組 | 5-④ | / | / | 消防団協力事業所の認定数 | | | / | 消防団協力事業所の認定数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 32事業所 | 28事業所 | B | | 33事業所 | | |
| 2 | 「消防団入団促進活動」の推進 | 5-④ | / | / | 消防団員数 | | | / | 消防団員数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1,293名 | 1,224名 | A | | 1,293名 | | |
| 3 | 「消防団分団再編」のあり方検討 | 5-④ | / | / | 消防団分団再編数 | | | / | 消防団分団再編数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1分団 | 2分団 | S | | 1分団 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|--|--------------------|-----------------|-----------------|
| 組織名 | 市民病院事務部 | 作成者（評価者） | 部長 石川 圭一 |
| 関係する『総合計画』施策 | 2-② 地域医療の推進 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>昭和21年9月に健康保険松阪市民病院として開設。平時は急性期病床269床（感染症病床2床）、緩和ケア病床20床、地域包括ケア病床39床の計328床の総合病院です。</p> <p>市内の基幹病院（松阪中央総合病院、済生会松阪総合病院）と連携・協力しながら松阪地域の二次救急医療（入院治療や手術を必要とする重症患者に対応する救急医療）の一翼を担うとともに、災害拠点病院、感染症指定医療機関、地域医療支援病院等として地域の皆さまに信頼される質の高い医療サービスの提供に努めています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症医療に、病院の職員が一丸となって取り組むなか、国や県から補助金を受けることができたことにより、13年連続の黒字経営となる見込みです。 感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症に係る医療提供体制の確保や治療において中心的な役割を果たしてきました。 手術支援ロボットの導入や新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた医療機器等の購入を行ったことで、医療の質の向上を図りました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染症指定医療機関である本院として、令和2年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大防止に向けて治療などの対応に全力で取り組む一方、令和2年2月13日に市長に提出された「第2次地域医療構想をふまえた松阪市民病院の在り方検討委員会」の提言に基づく取組を進めることはできませんでした。 国においては「感染症を踏まえた地域医療構想のあり方」について議論がなされ、また今後県において第8次医療計画を策定するにあたって、新興感染症等対応に向けた検討や病床機能の分化・連携の取り組みを進める方向性が出されたところであり、さらなる少子高齢化、人口減少に向けたこの地域にふさわしい医療提供体制の確保と市民病院のあり方について検討していきます。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症はいまだ収束の兆しが見えませんが、引き続き医療提供体制の確保や治療に取り組むとともに、ワクチン接種事業に積極的に協力していきます。 国においては「感染症を踏まえた地域医療構想のあり方」について議論がなされ、また今後県において第8次医療計画を策定するにあたって、新興感染症等対応に向けた検討や病床機能の分化・連携の取り組みを進める方向性が出されたところであり、さらなる少子高齢化、人口減少に向けたこの地域にふさわしい医療提供体制の確保と市民病院のあり方について検討していきます。 | | | |

【市民病院事務局】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | 令和4年度 | | | | |
|-----|-----------------|------|-----------|-----------|-----------|--------|-------|-----------|-----------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | |
| 1 | 松阪市民病院事業会計繰出金 | 2-② | 963,150 | 917,106 | 基準内繰出しの割合 | | | 1,479,496 | 基準内繰出しの割合 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100%以内 | 100.0% | S | | 100%以内 | | |
| 2 | IT推進事業 | 2-② | 156,501 | 156,501 | 基準内繰出しの割合 | | | 81,557 | 基準内繰出しの割合 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100%以内 | 100.0% | S | | 100%以内 | | |
| 3 | 医療機器更新事業 | 2-② | 147,410 | 872,549 | 予定案件執行率 | | | 753,714 | 予定案件執行率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 4 | 建設附帯施設整備事業 | 2-② | 162,969 | 162,969 | 予定案件執行率 | | | 604,492 | 予定案件執行率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 5 | その他市民病院事業会計全事業費 | 2-② | 6,302,176 | 6,302,176 | 医業収支比率 | | | 6,482,925 | 医業収支比率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 101.0% | 92.8% | A | | 101.0% | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|-------|----------|-------------|
| 組織名 | 会計管理課 | 作成者（評価者） | 会計管理者 高木 達彦 |
| 関係する『総合計画』施策 | - | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>会計管理課では、松阪市が実施する各種事業に伴う各部局の予算執行や収入調定等について会計書類が関係法令や条例及び規則等に照らして適正に事務処理がされているか審査を行っています。また、大切な財産である公金の運用については、安全かつ堅実に管理・運用しています。さらに適正な会計事務を行うため、会計事務に関する実務能力の向上、効率的な執行が行えるよう改善をはかっています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各課における会計事務に必要な知識や情報を10回にわたり周知することができました。 ・口座振込の伝送の仕組みが変更することに伴い、一部導入を図りました。 ・伝票の滞留チェックを行い関係部署への確認に努め、支払遅延の防止に努めました。 ・会計事務において各種事業の歳入歳出等が、条例等に照らして法令違反等起こさないよう適切な会計審査処理を行いました。 ・金融機関等の安全性を把握し、安全で堅実な資金運用を行うことができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会計事務の効率化に向けて、一歩進んだ対応（電子化）の検討は進めてきましたが、実現には至りませんでした。 ・掲示板や二役部長会での周知にとどまり、担当職員等への適切な研修の実施には至りませんでした。 ・会計管理課の大幅な事務改善には至りませんでした。 ・適正な予算執行は、適切な収入支出をもって完結いたします。職員の意識の醸成が求められます。 ・これまで洗い出された改善箇所について、継続して取り組みを進めていく必要があります。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・横断的な取り組みによる、職員調査の実施と研修を行います。 ・電帳法やインボイス制度への対応を見据えた検討をDXと連携を図りながら進めていきます。 ・引き続き、会計事務の簡素化に向けた「支払い通知書の廃止」「公共料金の口座引落し」に向けて取り組みます。 ・積極的な公金の運用の検討を行います。 | | | |

【会計管理課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------|------|----------|----------|-------------------|----------|------|-------|-------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 会計管理一般経費 | - | 6,990 | 6,990 | 資金の運用率(預託金額/総資金額) | | | 6,990 | 資金の運用率(預託金額/総資金額) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 90.0% | 79.0% | B | | 90.0% | | |

【会計管理課】事務・事業管理シート(ゼロ予算事業)

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|--------------|------|----------|----------|-----------|----------|------|---|-----------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 適正な財務会計事務の推進 | - | / | / | 全体掲示板での周知 | | | / | 全体掲示板での周知 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 7回 | 10回 | A | | 7回 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 上下水道総務課 | | 作成者（評価者） | 課長 前崎 高志 |
|---|----------------|--|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 5-⑤ 浸水対策の充実 | | | |
| | 6-① 自然と生活の環境保全 | | | |
| | 6-⑥ 上下水道の整備 | | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | | |
| <p>【組織の役割】</p> <p>上下水道部は、生活に欠かすことのできない安全な水道水を安定して市民に供給することや、快適な住環境の維持改善のため下水道（公共、農集、浄化槽）の整備、市街地の浸水対策など、市民生活のライフラインとして極めて重要な役割を担っており、上下水道総務課は総務全般に関する業務、上下水道部の予算会計に関する業務、水道料金・下水道使用料・下水道受益者負担金・農業集落排水処理施設使用料などの賦課、徴収に関する業務を行っています。</p> | | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道事業の本業の損益を示す営業収支比率は104.7%で目標を達成できました。 ・高須町公園多目的広場施設管理事業については、目標の年間利用者数300人に対し実績は487人で目標を達成できました。 | | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <p>水道事業の経常収支比率は、給水収益が減少したことなどにより目標の110%に0.7ポイント届かない109.3%でしたが、黒字経営は維持することができました。今後も一層の経営の効率化を図り、市民の皆様にご満足いただける事業運営を行なっていきます。</p> | | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・上水道事業の安定経営と高水準の料金収納率の確保に努めます。 ・公共浄化槽等整備推進事業及び農業集落排水事業の公営企業会計化に向けた作業を進めます。 | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|------------------------------------|-----------------|---------------|
| 組織名 | 上水道建設課・ 北部上下水道事務所 西部水道浄化槽事務所 | 作成者（評価者） | 上水道建設課長 小西 彦正 |
| 関係する『総合計画』施策 | 6-⑥ 上下水道の整備 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>【組織の役割】</p> <p>上下水道部は、生活に欠かすことのできない安全な水道水を安定して市民に供給することで、市民生活のライフラインとして極めて重要な役割を担っております。それに上水道建設課、北部上下水道事務所、西部水道浄化槽事務所は、水道管の新設や更新に係る工事や水道管の維持管理、また給水工事等に係る業務を行っています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <p>管路新設事業、老朽施設更新事業、老朽管更新事業、その他水道事業会計全事業費については、水道水の安定供給が出来ました。</p> | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <p>令和4年1月11日に発表された日本水道協会認証品塗料に関する不適切行為を受け、多くの水道管材料の出荷が自粛されたことに伴い、水道工事の年度内完成ができませんでした。</p> | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>「松阪市水道事業ビジョン」に基づき、基幹管路の耐震化（300m）、老朽管の更新（520m）を進めます。</p> | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|--|-------------|----------|----------|
| 組織名 | 水源管理課 | 作成者（評価者） | 課長 山中 幹也 |
| 関係する『総合計画』施策 | 6-⑥ 上下水道の整備 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>【組織の役割】</p> <p>上下水道部は、生活に欠かすことのできない安全な水道水を安定して市民に供給することや、快適な住環境の維持改善のため下水道（公共、農集、浄化槽）の整備、市街地の浸水対策など、市民生活のライフラインとして極めて重要な役割を担っており、水源管理課は自己水源の施設管理や水道水の水質管理、また県営水道との受水調整の業務を行っています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <p>取水ポンプ取替工事において、コロナ過により一部部品の遅れからポンプの納期が大幅に遅れ工期に影響が出ましたが、何度も施工業者を通じ部品メーカーと調整を行い、現場自体は年度内に完成する事ができ、大きなトラブルもなく、安全な水道水を安定して市民に供給できました。</p> | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <p>嬉野管内水道統合ポンプ場建設工事ついて用地買収を進めておりましたが、地元との調整に時間を要し計画通り進まなかったため、一部事業内容の見直しも検討に入れ、引き続き地元との協議を行っていきます。</p> | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>令和3年度に引き続き、残りの老朽化した2号・3号取水井戸ポンプの取替を行い、安全・安心な水道水を安定して市民に提供を行っていきます。</p> | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|-----------------------------|-----------------|---------------|
| 組織名 | 下水道建設課 北部上下水道事務所 | 作成者（評価者） | 下水道建設課長 宇田 寛之 |
| 関係する『総合計画』施策 | 5-⑤ 浸水対策の充実 | | |
| | 6-⑥ 上下水道の整備 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>【組織の役割】</p> <p>上下水道部は、生活に欠かすことのできない安全な水道水を安定して市民に供給することや、快適な住環境の維持改善のため下水道（公共、農集、浄化槽）の整備、市街地の浸水対策など、市民生活のライフラインとして極めて重要な役割を担っており、下水道建設課、北部上下水道事務所は公共下水道の計画策定から事業の実施、下水道の使用に伴う排水設備工事、農業集落排水施設維持管理、また雨水のポンプ場等の更新工事や維持管理などの業務を行っています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道事業における雨水対策（床上浸水ゼロ）工事については、愛宕川雨水管渠詳細設計に基づき雨水枝線管渠の整備を実施しました。 ・都市下水路管理運営事業、都市下水路施設整備事業、及び雨水施設ストックマネジメント事業については、大きなトラブルもなく、大雨や台風時に浸水被害を防ぎました。 ・汚水整備面積は目標とする48.2haを5.1ha上回る53.3haを整備しました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <p>関連公共下水道事業については、工事施工に当たり関係者との調整に不測の日数を要したことや新型コロナウイルス感染症の影響による工期延長等の理由により、年度内での完成ができなくなった繰越工事が発生したため、下水道普及率は目標とする62.5%に2.1ポイント低い60.4%となり、水洗化率は令和2年度と同じ79.5%に留まりました。</p> | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>愛宕川雨水管渠詳細設計に基づき、対策工事に取り組みます。また、下水道整備につきましては、下水道普及率63.2%、汚水整備面積66.0haを目標として整備を進め、下水道普及率の向上を図っていきます。</p> | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|----------------|-----------------|----------|
| 組織名 | 西部水道浄化槽事務所 | 作成者（評価者） | 所長 高橋 克弥 |
| 関係する『総合計画』施策 | 6-① 自然と生活の環境保全 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>【組織の役割】</p> <p>上下水道部は、生活に欠かすことのできない安全な水道水を安定して市民に供給することや、快適な住環境の維持改善のため下水道（公共、農集、浄化槽）の整備、市街地の浸水対策など、市民生活のライフラインとして極めて重要な役割を担っており、西部水道浄化槽事務所は飯南、飯高管内の水道事業、公共浄化槽事業を統括しています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は24基の公共浄化槽を設置し、公共用水域の水質の保全に寄与しました。 ・公共浄化槽等整備推進事業の公営企業会計化に向け、固定資産調査や関係所属との調整等、工程どおり作業を進めることができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <p>特になし</p> | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・公共浄化槽整備率64%を目標に、30基の公共浄化槽を設置し普及率の向上を図っていきます。 ・公共浄化槽等整備推進事業の公営企業会計化に向けた作業を進めます。 | | | |

【上下水道部】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------------------|------|-----------|-----------|--|------------------------------|------|-----------|--|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 浄化槽設置促進事業費 | 6-① | 207 | 184 | 汚水処理人口普及率 | | | 0 | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 90.4% | 91.7% | S | | - | | |
| 2 | 浄化槽設置整備事業補助金 | 6-① | 37,128 | 37,128 | 汚水処理人口普及率 | | | 37,335 | 汚水処理人口普及率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 90.4% | 91.7% | S | | 92.0% | | |
| 3 | 戸別合併処理浄化槽整備事業特別会計繰出金 | 6-① | 76,887 | 69,162 | 飯南・飯高管内の公共浄化槽整備率 | | | 79,720 | 飯南・飯高管内の公共浄化槽整備率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 63.0% | 63.0% | S | | 64.0% | | |
| 4 | 水道事業会計繰出金 | 6-⑥ | 89,820 | 89,846 | ①経常収支比率(経常収益/経常費用) ②営業収支比率(営業収益/営業費用) ※受託工事除く | | | 86,472 | ①経常収支比率(経常収益/経常費用) ②営業収支比率(営業収益/営業費用) ※受託工事除く | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①110.0% ②100.0% | ①109.3% ②104.7% | A | | ①110.0% ②100.0% | | |
| 5 | 農業集落排水事業特別会計繰出金 | 6-① | 74,161 | 75,323 | 農業集落排水処理施設使用料の収入率 | | | 73,952 | 農業集落排水処理施設使用料の収入率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 99.5% | 99.1% | A | | 100.0% | | |
| 6 | 都市下水道管理運営事業費 | 5-⑤ | 143,976 | 151,376 | 管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場及び都市下水道等の維持管理 | | | 140,481 | 管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場及び都市下水道等の維持管理 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 発生ゼロ | 発生ゼロ | S | | 発生ゼロ | | |
| 7 | 都市下水道施設整備事業費 | 5-⑤ | 12,700 | 12,700 | 管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場のエンジン点検整備及び導水路の維持管理 | | | 36,400 | 管理不備を原因とするトラブル発生件数 ※6ポンプ場のエンジン点検整備及び導水路の維持管理 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 発生ゼロ | 発生ゼロ | S | | 発生ゼロ | | |
| 8 | 雨水施設ストックマネジメント事業費 | 5-⑤ | 148,600 | 148,600 | 長寿命化計画達成率 (対策済みのポンプ場/対策すべきポンプ場) | | | 99,260 | 長寿命化計画達成率 (対策済みのポンプ場/対策すべきポンプ場) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 55.0% | 54.7% | A | | 66.0% | | |
| 9 | 公共下水道事業会計繰出金 | 6-⑥ | 3,153,831 | 3,051,498 | ①雨水対策(床上浸水ゼロ)対策工事(愛宕川)の実施(1工区) ②下水道普及率 ③汚水整備面積 | | | 3,141,054 | ①雨水対策(床上浸水ゼロ)対策工事(愛宕川)の実施(1工区) ②下水道普及率 ③汚水整備面積 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①L=64m ②62.5% ③48.2ha | ①L=190m ②60.4% ③53.3ha | A | | ①L=65m ②63.2% ③66.0ha | | |
| 10 | 高須町公園多目的広場施設管理事業費 | 6-⑥ | 2,850 | 2,850 | 施設の年間利用者数 | | | 2,850 | 施設の年間利用者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 300人 | 487人 | S | | 300人 | | |
| 11 | ポンプ場築造事業費 | 6-⑥ | 700,000 | 750,500 | 築造計画達成率 (築造済みのポンプ場/築造すべきポンプ場) | | | 280,343 | 築造計画達成率 (築造済みのポンプ場/築造すべきポンプ場) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 83.0% | 82.5% | A | | 96.0% | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------------|------|-----------|---------|-----------|--|--|---------|----------|-----------|------|--|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 活動指標 | | | |
| 12 | 管路新設事業 | 6-⑥ | 40,000 | | 35,000 | | 配水支管の整備延長 | | | 57,000 | | 配水支管の整備延長 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 300m | 266m | B | | | 300m | | |
| 13 | 老朽施設更新事業 | 6-⑥ | 42,000 | | 32,670 | | 老朽化を原因とするトラブル発生件数 | | | 86,700 | | 老朽化を原因とするトラブル発生件数 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 発生ゼロ | 発生ゼロ | S | | | 発生ゼロ | | |
| 14 | 老朽管更新事業 | 6-⑥ | 1,144,000 | | 1,056,000 | | 基幹管路の整備延長 | | | 1,132,200 | | 基幹管路の整備延長 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 60m | 65m | S | | | 300m | | |
| 15 | その他水道事業会計全事業費 | 6-⑥ | 3,477,492 | | 3,382,613 | | ①経常収支比率(経常収益/経常費用) ②営業収支比率(営業収益/営業費用) ※受託工事除く。 | | | 3,503,789 | | ①経常収支比率(経常収益/経常費用) ②営業収支比率(営業収益/営業費用) ※受託工事除く。 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | ①110% | ①109.3% | A | | | ①110% | | |
| | | | | ②100% | ②104.7% | | | | ②100% | | | | | |
| 16 | 関連公共下水道事業 | 6-⑥ | 2,566,272 | | 2,515,022 | | ①下水道普及率 ②汚水整備面積 | | | 3,095,100 | | ①下水道普及率 ②汚水整備面積 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | ①62.5% | ①60.4% | A | | | ①63.2% | | |
| | | | | ②48.2ha | ②53.3ha | | | | ②66.0ha | | | | | |
| 17 | 中勢沿岸流域下水道事業松阪処理区(負担金) | 6-⑥ | 112,841 | | 101,317 | | ①下水道普及率 ②汚水整備面積 | | | 199,434 | | ①下水道普及率 ②汚水整備面積 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | ①62.5% | ①60.4% | A | | | ①63.2% | | |
| | | | | ②48.2ha | ②53.3ha | | | | ②66.0ha | | | | | |
| 18 | 朝見簡易水道管理事業費 | 6-⑥ | 5,674 | | 4,689 | | 水質基準値適合率 | | | 5,886 | | 水質基準値適合率 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | | 100.0% | | |
| 19 | 一般管理経費 | 6-① | 5,759 | | 4,469 | | 飯南・飯高管内の公共浄化槽整備率 | | | 5,656 | | 飯南・飯高管内の公共浄化槽整備率 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 63.0% | 63.0% | S | | | 64.0% | | |
| 20 | 地方公営企業会計導入事業費 | 6-① | 2,090 | | 2,090 | | 地方公営企業法の法適用のための作業進捗率 | | | 4,879 | | 地方公営企業法の法適用のための作業進捗率 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 70.0% | 70.0% | S | | | 100.0% | | |
| 21 | 施設維持管理事業費 | 6-① | 142,980 | | 139,994 | | 飯南・飯高管内の公共浄化槽整備率 | | | 144,188 | | 飯南・飯高管内の公共浄化槽整備率 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 63.0% | 63.0% | S | | | 64.0% | | |
| 22 | 生活排水処理施設整備事業費 | 6-① | 36,623 | | 29,387 | | 飯南・飯高管内の公共浄化槽整備率 | | | 36,544 | | 飯南・飯高管内の公共浄化槽整備率 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 63.0% | 63.0% | S | | | 64.0% | | |
| 23 | 一般管理経費 | 6-① | 2,005 | | 1,531 | | 農業集落排水処理施設使用料の収入率 | | | 1,896 | | 農業集落排水処理施設使用料の収入率 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 99.5% | 99.1% | A | | | 100.0% | | |
| 24 | 地方公営企業会計導入事業費 | 6-① | 11,385 | | 11,385 | | 地方公営企業法の法適用のための作業進捗率 | | | 12,645 | | 地方公営企業法の法適用のための作業進捗率 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 60.0% | 60.0% | S | | | 100.0% | | |
| 25 | 小野地区施設維持管理費 | 6-① | 9,883 | | 12,434 | | 施設の週1回の点検及び月1回の処理水の水質検査実施率 | | | 11,287 | | 施設の週1回の点検及び月1回の処理水の水質検査実施率 | | |
| | | | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | | 100.0% | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------------|------|----------|----------|--------------------------------|----------|------|--------|--------------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 26 | 高木地区施設維持管理費 | 6-① | 16,618 | 14,173 | 施設の週1回の点検及び月2回の処理水の 水質検査実施率 | | | 15,459 | 施設の週1回の点検及び月2回の処理水の 水質検査実施率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 27 | 須賀・川北地区施設維持管理費 | 6-① | 14,254 | 17,267 | 施設の週1回の点検及び月2回の処理水の 水質検査実施率 | | | 13,516 | 施設の週1回の点検及び月2回の処理水の 水質検査実施率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|-------------|----------|----------|
| 組織名 | 教育総務課 | 作成者（評価者） | 課長 尼子 宗成 |
| 関係する『総合計画』施策 | 1-③ 学校教育の充実 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>子どもたちが学ぶことの楽しさや喜びを実感できる快適な学習環境を創造するとともに、子どもたちにとってより良い教育環境を確保するため、適正な学校規模や配置のあり方について検討しています。</p> <p>子どもたちや地域住民が安心して集い、誰もが利用しやすい学校施設を整備するため、「松阪市学校施設等長寿命化計画」に基づき、ユニバーサルデザインの視点を取り入れながら、老朽化が進行する学校施設の改修等を計画的に進めています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「松阪市教育大綱」に示された基本理念や基本方針を具現化した松阪市の教育の総合的な基本計画として、今後取り組むべき具体的施策を示した「松阪市教育ビジョン（第3期）」を策定しました。 ・「松阪市学校施設等長寿命化計画」に基づき、嬉野中学校大規模改造工事（第1期：玄関、ホール、職員室、廊下等の内装工事）を完了し、バリアフリーの推進、教育環境の改善、長寿命化を図りました。 ・「松阪市施設使用料等の見直し方針」に準拠し、学校施設及び旧学校施設の目的外使用に係る使用料の算出方法、減額・免除規定について見直しを行い、施設利用にかかる受益者負担の適正化を図りました。 ・低年齢層への新型コロナウイルス感染症拡大を受けて、各学校における感染症対策のより一層の徹底を図るため、オンライン授業で必要となる物品や感染症対策物品等を整備しました。 ・所属職員の時間外勤務時間数について、事務事業の効率化や平準化などに取り組み、昨年度比40.2%の削減をすることができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「松阪市立小中学校の学校規模適正化等に関する基本方針」について、令和3年度中に策定する予定で進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う教育環境の変化等に鑑み、策定を次年度に延伸することにしました。令和4年度の早い段階で策定します。 ・小中学校で使用する印刷関係消耗品については、単価も高く使用量も多いため、購入単価の低減を図る方策の検討を開始します。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちのよりよい教育環境の整備と教育の質の向上を図るため、「松阪市立小中学校の学校規模適正化等に関する基本方針」を策定し、学校規模の適正化を進めます。 ・松阪市教育委員会の附属機関として、専門的な見地から包括的かつ機動的に調査審議ができる「松阪市教育改革推進会議」を設置し、多様化・複雑化する教育課題や懸案事項の解決を図ります。 ・老朽化が著しい嬉野中学校の校舎について、「松阪市学校施設等長寿命化計画」に基づき、大規模改造工事(第2期：校舎西側の教室等の内装改修・屋上防水・エレベータ設置工事等)を実施し、教育環境の整備を図ります。 | | | |

【教育総務課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-------------------------|------|----------|---------|-------------------------------------|---------|------|---------|-------------------------------------|----|------|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 活動指標 | | | |
| 1 | 教育委員会一般経費 | 1-③ | 3,444 | 3,444 | 教育課題に対する先進地視察を行い、教育委員会定例会にその内容を報告する | | | 3,439 | 教育課題に対する先進地視察を行い、教育委員会定例会にその内容を報告する | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | — | — | | 100.0% | | | | | |
| 2 | 私立高等学校振興補助金 | 1-③ | 1,000 | 1,000 | 高校教育の向上に対する事業の補助金支給 | | | 1,000 | 高校教育の向上に対する事業の補助金支給 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 3 | スクールバス運営事業費 | 1-③ | 27,029 | 22,439 | 職員による定期点検の毎月実施 | | | 21,630 | 職員による定期点検の毎月実施 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | | | | |
| 4 | 教育ビジョン策定事業費 | 1-③ | 824 | 824 | 検討委員会を4回開催し、教育ビジョンの改訂を行う。 | | | 終了 | | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 4回 | 4回 | S | | | | | | | |
| 5 | 原田二郎奨学金給付事業費 | 1-③ | 2,436 | 2,436 | 各学校を通して募集案内し、市広報に1回以上掲載 | | | 3,649 | 各学校を通して募集案内し、市広報に1回以上掲載 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 各1回以上 | 2回 | S | | 各1回以上 | | | | | |
| 6 | 学校規模適正化事業費 | 1-③ | 0 | 0 | — | | | 245 | 検討委員会等の開催回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | — | — | — | | 4回以上 | | | | | |
| 7 | 教育改革推進事業費 | 1-③ | 0 | 0 | — | | | 500 | 松阪市教育改革推進会議の開催回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | — | — | — | | 3回以上 | | | | | |
| 8 | 教育委員会事務局一般経費 | 1-③ | 14,396 | 13,905 | 事務の効率化を図り、1人当残業時間数3%削減 | | | 14,275 | 事務の効率化を図り、1人当残業時間数3%削減 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 3%削減 | 40.2%削減 | S | | 3%削減 | | | | | |
| 9 | 小学校施設管理運営事業費 | 1-③ | 544,662 | 524,556 | 職員による定期点検の実施 | | | 557,731 | 職員による定期点検の実施 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | | | | |
| 10 | 小学校施設整備事業費 | 1-③ | 242,496 | 437,309 | 工事の安全を図って事故の発生率 | | | 131,040 | 工事の安全を図って事故の発生率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 0.0% | 0% | S | | 0.0% | | | | | |
| 11 | 中学校施設管理運営事業費 | 1-③ | 236,757 | 234,008 | 職員による定期点検の毎月実施 | | | 240,430 | 職員による定期点検の毎月実施 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 12回 | 12回 | S | | 12回 | | | | | |
| 12 | 中学校施設整備事業費 | 1-③ | 191,852 | 57,042 | 工事の安全を図って事故の発生率 | | | 220,918 | 工事の安全を図って事故の発生率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 0.0% | 0.0% | S | | 0.0% | | | | | |
| 13 | 三重県多気郡多気町松阪市学校組合分担金 | 1-③ | 201,827 | 16,550 | 校舎改築に係る協議 | | | 終了 | | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 3回 | 2回 | C | | | | | | | |
| 14 | 嬉野中学校校舎大規模改造事業費 | 1-③ | 445,570 | 526,136 | 工期内の実施率 | | | 0 | 工期内の実施率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | | | | |
| 15 | (小)感染症対策等の学校教育活動継続支援事業費 | 1-③ | 0 | 21,168 | 校内でのクラスター発生数 | | | 0 | — | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 0件 | 0件 | S | | — | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|------------------------------|------|----------|----------|--------------|----------|------|---|----|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 16 | (中) 感染症対策等の学校教育 活動継続支援事業費 | 1-③ | 0 | 8,356 | 校内でのクラスター発生数 | | | 0 | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0件 | 0件 | S | | - | | |

| 組織名 | 学校教育課 | 作成者（評価者） | 課長 金谷 勝弘 |
|--|-------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 1-③ 学校教育の充実 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・経済的な理由で就学困難な児童生徒の保護者への支援に取り組んでいます。特に、新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変した保護者の支援のため、申請期日の延長や審査基準の緩和等、経済状況の変化に対応した支援に取り組んでいます。（要保護及び準要保護児童生徒援助事業・特別支援教育就学奨励事業等） ・児童生徒及び教職員の心身の健康の保持増進とともに学校における新型コロナウイルス感染症に係る対策に取り組んでいます。（児童生徒の健康診断事業・学校職員健康診断事業、学校における感染症対策マニュアルの作成等） ・教職員の円滑な人事及び服務規律の確保に取り組んでいます。（教職員の適正配置・欠員補充、教職員の時間外在校等時間の縮減、学校における働き方改革の推進等） | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助制度について、新型コロナウイルス感染症の影響で家計が急変した保護者の支援のため、前年度に続き、申請期日の延長や審査基準の緩和等、直近の経済状況の変化に対応した支援を行うことができました。 ・学校における新型コロナウイルス感染症の拡大予防対策として、陽性者があった学校に対しては、消毒や学級閉鎖等の指示を適切に行うとともに、学級閉鎖を実施した児童生徒等に対して市の拡大防止検査を実施することで、児童生徒及び保護者の安心につながりました。 ・フッ化物洗口について、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から紙コップを使用する等の対策を講じ、健康づくり課や関係小学校、歯科医師会と連携し、学校現場の理解や協力体制等のもと、小学校で新規校6校を含む24校でフッ化物洗口の取組を進めることができました。中学校におけるピロリ菌検査については、平成30年度から事業を開始し、健康づくり課と各中学校とで連携しながら取組み、4年目となる令和3年度は市内中学校で97.3%の同意書提出率となりました。 ・各小中学校での欠員（産育休、病休、介護休等）に迅速に対応し、長期の欠員状態を出すことなく、講師を配置することができました。 ・教職員の時間外在勤等時間の縮減については、一人当たりの月平均時間外労働時間の松阪市の目標【月平均21.3時間以下】のところ、【月平均20.6時間】と減少することができました。また、一人当たりの休暇取得についても【年21.3日】と、目標の【年20.2日】を達成することができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教職員のストレスチェック実施率は前年度を上回りましたが93.8%に留まりました。また、高ストレス判定者が昨年度より0.3%増えました。令和4年度は、100%の実施を目指し、教職員への周知を図っていくとともに、高ストレス判定者の教職員数の削減に努めます。 ・平成30年度から小学校1校で試験的に実施した学校水泳における民間プール施設活用について、令和元年度から3年目に効果検証を行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度は、学校水泳を実施できなかったため、令和4年度を検証年度とし取組を進めていきます。 ・教職員の時間外在校等時間の縮減に向けた取組については、月45時間や年360時間を超える時間外在校等時間がある教職員がいない学校が少ない現状を踏まえ、引き続き教職員一人ひとりの勤務状況を注視し、学校長とより連携を密にして取組を進めていきます。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【重点取組と目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒及び教職員の心身の健康の観点から、新型コロナウイルス感染症対策において、学校や関係機関と連携し、必要な措置等を講ずる等適切な対応に努めます。 ・フッ化物洗口については、小学校で新規校6校を含む30校で取り組むとともに、中学校が令和5年度に実施予定のため、関係者との協議と準備を進めていきます。 ・中学校におけるピロリ菌検査については、今後も中学3年生が継続して検査を受けてもらえるよう、健康づくり課や各中学校と連携して周知等に取り組んでいきます。 ・部活動指導員を配置した部活動顧問の時間外在校等時間の状況を把握し、効果的な活用について、中学校部活動を学校だけのものから、地域や当該校と協働し連携して調査研究を行います。 ・管理職のリーダーシップのもと、「時間外在勤等時間の縮減」「定時退校日の設定」「会議時間の短縮」について取り組むことで、教職員一人ひとりが時間を意識した働き方の推進を図ります。 | | | |

【学校教育課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|--------------------|------|----------|----------|--------------------------|-----------------------|------|---------|--------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 高等学校・大学入学援助金 | 1-③ | 800 | 860 | 活動指標 | | | 1,000 | 活動指標 | | |
| | | | | | ①広報まつさかへ掲載 ②松阪市HPへの掲載 | | | | ①広報まつさかへ掲載 ②松阪市HPへの掲載 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | ①1回 ②2ヶ月 | ①2回 ②3ヶ月 | S | | ①2回 ②3ヶ月 | | |
| 2 | 児童生徒体育文化行事参加旅費等補助金 | 1-③ | 3,500 | 3,500 | 活動指標 | | | 3,500 | 活動指標 | | |
| | | | | | 補助金申請への申請者数 | | | | 補助金申請への申請者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1,000人 | 795人 | B | | 1,000人 | | |
| 3 | 児童生徒安全対策支援事業費 | 1-③ | 5,240 | 5,240 | 活動指標 | | | 5,042 | 活動指標 | | |
| | | | | | 黄色帽子・ヘルメットの支給率 | | | | 黄色帽子・ヘルメットの支給率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 4 | 学校教育活動支援員活用事業費 | 1-③ | 2,716 | 2,716 | 活動指標 | | | 2,819 | 活動指標 | | |
| | | | | | 学校業務支援員の配置 | | | | 学校業務支援員の配置 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①学校業務支援5校 ②部活動指導11校 | ①学校業務支援5校 ②部活動指導6校 | C | | 部活動指導11校 | | |
| 5 | 要保護及び準要保護児童生徒援助事業費 | 1-③ | 130,689 | 130,689 | 活動指標 | | | 126,760 | 活動指標 | | |
| | | | | | ①広報まつさかへ掲載 ②松阪市HPへの掲載 | | | | ①広報まつさかへ掲載 ②松阪市HPへの掲載 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①1回 ②2ヶ月 | ①2回 ②通年 | S | | ①2回 ②通年 | | |
| 6 | 特別支援教育就学奨励事業費 | 1-③ | 10,616 | 10,616 | 活動指標 | | | 11,056 | 活動指標 | | |
| | | | | | 対象者へチラシ配布 | | | | 対象者へチラシ配布 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 7 | 遠距離通学支援事業費 | 1-③ | 4,226 | 4,226 | 活動指標 | | | 4,086 | 活動指標 | | |
| | | | | | 対象児童生徒への交通費支給率 | | | | 対象児童生徒への交通費支給率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 8 | 教育振興一般経費 | 1-③ | 676 | 676 | 活動指標 | | | 751 | 活動指標 | | |
| | | | | | 入学通知書送付率・申請承認した学校への支給率 | | | | 入学通知書送付率・申請承認した学校への支給率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 9 | 要保護及び準要保護児童生徒援助事業費 | 1-③ | 115,879 | 115,879 | 活動指標 | | | 114,659 | 活動指標 | | |
| | | | | | ①広報まつさかへ掲載 ②松阪市HPへの掲載 | | | | ①広報まつさかへ掲載 ②松阪市HPへの掲載 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①1回 ②2ヶ月 | ①2回 ②通年 | S | | ①2回 ②通年 | | |
| 10 | 特別支援教育就学奨励事業費 | 1-③ | 6,560 | 6,560 | 活動指標 | | | 6,660 | 活動指標 | | |
| | | | | | 対象者へチラシ配布 | | | | 対象者へチラシ配布 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 11 | 遠距離通学支援事業費 | 1-③ | 625 | 625 | 活動指標 | | | 908 | 活動指標 | | |
| | | | | | 対象児童生徒への交通費支給率 | | | | 対象児童生徒への交通費支給率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 12 | 教育振興一般経費 | 1-③ | 1,185 | 1,185 | 活動指標 | | | 1,290 | 活動指標 | | |
| | | | | | 入学通知書送付率・申請承認した学校への支給率 | | | | 入学通知書送付率・申請承認した学校への支給率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 13 | 結核対策事業費 | 1-③ | 199 | 199 | 活動指標 | | | 199 | 活動指標 | | |
| | | | | | 結核高蔓延国からの転入児童の検査受診率 | | | | 結核高蔓延国からの転入児童の検査受診率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | |
|-----|----------------------|------|----------|----------|---------------|-------|----|----------|---------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | |
| 14 | 児童・生徒の健康診断事業費 | 1-③ | 50,185 | 50,185 | 健康診断実施校 | | | 50,184 | 健康診断実施校 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 47校 | 47校 | S | | 47校 | | |
| 15 | 学校職員健康診断事業費 | 1-③ | 10,491 | 10,491 | ストレスチェック受診率 | | | 10,889 | ストレスチェック受診率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 93.8% | A | | 100.0% | | |
| 16 | 学校プール夏季休業中管理運営補助金 | 1-③ | 1,600 | 0 | 補助金申請に対する支給率 | | | 1,300 | 補助金申請に対する支給率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 0.0% | — | | 100.0% | | |
| 17 | 松阪市学校保健会補助金 | 1-③ | 135 | 135 | 保健会主催研修会への参加校 | | | 133 | 保健会主催研修会への参加校 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 47校 | 47校 | S | | 47校 | | |
| 18 | 日本スポーツ振興センター災害共済給付掛金 | 1-③ | 11,548 | 11,548 | 災害申請に対する支給率 | | | 11,548 | 災害申請に対する支給率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 97.2% | A | | 100.0% | | |
| 19 | 学校水泳民間プール施設活用事業費 | 1-③ | 1,122 | 1,122 | 児童及び保護者の満足度 | | | 1,324 | 児童及び保護者の満足度 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 80.0% | 82.3% | S | | 80.0% | | |
| 20 | 学校保健体育一般経費 | 1-③ | 26,541 | 26,541 | A E D講習会参加者数 | | | 27,148 | A E D講習会参加者数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 3000人 | 0人 | — | | 3,000人 | | |

【学校教育課】事務・事業管理シート（ゼロ予算事業）

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | |
|-----|--------------------------------|------|----------|----------|---------------|----|----|----------|-----------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | |
| 1 | 新型コロナウイルス感染症に係る教職員研修の該当校での実施支援 | 1-③ | / | / | 該当校での教職員研修の実施 | | | / | 該当校への実施支援 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 該当校数 | 12 | S | | 該当校数 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 学校支援課 | 作成者（評価者） | 課長 大辻 結花 |
|---|-------------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 1-③ 学校教育の充実 | | |
| | 4-⑥ 人権尊重・多様性社会の推進 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>アフターコロナの時代においては、子どもたち一人ひとりが、自分のよさや可能性を認識するとともに、多様な人々と協働しながらさまざまな社会的変化を乗り越え、豊かな未来を切り拓いていく資質や能力を育成することが求められています。</p> <p>新しい教育ビジョンのもと、その育成に向けて確かな学力をつけるために、主体的・対話的で深い学びに取り組むとともに、一人一台端末を日常的に活用した個別最適な学びや協働的な学びを支援します。また、コロナ禍で増加した不登校児童生徒の対応と支援については、新たに不登校児童生徒支援計画に取り組むことで、途切れない見守りや支援を行ない、不登校の削減に取り組みます。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に向けては、市標準学力調査から把握した課題を踏まえて、個に応じた指導や授業改善に向けて取り組んできました。さらに、コロナ禍での分散登校時にも、一人一台端末を活用したオンライン授業を実施することで、学びを止めない取組を展開することができました。全国学力学習状況調査の平均正答率は、小学校が6年連続で全国平均を上回り、中学校でも数学において公表を始めたH26以降初めて全国平均を上回り、国語・数学2教科の平均においても、全国との差が最も縮まりました。 ・全国学力学習状況調査の児童生徒質問紙からは、特に自己有用感の向上や学習習慣の確立についての肯定的な回答が小中ともに全国平均を上回り、子ども一人ひとりについての理解ときめ細やかな対応や、学校・家庭・地域が一体となった取組の推進が成果につながっています。 ・学級満足度尺度調査（Q-U）においても、個や学級集団の実態に応じた指導や支援を行うことで、自分の学級に満足している児童生徒の割合は、全国平均を上回りました。 ・地域の教育力活用については、学校や地域の協議会において、適切な説明や助言を行うことにより、コミュニティスクールを導入した学校の割合の目標値50%を達成することができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期化するコロナ禍において、不登校児童生徒は依然として増加傾向にあります。児童生徒一人ひとりにしっかりと寄り添い、その実態を的確に把握するとともに、個々の実態に応じた適切な支援や取組の充実を迅速かつ重点的に推進する、不登校児童生徒支援計画に取り組むことで、不登校の削減に努めます。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・不登校対策として、「不登校の未然防止」「居場所づくり・教室復帰支援」「ICTを活用した支援」の3つを柱にした不登校児童生徒支援計画「いきいき学校プロジェクト」に取り組みます。 ・社会に開かれた教育課程を学校が構築できるよう取組を進め、その教育課程を軸にカリキュラムマネジメントに取り組めるよう、モデル校区事業や研修会等を通して支援していきます。さらに、子どもたちに求められる資質・能力として重要視されている「文章の意味を正確に理解する読解力」の育成を目指し、全小中学校で「読解力向上プロジェクト事業よむYOMUワークシート」の取組を実施します。 ・同和教育の理念や成果を重要な柱とするこれまでの実践を生かして、子どもたちが人権について理解と認識を深め、差別的な行動に対して適切な行動がとれるよう、人権教育カリキュラムに基づき、組織的・系統的に人権教育の推進を図ります。 ・特別な支援を必要とする児童生徒の増加とともに、その教育的ニーズはさらに多様化しています。ニーズに応じた教育が受けられるよう、学びの場の充実や学校生活アシスタント・メディカルサポートアシスタントの適切な配置に取り組みます。また、特別支援学校に在籍する子どもが、居住地域とのつながりを維持・継続できるよう、特別支援学校と協働し、居住地校交流の充実に取り組むとともに、副次的な籍についての研究を進めます。 | | | |

【学校支援課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------------------|------|----------|--|----------|--|--|--|----------|--|--|--|------|--|
| | | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | |
| 1 | 英語コミュニケーション力向上推進事業費 | 1-③ | 73,056 | | 69,788 | | A L T ・小学校英語指導助手を小中学校へ派遣した日数 | | 71,944 | | A L T ・小学校英語指導助手を小中学校へ派遣した日数 | | | |
| | | | 目標 | | 実績 | | 評価 | | 目標 | | 実績 | | 評価 | |
| | | | 2,830日 | | 2,811日 | | A | | 2,830日 | | | | | |
| 2 | 人権教育ネットワーク推進事業費 | 4-⑥ | 3,168 | | 2,716 | | 「自分には良いところがある」と回答した児童生徒の割合 | | 3,218 | | 「自分には良いところがある」と回答した児童生徒の割合 | | | |
| | | | 目標 | | 実績 | | 評価 | | 目標 | | 実績 | | 評価 | |
| | | | 80.0% | | 77.6% | | A | | 80.0% | | | | | |
| 3 | 特色ある学校づくり推進事業費 | 1-③ | 13,520 | | 13,520 | | 教育内容と、教育活動に必要な物的・人的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に取組を進めた学校の割合 | | 13,520 | | 教育内容と、教育活動に必要な物的・人的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に取組を進めた学校の割合 | | | |
| | | | 目標 | | 実績 | | 評価 | | 目標 | | 実績 | | 評価 | |
| | | | 95.0% | | 97.9% | | S | | 20回 | | | | | |
| 4 | 特別支援教育推進事業費 | 1-③ | 120,250 | | 120,250 | | 校内委員会を開催し、指導及び支援体制の整備を行った学校の割合 | | 139,096 | | 校内委員会を開催し、指導及び支援体制の整備を行った学校の割合 | | | |
| | | | 目標 | | 実績 | | 評価 | | 目標 | | 実績 | | 評価 | |
| | | | 100.0% | | 100.0% | | S | | 100.0% | | | | | |
| 5 | 不登校・いじめ等対策事業費 | 1-③ | 23,868 | | 28,610 | | 学級満足度尺度調査(Q-U)における自分の学級の状態に満足している児童生徒の割合 | | 62,625 | | 学級満足度尺度調査(Q-U)における自分の学級の状態に満足している児童生徒の割合 | | | |
| | | | 目標 | | 実績 | | 評価 | | 目標 | | 実績 | | 評価 | |
| | | | 65.0% | | 63.9% | | A | | 65.0% | | | | | |
| 6 | 地域の教育力活用推進事業費 | 1-③ | 6,708 | | 6,582 | | コミュニティ・スクールを導入している学校の割合 | | 7,445 | | 全小中学校で、コミュニティ・スクールに係る啓発活動や充実を図るための研修会を行った総回数 | | | |
| | | | 目標 | | 実績 | | 評価 | | 目標 | | 実績 | | 評価 | |
| | | | 50.0% | | 51.0% | | S | | 15回 | | | | | |
| 7 | 羽ばたけ子どもたち！チャレンジ応援事業費 | 1-① | 400 | | 400 | | 児童生徒からの応募数 | | 600 | | 児童生徒からの応募数 | | | |
| | | | 目標 | | 実績 | | 評価 | | 目標 | | 実績 | | 評価 | |
| | | | 15人 | | 25人 | | S | | 25人 | | | | | |
| 8 | 郷土の偉人に学ぶ教育推進事業費 | 1-③ | 109 | | 109 | | 郷土の偉人冊子を活用した実践交流会の参加人数 | | 109 | | 郷土の偉人冊子を活用した実践交流会の参加人数 | | | |
| | | | 目標 | | 実績 | | 評価 | | 目標 | | 実績 | | 評価 | |
| | | | 40人 | | 57人 | | S | | 40人 | | | | | |
| 9 | 学力向上推進事業費 | 1-③ | 13,371 | | 10,109 | | 標準学力調査における標準スコアの平均値 | | 15,060 | | 標準学力調査における標準スコアの平均値 | | | |
| | | | 目標 | | 実績 | | 評価 | | 目標 | | 実績 | | 評価 | |
| | | | 50.0pt | | 49.2pt | | A | | 50.3pt | | | | | |
| 10 | 教育指導一般経費 | 1-③ | 5,266 | | 5,234 | | コミュニティ・スクールに係る啓発活動や充実を図るための研修会を行った総回数 | | 5,415 | | コミュニティ・スクールに係る啓発活動や充実を図るための研修会を行った総回数 | | | |
| | | | 目標 | | 実績 | | 評価 | | 目標 | | 実績 | | 評価 | |
| | | | 16回 | | 18回 | | S | | 19回 | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 子ども支援研究センター | 作成者（評価者） | 所長 中西 明美 |
|---|-------------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 1-③ 学校教育の充実 | | |
| | 4-⑥ 人権尊重・多様性社会の推進 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>組織機構改革により、子ども支援研究センターは、学校支援課から独立し課として位置づけられました。「研修・ICT教育係」では、1人1台タブレットを日常的に活用し、子ども自身が主体となり、個別最適な学びや協働的な学びができるように支援していくこと、また、そのための教職員研修の充実を図ります。「学びアシスト係」では、教育相談・外国人児童生徒教育を柱として、子どもたちが将来の社会的自立に向けて、自分の夢を自分の言葉で語れる力を身につけるよう支援します。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1人1台タブレットの日常的な活用をめざして、ICT環境整備と教職員のICT活用スキル育成に取り組みました。LTE通信回線やデジタル教材を活用しながら、分散登校や学級閉鎖などの緊急時にも、すべての学校でオンライン学習に取り組めるように支援しました。 ・希望する学校へICT支援員の派遣を行うことで、タブレットやアプリケーション活用の相談、校内研修会等での利活用スキルの向上に取り組みました。 ・教職員及び保育士の指導力向上を図るため、教科指導スキルアップ研修や今日的教育課題のための研修を24回開催しました。令和2年度には新型コロナウイルス感染症拡大防止のために中断せざるを得なかった研修講座も、令和3年度はオンラインで開催しました。 ・不登校児童生徒支援員（NASS）との連携を深め、電話相談から臨床心理士によるカウンセリングや訪問相談等の支援につなぐといった教育相談の充実を図ることができました。 ・いっぽ教室や鈴の森教室にネットワークやICT機器を導入することで、オンラインでの個別学習の充実を図りました。 ・コロナ禍においても1月から3月にかけて「ふたば」を開室し、過去最多規模となる22人の未就学児を対象に日本語指導を実施することができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <p>令和6年度にはデジタル教科書の導入やCBT（Computer Based Testing）の本格実施が計画されています。これらの実現に向けて、アカウント管理やタブレットの年度更新等をはじめとする、1人1台タブレットの運用モデルを見直していく必要があります。</p> | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・学校、ICT支援員、保守事業者との情報共有を図り、将来的な変化に対応しやすい持続性のある運用モデルの構築をめざします。 ・ICT活動拠点を活用して「参加しやすい」「スキルが身に付きやすい」研修講座の構築をめざします。 ・教育支援センターを中心とした校区ふれあい教室や各校別室の運営の充実、ICTを活用した不登校児童生徒（保護者）支援、各校別室運営の環境整備に向けて取組を進めていきます。 ・新型コロナウイルス感染症に伴って来日する外国人就労者は一時的に減少しましたが、入管法の改正により新たな在留資格が創設され、将来的には外国人就労者及びその家族は増加することが見込まれています。外国人児童生徒の増加に備えて、学校での支援体制の充実を図ります。 | | | |

【子ども支援研究センター】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|--------------------|------|----------|----------|--------------------------------------|----------|------|------------------|--|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 外国人児童生徒受入促進事業費 | 4-⑥ | 24,677 | 24,677 | 活動指標 | | | 25,585 | 活動指標 | | |
| | | | | | 小中学校における外国人児童生徒の就学率 | | | | 小中学校における外国人児童生徒の就学率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | 100.0% | | | |
| 2 | 教育支援センター推進事業費 | 1-③ | 2,395 | 2,395 | 活動指標 | | | 2,668 | 活動指標 | | |
| | | | | | 通室生の学校復帰に向けた改善率 | | | | 通室生の学校復帰に向けた改善率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 71.0% | 67.7% | A | 72.0% | | | |
| 3 | 教育研究事業費 | 1-③ | 879 | 879 | 活動指標 | | | 879 | 活動指標 | | |
| | | | | | 研修員が調査・研究のために学校等を訪問した回数 | | | | 研修員が調査・研究のために学校等を訪問した回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 40回 | 36回 | A | 40回 | | | |
| 4 | 教職員研修事業費 | 1-③ | 1,179 | 650 | 活動指標 | | | 1,177 | 活動指標 | | |
| | | | | | 教職員研修講座の受講者の満足度 | | | | 教職員研修講座の受講者の満足度 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 95.0% | 98.8% | S | 95.0% | | | |
| 5 | 教育相談事業費 | 1-③ | 6,218 | 6,218 | 活動指標 | | | 6,328 | 活動指標 | | |
| | | | | | 幼児・児童・生徒及び保護者等に対する教育相談実施日 | | | | 幼児・児童・生徒及び保護者等に対する教育相談実施日 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 267日 | 250日 | A | 267日 | | | |
| 6 | 新たな学びの創造事業費 | 1-③ | 449,566 | 447,370 | 活動指標 | | | 445,655 | 活動指標 | | |
| | | | | | 家庭学習におけるICTの活用度 | | | | ①家庭学習におけるICTの活用度 ②ICTを活用して学校と家庭をつなぐ活動を定期的に実施した学校の割合 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 40.0% | 65.5% | S | ①50.0% ②70.0% | | | |
| 7 | 教科書及び指導書導入事業費 | 1-③ | 26,762 | 26,762 | 活動指標 | | | 4,056 | 活動指標 | | |
| | | | | | 小中学校教員への教師用教科書及び指導書の支給率 | | | | 小中学校教員への教師用教科書及び指導書の支給率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | 100.0% | | | |
| 8 | 子ども支援研究センター管理運営事業費 | 1-③ | 14,351 | 14,351 | 活動指標 | | | 15,385 | 活動指標 | | |
| | | | | | 適応指導教室「鈴の森教室」の利用日数 | | | | 適応指導教室「鈴の森教室」の利用日数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 180日 | 187日 | S | 187日 | | | |
| 9 | 子ども支援研究センター施設整備事業費 | 1-③ | 0 | 23,928 | 活動指標 | | | 100,891 | 活動指標 | | |
| | | | | | 工事期間中における事故発生率 | | | | 工事期間中における事故発生率 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0.0% | 0.0% | S | 0.0% | | | |
| 10 | 子ども支援研究一般経費 | 1-③ | 1,775 | 1,775 | 活動指標 | | | 1,775 | 活動指標 | | |
| | | | | | センターだより、ホームページ、動画配信、説明会等で情報発信を実施した回数 | | | | センターだより、ホームページ、動画配信、説明会等で情報発信を実施した回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 15件 | 20件 | S | 15件 | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| 組織名 | 生涯学習課 | 作成者（評価者） | 課長 池田 博紀 |
|--|------------------|----------|----------|
| 関係する『総合計画』施策 | 1-① 子ども・子育て支援の推進 | | |
| | 4-③ 社会教育の推進 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>生涯学習課は、地域に必要とされる社会教育や青少年健全育成への取り組み、市民の読書活動や趣味クラブ等の自己学習に対する支援など、市民の教養を高める活動を通して、人づくり・繋がりがづくり・地域づくり活動を行っています。また、小学生を対象とした放課後の良質な居場所づくりを通して、共働き世帯や一人親世帯に対する子育て支援を行っています。主な業務として、公民館・図書館の管理運営、教育集会所の管理、青少年健全育成事業の推進、二十歳のつどいの開催、放課後児童クラブの運営支援などを行っています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多人数が集う公民館や図書館、放課後児童クラブ等の施設において、コロナ感染症を正しく恐れながら、感染対策を徹底することで、クラスターを発生させることなく、各活動の停滞を最小限に抑えることができました。 ・一生に一度しかない成人式を、会場分散や検温・手指消毒等の感染対策を徹底しながら、無事開催することができました。 ・民間施設を利用して運営を行ってきた第四小学校放課後児童クラブを校舎内に移転するため、空き教室を利用した改修工事を年度内に完成させることができました。 ・東町教育集会所、幸生教育集会所の解体の地元要望を受け、年度内に解体工事を完了することができました。 ・地区公民館のコミュニティセンター化の協議について、公民館連絡協議会で議論を行い、公民館連絡協議会としての一定の結論を得ることができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <p>放課後児童クラブの保護者負担の軽減を目的とした社会福祉法人への運営委託や、支援員不足への対応については、根本的な解決方法を見いだせないまま、対処療法的な施策しか実施できませんでした。</p> | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・地区公民館のコミュニティセンター化について、令和5年度に複数のモデル館で運用がスタートできるよう地域づくり連携課と連携し、各住民自治協議会との協議を進めます。 ・公民館のICT化を図り、デジタル社会に関する社会教育の推進やICTを活用した地域活動など、公民館活動の幅を広げ、新たな人づくり・繋がりがづくり・地域づくりを進めます。 ・放課後児童クラブの保護者負担軽減のために社会福祉法人等への委託を進めます。また、保育の中身についても、子ども達が興味・関心を持てる取組みを行います。 ・学校読書室の活動を支援するために、市図書館司書の派遣回数を増やすことで、学校や読書ボランティア等と更なる連携を深めながら、児童・生徒の読書活動の活性化に取り組みます。 | | | |

【生涯学習課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------------|------|----------|---------|-------------------------|----------|------|---------|-------------------------|----|------|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 活動指標 | | | |
| 1 | 教育集会所管理運営事業費 | 4-③ | 2,271 | 2,244 | 教育集会所利用者の安全確保のための点検の実施 | | | 2,601 | 教育集会所利用者の安全確保のための点検の実施 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 27回 | 24回 | B | | 25回 | | | | | |
| 2 | 教育集会所解体事業費 | 4-③ | 15,607 | 14,616 | 解体の進捗率 | | | 0 | - | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | - | | | | | |
| 3 | PTA連合会運営費補助金 | 4-③ | 877 | 877 | PTA連合会行事への延べ参加人数 | | | 877 | PTA連合会行事への延べ参加人数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,630人 | 546 | D | | 500人 | | | | | |
| 4 | 社会教育一般経費 | 4-③ | 1,753 | 1,753 | 三重県社会教育委員連絡協議会への延べ出席者数 | | | 2,322 | 三重県社会教育委員連絡協議会への延べ出席者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 30人 | 44人 | S | | 30人 | | | | | |
| 5 | 生涯学習振興事業費 | 4-③ | 12,938 | 11,660 | 講座開設数 | | | 13,718 | 講座開設数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 865講座 | 571講座 | C | | 600講座 | | | | | |
| 6 | 公民館管理運営事業費 | 4-③ | 148,916 | 145,255 | 公民館講座満足度 | | | 151,396 | 公民館講座満足度 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 80.0% | 81.6% | S | | 80.0% | | | | | |
| 7 | 公民館ICT整備事業費 | 4-③ | 0 | 0 | - | | | 7,174 | ICTを活用した事業の取り組み回数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 360回 | | | | | |
| 8 | 中川コミュニティセンター管理運営事業費 | 4-③ | 6,216 | 5,792 | 中川公民館講座延べ参加者数 | | | 6,121 | 中川公民館講座延べ参加者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 600人 | 464人 | B | | 950人 | | | | | |
| 9 | 生涯学習センター管理運営事業費 | 4-③ | 17,317 | 16,441 | 嬉野公民館講座延べ参加者数 | | | 17,261 | 嬉野公民館講座延べ参加者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,000人 | 555人 | C | | 600人 | | | | | |
| 10 | 図書館管理運営事業費 | 4-③ | 175,287 | 175,197 | 貸出冊数 | | | 171,657 | 貸出冊数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 870,000冊 | 771,831冊 | B | | 870,000冊 | | | | | |
| 11 | 学校読書室等支援事業費 | 4-③ | 27,886 | 27,886 | 図書館を使った調べる学習コンクール出点作品点数 | | | 33,073 | 図書館を使った調べる学習コンクール出点作品点数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 100点 | 63点 | C | | 100点 | | | | | |
| 12 | 青少年健全育成事業費 | 4-③ | 6,666 | 6,662 | 青少年育成のつどい講演会の満足度 | | | 6,710 | 青少年育成のつどい講演会の満足度 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 90.0% | - | - | | 90.0% | | | | | |
| 13 | 二十歳のつどい開催事業費 | 4-③ | 1,443 | 1,136 | 二十歳のつどい実行委員会への参加者 | | | 2,856 | 二十歳のつどい実行委員会への参加者 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 28人 | 31人 | S | | 28人 | | | | | |
| 14 | 子ども会連合会補助金 | 4-③ | 279 | 279 | 子ども会連合会の登録人数を増やす | | | 279 | 子ども会連合会の登録人数を増やす | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,500人 | 1,367人 | A | | 1,500人 | | | | | |
| 15 | 放課後子ども教室推進事業費 | 4-③ | 2,510 | 1,872 | 放課後子どもプラン運営委員会の参加率 | | | 2,238 | 放課後子どもプラン運営委員会の参加率 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 70.0% | 100.0% | S | | 70.0% | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------|------|----------|---------|-----------------|--------|------|---------|-----------------|----|------|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | | 最終予算(千円) | | 活動指標 | | 当初予算(千円) | | 活動指標 | | | |
| 16 | 青少年センター運営事業費 | 4-③ | 10,885 | 10,600 | 青少年相談件数 | | | 10,934 | 青少年の悩み相談件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 50件 | 118件 | S | | 50件 | | | | | |
| 17 | 放課後児童クラブ活動事業費 | 1-① | 7,627 | 7,704 | 研修会への参加人数 | | | 7,676 | 研修会への参加人数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 300人 | 77人 | E | | 300人 | | | | | |
| 18 | 放課後児童クラブ施設整備事業費 | 1-① | 27,621 | 21,988 | 放課後児童クラブ利用者の満足度 | | | 112,547 | 放課後児童クラブ利用者の満足度 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 80.0% | 75.0% | A | | 80.0% | | | | | |
| 19 | 放課後児童クラブ活動事業補助金 | 1-① | 311,612 | 311,612 | 利用児童人数 | | | 310,838 | 法人等への委託クラブ数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1,200人 | 1,254人 | S | | 18クラブ | | | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|-----------------------|----------|----------|
| 組織名 | スポーツ課 | 作成者（評価者） | 課長 若山 幸則 |
| 関係する『総合計画』施策 | 4-⑤ スポーツと運動したまちづくりの推進 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>スポーツ課は、様々なスポーツ大会やイベントの開催等を通じて、子どもから大人までライフステージに応じたスポーツ活動の機会を提供しています。また、市最大のスポーツイベント「みえ松阪マラソン」の事務局として、交流人口の増加や地域経済への波及効果などをめざし、スポーツと運動したまちづくりに取り組んでいます。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みえ松阪マラソンについては、大会を支えていただく約3,000人のスタッフが円滑に任務に当たれるように「ボランティアマニュアル」を策定しました。 ・23競技種目の開催予定であった市長杯スポーツ大会のうち、9種目については感染防止対策を講じて安全に開催することができました。また、幼児を対象とした「キッズコーディネーショントレーニング」を開催しました。 ・スポーツ施設の充実として、阪内川スポーツ公園テニスコート全面改修、中部台運動公園三十三アリーナポーチ防水工事及びテニスコート照明器具取替工事を実施しスポーツ環境の整備を行いました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重とこわか国体・三重とこわか大会の中止、みえ松阪マラソンの大会延期をはじめ、市長杯スポーツ大会の14種目がコロナ禍により中止となりました。 ・ハートフルみくもスポーツ文化センター空調整備更新工事については、コロナ禍により部材の調達が遅れたため工事ができませんでした。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・松阪市スポーツ推進計画の中間見直しを行い、同計画に示す具体的施策の充実と老朽化の進むスポーツ施設の今後の在り方について検討します。 ・みえ松阪マラソンの成功に向け、必要な感染症対策を講じ、安全・安心な大会運営に取り組むとともに、しぼんでしまった機運をもう一度醸成すべくあらゆる機会を通じて、本大会のPRに取り組みます。 ・必要な感染症対策を行いながらスポーツ大会やイベントの開催等に取り組むとともに、利用者が安全・安心にスポーツ活動を行えるように、各施設の環境整備に取り組みます。 ・中部台運動公園の公園施設の長寿命化対策を計画的に実施できるよう、公園施設長寿命化計画の策定に取り組みます。 | | | |

【スポーツ課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------------|------|----------|----------|---------------------------|----------|---------------------------|----|----------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | スポーツ推進委員活動事業費 | 4-⑤ | 2,205 | 2,169 | 各地域での推進員の活動事業数 | 2,470 | 各地域での推進員の活動事業数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100事業 | | 62事業 | C | 100事業 | | |
| 2 | 全国大会等出場派遣支援事業費 | 4-⑤ | 6,911 | 4,576 | スポーツ激励金交付対象者数 | 5,861 | スポーツ激励金交付対象者数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 500人 | | 252人 | C | 500人 | | |
| 3 | スポーツ大会等運営事業費 | 4-⑤ | 3,923 | 3,038 | 市長杯スポーツ大会の参加者数 | 4,004 | 市長杯スポーツ大会の参加者数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 4,000人 | | 1,124人 | E | 4,000人 | | |
| 4 | みえ松阪マラソン事業費 | 4-⑤ | 60,443 | 3,443 | フルマラソン参加申込者数 | 60,448 | フルマラソン参加申込者数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 7,000人以上 | | 大会延期 | - | 7,000人以上 | | |
| 5 | 市スポーツ協会加盟団体育成強化補助金 | 4-⑤ | 1,850 | 1,850 | 会長杯参加者総数 | 1,850 | 会長杯参加者総数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2,600人 | | 1,600人 | C | 2,600人 | | |
| 6 | スポーツ少年大会等補助金 | 4-⑤ | 758 | 493 | スポーツ少年団各種大会への参加者数 | 758 | スポーツ少年団各種大会への参加者数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1,900人 | | 701人 | D | 1,900人 | | |
| 7 | スポーツ少年団補助金 | 4-⑤ | 2,880 | 2,880 | スポーツ少年団登録者数 | 2,880 | スポーツ少年団登録者数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 1,200人 | | 918人 | B | 1,200人 | | |
| 8 | 総合型地域スポーツクラブ推進事業補助金 | 4-⑤ | 255 | 255 | スポーツ教室の加入者総数 | 255 | スポーツ教室の加入者総数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 450人 | | 319人 | B | 450人 | | |
| 9 | 三重県市町対抗駅伝大会事業費 | 4-⑤ | 1,300 | 1,300 | 代表選考会参加者数 | 1,300 | 代表選考会参加者数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 50人 | | 54人 | S | 50人 | | |
| 10 | 体育振興一般経費 | 4-⑤ | 2,838 | 2,838 | 部局長シート「施策4-⑤」における令和3年度の評価 | 6,490 | 部局長シート「施策4-⑤」における令和4年度の評価 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ☆☆☆☆ | | ☆☆ | C | ☆☆☆☆ | | |
| 11 | 体育施設管理運営事業費 | 4-⑤ | 17,384 | 17,384 | 体育施設9施設の利用者数 | 19,518 | 体育施設8施設の利用者数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 80,000人 | | 61,923人 | B | 80,000人 | | |
| 12 | 体育施設整備事業費 | 4-⑤ | 2,552 | 0 | 施設に対する利用者からの苦情件数 | 8,500 | 施設に対する利用者からの苦情件数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0件 | | 0件 | S | 0件 | | |
| 13 | 松阪公園プール管理運営事業費 | 4-⑤ | 18,681 | 18,681 | 松阪公園プール利用者数 | 18,198 | 松阪公園プール利用者数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 8,000人 | | 6,016人 | B | 8,000人 | | |
| 14 | 阪内川スポーツ公園管理運営事業費 | 4-⑤ | 32,028 | 31,828 | 阪内川スポーツ公園施設利用者数 | 33,894 | 阪内川スポーツ公園施設利用者数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 65,000人 | | 47,657人 | B | 65,000人 | | |
| 15 | 阪内川スポーツ公園施設整備事業費 | 4-⑤ | 45,320 | 38,495 | 施設に対する利用者からの苦情件数 | 終了 | 施設に対する利用者からの苦情件数 | | | | |
| | | | | | 目標 | | 実績 | 評価 | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0件 | | 0件 | S | | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------------------|------|----------|----------|-------------------|----------|----|----------|-------------------|----|----|--|--|--|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | | | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | | |
| 16 | 中部台運動公園施設管理運営事業費 | 4-⑤ | 108,292 | 107,084 | 中部台運動公園施設利用者数 | | | 114,239 | 中部台運動公園施設利用者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 150,000人 | 150,299人 | S | | 150,000人 | | | | | |
| 17 | 中部台運動公園施設整備事業費 | 4-⑤ | 17,700 | 29,650 | 施設に対する利用者からの苦情件数 | | | 18,926 | 施設に対する利用者からの苦情件数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 0件 | 0件 | S | | 0件 | | | | | |
| 18 | 公園施設長寿命化計画策定事業費 | 4-⑤ | 0 | 0 | - | | | 6,400 | 長寿命化計画作成 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | - | - | - | | 1業務 | | | | | |
| 19 | スポーツ文化センター管理運営事業費 | 4-⑤ | 25,212 | 25,212 | スポーツ文化センター利用者数 | | | 24,603 | スポーツ文化センター利用者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 35,000人 | 22,146人 | C | | 35,000人 | | | | | |
| 20 | 海洋センター管理運営事業費 | 4-⑤ | 6,446 | 6,446 | B & G 海洋センターの利用者数 | | | 6,443 | B & G 海洋センターの利用者数 | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 3,800人 | 2,991人 | B | | 3,800人 | | | | | |
| 21 | 第103回全国高等学校野球選手権大会激励金 | 4-⑤ | 0 | 300 | 市内からの大会出場校数 | | | 0 | - | | | | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 | | | |
| | | | | | 1校 | 1校 | S | | - | | | | | |

| | | | |
|---|-------------|----------|----------|
| 組織名 | 給食管理課 | 作成者（評価者） | 課長 瀬古 英司 |
| 関係する『総合計画』施策 | 1-③ 学校教育の充実 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>給食管理課は、新型コロナウイルス感染症対策及び衛生管理を徹底し、園児、児童、生徒に安全で安心な給食の提供に努めています。学校給食施設は、定期的な保守点検や修繕で調理機器類の機能を維持するとともに、計画的な施設・設備の更新を行うことで衛生管理や作業効率の向上を図ります。また、感染症・食中毒や異物混入などに対する研修を行い、調理員の衛生管理意識の高揚を図ります。</p> <p>近年、食物アレルギーを有する児童生徒は増加傾向にあり、その症状も多様化していることから、「学校におけるアレルギー疾患対応の手引」に沿って安全性を最優先に適切な対応を行っています。</p> <p>さらに、学校給食が食育の「生きた教材」として活用されるよう、旬の地場産物を取り入れた「ちゃちゃもランチ」等を実施することで地産地消に取り組み、食育担当教員や栄養教諭・学校栄養職員と連携する中で、子どもたちが食に関する正しい知識と健全な食生活を実践できる資質・能力を身につけることができるよう、食育を進めます。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策として、現行の給食時間に手洗い、配膳台・手指アルコール消毒等の指導時間を確保し、学校給食における感染予防対策に努めました。また、新型コロナウイルスの感染拡大時において、各学校が実施した分散登校などの感染症拡大予防措置に対し、一人ひとりに寄り添う気持ちをもって最大限に対応し、弾力的な給食提供を行いました。 ・飯南学校給食センター配管設備改修工のほか、給食調理場の調理機器類の定期的な保守点検や修繕、備品等の更新を行うとともに、調理員を対象とした衛生管理研修会をリモートで開催するなど新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで3回実施し、調理環境を原因とする労働災害や食中毒、異物混入事故の発生を未然に防止することに努めました。 ・食物アレルギー対応では、アレルギー原因物質を含む食物の種類や症状の程度が一人ひとり異なるため、保護者面談等で状況を把握し、安全性を最優先に適切なアレルギー除去食の提供に努めました。 ・学校では、総合的な学習の時間等で、栄養教諭・学校栄養職員が学級担任等と連携して、学校給食に関連して「食」に関する教育を行いました。（栄養教諭(11人)・学校栄養職員(2人)により年間589回) | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旬の地場産物を取り入れた「ちゃちゃもランチ」の実施など、給食で使用する食材は可能な限り市内産や県内産のものを使用することで地産地消の推進に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染症対策で、給食実施回数の減により、使用できる地場産物の使用量が一部減ったものの、地元農家などの野菜を提供いただいたことで昨年度に比べ地場産物使用割合は30.4%【R3目標値32%】に向上しました。 ・新型コロナウイルス感染拡大で、各学校が実施した分散登校などの感染症拡大予防措置に対し、学校給食物資における納入業者との調整や個別の返金対応など事務作業が発生したため、改善する必要があります。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・「学校適正化等に関する検討委員会」で検討される基本方針を踏まえて、安全安心な学校給食を安定して提供するために必要な施策、また今後の単独調理場の整備の方向性を協議していきます。 ・学校給食における食育の推進と地場産物については、食材調達や献立などで工夫を図っていきます。 ・新型コロナウイルス感染症対策及び衛生管理を徹底し、安全安心な学校給食の提供に努めます。 | | | |

【給食管理課】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-------------------|------|----------|----------|-----------------|----------|------|---------|-----------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 学校給食単独調理場管理運営事業費 | 1-③ | 195,057 | 190,362 | 異物混入(金属)を発生させない | | | 194,635 | 異物混入(金属)を発生させない | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0件 | 0件 | S | | 0件 | | |
| 2 | 学校給食単独調理場施設整備事業費 | 1-③ | 5,093 | 1,859 | 転倒事故を発生させない | | | 2,618 | 転倒事故を発生させない | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0件 | 0件 | S | | 0件 | | |
| 3 | 学校給食単独調理場備品等整備事業費 | 1-③ | 12,163 | 8,885 | 献立変更を発生させない | | | 19,010 | 献立変更を発生させない | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0件 | 1件 | A | | 0件 | | |
| 4 | 学校給食センター管理運営事業費 | 1-③ | 433,875 | 437,082 | 異物混入(金属)を発生させない | | | 460,991 | 異物混入(金属)を発生させない | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0件 | 1件 | A | | 0件 | | |
| 5 | 学校給食センター備品等整備事業費 | 1-③ | 33,012 | 33,012 | 献立変更を発生させない | | | 18,609 | 献立変更を発生させない | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 0件 | 0件 | S | | 0件 | | |
| 6 | 学校給食センター施設整備事業費 | 1-③ | 0 | 0 | - | | | 1,276 | 転倒事故を発生させない | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 0件 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|--|-------|----------|----------|
| 組織名 | 議会事務局 | 作成者（評価者） | 局長 中西 雅之 |
| 関係する『総合計画』施策 | - | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>市議会は二元代表制の一翼を担い、議事機関として市の意思を最終的に決定するほか、市政が適正に行われているかどうかを監視するなどの役割を有しています。議会事務局は、円滑かつ効率的な議会運営に努めるとともに、市議会が有する機能を十分に発揮し、市民の負託と信頼に応え、その役割を果たしていくことができるようサポートしています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議会活動事業において、令和3年5月定例議会での紙媒体とタブレット端末の併用を経て、令和3年9月定例議会からタブレット端末を本格使用し、事務連絡から議案まで完全ペーパーレス化を実現することができました。 ・議会活動事業において、議長や委員長等の議事運営や議員活動をサポートし、円滑な議会運営に努めました。 ・議会広報事業において、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、新たな試みとして、会場に参集いただく対面方式の議会報告会に代え、オンラインによる動画配信による議会報告会を実施することができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局職員の研修について、コロナ禍のため、研修会等の開催が中止となったことなどから、一部参加することができませんでした。オンライン研修の積極的な活用も含め、職員の能力向上に努めます。 ・会議録作成事業において、会議録を次期定例議会までに調製することができませんでした。業務等を改善することにより、会議録の早期公開に努めます。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を活用した効果的かつ効率的な議会運営に引き続き取り組みます。 ・議会活動の「見える化」や市民参加を図るため、様々な媒体を活用して、議会活動に関する情報の積極的な発信に努めます。 ・事務局職員の能力向上に資する研修等に積極的に参加し、議会活動を的確にサポートできる人材育成に努めます。 | | | |

【議会事務局】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|----------|------|----------|----------|-----------------------|------------|------|-------|-----------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 議会活動事業費 | - | 8,297 | 2,723 | 議会機能の強化に資する研修会及び視察の実施 | | | 8,056 | 議会機能の強化に資する研修会及び視察の実施 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 7回 | 7回 | S | | 7回 | | |
| 2 | 政務活動費補助金 | - | 6,720 | 2,330 | 補助金の適切な交付 | | | 8,400 | 補助金の適切な交付 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 100.0% | 100.0% | S | | 100.0% | | |
| 3 | 議会広報事業費 | - | 8,768 | 8,429 | 広報発行部数 | | | 9,117 | 広報発行部数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 65000部/年4回 | 65000部/年4回 | S | | 65000部/年4回 | | |
| 4 | 会議録作成事業費 | - | 3,858 | 3,858 | 会議録を次期定例会までに作成 | | | 3,971 | 会議録を次期定例会までに作成 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 4回 | 1回 | E | | 4回 | | |
| 5 | 議会一般経費 | - | 9,463 | 10,141 | 事務局の体制整備と強化を図る研修会への参加 | | | 9,816 | 事務局の体制整備と強化を図る研修会への参加 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 5回 | 4回 | B | | 5回 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|-----------|----------|---------|
| 組織名 | 農業委員会事務局 | 作成者（評価者） | 局長 北村 充 |
| 関係する『総合計画』施策 | 3-① 農業の振興 | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>農業委員会は、農業生産力の増進及び農業経営の合理化を図り、農業の健全な発展に寄与することを目的に、市に設置された行政委員会です。</p> <p>農地売買・賃借などの権利移動や農地転用の許認可業務のほか、担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進など、農地等の利用の最適化の推進を行っています。また、農業者の老後の生活の安定及び福祉の向上を図ることを目的として設立された農業者年金の受託事務を行っています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地の発生防止・改善活動については、農業委員・農地利用最適化推進委員の協働による農地パトロールや各委員の農地活用相談等を実施しました。 ・農業者年金加入促進については、昨年度新規加入者は2人で目標には達しました。今後も農業委員・農地利用最適化推進委員・農協と連携を取りながら対象者にPRを行い新規加入者の確保に努めます。 ・担い手の新規就農・参入者の確保については、5社の目標に対し8社で目標に達しました。今後も農業委員・農地利用最適化推進委員における新規就農・参入者促進活動を推進していきます。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末の使い方研修については、国からのタブレット配布が次年度に繰り越しとなったため、準備期間として事前研修を1回開催するに止まりました。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・農業者年金の加入促進活動による新規加入者の確保 ・農業の担い手の新規参入者の確保 ・耕作放棄地等のフォローアップ（改善指導等）の推進 ・タブレット端末使い方研修の開催 | | | |

【農業委員会事務局】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|------------|------|----------|----------|---|--------------------|------|--------|---|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 農業者年金事務事業費 | 3-① | 518 | 518 | 加入促進活動による新規加入者の確保 | | | 452 | 加入促進活動による新規加入者の確保 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 2人 | 2人 | A | | 2人 | | |
| 2 | 農業委員会活動事業費 | 3-① | 23,502 | 22,804 | 活動指標 | | | 27,400 | 活動指標 | | |
| | | | | | ①担い手の新規参加者数 ②耕作放棄地等のフォローアップ(改善指導等) ③全委員に対するタブレット端末使い方研修 | | | | ①担い手の新規参加者数 ②耕作放棄地等のフォローアップ(改善指導等) ③全委員に対するタブレット端末使い方研修 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ①5件 ②55件 ③2回 | ①8件 ②55件 ③1回 | A | | ①5件 ②55件 ③2回 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|---|---------|----------|---------|
| 組織名 | 監査委員事務局 | 作成者（評価者） | 局長 刀根 薫 |
| 関係する『総合計画』施策 | - | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>監査委員事務局は、監査委員が松阪市監査基準に基づき実施する監査等を補佐することで、市行政の適法性、効率性、妥当性を保証し、市民の行政に対する信頼を深めることを使命としています。</p> <p>主な業務として「定期監査」、「決算審査」、「例月出納検査」を補佐し、住民監査請求に基づく監査等に対応します。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度松阪市監査実施方針及び監査計画に基づく監査等については、2年度に引き続きコロナ禍により中止した「工事監査」以外は予定通り実施しました。なお、新型コロナウイルスの感染防止対策として、出席者の人数制限や監査場所を広い会議室に移すなど密にならないように実施しました。 自己研鑽のための研修会等への参加については対面による研修会は中止となったが、オンラインによる研修・講座は5回受講し、知識の習得、向上に努めました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <p>「工事監査」についてその実施には専門知識を持った技術士に依頼するが、技術士派遣元は県外であるため、コロナ禍が収束していない令和3年度においても感染予防の観点から中止しました。</p> | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 監査実施計画に基づく監査等について、監査場所や出席人数の制限など感染対策をしながら計画通り実施します。 事務局職員が監査に関する専門知識やスキルを高めるため、オンラインによる研修・講座を含む外部研修に参加するとともに、得た知識・スキルを事務局内で共有します。 監査、審査等における各種意見書・報告書作成については、監査委員との連携、職員間の連携を密にしながら数値、表現等しっかり確認します。 | | | |

【監査委員事務局】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|-----------|------|----------|----------|-------------|----------|------|-------|-----------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 監査委員活動事業費 | - | 7,124 | 6,693 | 事務局員の研修参加回数 | | | 7,124 | 事務局職員の研修・講座受講回数 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 5回以上 | 5回 | S | | 7回以上 | | |

第3章 各所属の「評価」と「重点取組」

| | | | |
|--|------------|----------|---------|
| 組織名 | 選挙管理委員会事務局 | 作成者（評価者） | 局長 山本 誠 |
| 関係する『総合計画』施策 | - | | |
| 組織の概要（主な業務） | | | |
| <p>選挙管理委員会は、公正な選挙を行うため地方自治法により設置が義務付けられた市長から独立した機関です。市議会において選挙された4人の委員で構成され、この職務を補助執行するため、事務局が設置されています。選挙の管理執行及び直接請求、住民投票等の選挙に関係のある事務のほか、裁判員候補予定者の選定、明るい選挙推進協議会と連携して公正な選挙や投票率向上に向けた啓発活動も行っています。</p> | | | |
| 令和3年度の評価（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>【達成できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三重県ガイドラインや他市の選挙も参考にし、投票所への段ボール仕切り板、使い捨て鉛筆の設置など、コロナ感染症対策を施した選挙の執行ができました。 ・小中学校に対して出前授業による模擬選挙を7校で実施し、この内新たに4校で出前授業を行うことができました。 | | | |
| <p>【達成できなかったこと・改善すべき点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・投票率向上のための効果的な啓発を摸索する必要があります。 | | | |
| 令和4年度の重点取組（個々の事業については次ページ以降をご覧ください。） | | | |
| <p>令和4年7月25日任期満了の参議院議員通常選挙について、コロナウイルス感染症対策を徹底し、適正かつ効率的に執行します。また、令和5年4月29日任期満了の三重県議会議員選挙について適正かつ効率的に執行できるよう準備をします。将来の有権者に向けた啓発に取り組みます。</p> | | | |

【選挙管理委員会事務局】事務・事業管理シート

| No. | 事業名 | 関係施策 | 令和3年度 | | | 令和4年度 | | | | | |
|-----|---------------|------|----------|----------|-----------------------------|----------|------|--------|-----------------------------|----|----|
| | | | 当初予算(千円) | 最終予算(千円) | 活動指標 | 当初予算(千円) | 活動指標 | | | | |
| 1 | 選挙管理委員会事業費 | - | 4,577 | 4,402 | 「選挙管理委員会事務局」の令和3年度の評価 | | | 4,521 | 「選挙管理委員会事務局」の令和4年度の評価 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | ☆☆☆☆ | ☆☆☆ | C | | ☆☆☆☆ | | |
| 2 | 選挙啓発事業費 | - | 924 | 624 | 小学校・中学校・高校での模擬投票、出前授業の新規実施校 | | | 822 | 小学校・中学校・高校での模擬投票、出前授業の新規実施校 | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 3校 | 4校 | S | | 1校 | | |
| 3 | 参議院議員選挙費 | - | 0 | 0 | - | | | 57,337 | 投票率の向上(前回より) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 50.0% | | |
| 4 | 三重県議会議員選挙費 | - | 0 | 0 | - | | | 20,280 | 投票率の向上(前々回より) | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | - | - | - | | 50.0% | | |
| 5 | 衆議院議員選挙費 | - | 62,427 | 48,726 | 投票率の向上(前回より) | | | 0 | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 55.0% | 53.8% | A | | - | | |
| 6 | 最高裁判所裁判官国民審査費 | - | 2,406 | 2,186 | 投票率の向上(前回より) | | | 0 | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 55.0% | 53.7% | A | | - | | |
| 7 | 市議会議員選挙費 | - | 121,941 | 92,081 | 投票率の向上(前回より) | | | 0 | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 50.0% | 43.9% | B | | - | | |
| 8 | 三重県知事選挙費 | - | 0 | 41,893 | 投票率の向上(前回より) | | | 0 | - | | |
| | | | | | 目標 | 実績 | 評価 | | 目標 | 実績 | 評価 |
| | | | | | 40.0% | 33.1% | B | | - | | |

令和4年度 部局長の「実行宣言」

発行 令和4年7月
発行者 松阪市
〒515-8515 松阪市殿町1340番地1
編集 企画振興部 経営企画課
TEL：0598-53-4319
Email：kei.div@city.matsusaka.mie.jp